はじめに

このたびは、「SoftBank 930SC」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
SoftBank 930SCは、3G方式とGSM方式に対応しております。

- SoftBank 930SCをご利用の前に、この「取扱説明書」と「らくらくスタートブック」をご覧になり、正しくお取り扱いください。
- 本書をご覧いただいたあとは、大切に保管してください。
- 本書を万一紛失または損傷したときは、お問い合わせ先（➔P.14-30）までご連絡ください。
- ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。

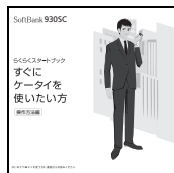
ご注意

- 本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
- 本書の内容は将来、予告なしに変更することがございます。
- 本書の内容に関して、一部日本では提供していない機能、サービスの説明が記載されている場合があります。Not all functions and services described in this user guide are available in Japan.
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、お問い合わせ先（➔P.14-30）までご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

- 「SoftBank 930SC」には、この「取扱説明書」と「らくらくスタートブック」が付属されています。
  - 基本的な使いかたや利用方法を知りたい場合は「らくらくスタートブック」をお読みください。
  - 各機能の詳しい使いかたを知りたい場合はこの「取扱説明書」をお読みください。

本書の構成

説明	章	番号
930SCをお使いになるための準備や基礎的な知識、基本的な共通操作をまとめて説明しています。必ずお読みください。	準備／基礎知識	1
	共通機能／操作	2
930SCの代表的な機能を、章単位でまとめて説明しています。 お使いになりたい機能の章をお読みください。	電話	3
	メール	4
	インターネット	5
	テレビ	6
	カメラ／静止画編集	7
	メディアプレイヤー／ゲーム	8
930SCで利用できるその他の便利なツール（道具）やサービスについて説明しています。	ツール	9
	コミュニケーションサービス	10
930SCのセキュリティを強化する機能を説明しています。	セキュリティ	11
データ通信やパソコン接続、データのバックアップについて説明しています。	通信／バックアップ	12
930SCを使いこなすためのカスタマイズ方法について説明しています。	カスタマイズ	13
930SCについての資料や各種情報、索引をまとめています。	資料／付録	14

SoftBank 930SC
らくらくスタートブック
すぐに
ケータイを
使いたい方
操作方法編

最初に「らくらくスタートブック」をお読みください。

機能の探しかた

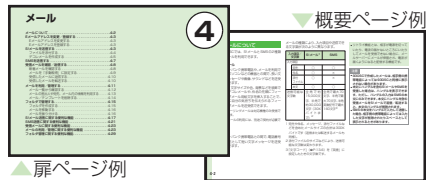
パラパラとめくって探す

930SC の新しい魅力を発見しましょう。

各誌面の内容は説明のためのサンプルです。実際の誌面とは異なります。

ページの端にはサイドインデックスが付いています。目的の章をすばやく確認することができます。

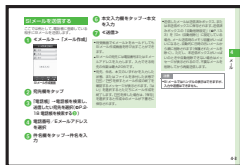
●各ページでは上の例のように、縦組み文字で章の番号とタイトルが書かれています。本書を閉じていても、章の区切りがわかりやすくなっています。

章の始まりには、扉ページが付いています。区切りの目安にしましょう。

扉ページ例

概要ページ例

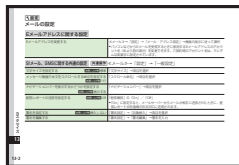
●章の冒頭などには、その章で説明する機能やサービスの内容をまとめた概要ページがあります。ここで全体像をつかんでください（一部ない章もあります）。

説明ページのレイアウトはいくつかのパターンに分かれています。それぞれのパターンの意味を覚えておけば、必要な箇所だけを読むことができます。

基本操作パターン

機能やサービスの基本操作を説明しているページです。章や項目の前半にあります。

応用操作パターン

機能やサービスの応用的な操作を説明しているページです。章の後半にあります。

設定操作パターン

930SC の設定変更を説明しているページです。カスタマイズの章にあります。

目的の機能や用語を探す

いろいろな方法で、検索が行えます。

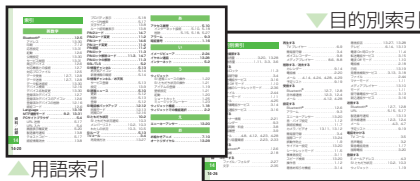
各誌面の内容は説明のためのサンプルです。実際の誌面とは異なります。

全体像が一覧できる「目次」と、章内の内容がわかる「章目次」を活用しましょう。

▼章目次

▲目次

●「目次」には、この取扱説明書の章構成と各章内の見出しが記載されています。また、各章の扉ページに入っている「章目次」は、章内の内容が詳しく記載されています。目的に応じて使い分けてください。

用語と目的機能で引ける3つの「索引」で目的の機能や用語をすばやく見つけましょう。

▼目的別索引

▲用語索引

●930SC内の用語があいうえお順に並んでいる「用語索引」と、「登録する」「消去する」などの目的別にまとめた「目的別索引」、応用操作のある機能をまとめた「便利な機能索引」を「資料／付録」の章に掲載しています。ご活用ください。

表示やアイコンの意味を探す

気になる項目やアイコンを調べましょう。

各誌面の内容は説明のためのサンプルです。実際の誌面とは異なります。

メニューなどの項目の意味や操作を調べるときは、「機能一覧」がおすすめです。

●「資料／付録」の章の「機能一覧」は、930SCのメニュー構造に沿って、各項目の掲載ページを記載しています。操作中に気になる項目があれば、ここからすぐにジャンプできます。

画面に表示されるアイコンの意味を知りたいときは、「ディスプレイ」をご覧ください。

●「準備／基礎知識」の章にある「ディスプレイ」では、ディスプレイに表示されるアイコンの意味を掲載しています。知らないアイコンが表示されたときは、すぐに確認しましょう。

本書の記載パターン

基本操作パターン

各機能の基本操作をやさしく説明しています。

受信したメールを転送する

受信したメールを他の宛先に転送でき
す。

1. ≪メール≫→「受信ボッ
ス」→フォルダを選択
2. 転送するメールを選択→
≪転送≫
3. メールの作成操作（➲P.4-
S!メールを送信する❷）

- 転送するS!メールの件名には「Fw:」が
動的に付きます。
- 受信したSMSを転送する場合は、S!メー
ルで転送するかSMSで転送するかを
択できます。
- ≪メール≫→「受信ボックス」→フォ
ダを選択→≪転送≫→転送したいメー
の をタップしても同じ操作が行え
す。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.4-22
- 受信通知／サーバーメールを転送したい
- 差出人に電話をかけたい
- 受信通知からメールサーバーに保存されているメールを削除したい

設定
- 文字サイズを設定する（☞P.13-2）
- メッセージ画面で本文をスクロールする単位を設定する（☞P.13-2）
- ナビゲーションバーを表示するかどうかを設定する（☞P.13-2）
- 受信の通知を設定する（☞P.13-3）
- シークレット設定を設定したフォルダの受信通知を設定する（☞P.13-4）
- メッセージのデルモジ表示を設定する（☞P.13-4）
- デルモジ表示の文字色と背景色のパターンを設定する（☞P.13-4）
- デルモジ表示の表示速度を設定する（☞P.13-4）
- S!メールの受信方法を設定する（☞P.13-5）
- ローミング中に受信するS!メールの受信方法を設定する（☞P.13-5）
- フィーリングメールを受信したときの着信ライトの有無を設定する（☞P.13-5）

メールを利用／管理する

930SCでは、メールの種類ごとに5種類のメールボックスが用意されています。

メールボックス	メールの種類
受信ボックス	受信したメールが保存されます。
	ルが保存されます。
テンプレート	テンプレートとして登録したデコレメールテンプレートやSMSの定型文が保存されます。
送信済みボックス	送信済みのメールが保存されます。
未送信ボックス	送信に失敗したメール、送信をキャンセルしたメール、送信待機中のメールが保存されます。

4 メール

4-10

操作にあたってのご注意

- 本書は、特にことわりのない限り、待受画面（➲P.1-8）からの操作を中心に説明しています。

設定 この機能をカスタマイズして使いたいとき

詳しい仕様を知りたいとき
「資料／付録」の章の「メモリ容量一覧」／「主な仕様」をご覧ください。件数や時間など、詳細な仕様を確認することができます。

使いこなしチェックを活用しましょう
このページで説明している機能に関する代表的な応用操作や設定項目を紹介しています。この機能をもっと使いこなしたい方におすすめです。

便利 この機能のいろいろな応用操作をしたいとき

各誌面の内容は説明のためのサンプルです。実際の誌面とは異なります。

設定操作パターン

各機能のカスタマイズ方法を表形式で説明しています。

S!メールに関する設定　共通操作　≪メール≫→「設定」→「S!メール設定」

送信メールの優先度を設定する　お買い上げ時 標準	「送信オプション」→「優先度」→項目を選択
送信メールのメールサーバーへの保存期間を設定する　お買い上げ時 最大	「送信オプション」→「有効期限」→項目を選択 ・設定した保存期間が経過すると、メールサーバーからS!メールが自動削除されます。
送信メールをメールサーバーから相手に配信する時間を設定する　お買い上げ時 指定なし	「送信オプション」→「配信時間指定」→項目を選択 ・設定した期間が経過すると、メールサーバーからS!メールが送信されます。
S!メールの受信方法を設定する　お買い上げ時 自動受信	「受信設定」→「国内での自動受信」→項目を選択 ・設定内容は次のとおりです。 「自動受信」：自動的に受信する 「電話番号のみ自動」：電話番号を使って送られたS!メールのみ受信する 「手動取得」：受信通知のみを受信する
ローミング中に受信するS!メールの受信方法を設定する　お買い上げ時 自動受信	「受信設定」→「ローミング自動受信」→項目を選択 ・設定内容は次のとおりです。 「自動受信」：自動的に受信する 「手動取得」：受信通知のみを受信する ・「自動受信」に設定すると、添付ファイルを含む全文が自動受信され、海外でのメール通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。
返信先を設定する　お買い上げ時 Off	「返信先指定」の「On」／「Off」 ・設定内容は次のとおりです。 「On」：「返信先アドレス設定」で設定したアドレスに返信されます。 「Off」：930SCのアドレスに返信されます。 ・930SCからEメールアドレス宛のメールを送り、受信した相手が返信する際の宛先を設定できます。
返信先アドレスを設定する	「返信先アドレス設定」→項目を選択→アドレスの登録操作
フィーリングメールを受信したときの着信ライトの有無を設定する　お買い上げ時 On	「フィーリングメール連動設定」→「ライト色」→「On/Off」の「On」／「Off」

カスタマイズ 13

13-5

共通操作

表内の各操作に共通する操作を示しています。
この共通操作を行ったあと、続けて表内の操作を行ってください。

応用操作パターン

各機能の応用操作を統一フォーマットで簡単に説明しています。
使いこなしチェックで記載されている機能のほかにも、さまざまな応用操作が記載されています。

便利

S!メール送信に関する便利な機能

「電話帳」以外の方法で宛先を入力したい

S!メール作成画面で宛先欄をタップ

■ **電話番号を直接入力するとき**
「番号入力」→電話番号を入力

■ **Eメールアドレスを直接入力するとき**
「アドレス入力」→Eメールアドレスを入力

■ **電話帳のグループから選択するとき**
「グループ」→「本体」／「USIM」→グループを選択
・グループに21件以上登録されている場合、送信したい宛先をチェック→≪追加≫をタップします。
・電話番号やEメールアドレスが複数登録されている電話帳が含まれている場合、宛先の選択画面が表示されることがあります。電話番号／Eメールアドレスを選択してください。

■ **履歴から入力するとき**
「送受信履歴」→プルダウンメニューから「送信履歴」／「受信履歴」→履歴を選択

宛先を追加したい

宛先が入力済みのS!メール作成画面で宛先欄をタップ→「宛先追加」

■ **電話帳から選択するとき**
「電話帳」→電話帳を検索し、選択（➔P.2-18）→電話番号／Eメールアドレスを選択

■ **電話番号を直接入力するとき**
「番号入力」→電話番号を入力

■ **Eメールアドレスを直接入力するとき**
「アドレス入力」→Eメールアドレスを入力

■ **電話帳のグループから宛先を選択するとき**
「グループ」→「本体」／「USIM」→グループを選択
・電話番号やEメールアドレスが複数登録されている電話帳が含まれている場合、宛先の選択画面が表示されることがあります。電話番号／Eメールアドレスを選択してください。

■ **履歴から入力するとき**
「送受信履歴」→プルダウンメニューから「送信履歴」／「受信履歴」→履歴を選択

・複数の宛先が登録されている場合は、メール作成画面の宛先欄の横に件数が表示されます。

送受信履歴の詳細を確認したい　[表示]

S!メール作成画面で宛先欄をタップ→「送受信履歴」→プルダウンメニューから「送信履歴」／「受信履歴」→≪表示≫→表示したい履歴を選択

送受信履歴を削除したい　[削除]

S!メール作成画面で宛先欄をタップ→「送受信履歴」→プルダウンメニューから「送信履歴」／「受信履歴」→≪削除≫

■ **1件のみ削除する場合**
削除したい履歴の→「はい」

■ **全件削除する場合**
≪全送信履歴削除≫／≪全受信履歴削除≫→「はい」

宛先の種類をTO/CC/BCCに変更したい

S!メール作成画面で宛先欄をタップ→変更したい宛先の種類アイコンをタップ→項目を選択

宛先を削除したい

S!メール作成画面で宛先欄をタップ

■ **1件削除するとき**
削除したい宛先の種類アイコンをタップ→「削除」

■ **すべて削除するとき**
≪全件削除≫→「はい」

4 メール

4-17

操作中の画面でツールバーから選択できる操作などはここで説明しています。

Contents

Contents

Contents

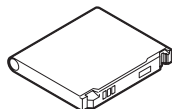
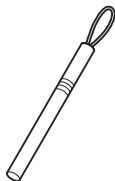
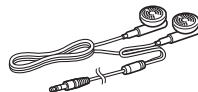
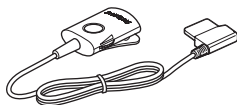
13 カスタマイズ

14 資料／付録

お買い上げ品の確認

SoftBank 930SC本体のほかに、次の付属品がそろっていることをお確かめください。付属品は、オプション品としても取り扱いしております。

付属品、オプション品につきましては、お問い合わせ先（➔P.14-30）までご連絡ください。

電池パック［SCBAK1］

ストラップタッチペン［SCKAP1］

ステレオイヤホン

マイク付きステレオイヤホン変換ケーブル

- 930SCの充電には、ソフトバンクが指定した充電器（オプション品）を使用してください。
- 930SCではmicroSD™／microSDHC™メモリカードに対応しています。ご利用にあたっては、市販のmicroSD™／microSDHC™メモリカードを購入してください。
- 本書では、microSD™／microSDHC™メモリカードを「メモリカード」と記載しています。
- Samsung PC Studioは、SAMSUNGホームページ（http://jp.samsungmobile.com/pc/lineup/930download.html）からダウンロードしてご利用いただけます。

本書の見かた

本書では、「SoftBank 930SC」を「930SC」と表記しています。あらかじめご了承ください。

また、主にお買い上げ時の状態を基準に説明しているため、設定を変更された場合、930SCの表示や動作が本書の記載と異なる場合があります。

ディスプレイの表記と930SCのイラストについて

記載している画面は、表示されている内容や番号などが実際の画面と異なる場合があります。操作の目安としてご利用ください。

本書のイラストはイメージイラストであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。

本書では、画面を見やすくするために、待受画面の壁紙の設定を「なし」にした状態で掲載している場合があります。

確認／警告メッセージについて

操作中、本書に記載していないメッセージが表示されることがあります。確認や警告のメッセージが表示されたときは、内容をよくご確認ください。

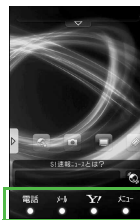
ボタンとタッチパネル操作の表記について

本書では、930SCのボタンをすべて記号で表記しています。「各部の名称と機能」（➔P.1-2）を参照してください。

また、930SCのディスプレイはタッチパネルになっており、付属のタッチペンで軽く触れる（タップする）ことでさまざまな操作ができます。

タッチパネルの操作については、次のように表記しています。

ツールバー

ディスプレイの最下段（ツールバー）には「電話」「メール」のような、機能や操作のメニューが表示されます。

ツールバー

メニューをタップして内容を実行する操作は、簡略化した表記方法で説明しています。

ツールバー操作の表記

≪電話≫ └ツールバーに触れる（タップする）操作を示す

タッチパネル操作

930SCでは、タッチペンでディスプレイに触れたり、触れたままタッチペンを動かしたりなど、さまざまな操作のしかたができます。タッチパネル操作について詳しくは、「タッチパネルの使いかた」（➔P.1-5）を参照してください。

メニュー操作の表記について

メニュー操作は、簡略化した表記方法で説明しています。

メニュー操作

❶ ≪メニュー≫→「設定」→「ディスプレイ設定」→「壁紙」 目的の項目をタップする操作を繰り返すことを示す

メインメニュー操作について詳しくは、「メインメニューから機能を呼び出す」（➔P.2-3）を参照してください。

「反転表示」について

項目や文字列の選択画面などで目的の位置にカーソル（「■」や画像ファイルを囲む枠など）を移動させることを、この取扱説明書では「反転表示する」と表記します。

安全上のご注意

- ご使用の前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
  また、お読みになったあとは必要なときにご覧になれるよう、大切に保管してください。
- この取扱説明書に示した説明事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本製品の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ご使用の前に

●絵表示について

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな絵表示をしています。
その表示を無視し、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 危険	誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う恐れが高い内容を示しています。
⚠ 警告	誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。
⚠ 注意	誤った取り扱いをしたときに、けがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。

●絵表示の意味

記号は してはいけないこと（禁止）を表しています。	記号は しなければならないこと（指示）を表しています。	⚠ 記号は 気をつける必要があることを表しています。

⚠危険

930SC、電池パック、充電用機器の取り扱いについて（共通）

930SCに使用する充電器および電池パックは、ソフトバンクが指定したものを使用してください（➔P.ix）。
指定品以外のものを使用すると、電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となります。また、充電器が発熱したり、故障、感電、火災の原因となります。

充電端子どうしを金属などで接触させないでください。
充電端子を針金などの金属類（金属製のストラップなど）で接触させないでください。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。電池パックの液が漏れたり、発熱、破裂、発火、感電により、やけどやけがの原因となります。専用ケースなどに入れて持ち運んでください。

分解や改造はしないでください。

- 930SCや充電器の外装ケースは、開けないでください。感電やけがの原因となります。
  内部の点検、調整、修理は、ソフトバンクの故障受付窓口にご依頼ください。
- 930SCや充電器を改造しないでください。火災、感電の原因となります。

電池パックの取り扱いについて

電池パックが漏液して液が目に入ったときは、こすらずに、すぐにきれいな水で十分に洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
目に障害を与える恐れがあります。

電池パックを充電するときや、使用する場合は、必ず次のことを守ってください。
正しく使用しないと、電池パックの液が漏れたり、発熱、破裂、発火により、やけどやけがの原因となります。

- 加熱したり、火の中へは投げ込まないでください。
- 分解、改造、破壊しないでください。
- 釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、ハンダ付けをしないでください。
- 外傷、変形の著しい電池パックは使用しないでください。
- 充電するときは、専用の充電器以外は使用しないでください（➔P.ix）。
- 930SCに電池パックがうまく装着できないときは、無理に装着しないでください。
- 火のそばや、ストーブのそば、炎天下など、高温の場所での充電、使用、放置はしないでください。
- 付属品の電池パックは、930SC専用です。それ以外の機器には使用しないでください。

⚠警告

930SC、電池パック、充電用機器の取り扱いについて（共通）

内部に物や水などを入れないでください。
930SCや充電器の開口部から内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災、感電の原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。

風呂場や雨に当たるところなどの、湿気の多いところでは使用しないでください。
火災、感電の原因となります。

水などの入った容器を近くに置かないでください。
930SCや充電器の近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となります。

電子レンジや高圧容器に、電池パックや930SC、充電器を入れないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、930SCや充電器の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり、驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。当製品に使用のモバイルライト光源LEDは、指定されていない調整部の操作を意図的に行った場合、眼の安全性を超える光量を放出する可能性がありますので分解しないでください。修理は、ソフトバンクの故障受付窓口に依頼してください。

内部に水や異物などが入ったときは
930SCの電源を切って電池パックを取り外し、急速充電器はプラグをACコンセントから抜いてソフトバンクの故障受付窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

衝撃を与えないでください。
930SCや充電器を持ち運ぶときは、落としたり、衝撃を与えないようにしてください。けがや故障の原因となります。
万一、930SCや充電器を落とすなどして外装ケースを破損した場合は、電池パックを外してソフトバンクの故障受付窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

異常が起きたときは

万一、異常な音がしたり、煙が出たり、へんなにおいがするなどの異常な状態に気がついたときは、930SCの電源を切って電池パックを取り外し、急速充電器はプラグをACコンセントから抜いてソフトバンクの故障受付窓口に修理を依頼してください。

異常な状態のまま使用すると、火災･感電の原因となります。

ガソリンスタンドなど、引火、爆発の恐れがある場所では、使用しないでください。

引火ガスが発生する場所では、必ず事前に電源をお切りください。ガスに引火する恐れがあり、火災の原因となります。ガソリンスタンドでの給油中など、引火ガスが発生する場所ではソフトバンク携帯電話の電源も切り、充電しないでください。

930SCの取り扱いについて

事故防止のために

- 自動車や自転車などの乗物を運転するときは、930SCを絶対にご使用にならないでください。安全走行を損ない事故の原因となります。車などを安全なところに止めてからご使用ください。
  道路交通法により、運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となります（2004年11月1日改正施行）。
- 自動車やバイク、自転車などの運転中は、ステレオイヤホンマイクを絶対に使わないでください。交通事故の原因となります。
- 歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げすぎないでください。特に、踏切や横断歩道などでは、十分に気をつけてください。交通事故の原因となります。

ステレオイヤホンマイクやストラップを持って930SCを振り回したり、投げたりしないでください。

本人や他人に当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

航空機内では、930SCの電源を切ってください。

電波の影響で航空機の電子精密機器の故障の原因および安全に支障をきたす恐れがあります。

バイブレータや着信音の設定にご注意ください。

心臓の弱い方は、設定にご注意ください。

屋外で使用中に雷が鳴りだしたら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。

落雷、感電の原因となります。

ぬれた手で930SCに触らないでください。

感電、故障の原因となります。

充電用機器の取り扱いについて

指定以外の電圧では使用しないでください。
指定された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電の原因となります。

- **急速充電器：AC100V〜240V**
  海外での充電に起因するトラブルについては、当社は一切責任を負いません。

市販の「変圧器」は使用しないでください。
急速充電器を、海外旅行用として市販されている「変圧器」などに接続しますと、火災、感電、故障の原因となることがあります。

充電器のプラグを、ぬれた手で抜き差ししないでください。
感電の原因となります。

充電器は、タコ足配線しないでください。
発熱により火災の原因となります。

充電器のコードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、加工したりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したり、引っぱったりしないでください。
コードが破損し、火災、感電の原因となります。

接続コネクターの端子をショートさせないでください。
接続コネクターの端子を金属類でショートさせないでください。充電器が発熱したり、発火、感電の原因となります。

急速充電器コードが傷ついたときは（芯線の露出、断線など）
ソフトバンクの故障受付窓口に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

雷が鳴りだしたときは
安全のため早めに急速充電器のプラグをACコンセントから抜いておいてください。火災、感電、故障の原因となります。

充電器は、乳幼児の手の届かない所で使用、保管してください。
感電、けがの原因となります。

電池パックの取り扱いについて

充電の際に所定充電時間を超えても充電が完了しないときには、充電をやめてください。
発熱、破裂、発火の原因となります。

電池パックが漏液したり、異臭がするときにはただちに火気から遠ざけてください。
漏液した電解液に引火し、発火、破裂する原因となります。

電池パックの使用中や充電中または保管時に異臭を感じたり、発熱したり、変色、変形など、今までと異なることに気がついたときには、930SCから取り外し、使用しないでください。
そのまま使用すると、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

医用電気機器の近くでの取り扱いについて

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会［平成9年4月］）に準拠、ならびに「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」（平成13年3月「社団法人　電波産業会」）の内容を参考にしたものです。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカなどの装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。
電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

満員の電車など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、930SCの電源を切るようにしてください。
電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、930SCを持ち込まない。
- 病棟内では930SCの電源を切る。
- ロビーなどであっても、付近に医用電気機器がある場合は、930SCの電源を切る。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う。

自宅療養など、医療機関の外で植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

⚠注意

930SC、電池パック、充電用機器の取り扱いについて（共通）

置き場所について

- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。落ちたりして、けがや故障の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災、事故の原因となることがあります。
- 冷気が直接吹きつけるところへは置かないでください。露が付き、漏電、焼損の原因となることがあります。
- 直射日光が長時間当たる場所（特に密閉した自動車内）や暖房器具の近くには置かないでください。外装ケースが変形、変色したり、火災の原因となることがあります。また、電池パックが変形して、使用できなくなることがあります。
- 極端に寒い場所に置かないでください。故障や事故の原因となることがあります。
- 火気の近くに置かないでください。故障や事故の原因となることがあります。

使用場所について

- ほこりの多いところでは使用しないでください。放熱が悪くなり、焼損、発火の原因となることがあります。
- 海辺や砂地など内部に砂の入りやすいところで使用しないでください。故障や事故の原因となることがあります。
- キャッシュカード、テレホンカードなどの磁気を利用したカード類を930SCや充電器に近づけないでください。カードに記録されているデータが消えることがあります。

930SCの取り扱いについて

930SCの温度（発熱）について

930SCを長時間利用すると、930SCが熱くなることがあります。また、930SCを長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。気温や室温が高い場所では、特にご注意ください。

真夏の自動車内など、高温になる場所には置かないでください。

930SCの外装ケースが熱くなり、やけどの原因となることがあります。

音量の設定について

音量の設定については、十分に気をつけてください。思わぬ大音量が出て、耳を痛める原因となることがあります。また、耳をあまり刺激しないように適度な音量でお楽しみください。

ステレオイヤホンマイクの取り扱いについて

- 抜くときは、必ずプラグを持って行ってください。コードを持って抜くと、断線や故障の原因となることがあります。
- プラグはいつもきれいにしておいてください。プラグが汚れていると雑音が出たり、誤動作の原因となることがあります。

自動車内でご使用のときは

930SCを自動車内で使用したときは、自動車の車種によって、まれに車両電子機器に影響を及ぼすことがあります。

皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめ医師の診断を受けてください。

下記の箇所に金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

使用箇所	使用材料、表面処理
表面外装周囲	AL DICASTING
裏面外装	PC
通話キー／クリアキー／終話キー部分	SUS PLATE
サイドキー部分	PC+ABS
イヤホンマイク端子	PC
USIMカード挿入口	PC
メモリカード挿入口	PC
カメラ周囲	PC+GF30%
TVアンテナ	PC
電池カバー	PC

充電用機器の取り扱いについて

急速充電器コードの取り扱いについて

- プラグを抜くときは、コードを引っぱらないでください。コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。急速充電器のプラグを持って抜いてください。
- コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆がとけて、火災、感電の原因となることがあります。
- AC コンセントへの差し込みがゆるくぐらついていたり、コードやプラグが熱いときは使用を中止してください。
  そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。

風通しの悪い場所では使用しないでください。

充電器は風通しのよい状態でご使用ください。
布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。
熱がこもり、外装ケースが変形し、火災の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは

安全のため、必ず急速充電器はプラグをACコンセントから抜いて、930SCを取り外してください。

お手入れのときは

安全のため、急速充電器はプラグをACコンセントから抜いて行ってください。感電やけがの原因となることがあります。

電池パックの取り扱いについて

電池パックは乳幼児の手の届かないところに保管してください。
けがなどの原因となることがあります。
また、使用する際にも乳幼児が機器から取り外さないようにご注意ください。

電池パックを直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の場所で使用したり、放置しないでください。
発熱、発火、電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。

水や海水などにつけたり、ぬらさないでください。
電池パックの破損や性能や寿命を低下させる原因となることがあります。

電池パックが漏液して液が皮膚や衣類に付着したときには、すぐにきれいな水で洗い流してください。
皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。

不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。
端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りのソフトバンクショップへお持ちください。
電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。

衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
発熱、破裂、発火の原因となることがあります。

電池パックの充電は、周囲温度5～40℃の場所で行ってください。
この温度範囲以外で充電すると、漏液や発熱したり、電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。

電池パックをお子様がご使用の場合は、保護者が取扱説明書の内容を教えてください。
また、使用中においても、取扱説明書のとおりに使用しているかどうかをご注意ください。

電池パックを初めてご使用の際に、異臭や発熱など、その他異常と思われたときは、使用しないで、ソフトバンクの故障受付窓口にご連絡ください。

電池パックを使い切った状態で、保管、放置はしないでください。
また、電池パックを長期間保管、放置されるときは、半年に1回程度、電池パックの補充電を行ってください。
電池パックが使用できなくなります。

お願いとご注意

ご利用にあたって

- 事故や故障などにより930SC本体またはメモリカードに登録したデータ（電話帳、画像、サウンドなど）が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切な電話帳などのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。
- 930SCは、電波を利用しているため、特に屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通話が困難になることがあります。また、通話中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 930SCを公共の場所でご利用いただくときは、まわりの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- 930SCは電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで930SCを使用すると、雑音が入るなどの影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- **傍受にご注意ください。**
  930SCは、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法をとられたときには第三者が故意に傍受するケースもまったくないとは言えません。この点をご理解いただいたうえで、ご使用ください。
  傍受（ぼうじゅ）とは
  無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

自動車内でのご使用にあたって

- 運転中は、930SCを絶対にご使用にならないでください。
- 930SCをご使用になるために、禁止された場所に駐停車しないでください。
- 930SCを車内で使用したときは、自動車の車種によって、まれに車両電子機器に影響を与えることがありますので、ご注意ください。

航空機の機内でのご使用について

- 航空機の機内では、絶対にご使用にならないでください（電源も入れないでください）。運航の安全に支障をきたす恐れがあります。

機能制限について

- 機種変更または解約した場合、930SCでは次の機能が利用できなくなります。
  - カメラ
  - メディアプレイヤー
  - テレビ
- 930SCを長期間お使いにならなかった場合、上記の機能が利用できなくなる可能性があります。

お取り扱いについて

- 930SCの電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、お客様が登録、設定した内容が消失または変化してしまうことがありますので、ご注意ください。なお、これらに関しまして発生した損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 930SCは5～40℃の範囲でご使用ください。極端な高温や低温環境、直射日光の当たる場所でのご使用、保管は避けてください。
- カメラ部分に、直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して、映像が変色することがあります。
- 930SCを落下させたり衝撃を与えたりしないでください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
- 雨や雪の日など、湿気の多い場所でご使用になるときは、水にぬらさないように十分ご注意ください。
- 930SCは精密部品で作られた無線通信装置です。絶対に分解、改造はしないでください。
- 930SCのディスプレイを堅いものでこすったり、傷つけないようにご注意ください。
- 930SCを閉じるときは、ストラップなどを挟まないでください。ディスプレイを破損する原因となります。
- ステレオヘッドフォンの中には開放型のものがあり、音が外に漏れることがあります。周囲の人の迷惑にならないようにご注意ください。
- 930SCは防水仕様にはなっていません。水にぬらしたり、湿度の高い所に置かないでください。
  - 雨の日にバッグの外のポケットに入れたり、手で持ち歩かないでください。
  - エアコンの吹き出し口に置かないでください。急激な温度変化により結露し、内部が腐食する原因となります。

- 洗面所などでは衣服に入れないでください。ポケットなどに入れて、身体をかがめたりすると、洗面所に落としたり、水でぬらす原因となります。
- 海辺などに持ち出すときは、海水がかかったり直射日光が当たらないように、バッグなどに入れてください。
- 汗をかいた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れないでください。手や身体の汗が930SCの内部に浸透し、故障の原因になる場合があります。

- 930SC に無理な力がかかるような場所には置かないでください。故障やけがの原因となります。
  - 930SCをズボンやスカートの前、または後ろのポケットに入れたまま、しゃがみこんだり座席や椅子などに座らないでください。特に、厚い生地の衣服のときはご注意ください。
  - 荷物の詰まった鞄などに入れるときは、重たいものの下にならないようにご注意ください。
- 930SC の充電端子／外部接続端子に指定品以外の商品は取り付けないでください。誤動作を起こしたり、930SC を傷めることがあります。
- 電池パックを取り外すときは、必ず930SCの電源を切ってから取り外してください。データの登録やメールの送信などの動作中に電池パックを取り外さないでください。データの消失、変化、破損などの恐れがあります。

著作権などについて

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

930SCに搭載のソフトウェアは著作物であり、著作権、著作者人格権などをはじめとする著作者等の権利が含まれており、これらの権利は著作権法により保護されています。ソフトウェアの全部または一部を複製、修正あるいは改変したり、ハードウェアから分離したり、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング等は行わないでください。第三者にこのような行為をさせることも同様です。

登録商標について

- 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
  Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations:
  4,901,307 5,490,165 5,056,109 5,504,773
  5,101,501 5,506,865 5,109,390 5,511,073
  5,228,054 5,535,239 5,267,261 5,544,196
  5,267,262 5,568,483 5,337,338 5,600,754
  5,414,796 5,657,420 5,416,797 5,659,569
  5,710,784 5,778,338
- TVコール、S!メール、PCサイトブラウザ、S!速報ニュース、S!ループ、S!アプリ、S!ともだち状況、S!電話帳バックアップ、S! ミュージックコネクト、デコレメール、フィーリングメール、デルモジ、S! 情報チャンネル、お天気アイコンはソフトバンクモバイル株式会社の登録商標または商標です。
- SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。
- 「Yahoo!」および「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。
- This product contains ACCESS Co., Ltd.' s NetFront Internet browser software.
  NetFront is a trademark or registered trademark of ACCESS Co., Ltd. in Japan and in other countries.
  ACCESS NetFront®
- 本製品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NONCOMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM.

- Contains Macromedia® Flash® Flash Lite™ technology by Adobe Systems Incorporated.
-
- Macromedia, Flash, Macromedia Flash, and Macromedia Flash Lite are trademarks or registered trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and other countries.
- この製品では、株式会社アプリックスがJava™アプリケーションの実行速度が速くなるように設計したJBlend™が搭載されています。
- Powered by JBlend™ Technology.
  JBlendおよびJBlendロゴマークは、株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
-
- JBlendおよびJBlendに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
- JavaおよびJavaに関連する商標は、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- 「着うた®」「着うたフル®」は、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。
- microSD™、microSDHC™はSDアソシエーションの商標です。
- Bluetooth is a trademark of the Bluetooth SIG, Inc.
  The Bluetooth word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by Samsung Electronics is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
-
- Windows、Windows Mediaは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- WindowsはMicrosoft Windows operating systemの略称として表記しています。

Bluetooth® について

930SCのBluetooth®機能の周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器や、工場の製造ラインなどで使用されている構内無線局、アマチュア無線局など（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。

1 Bluetooth®機能を使用する前に、近くで同じ周波数帯を使用する「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

2 万一、Bluetooth®機能の使用にあたり、930SCと「他の無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、Bluetooth®機能の使用を停止（電波の発射を停止）してください。

3 その他不明な点やお困りのことが起きたときには、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：ソフトバンクお客様センター

ソフトバンク携帯電話から　157（無料）

※ 一般電話からおかけの場合、「お問い合わせ先一覧」（➔P.14-30）を参照してください。

この無線機器は、2.4 GHz帯を使用します。変調方法としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は1.5～5m以下です。

与干渉距離は、周囲の環境により変化します。

930SCの比吸収率（SAR）について

930SCの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。

930SCのSARは、0.161W/kgです。この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。

個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm

社団法人電波産業会のホームページ

http://www.arib-emf.org/initiation/sar.html

※　技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

「ソフトバンクのボディ SARポリシー」について

＊ボディ（身体）SARとは：携帯電話機本体を身体に装着した状態で、携帯電話機にイヤホンマイク等を装着して連続通話をした場合の最大送信電力時での比吸収率（SAR）のことです。

＊＊比吸収率（SAR）：6分間連続通話状態で測定した値を掲載しています。当社では、ボディ SARに関する技術基準として、米国連邦通信委員会（FCC）の基準および欧州における情報を掲載しています。詳細は「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」をご参照ください。

＊＊＊身体装着の場合：一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

ソフトバンクのホームページからも内容をご確認いただけます。

http://www.softbankmobile.co.jp/ja/info/public/emf/emf02.html

「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。FCCで定められているSARの許容値は、1.6W/kgとなっています。測定試験は機種ごとにFCCが定めた基準で実施され、下記のとおり本取扱説明書の記載に従って身体に装着した場合は0.271W/kgです。

身体装着の場合：この携帯電話機「930SC」では、一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。上記の条件に該当しない装身具は、FCCの電波ばく露要件を満たさない場合もあるので使用を避けてください。

比吸収率（SAR）に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい方は下記のホームページを参照してください。

Cellular Telecommunications &Internet Association（CTIA）のホームページ

http://www.phonefacts.net（英文のみ）

「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」

この携帯電話機「930SC」は無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。携帯機器におけるSAR許容値は2W/kgで、身体に装着した場合のSARの最高値は0.440W/kg※です。

SAR測定の際には、送信電力を最大にして測定するため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。これは、携帯電話機は、通信に必要な最低限の送信電力で基地局との通信を行うように設計されているためです。世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

世界保健機関のホームページ

http://www.who.int/emf（英文のみ）

※ 身体に装着した場合の測定試験は、FCCが定めた基準に従って実施されています。値は欧州の条件に基づいたものです。

Safety Precautions

- Read these safety precautions before using handset.
- Observe all precautions to avoid injury to yourself and others, or damage to property.
- SoftBank is not liable for any damage resulting from use of this product.

Before Using Handset

● Symbols

Make sure you thoroughly understand these symbols before reading on. Symbols and their meanings are described below:

⚠ Danger	Great risk of death or serious injury from improper use
⚠ Warning	Risk of death or serious injury from improper use
⚠ Caution	Risk of injury or damage to property from improper use

● Symbols

Prohibited Actions	Compulsory Actions	Attention Required

Danger

Handset, Battery, & Charger

Use only specified battery and Charger.
Using non-specified equipment may cause malfunctions, electric shock or fire due to battery leakage, overheating, or bursting.

Do not short-circuit Charger Port.
Keep metal objects away from the Charger Port. Keep handset away from jewelry. Battery may leak, overheat, burst, or ignite causing injury. Use a case to carry handset.

Do not disassemble or modify handset.

- Do not open the housing of handset or Charger; it may cause electric shock or injury. Contact the SoftBank Customer Center, Customer Assistance for repairs.
- Do not modify handset or Charger. Fire or electric shock may result.

Battery

If battery fluid gets into your eyes, do not rub them. Rinse with clean water and consult a doctor immediately.
Eyes may be severely damaged.

Prevent injury from battery leakage, breakage, or fire.
Do not:

- Heat or dispose of battery in a fire.
- Disassemble, modify, or break battery.
- Damage or solder on to battery.
- Use a damaged or deformed battery.
- Use a non-specified charger.
- Force battery into handset.
- Charge or place battery near fire, heat sources or expose it to extreme heat.
- Use battery for other equipments.

⚠Warning

Handset, Battery, & Charger

Do not insert foreign objects into handset.
Do not place metal or flammable objects in handset or Charger. This may cause fire or electric shock. Keep handset out of the reach of children.

Keep handset out of rain or extreme humidity.
Fire or electric shock may occur.

Keep handset away from liquid-filled containers.
Keep handset and Charger away from chemicals/liquids. Fire or electric shock may result.

Keep handset and Charger away from microwave ovens.
Battery or handset may leak, burst, overheat, or ignite.

Do not use Mobile Light near people's faces.
Eyesight may be temporarily affected leading to accidents.
Use of controls, adjustments, or performance of procedure other than those specified herein may result in hazardous radiation exposure. As the emission Record from Mobile Light LED used in this product is harmful to the eyes, do not attempt to disassemble the cabinet. Servicing is limited to qualified servicing station only. Contact SoftBank Customer Center, Customer Assistance for repairs.

If water or foreign matter gets inside handset:
Discontinue handset use to prevent fire or electric shock. Turn handset power off, remove battery, unplug Charger and contact the SoftBank Customer Center, Customer Assistance.

Do not subject handset to shocks.
Subjecting handset or Charger to shocks may cause malfunction or injury. Should handset break, remove battery and contact the SoftBank Customer Center, Customer Assistance. Discontinue handset use. Fire or electric shock may occur.

If an abnormality occurs:
Should there be any unusual sound, smoke, or odor, discontinue handset use to avoid fire or electric shock. Turn handset power off, remove battery, unplug the Charger, and contact the SoftBank Customer Center, Customer Assistance. Fire or electric shock may result.

Keep handset off and Charger disconnected near filling station or places with risk of fire/explosion.
Handset use near petrochemicals or other flammables may lead to fire or explosion.

Handset

Preventing accidents

- For safety, never use handset while driving. Pull over beforehand. Mobile phone use while driving is prohibited by the revised Road Traffic Law (Effective November 1 2004).
- Do not use headphones while driving or riding a bicycle. Accidents may result.
- Do not turn the volume up so high that ambient sounds cannot be heard, especially when walking in or around traffic to avoid accidents.

Do not swing handset by the strap.
Injury or breakage may result.

Turn handset power off before boarding aircraft.
Using wireless devices aboard aircraft may cause electronic malfunctions or endanger aircraft operation.

Ringtone & Vibration Settings
Select settings carefully if you have a heart condition or wear a pacemaker/defibrillator.

During thunderstorms, turn power off; move to a safe place.
There is a risk of a lightning strike or electric shock.

Do not use handset with wet hands.
Doing so may lead to electric shock or damage to 930SC.

Charger

Use only the specified voltage.
Non-specified voltages may cause fire or electric shock.

- **AC Charger: AC 100V-240V Input**
  SoftBank is not liable for problems caused by charging handset abroad.

Do not use step up/down transformers.
Use of the AC Charger with step up/down transformers may cause fire, electric shock or damage.

Do not touch plug blades with wet hands.
Electric shock may occur.

Do not plug multiple cords in one outlet.
Excess heat or fire may occur.

Do not bend, twist, pull, or set objects on the cord. Do not put heavy objects on the cords or heat or pull the cords.
Fire or electric shock may result.

Do not short-circuit Charger Port.
Keep the metal away from Port. Overheating, fire, or electric shock may result.

Do not use AC Charger if the cord is damaged.
Fire or electric shock may be caused. Contact the SoftBank Customer Assistance to replace the cord.

During thunderstorms:
Unplug Charger to avoid damage, fire, or electric shock.

Keep Charger out of the reach of children.
Electric shock or injury may result.

Battery

If battery does not charge properly, stop charging.
Battery may overheat, burst or ignite.

If there is leakage or abnormal odor, keep battery away from fire sources.
It may catch fire or burst.

If there is abnormal odor, excessive heat, discoloration, or distortion, remove battery from handset.
It may leak, overheat, or explode.

Handset Use & Electronic Medical Equipment

This section is based on "Guidelines on the Use of Radio Communications Equipment such as Cellular Telephones and Safeguards for Electronic Medical Equipment" (Electromagnetic Compatibility Conference, April 1997) and "Report of Investigation of the Effects of Radio Waves on Medical Equipment, etc." (Association of Radio Industries and Businesses, March 2001).

People with implanted pacemakers/defibrillators should keep handset more than 22 cm away.
Implanted pacemakers/defibrillators may malfunction due to radio waves.

Turn handset power off in crowded places such as trains. People with implanted pacemakers/ defibrillators may be near.
Implanted pacemakers/defibrillators may malfunction due to radio waves.

Observe these rules inside medical facilities:

- Do not take handset into operating rooms or Intensive or Coronary Care Units.
- Keep handset off in hospitals.
- Keep handset off in hospital lobbies. Electronic equipment may be near.
- Obey rules regarding mobile phone use in medical facilities.

Consult the manufacturer of other electronic medical equipment about radio wave effects.

Caution

Handset, Battery, & Charger

Handset Care

- Place 930SC on stable surfaces to avoid malfunction or injury.
- Keep 930SC away from oily smoke or steam. Fire or accidents may result.
- Cold air from air conditioners may condense, resulting in leakage, or burnout.
- Keep 930SC away from direct sunlight (Inside vehicles, etc.) or heat sources. Distortion, discoloration, or fire may occur. Battery shape may be affected.
- Keep 930SC out of extremely cold places to avoid malfunction or accidents.
- Keep 930SC away from fire sources to avoid malfunction or accidents.

Usage Environment

- Excessive dust may prevent heat release and cause burnout or fire.
- Avoid using 930SC on the beach. Sand may cause malfunction or accidents.
- Keep 930SC away from credit cards, phone cards, etc. to avoid data loss.

Handset

930SC temperature

930SC may become hot while in use. Avoid prolonged contact with skin especially at high temperature. May cause burn injuries.

Avoid leaving 930SC in extreme heat (Inside vehicles, etc.).

Handset may heat up and lead to burns.

Volume settings

Keep handset volume moderate.
Excessive volume may cause damage to your hearing.

Headphones

- Do not unplug by pulling the cord; may damage the cord.
- Keep the plug clean to avoid noise or malfunction.

Inside vehicles:

Handset use may cause other electronic equipment to malfunction.

Should skin irritation occur, discontinue handset use and consult a doctor.

Skin irritation, rashes, or itchiness may result depending on your physical condition.

Parts	Materials & Finishing
Housing (front)	AL DICASTING
Housing (rear)	PC
Call key/Clear key/End key	SUS PLATE
Side keys	PC+ABS
Earphone Microphone Port	PC
USIM card Port	PC
Memory Card Port	PC
Camera DECO	PC+GF30%
TV antenna	PC
Battery Cover	PC

Charger

Charger

- Grasp the plug (not the cord) to disconnect Charger. Otherwise, fire or electric shock may result.
- Keep the cord away from heaters. Exposed wire may cause fire or electric shock.
- Stop use if the plug is hot or improperly connected. Fire or electric shock may result.

Always charge 930SC in a well-ventilated area.

Avoid covering/wrapping Charger; may cause damage or fire.

Disconnect AC Charger during long periods of disuse.

Be sure to unplug AC Charger after use.

Handset Maintenance

When cleaning, disconnect AC Charger to prevent shock or injury.

Battery

Keep battery out of the reach of children.
They may sustain injuries. And when using, do not let them remove battery from handset.

Do not leave battery in direct sunlight or inside vehicles.
Overheating or fire may occur and performance may be reduced.

Do not expose battery to liquids.
Performance may deteriorate.

If battery fluid makes contact with skin or clothes:
Rinse with clean water immediately.

Do not dispose of exhausted batteries with ordinary refuse.
Tape over battery terminals before disposal, or bring them to a SoftBank shop. Follow local regulations regarding battery disposal.

Do not throw or abuse battery.
Battery may overheat, burst, or ignite.

Charge battery within a range of 5°C - 40°C.
Battery may leak/overheat and performance may deteriorate.

If a child is using handset, explain all these instructions and supervise handset's usage.

If there is any abnormal odor or excessive heat, stop using battery and call the SoftBank Customer Center, Customer Assistance.

Do not leave battery uncharged.
Charge at least once every six months.

General Notes

General Use

- SoftBank is not liable for any damage resulting from accidental loss/ alteration of any data on handset/Memory Card. Please keep separate records of Phonebook entries, etc.
- Handset transmissions may be disrupted inside buildings, tunnels, or underground, or when moving into/out of such places.
- Use handset without disturbing others.
- Handsets are radios as stipulated by the Radio Law. Under the Radio Law, handsets must be submitted for inspection upon request.
- Handset use near landlines, TVs or radios may cause interference.
- **Beware of eavesdropping.**
  Because this service is completely digital, the possibility of signal interception is greatly reduced. However, some transmissions may be overheard.
  Eavesdropping
  Deliberate/accidental interception of communications constitutes eavesdropping.

Inside Vehicles

- Never use handset while driving.
- Do not park illegally to use handset.
- Handset use may affect a vehicle's electronic equipment.

Aboard Aircraft

- Never use handset aboard aircraft (Keep the power off). Handset use may impair aircraft operation.

Function Usage Limits

- The following functions are disabled after handset upgrade/ replacement or service cancellation:
  - Camera
  - Media Player
  - TV
- After a long period of disuse, these functions may be unusable; establish a Network connection to restore usability.

Handset Care

- If handset is left with no battery or an exhausted one, data may be altered/lost. SoftBank is not liable for any resulting damage.
- Use handset between 5°C - 40°C. Avoid extreme temperatures/direct sunlight.
- Exposing the lens to direct sunlight may damage the color filter and affect image color.
- Do not drop or subject handset to shocks.
- Clean handset with a dry, soft cloth. Using alcohol, thinner, etc. may damage it.
- Do not expose handset to rain, snow, or high humidity.
- Never disassemble or modify handset.
- Avoid scratching Display.
- When closing handset, keep straps, etc. outside to avoid damaging Display.
- When using headphones, moderate the volume to avoid sound bleed.
- Handset is not water-proof. Avoid exposure to liquids and high humidity.
  - Keep handset away from precipitation.
  - Cold air from air conditioning, etc. may condense causing corrosion.
  - Avoid placing handset in damp places (Restrooms, bath/shower rooms, etc.).
  - On the beach, keep handset away from water and direct sunlight.
  - Perspiration may get inside handset causing malfunction.
- Heavy objects or excessive pressure should be avoided. This may cause malfunction or injury.
  - Do not sit down with handset in a back pocket.
  - Do not place heavy objects on handset in a bag.
- Insert only specified devices into Headphone Port. Malfunction or damage may result.
- Always turn power off before removing battery. If battery is removed while saving data or sending mail, data may be lost, changed or destroyed.

Copyrights

Copyright laws protect sounds, images, computer programs, databases, other materials for copyright holders. Duplicated material is limited to private use only.

Use of materials beyond this limit or without permission of copyright holders may constitute copyright infringement, and be subject to criminal punishment. Comply with copyright laws when using images captured with handset camera.

The software contained in 930SC is copyrighted material; copyright, moral right, and other related rights are protected by copyright laws. Do not copy, modify, alter, disassemble, decompile, or reverse-engineer the software, and do not separate it from hardware in whole or part.

SAR Certification

930SC meets the technical standards of Ministry of Internal Affairs and Communications (MIC) regarding radio wave absorption by a human body.

These technical standards are established on a scientific basis to prevent radio waves emitted from wireless devices such as mobile phones that are used close to human head from affecting human health. These standards assure that the SAR (Specific Absorption Rate), an indicator of the amount of average energy absorbed in the side of a human head, must not exceed the permissive value of 2W/kg*. This value includes a substantial safety margin designated to assure the safety of all persons, regardless of age and physical size. The value is equal to the international guideline recommended by International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP) that has a cooperative relationship with the World Health Organization (WHO).

The highest SAR value for 930SC is 0.161 W/kg. This value is obtained in accordance with the MIC testing procedure with the mobile phone transmitting at its highest permitted power level. While there may be differences in the SAR levels depending on phones, they all meet the MIC's permissible value. Because mobile phones are designed to employ the minimum power level required for the communication with the base station, the SAR of the phone during a call is usually below the maximum value.

For further information about SAR, please see the following websites:

MIC: http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm

ARIB: http://www.arib-emf.org/initiation/sar.html

* The guideline is defined by relevant laws and regulations associated with the Radio Law (No. 2 of Article 14 of Ordinance Regulating Radio Equipment).

SoftBank's Body SAR Policy

* Body SAR: The SAR value at the maximum transmission power when continuously talking with handset placed on the body and using earphone-microphone.

** Specific Absorption Rate (SAR): The value measured when having talked continuously for 6 minutes.

*** Placement on the body: Measurements are taken with the rear of handset facing the body at a distance of 1.5 cm as the ordinary handset position. In order to comply with radio frequency exposure requirements, use an accessory (e.g. belt clip, holster) that does not contain metallic parts to maintain a 1.5 cm separation between the body and handset.

For further information, see the following SoftBank website:

http://www.softbankmobile.co.jp/ja/info/public/emf/emf02.html

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver.

It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organisations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.

The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.349 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.271 W/kg.

Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorisation for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of

http://www.fcc.gov/oet/fccid after searching on FCC ID A3LSWD930SC.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) website at http://www.phonefacts.net.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was 0.386 W/kg*. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this user guide. In this case, the highest tested SAR value is 0.440 W/kg.

As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head and body.

* The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

準備／基礎知識

1

各部の名称と機能について

本体

❶ レシーバー（受話口）／スピーカー

❷ 着信ライト
着信時や不在着信、メール着信などがあるときに点滅してお知らせします。また、充電中に赤色で点灯します。

❸ ディスプレイ

❹ 開始ボタン
音声電話をかけたり、受けたりするときに使います。

❺ クリア／バックボタンCLEAR
操作を１つ前の状態に戻すときに使います。

❻ 内側カメラ（インカメラ）
顔認証や、TVコール利用時に使います。

❼ 光センサー

❽ 電源／終了ボタン
電源を入れたり切ったりするときや、操作を終了するときに使います。

❾ マイク（送話口）

❿ アンテナ
テレビを受信するときに使います。

⓫ ホールドボタンHOLD
930SCのタッチパネルとボタンのロック／ロック解除に使います。

⑫ イヤホンマイク端子
マイク付きステレオイヤホン変換ケーブルを接続する端子です。

⑬ 充電端子／外部接続端子
急速充電器やパソコンなどを接続する端子です。

⑭ ストラップ取り付け穴

⑮ 赤外線ポート
赤外線通信でデータを送受信するときに使います。

⑯ 電池カバー
電池パックやUSIMカード、メモリカードの取り付けや取り外しをするときは、ここを開けます。

⑰ モバイルライト
カメラ撮影時などに点灯できます。

⑱ 外側カメラ（アウトカメラ）
撮影するときや、TVコール中に周囲の風景などの映像を送信するときに使います。

⑲ マナーボタン
マナーモードの設定や解除に使います（1秒以上押す）。

⑳ 内蔵アンテナ

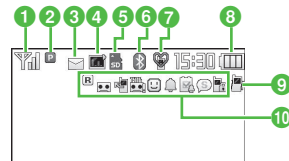
㉑ カメラボタン
カメラの起動に使います（2秒以上押す）。カメラ撮影時はシャッターとして使います。

㉒ TVボタン
TVの起動に使います（1秒以上押す）。

㉓ サイドボタン
着信中やメディアプレイヤー起動中、テレビ視聴中などに音量を下げます。

㉔ サイドボタン
着信中やメディアプレイヤー起動中、テレビ視聴中などに音量を上げます。

- **内蔵アンテナ／光センサー**
930SCは内蔵アンテナで送受信するため、外部アンテナはありません。ご使用中の体の向きや通話している場所によっては通話品質が変わることがあります。内蔵アンテナ、光センサー部分は、手で覆ったりすると感度に影響しますのでご注意ください。また、内蔵アンテナ、光センサー部分にシールなどを貼らないでください。

ディスプレイ

① 電波の受信レベル（の棒の数が多いほど電波の状態が良好）
圏外 圏外（サービスエリア外または電波の届かない場所にいるときに表示）
OUT 圏外（Languageが「English」または「한국어」に設定されている場合の表示）
電波Offモード中

② 3G網接続中
3G網パケット通信中（待機中）
3G網パケット通信中（データ送受信中）
パケット通信不可状態
SSL接続中
GSM網接続中
GSM網パケット通信中（待機中）
GSM 網パケット通信中（データ送受信中）
音声電話通話中（発信中／着信中は点滅）

TVコール通話中（発信中／着信中は点滅）
わたしの状況オンライン

❸ 新着メールあり
メール送信中
メール受信中
配信確認あり
空き容量なし（S!メール／SMS）
コンテンツ・キー受信時

❹ ミュージック再生中
ミュージック一時停止中
テレビ録画中
テレビ予約中

❺ メモリカードを取り付けている状態
メモリカードを読み込み中
ソフトウェア更新表示
PCサイトブラウザ接続中
未読のS!速報ニュースあり
新着のS!情報チャンネルあり
誤動作防止設定中

❻ Bluetooth®通信可能
Bluetooth®通信中
Bluetooth®を利用してインターネット通信中
Bluetooth®を利用してヘッドセットに接続中
USB通信可能
（黄）USB通信中
（灰色）赤外線通信接続中
（赤）赤外線通信データ送受信中
データ同期中

❼ マナーモード中
運転中モード中
会議モード中
アウトドアモード中

❽ 電池が十分残っている
電池が少し減っている
電池の残量が少ない
電池がほとんど残っていない
（赤で点滅）電池残量なし

❾ 音声着信時に着信音とバイブレータが鳴動するように設定中
音声着信時に着信音が鳴り、バイブレータが振動しないように設定中
音声着信時にバイブレータが振動し、着信音は鳴らないように設定中
音声着信時に着信音もバイブレータも鳴動しないように設定中

❿ ローミング中
簡易留守録設定中
留守番電話または音声電話の転送電話「呼出なし」を設定中
未再生の簡易留守録メッセージあり
未再生の留守番電話メッセージあり
S!ともだち状況登録要求通知あり
未読のS!ともだち状況通知あり
アラーム設定中
スケジュールあり
アラーム設定したスケジュールあり
予定リストあり
アラーム設定した予定リストあり
シークレットモード設定表示中
パスワードロック中

- （赤）が表示されたときは、パケット接続とS!メール送信のみ可能です。通話、S!メールの受信通知およびSMS送受信はできません。

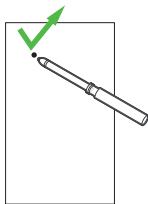
タッチパネルの使いかた

930SCは、ディスプレイに表示されている項目やアイコンをタッチペンで触れたりなぞったりして操作します。また機能によっては、930SCを縦または横にするとディスプレイの表示が切り替わり、使いやすいほうの表示で操作することができます。

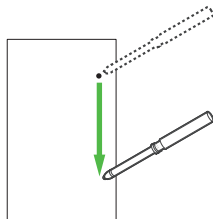
操作のしかた

ここではタッチパネルの操作のしかたと、本書での表記のしかたについて記載します。

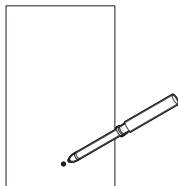
タップ

ディスプレイに軽く触れ、すぐに離す操作です。項目の選択や機能の実行などで使います。

- 本書では操作文中の項目を選んで実行する操作については簡略化して表記しています。（➲P.x）

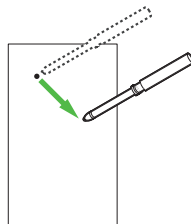
スクロール

ディスプレイに軽く触れたまま、ディスプレイをなぞる操作です。
メニュー項目やインターネットにアクセスして表示される情報画面をスクロールするときなどで使います。

- 本書では「画面をスクロール」のように表記しています。

ホールド

約1秒以上ディスプレイに触れたままにする操作です。
機能の実行などで使います。

- 本書では「アイコンをホールド」のように表記しています。

ドラッグ＆ドロップ

ディスプレイ上のアイテムなどに触れ、触れたままディスプレイ上を移動させた後、目的の場所でタッチペンを離す操作です。アイテムの移動などで使います。

- 本書では「バーからアイテムをドラッグし、待受画面にドロップ」のように表記しています。

注意

- **タッチパネルの操作は付属のタッチペンで行ってください。タッチパネルを指で押して指紋が付いたり、先の尖がったペンなどで押したりすると、タッチパネルの感度が悪くなる場合があります。また、タップするときはタッチパネルを強い力で押さず、正確にそっと押してください。**
- **同時に複数の機能をタップすると、動作しない場合があります。**

- 湿気の多い場所で使用したり、水に濡れたりすると、センサーが正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
- ディスプレイ保護フィルム、またはアクセサリなどをタッチパネルに付着して使用すると、正しく動作しない場合があります。

画面の見かた

ここでは各画面での基本的な操作について記載します。

- 次のような画面では、◀／▶をタップして前後のデータや画面に表示を切り替えられます。

2008年12月
新規作成　表示日指定　表示切替　その他

- 多数のメニューやタブなどがあるときや、メールの閲覧やPCサイトブラウザ、ドキュメントビューアで画面内に表示しきれない部分があるときは、画面をスクロールすることができます。また、文字入力画面／メール閲覧中／インターネット閲覧中などでは、▲／▼を押してスクロールすることもできます。

表示しきれない部分

- 項目にプルダウンメニューがある場合は、▼をタップするとメニューが表示されます。

プルダウンメニュー

縦画面／横画面に切り替える

次の機能で930SCを縦または横にすると、ディスプレイの表示も合わせて切り替わります。本書では縦画面を基本として操作説明を記載しています。

- イメージビューア（P.2-24）
- PCサイトブラウザ（P.5-4）
- テレビ視聴（P.6-1）
- カメラ撮影（P.7-1）
- メディアプレイヤー（P.8-4）
- ドキュメントビューア（P.9-11）

使いこなしチェック！

設定

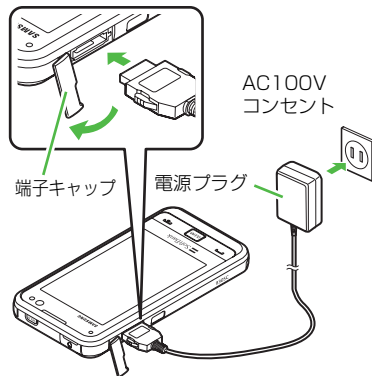
- タッチスクリーンの調整をする（☞P.13-20）

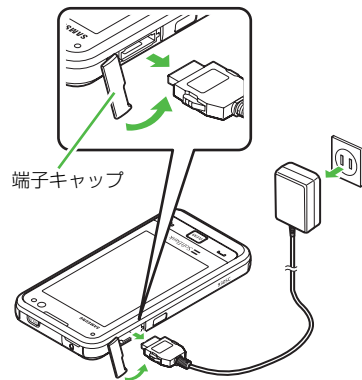
電池パックを充電する

- 電源が入っているときは、ディスプレイの電池アイコンで電池の充電状態が確認できます。充電中は → → のように残量表示が変わり、充電が完了すると が点滅します。電源を切っているときは、充電が開始されるとディスプレイに「充電中…」と表示され、完了すると、「充電が完了しました」と表示されます。また、充電中は着信ライトが点灯します。
- 充電にかかる時間は、約180分です。時間は930SCの電源をOFFにした状態で充電した場合の目安です。周囲の温度によっても変わります。

急速充電器を利用して充電する

1. 端子キャップを開き、外部接続端子に急速充電器の接続コネクターを差し込む

端子キャップ
電源プラグ
AC100V
コンセント

2. 電源コードのプラグをAC100Vコンセントに差し込む

3. 充電が終わったら、930SCから急速充電器の接続コネクターを抜いて端子キャップを閉め、電源コードのプラグをACコンセントから抜く

端子キャップ

パソコンのUSBポートを利用して充電する

USBケーブルでパソコンと接続することにより、930SCを充電できます。

1 930SCの端子キャップを開き、外部接続端子にUSBケーブルの接続コネクターを差し込む

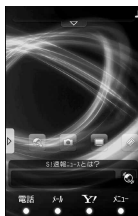
2 USBケーブルのUSBコネクターをパソコンのUSBポートに差し込む

3 充電が終わったら、930SCから接続コネクターを抜いて端子キャップを閉め、USBケーブルのコネクターをUSBポートから抜く

- 急速充電器を利用するときよりも、充電完了まで時間がかかります。また、接続するパソコンにより、充電にかかる時間が異なります。電池がほとんど残っていない場合、充電できないことがあります。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 [電源キー]を画面が表示されるまで押し続ける

SoftBank → 待受画面

- お客様の電話番号を確認するには≪電話≫→「オーナー情報」をタップします。オーナー情報の一部としてお客様の電話番号が表示されます。オーナー情報の編集やメニュー操作ができます（➲P.2-21）。
- 操作をしない状態が続くと電池の消耗を抑えるため、自動的に画面表示が消えます（➲P.13-18）。また、お買い上げ時の設定では、画面表示が消えると同時に誤動作防止が設定されます（➲P.1-9）。
- お買い上げ後、初めて≪メール≫、≪Y!≫などをタップしてネットワーク接続が必要となる機能を起動すると、ネットワーク自動調整をうながす確認メッセージが表示されます。「はい」をタップし、画面の指示に従ってネットワーク自動調整を行ってください。
  - USIMカードを交換したときや、「オールリセット」を行ったときにも確認メッセージは表示されます。
  - ネットワーク自動調整を行うと、日付／時刻が設定されます。また、メールやYahoo!ケータイ、S!ともだち状況などネットワークを利用するサービスがお使いいただけます。
  - ネットワーク自動調整は、手動で行うこともできます（➲P.13-31）。
  - 本書では、ことわりがない限り、日付／時刻が設定されている状態での操作を説明しています。

電源を切る

1 **[電源キー]を画面が消えるまで押し続ける**

- 終了画面が表示されたあと、電源が切れます。

注意

- **電源を切るときは、必ず[電源キー]を画面が消えるまで押し続けて正常に終了してください。**

持ち運ぶときのご注意

930SCを持ち運ぶときは、次の点にご注意ください。

- 鞄やポケットなどに入れて持ち運ぶときは、誤動作しないようにボタンをロックすることをおすすめします。
- 電源コードを持ち運ぶときは、プラグを倒してください。また、コードを強く引っぱったり無理にねじったりすると、断線の原因となります。

タッチパネルとボタンをロックする（誤動作防止）

930SCを持ち運ぶときなどに誤動作しないよう、タッチパネルとボタンをロックすることができます。

1 **HOLD**

- 押してから離したときに、誤動作防止が設定されます。

- 誤動作防止は機能の操作中でも設定できますが、機能によっては設定できない場合があります。
- 通話中は誤動作防止が設定されます。通話中に操作をする場合は、誤動作防止を解除してください。
- お買い上げ時の設定では、930SCを操作しない状態が続くと画面表示が消え、自動的に誤動作防止が設定されます。自動的に誤動作防止が設定されないようにするには、「オートロック」を「Off」に設定します（➔P.11-4）。
- 誤動作防止を解除する場合は、HOLD／CLEARを押して誤動作防止解除のガイダンスを表示した後、誤動作防止が解除されるまでHOLD／CLEARを押します。

マナーについて

携帯電話は、マナーを守ってご使用ください。

- 劇場や映画館、美術館などでは、電源を切っておきましょう。
- 航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、電源を切っておきましょう。
- レストランやホテルのロビーなど、静かな場所では、周囲の迷惑にならないように気をつけましょう。
- 新幹線や電車の中などでは、車内のアナウンスや掲示に従いましょう。
- 街中では、通行の妨げにならない場所で使いましょう。

マナーを守るための機能について

930SCには、マナーを守るための2つのモードが用意されています。

- マナーモード
  着信音や操作音などをミュートまたはバイブレータにするモードです。マナーモードは、ワンタッチで設定／解除できます。
- 電波Offモード
  電波の送受信を停止するモードです。通信以外の操作はできます。

- マナーモードや電波 Off モード以外でも、着信音や操作音などをバイブレータやミュートに設定することができます（➔P.13-16）。

電波Offモードを設定／解除する

1 ≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」→「電波Offモード」の「On」／「Off」

通話設定
通話ｻｰﾋﾞｽ
通話時間・料金
簡易留守録
TVｺｰﾙ
着信拒否
電波Offﾓｰﾄﾞ
On　Off
発信者番号通知
ｵｰﾄﾘﾀﾞｲﾔﾙ

- 電波Offモード中に電源を切ると、電源を入れ直したときに、電波Offモードを設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「いいえ」をタップすると、通常モードに切り替わります。

マナーモードを設定／解除する

現在設定中のモードからマナーモードに切り替えることができます。を1秒以上押してマナーモードを解除すると、その前に設定していたモードに戻ります。

1 （1秒以上）

- マナーモード中はディスプレイ最上段に が表示されます。
- マナーモードを設定しても、カメラ撮影時のシャッター音は鳴ります。

モードを切り替える

マナーモードを含む5種類の中から選択できます。

1

2 「通常モード」／「マナーモード」／「運転中モード」／「会議モード」／「アウトドアモード」

モードの種類

モードは使用状況に合わせて選択し、必要に応じて設定を編集してご利用ください（➔P.1-11）。

モード	内　容
通常モード※	930SCから出る音を気にせずに使える状況に適したモード
マナーモード	930SCから音を出さないモード
運転中モード	車の運転中にも使えるモード
会議モード	着信音や効果音が、あらかじめミュートに設定されているモード
アウトドアモード	着信音や効果音が、あらかじめ最大音量に設定されているモード

※ 通常モードのアイコンは、ディスプレイには表示されません。

各モードの設定内容を変更する

各モードの音声電話やTVコール、メールを受けたときの着信設定を変更できます。

1 ≪メニュー≫→「設定」→「マナーモード設定」

マナーモード設定
通常モード
マナーモード
運転中モード
会議モード
アウトドアモード
編集

2 ≪編集≫→設定したいモードを選択

3 各項目の設定操作

■ **着信音や効果音の音量を設定するとき**

「音量」→音量を調節

■ 音声着信／TVコール着信の着信音を設定するとき

「着信音」→「音声着信」／「TVコール着信」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択

- ファイル選択時に▶をタップするとファイルが再生されます。

■ メール着信／S!ともだち状況着信／着信お知らせ機能／S!速報ニュース／配信確認の着信音を設定するとき

「着信音」→「メール着信」／「S!ともだち状況着信」／「着信お知らせ機能」／「S!速報ニュース」／「配信確認」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→鳴動時間欄をタップ→時間を入力

- ファイル選択時に▶をタップするとファイルが再生されます。

■ バイブレータを設定するとき

「バイブ」→設定したい項目を選択→「Off」／「パターン1」～「パターン5」／「音連動」

- 「音連動」に設定すると、音連動機能に対応している着信音のリズムに合わせてバイブレータが振動します。
- バイブパターン選択時に▶をタップするとバイブレータが振動します。

■ 操作音の音量とタッチ操作バイブを設定するとき

「操作音・バイブ」→設定したい項目のレベルを調節

■ 効果音を設定するとき

「効果音」→設定したい項目をチェック→≪保存≫

■ 着信ライトを設定するとき

「着信ライト」→設定したい項目を選択→色を選択

- 色選択時に▶をタップするとライトが光ります。

■ 通知ライトを設定するとき

「通知ライト」→設定したい項目を選択→色を選択

- 色選択時に▶をタップするとライトが光ります。

■ 簡易留守録を設定するとき

「簡易留守録」→「On」／「Off」

- 設定項目の内容は、「各モードの設定内容について」（➔P.1-13）と「効果音の設定項目について」（➔P.1-16）を参照してください。

- 「着信音調節機能」が「On」の場合、音声電話やTVコールの着信音量が大きな音で設定されていても、レベル1の音量で2秒間呼び出したあと、設定されている音量で呼び出します。
- 着信中に音量を調節するには、着信中に▲／▼を押します。
- 着信時やメール受信時のお知らせをミュート（表示のみ）にするには、「音量」を「Off」にし、「バイブ」を「Off」にします。ミュートにしているときは、ディスプレイに🔇が表示されます。
- 「設定」の「音・バイブ設定」は、通常モードの設定内容を変更するためのメニューです。他のモードの内容は変更されません。

各モードの設定内容について

モードによって、設定できない項目があります。お買い上げ時には次のように設定されています。

設定項目＼モード		通常モード	マナーモード	運転中モード	会議モード	アウトドアモード
音量						
	音声着信	レベル3	−	−	レベル0	レベル5
	TVコール着信	レベル3	−	−	レベル0	レベル5
	メール着信	レベル3	−	−	レベル0	レベル5
	S!ともだち状況着信	レベル3	−	−	レベル0	レベル5
	着信お知らせ機能	レベル3	−	−	レベル0	レベル5
	S!速報ニュース	レベル0	−	−	レベル0	レベル0
	配信確認	レベル3	−	−	レベル0	レベル5
	効果音	レベル3	−	−	レベル0	レベル5
着信音（上段：着信音選択、下段：鳴動時間）						
	音声着信	Young hopefuls.mp4	−	−	Young hopefuls.mp4	Young hopefuls.mp4
	TVコール着信	Samsung Tune.mp4	−	−	Samsung Tune.mp4	Samsung Tune.mp4
	メール着信	A Toy Box.mp4 5秒	−	−	A Toy Box.mp4 5秒	A Toy Box.mp4 5秒
	S!ともだち状況着信	A Toy Box.mp4 5秒	−	−	A Toy Box.mp4 5秒	A Toy Box.mp4 5秒
	着信お知らせ機能	A Toy Box.mp4 5秒	−	−	A Toy Box.mp4 5秒	A Toy Box.mp4 5秒
	S!速報ニュース	A Toy Box.mp4 5秒	−	−	A Toy Box.mp4 5秒	A Toy Box.mp4 5秒

設定項目＼モード		通常モード	マナーモード	運転中モード	会議モード	アウトドアモード
着信音（上段：着信音選択、下段：鳴動時間）						
	配信確認	A Toy Box.mp4 5秒	－	－	A Toy Box.mp4 5秒	A Toy Box.mp4 5秒
バイブ						
	音声着信	Off	パターン1	－	Off	Off
	TVコール着信	Off	パターン1	－	Off	Off
	メール着信	Off	パターン1	－	Off	Off
	S!ともだち状況着信	Off	パターン1	－	Off	Off
	着信お知らせ機能	Off	パターン1	－	Off	Off
	S!速報ニュース	Off	Off	－	Off	Off
	配信確認	Off	パターン1	－	Off	Off
操作音・バイブ						
	音量	レベル0	－	－	－	－
	タッチ操作バイブ	レベル3	レベル3	－	－	－
効果音		ポップアップ音／通話終了音／通話中イベント通知	通話中イベント通知	－	通話中イベント通知	ポップアップ音／通話終了音／通話中イベント通知

設定項目＼モード		通常モード	マナーモード	運転中モード	会議モード	アウトドアモード
着信ライト						
	音声着信	グリーン	グリーン	グリーン	グリーン	−
	TVコール着信	グリーン	グリーン	グリーン	グリーン	−
	メール着信	グリーン	グリーン	グリーン	グリーン	−
	S!ともだち状況着信	グリーン	グリーン	グリーン	グリーン	−
	着信お知らせ機能	グリーン	グリーン	グリーン	グリーン	−
	S!速報ニュース	Off	Off	Off	Off	−
	アラーム	グリーン	グリーン	グリーン	グリーン	−
	配信確認	グリーン	グリーン	グリーン	グリーン	−
通知ライト						
	不在着信	ブルー	ブルー	ブルー	ブルー	−
	メール着信	グリーン	グリーン	グリーン	グリーン	−
	簡易留守録	ホワイト	ホワイト	ホワイト	ホワイト	−
	S!ともだち状況着信	ライトブルー	ライトブルー	ライトブルー	ライトブルー	−
	着信お知らせ機能	ブルー	ブルー	ブルー	ブルー	−
	アラーム	ピンク	ピンク	ピンク	ピンク	−
	配信確認	グリーン	グリーン	グリーン	グリーン	−
簡易留守録		Off	On	−※	Off	−

※「運転中モード」に設定すると、自動的に簡易留守録が「On」に設定されます。

効果音の設定項目について

モードによって、設定できない項目があります。

設定項目	内　容
ポップアップ音	確認や警告のメッセージが表示されたときに音が鳴ります。
通話時間通知（毎分）	通話中に約1分たつごとに音が鳴ります。
呼び出し開始音	電話をかけたとき、相手の着信音が鳴る前に、電話が接続され、これから相手を呼び出すことをお知らせする音が鳴ります。
通話終了音	通話終了時に音が鳴ります。
電源On	電源を入れたときに音が鳴ります。
電源Off	電源を切るときに音が鳴ります。
通話中イベント通知	通話中にアラームの設定時刻になったときやメールを受信したときに音が鳴ります。

使いこなしチェック！

設定

- 音量を設定する（☞P.13-16）
- 音声通話／TVコールの着信音を設定する（☞P.13-16）
- 電話以外の着信音を設定する（☞P.13-16）
- 電話以外の着信鳴動時間を設定する（☞P.13-16）
- バイブレータを設定する（☞P.13-16）
- タッチパネル操作時の確認音の音量とバイブレータの強度を設定する（☞P.13-16）
- 効果音を設定する（☞P.13-16）
- 受信中に点滅する照明の色を設定する（☞P.13-17）
- 不在時に着信などがあったことをお知らせする照明の色を設定する（☞P.13-17）
- 電波Offモードを設定する（☞P.13-28）
- 着信音調節機能を設定する（☞P.13-28）
- マナーモードを切り替える（☞P.13-29）

暗証番号について

930SCのご使用にあたっては、「操作用暗証番号」「交換機用暗証番号」「発着信規制用暗証番号」が必要になります。

操作用暗証番号

お買い上げ時は「9999」に設定されています。930SCの各機能を操作するときに使用します。

- 入力した操作用暗証番号は「*」で表示されます。
- 操作用暗証番号を間違って入力したときは、番号間違いのメッセージが表示されます。操作をやり直してください。
- 操作用暗証番号は、930SCの操作で変更できます（➔P.11-2）。

交換機用暗証番号

ご契約時の4桁の数字です。ご契約内容の変更や、オプションサービスを一般電話から操作するときなどに必要な番号です。

発着信規制用暗証番号

ご契約時の4桁の数字です。930SCで発着信規制サービスの設定を行うときに使用します。入力を3回続けて間違えると、発着信規制サービスの設定変更ができなくなります。この場合、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となりますので、ご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先（➲P.14-30）までご連絡ください。

- 発着信規制用暗証番号は、930SCの操作で変更できます（➲P.3-19）。

注意

- **操作用暗証番号や交換機用暗証番号、発着信規制用暗証番号はお忘れにならないようにご注意ください。万一お忘れになった場合は、所定の手続きが必要になります。詳しくは、お問い合わせ先（➲P.14-30）までご連絡ください。**
- **操作用暗証番号や交換機用暗証番号、発着信規制用暗証番号は、他人に知られないようにご注意ください。他人に知られ悪用されたときは、その損害について当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。**

緊急電話発信について

緊急電話発信とは、緊急時に使用する電話発信「110（警察）」「119（消防）」「118（海上保安部）」のことです。

930SCで発信の制限などを設定している場合、緊急電話発信の可否は次のようになります。

930SCの状態	緊急電話発信
電波Offモード中（➲P.1-10）	不可
通話料金上限（➲P.13-25）を超過したとき	「110」「119」「118」可
電源On時ロック中（➲P.11-4）	不可
パスワードロック中（➲P.11-4）	「110」「119」「118」可
PIN認証（➲P.11-2）で、未認証のとき	不可
USIM照合（➲P.11-3）で、未認証のとき	不可
発信規制中（➲P.3-18）	「110」「119」「118」可

緊急通報位置通知について

緊急通報位置通知とは、930SCから緊急通報を行った場合、発信した際の位置の情報を緊急通報受理機関（警察など）に対して通知するシステムです。

930SCでは受信している基地局測位情報をもとに算出した、位置情報を通知します。

- 発信場所や電波の受信状況により、正確な位置が通知されないことがあります。緊急通報受理機関に対して、必ず口頭で発信場所や目標物をお伝えください。
- 基地局測位情報の精度は、数100m～10km程度となります。また、実際の位置とは異なった位置情報が通知される場合があります（遠方の基地局電波を受信した場合など）。
- 緊急通報位置通知機能は、接続先となる緊急通報受理機関が、位置情報を受信できるシステムを導入したあと、ご利用いただけるようになります。
- 「184」を付けて、「110」「119」「118」の緊急通報番号をダイヤルした場合などは、緊急通報受理機関に位置情報は通知されません。ただし、緊急通報受理機関が人の生命などに差し迫った危険があると判断した場合には、同機関が発信者の位置情報を取得する場合があります。
- 申し込み料金、通信料は一切必要ありません。

注意

- 海外でのご利用にあたっては、無線ネットワークや無線信号、930SCの機能の設定状態によって動作が異なるため、すべての国や地域での接続を保証するものではありません。

ウィジェット機能を利用する

ウィジェット機能とは

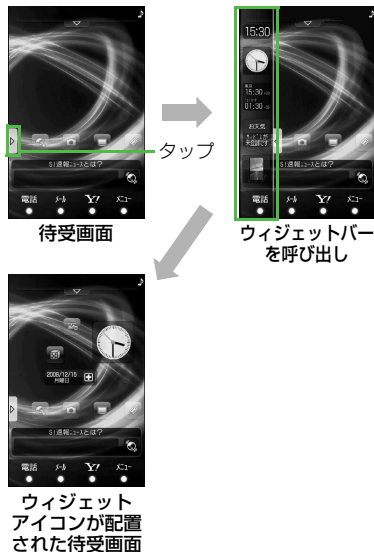
ウィジェット機能を利用すると、登録した機能をショートカット操作で呼び出すことができます。
よく使う機能をウィジェットアイテムとして登録したり、その中でも特によく使う機能をウィジェットアイコンとして待受画面に配置したりできます。

- ウィジェットアイコンをタップすると、機能をすぐに実行できます。
- ウィジェットバーは通常は隠れており、必要なときにワンタッチで呼び出すことができます。
- ウィジェットバーと待受画面との間の移動は、ドラッグ＆ドロップ操作で簡単に行うことができます。
- 本書では、ウィジェットバー内に登録したものをウィジェットアイテム、待受画面に配置したものをウィジェットアイコンと呼びます。

タップ

待受画面

ウィジェットバーを呼び出し

ウィジェットアイコンが配置された待受画面

画面の見かた

ウィジェットバーには、登録した機能がウィジェットアイテムとして一覧で表示されます。
ウィジェットアイテムが多数ある場合は、ウィジェットバーをスクロールします。

ウィジェットバー
ウィジェットアイコン
ウィジェットアイテム

ウィジェットアイテムを登録する

機能を一覧から選択し、最大17件まで登録できます。

1 **≪メニュー≫→「設定」→「ディスプレイ設定」→「ウィジェット設定」**

ウィジェット設定
デジタル時計
アナログ時計
2ヶ国時計
S!情報チャンネル
お天気アイコン
壁紙設定
カレンダー
保存
初期値に戻す

2 **登録したい項目をチェック→≪保存≫**

- ≪初期値に戻す≫をタップすると、お買い上げ時の設定に戻ります。

登録できる機能について

機能名	概　要
デジタル時計	デジタル時計を表示します。
アナログ時計	アナログ時計を表示します。
2ヶ国時計	世界地図から選択した2つの地域の時刻を表示します。時計をタップすると地域を設定できます。
S!情報チャンネル	S!情報チャンネルにワンタッチでアクセスできます。
お天気アイコン	お天気アイコンを表示します。
壁紙設定	データフォルダへのショートカットが作成され、ファイルを選択して壁紙に設定できます。
カレンダー	カレンダーを表示します。1ヶ月表示と1日表示を切り替えられます。
アラーム	アラーム設定状況を表示します。
S!ともだち状況	S!ともだち状況を表示します。
S!速報ニュース	S!速報ニュースを表示します。

機能名	概　要
お絵かきアニメ	タップするとお絵かきアニメを起動します。
フォトアルバム	タップするとフォトアルバムを起動します。
データフォルダ	タップするとデータフォルダを開きます。
カメラ	タップするとカメラを起動します。
TV	タップするとテレビを起動します。
ミュージックプレーヤー	待受画面でミュージックプレイヤーを操作できます。
ムービープレーヤー	タップするとムービープレイヤーを起動します。
サイコロゲーム	タップするとサイコロゲームを起動します。
ランダムボール	タップするとランダムボールを起動します。
S!メール	タップするとメールメニューを表示します。
メモ帳	タップするとメモ帳を起動します。
ボイスレコーダー	タップするとボイスレコーダーを起動します。
電卓	タップすると電卓を起動します。
通貨・単位換算	タップすると通貨・単位換算を起動します。
ストップウォッチ	タップするとストップウォッチを起動します。
辞典	タップすると辞典を起動します。
電話帳	タップすると電話帳を表示します。
予定リスト	タップすると全予定リストを表示します。
Yahoo!ケータイブックマーク	タップするとブックマークを表示します。
PCサイトブラウザブックマーク	タップするとブックマークを表示します。
設定	タップすると設定メニューを表示します。

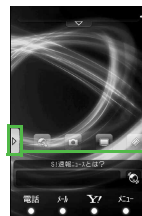
注意

●S!ともだち状況やS!速報ニュースを利用するには、あらかじめ登録や設定が必要です。

ウィジェット機能を利用して操作する

ウィジェットバーからウィジェットアイテムを待受画面に配置すると、待受画面で機能を利用したり、ショートカットアイコンとして利用したりできます。

- デジタル時計／アナログ時計のウィジェットアイコンは、待受画面にデジタル時計／アナログ時計を表示します。タップしても動作しません。

1 ウィジェットバーのタブをタップ

ウィジェットバーのタブ

2 ウィジェットバーからウィジェットアイテムをドラッグし、待受画面にドロップ

3 ウィジェットアイコンをタップ

- ウィジェットアイコンは重ねて配置できます。
- 待受画面上でウィジェットアイコンをドラッグし、好きな位置へドロップして配置を変更できます。
- ウィジェットバー内でウィジェットアイテムの並び替えができます。移動させるウィジェットアイテムをドラッグし、好きな位置へドロップします。

待受画面で壁紙の設定をする

プルダウンメニュー
ファイル

1 ウィジェットバーのタブをタップ

2 ウィジェットバーから「壁紙設定」のウィジェットアイテムをドラッグし、待受画面にドロップ

3 プルダウンメニューからファイルの保存場所を選択

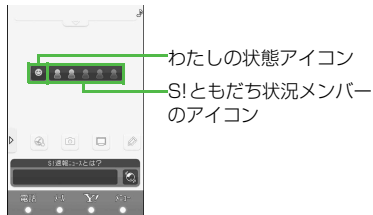
4 ◁／▷をタップしてファイルを選択

5 「登録」

待受画面でS!ともだち状況を利用する

S!ともだち状況を待受画面で確認・操作できます。「わたし」を含め、メンバーの状態を最大6人まで表示できます。

わたしの状態アイコン
S!ともだち状況メンバーのアイコン

アイコン表示

アイコン
状態アイコン、状態ラベル
応答ステータス

メンバーリスト表示

1 ウィジェットバーのタブをタップ

2 ウィジェットバーから「S!ともだち状況」のウィジェットアイテムをドラッグし、待受画面にドロップ

- 待受画面にS!ともだち状況がアイコン表示されます。

3 アイコン表示ウィジェットアイコンをタップ

- S! ともだち状況のメンバーリストが表示されます。

ウィジェットアイコンにわたしの状況を表示する

1 メンバーリスト表示ウィジェットアイコンの「メニュー」をタップ

2 「わたしの状況設定」→「わたしの状況表示」の「On」

- 非表示にする場合は「Off」を選択します。

ウィジェットアイコンに表示するメンバーを登録する

1 メンバーリスト表示ウィジェットアイコンの「メニュー」をタップ

2 「メンバー登録」→メンバーを登録する欄をタップ

3 メンバーの登録操作

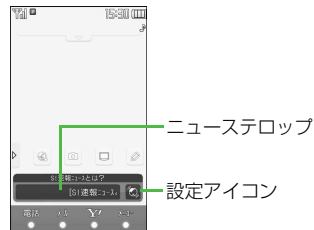
■ 電話帳から登録するとき

「電話帳から登録」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-18）→電話番号を選択

■ S!ともだち状況メンバーリストから登録するとき

「S!ともだち状況」→S!ともだち状況メンバーを選択

待受画面でS!速報ニュースを確認する

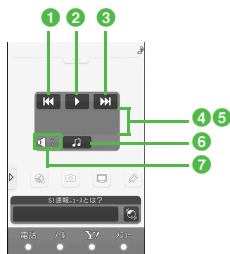
S! 速報ニュースのウィジェットアイコンは、お買い上げ時にあらかじめ待受画面に表示されています。

ニューステロップ
設定アイコン

1 ニューステロップをタップ

- 内容一覧画面が表示されます

2 情報の確認操作（➲P.5-11 S! 速報ニュース一覧の更新情報を確認する3）

- 「S!速報ニュース」のウィジェットアイコンをウィジェットバーに移動している場合は、待受画面にドロップしてから操作します。

待受画面でミュージックプレーヤーを操作する

❶ 頭出し／前の曲
曲の再生後3秒以内にタップすると前の曲に、3秒過ぎてタップすると再生中の曲の頭出しとなります。

❷ 再生／一時停止

❸ 次の曲

❹ タイトル（タイトル情報がない場合はファイル名）

❺ アーティスト名

❻ メディアプレイヤーを起動

❼ 再生音量表示

1 ウィジェットバーのタブをタップ

2 ウィジェットバーから「ミュージックプレーヤー」のウィジェットアイテムをドラッグし、待受画面にドロップ

3 曲の再生操作

- ▲／▼を押すと音量を調節できます。
- 曲を再生中に、待受画面で［◎］→「はい」をタップすると曲を停止します。

- 「ミュージックプレーヤー」のウィジェットアイコンで再生すると、「全曲一覧」の最初に表示されている曲、または前回再生した曲の途中から再生されます。

その他のウィジェットアイコンを待受画面で操作する

次のウィジェットアイコンは、待受画面上で設定内容を表示したり、タップして設定したりできます。

2ヶ国時計の見かた

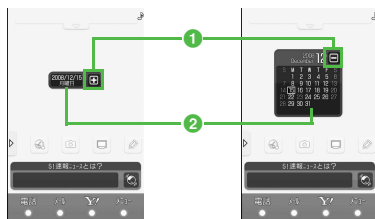
- 表示する地域を変更するには、時計をタップ→地図をスクロールし、登録したい都市をタップ→≪保存≫をタップします。

S!情報チャンネルの見かた

- 「メニュー」をタップするとS!情報チャンネル／お天気のメニューを表示します。
- S! 情報チャンネルの登録については「サービス登録を行う」（➔P.5-13）を参照してください。

お天気アイコンの見かた

- お天気アイコン表示部分をタップすると詳しい天気予報を確認できます。また、📡をタップするとお天気アイコンメニューが表示されます。
- お天気アイコン未登録の場合は、テロップや📡をタップするとS! 情報チャンネルメニューへ移動します。S! 情報チャンネルの登録が終了すると、お天気アイコンが表示されます。S! 情報チャンネルの登録については「サービス登録を行う」（➔P.5-13）を参照してください。
- お天気アイコンについては「お天気アイコンを利用する」（➔P.5-13）を参照してください。

カレンダーの見かた

1日表示　1ヵ月表示

❶ ⊞／⊟：表示切替
タップすると1ヵ月表示／1日表示を切り替えます。

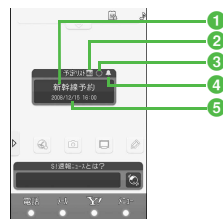
❷ カレンダー
タップするとカレンダーを起動します。

アラームの見かた

- アラームの設定時刻が表示されます。複数のアラームを設定している場合は、現在時刻に一番近い設定を表示します。
- ウィジェットアイコンをタップするとアラームを起動します（➔P.9-3）。

予定リストの見かた

❶ 件名

❷ 重要度

❸ ステータス
　：処理済み
　：未処理
　：期限切れ

❹ アラーム設定

❺ 期限日時

- 複数の予定リストを設定している場合は、期限日時が現在時刻に一番近い予定リストを表示します。

ウィジェットアイコンをショートカットとして利用する

次のウィジェットアイコンは、タップすると各機能が起動します。

- お絵かきアニメ
- フォトアルバム
- データフォルダ
- カメラ
- TV
- ムービープレーヤー
- サイコロゲーム
- ランダムボール
- S!メール
- メモ帳
- ボイスレコーダー
- 電卓
- 通貨・単位換算
- ストップウォッチ
- 辞典（英和辞典／和英辞典）
- 電話帳
- ブックマーク（Yahoo!ケータイ／PCサイトブラウザ）
- 設定

使いこなしチェック！

便利 ☞P.1-25

- S!速報ニュースの設定を解除したい

設定

- よく使う機能をウィジェットバーに登録する（☞P.13-18）

便利

ウィジェットに関する便利な機能

S!ともだち状況メンバーの登録を解除したい

メンバーリスト表示で「メニュー」→「メンバー設定解除」→S!ともだち状況メンバーを選択→「はい」

S!ともだち状況メンバーのアイコンを変更したい

メンバーリスト表示で「メニュー」→「アイコン変更」→S!ともだち状況メンバーを選択→アイコンを選択

S!ともだち状況メンバーに電話／メールを送信したい

■ **音声電話をかけるとき**

メンバーリスト表示で →「音声通話」

■ **TVコールをかけるとき**

メンバーリスト表示で →「TVコール」

■ **メールを送信するとき**

メンバーリスト表示で →「S!メール」／「SMS」→（➔P.4-3 S!メールを送信する❺、P.4-7 SMSを送信する❺）

S!速報ニュースを登録したい

→「ニュース登録」→「コンテンツ登録」／「S!ループ登録」→（➔P.5-11 S!速報ニュース一覧に登録する❹、P.5-12 S!ループリストに登録する❸）

S!速報ニュースの設定を解除したい

［削除］

→「設定解除」→項目を選択→≪削除≫→削除したい項目をチェック→≪削除≫→「はい」

- 「全チェック」をタップした場合は、操作用暗証番号を入力→≪OK≫→「はい」をタップします。

S!速報ニュース一覧を自動更新したい

→「自動更新設定」→（➔P.5-27）

S!速報ニュースの表示を変更したい

→「表示設定」→項目を選択

S!速報ニュースの表示速度を変更したい

→「スクロール速度」→項目を選択

S!速報ニュースリストに表示するコンテンツを未読のみ／未読＆既読にしたい

→「未読／既読設定」→項目を選択

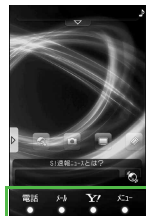
共通機能／操作

2

機能の呼び出しかた

ツールバーで機能を呼び出す

待受画面から「電話」「メール」「Yahoo!ケータイ」「メインメニュー」を呼び出すことができます。ツールバーには、よく使う機能、または「選択」「保存」のような操作や設定の選択肢が表示され、内容や数は操作する画面や機能によって異なります。

ツールバーに≪その他≫が表示されている場合は、タップするとその他のメニューが表示されます。メニューを実行するには、目的の項目をタップします。

ツールバー

ウィジェットで機能を呼び出す

待受画面に配置したウィジェットアイコンをタップして、機能を呼び出したり、待受画面で操作したりできます。

ウィジェット操作について、詳しくは「ウィジェット機能を利用して操作する」（➲P.1-20）を参照してください。

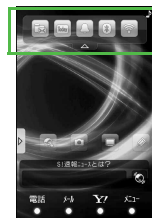
ウィジェットアイコン（お買い上げ時）

お買い上げ時の設定では、待受画面にあらかじめ次のウィジェットアイコンが表示されています。

アイコン	呼び出される機能
	Yahoo!ケータイブックマーク（➲P.5-7）
	カメラ（➲P.7-3）
	テレビ（➲P.6-2）
	お絵かきアニメ（➲P.7-10）
	S!速報ニュース（➲P.5-10）

ショートカットバーで機能を呼び出す

「受信ボックス」、「今日の予定」、「アラーム」、「Bluetooth®」、「赤外線通信」をすぐに呼び出すことができます。

1 待受中にショートカットバーのタブをタップ

ショートカットバー

2 アイコンをタップ

アイコン	呼び出される機能
	受信ボックス
	今日のスケジュールを1日表示
	アラームリスト
	Bluetooth®画面
	赤外線通信画面

メインメニューから機能を呼び出す

1 待受中に≪メニュー≫

メインメニュー画面

2 目的の項目をタップ

3 操作 2 を繰り返して、目的の機能を呼び出し

〈例〉「設定」から「ディスプレイ設定」を選択し、「壁紙」を選択する場合

「設定」をタップ

「ディスプレイ設定」をタップ

「壁紙」をタップ

壁紙の設定画面が表示される

- 操作を1つ前の状態に戻すには、CLEARを押します。
- メニュー操作を終了するには、[終話キー]を押します。メニュー操作を終了し、待受画面に戻ります。ただし、複数の機能を同時に使っている場合は、起動中のほかの機能に切り替わります。
- メニュー操作を途中でやめるには、[終話キー]を押します。設定中の内容を破棄して待受画面やもとの画面に戻ります。ただし、メニューによっては内容を破棄するかどうかの確認メッセージが表示されます。

待受中にショートカットボタンで機能を呼び出す

ボタン	呼び出される機能
（1秒以上）	発信履歴
CLEAR	録音メッセージの再生
CLEAR （1秒以上）	簡易留守録の設定／解除
CLEAR （解除されるまで）	誤動作防止設定の解除
HOLD （押してから離したとき）	誤動作防止の設定／解除
	マナーモードの選択
（1秒以上）	マナーモードの設定／解除
／	受話音量の調節
／ （2秒以上）	受話音量を最大／最小に設定
TV	TVメニュー
TV （1秒以上）	テレビの起動
（2秒以上）	カメラの起動

共通の操作について

複数の項目をまとめて選択／選択解除する

削除や移動など複数の項目を選択するときに、すべての項目をチェック／チェックを外すには「全チェック」／「全解除」をタップします。

- 機能により、行える操作が異なります。
- 削除する項目を選択する場合にすべての項目をチェックしたときは、「全チェック」をタップしたときと同様に操作用暗証番号の入力が必要になります。

音量の調節をする

音量やバイブレータの強さなどの設定では、画面にスライダーが表示され、調節したい項目のスライダーに触れて左右または上下に動かすことで設定することができます。

- 音量調節の場合は、スライダーのつまみを動かすと音が再生され、音量を確認することができます。

待受画面を設定する

ディスプレイの壁紙を設定する

データフォルダに保存されている静止画やアニメーション、スライドショーを設定できます。静止画を表示しないように設定することもできます。

1. ≪メニュー≫→「設定」→「ディスプレイ設定」→「壁紙」

壁紙
固定データ
ピクチャー
デジタルカメラ
Flash®
その他ファイル
スライドショー
なし

2. 壁紙の設定操作

■ データフォルダの画像を設定するとき
ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→≪設定≫

■ スライドショーを設定するとき
「スライドショー」→（➔P.2-5 スライドショーを設定する❷）

■ 表示しないように設定するとき
「なし」

スライドショーを設定する

最大9枚の静止画を次々にスライド表示させる「スライドショー」を、壁紙に設定できます。

1. ≪メニュー≫→「設定」→「ディスプレイ設定」→「壁紙」→「スライドショー」

スライドショー
画像 設定
1 2 3
4 5 6
7 8 9
保存 プレビュー まとめて設定 順序変更

2. 静止画の選択操作

■ 1枚ずつ追加するとき
静止画を設定していない箇所を選択→ファイルの保存場所を選択→設定したい静止画を選択

■ まとめて追加するとき
≪まとめて設定≫→ファイルの保存場所を選択→設定したい静止画をチェック→≪OK≫

3. スライドショーの編集操作

■ プレビューを見るとき
≪プレビュー≫→「はい」（画面サイズにあわせる）／「いいえ」（もとの縦横比率で表示）

■ 効果を設定するとき
「設定」タブをタップ→「効果」→項目を選択

■ 静止画1枚あたりの再生時間を変更するとき
「設定」タブをタップ→「切替時間」→時間を選択

❹ ≪保存≫→「はい」(画面サイズにあわせる)/「いいえ」(もとの縦横比率で表示)

●**スライドショーのサイズ調整**
ディスプレイに合わせて表示するには、操作❹で「はい」を選択します。もとの縦横比率のまま全体を表示するには、「いいえ」を選択します。

使いこなしチェック!

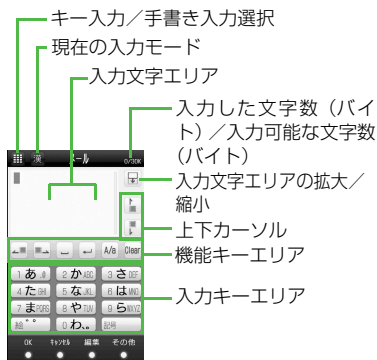
便利 ☞P.2-34
● 静止画を拡大して表示させたい
● 静止画を回転して表示させたい

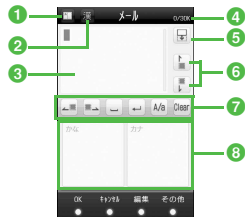
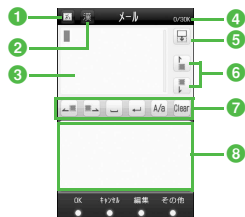
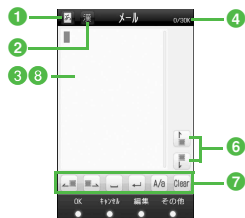
文字入力について

タッチペンでキーパッドをタップしたり手書きしたりして、漢字、ひらがな、カタカナ(全角/半角)、英数字(全角/半角)、記号(全角/半角)、絵文字、顔文字、ハングルを入力できます。

文字入力画面の見かた

キーパッド入力画面の見かた

キー入力/手書き入力選択
現在の入力モード
入力文字エリア
入力した文字数(バイト)/入力可能な文字数(バイト)
入力文字エリアの拡大/縮小
上下カーソル
機能キーエリア
入力キーエリア

表示	入力モード	表示	入力モード
漢	漢字/かな	※	全角記号
カ	全角カタカナ	@#	半角記号
ｶﾅ	半角カタカナ	絵	絵文字
A	全角英字	顔	顔文字
Ab	半角英字	韓	ハングル
1	全角数字	a	全角英字(小文字)
12	半角数字	ab	半角英字(小文字)

手書き入力画面の見かた

手書き入力（Boxモード）

手書き入力（Cont.モード）

手書き入力（スクリーンモード）

❶キー入力／手書き入力選択

❷現在の入力モード
表示内容はキー入力画面と同じです。

❸入力文字エリア（スクリーンモードの場合は背景に表示）

❹入力した文字数（バイト）／入力可能な文字数（バイト）

❺入力文字エリアの拡大／縮小

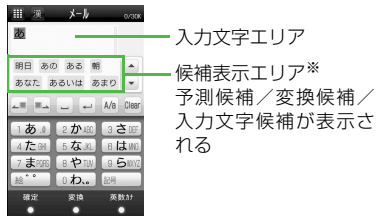
❻上下カーソル

❼機能キーエリア

❽手書き入力エリア

候補表示エリアの見かた

入力文字エリア

候補表示エリア※
予測候補／変換候補／入力文字候補が表示される

※ 候補表示エリアは、全角および半角のカタカナ、英字、数字の各入力モードでは表示されません。予測入力の機能を解除すると、漢字／かな入力モードでは≪変換≫や≪英数カナ≫で文字を変換したときに表示されます。

- 日時設定やアラームの時刻設定など数字しか入力できない場合は、数字キー、Clear、↵／↳が表示されます。
- 文字の入力中や編集中に音声電話やTVコールがかかってきたときは、そのまま応答してください。通話が終了すると、もとの文字入力画面に戻ります。アラーム通知が起動した場合も、アラーム通知を終了させるともとの画面に戻ります。

入力モードを切り替える

使用できる入力モードは、状況によって制限されます。

1 文字入力画面で 漢

2 切り替えたい入力モードを選択

- 文字入力画面で 記号 をタップすると記号、絵゛°／絵 をタップすると絵文字、顔文字に切り替わります。

文字の入力方法について

ひらがな／漢字を入力する

候補表示エリアに表示される予測候補を使って簡単に入力できます。予測候補を使わずに、入力したひらがなを目的の文字に変換することもできます。候補表示エリアにカタカナや絵文字などが表示されたときは、これらの文字も入力できます。
ここでは例として、「鈴木」と入力します。

キーパッドで入力する

1 文字入力画面で▦

- アイコンは現在の入力モードによって変わります。

2 「キー入力」

3 漢→「漢かな」

4 3さDEF を3回タップ

- 「す」と入力されます。

5 ■⌟ をタップ

- 続けて同じキーの文字を入力する場合、■⌟をタップしてカーソルを移動します。

6 3さDEF を3回タップ→絵゛゜

- 「ず」と入力されます。

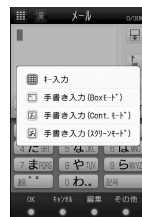
7 2かABC を2回タップ

- 「き」と入力されます。

8 予測候補から「鈴木」をタップ

手書きで入力する

画面は「手書き入力（Boxモード）」で入力する場合です。

1 文字入力画面で▦

- アイコンは現在の入力モードによって変わります。

2 「手書き入力（Boxモード）」／「手書き入力（Cont.モード）」／「手書き入力（スクリーンモード）」

3 漢→「漢かな」

4 手書き入力の「かな」エリアに「す」「ず」「き」と入力

- 「手書き入力（Boxモード）」では1文字ずつ入力してください。
- 「手書き入力（Cont.モード）」／「手書き入力（スクリーンモード）」では、手書き入力エリアに「すずき」と続けて入力できます。

5 予測候補から「鈴木」をタップ

- キー入力中、「゛」や「゜」を付ける場合は、濁点や半濁点を付けるひらがなを入力したあと、絵゛゜をタップします。
- キー入力中、「っ」などの小文字を入力する場合は、小文字にするひらがなを入力したあと、A/aをタップします。
- 文字を間違えた場合は、Clearをタップまたは CLEAR を押して文字を消し、もう一度入力します。
- キー入力中、キーをタップしすぎた場合は を押すと、同じボタンの1つ前の割り当て文字に戻ります。
- ひらがなで決定する場合は、≪確定≫をタップします。
- 目的の予測候補が表示されていない場合は、≪変換≫→必要に応じて／で変換する範囲を変更→目的の変換候補をタップ→同じ操作を繰り返してすべての文字を決定する操作をします。
- 予測候補や変換候補が多数ある場合は、候補表示エリアの／をタップしてスクロールします。
- 目的の漢字に変換されないときは、漢字の読みかたを変えて入力してください。一度に変換できない2文字以上の漢字は、変換する範囲を1文字に変更して変換してください。
- 候補表示エリアに予測候補が表示されているときに≪変換≫をタップすると変換候補が、変換候補が表示されているときに≪予測≫をタップすると予測候補が表示されます。
- 手書き入力で漢字を直接入力することはできません。
- 「手書き入力（Boxモード）」では、手書き入力エリアが2分割されています。かなを入力する場合、「かな」の枠内に1文字ずつ入力します。枠の左上には入力モードが表示されており、それ以外の文字は入力できません。例えば「カナ」（全角カタカナ）の枠内にひらがなを入力しても、一番似ているカタカナとして認識されます。
- 手書き入力では、文字を入力すると機能エリアに文字候補が表示されます。認識された文字が目的の文字と違う場合は、文字候補から文字を選択します。×をタップすると文字候補を閉じます。
- 「手書き入力（Cont.モード）」／「手書き入力（スクリーンモード）」で文字入力モードが「漢かな」になっている場合は、ひらがな以外の文字を入力しても一番似ているひらがなとして認識されます。

カタカナ／英字／数字を入力する

1 文字入力画面で漢

2 入力モードを選択

3 文字を入力

- キー入力中、「゛」や「゜」を付ける場合は、濁点や半濁点を付けるカタカナを入力したあと、絵゛゜をタップします。
- キー入力中、「ッ」などの小文字を入力する場合は、小文字にするカタカナを入力したあと、A/aをタップします。
- 英字入力モードでA/aをタップすると、入力モードがa／abに替わります。a／abのときは全角英字（小文字）／半角英字（小文字）を入力できます。英字の大文字／小文字を切り替える場合は、英字を入力したあと、A/aをタップします。
- 文字を間違えた場合は、Clearをタップまたは CLEAR を押して文字を消し、もう一度入力します。
- キー入力中、キーをタップしすぎた場合は を押して、同じキーの1つ前の割り当て文字に戻ります。
- キー入力中、続けて同じキーの文字を入力する場合は、 をタップしてカーソルを右に移動します。
- 漢字／かな入力モードで、文字を入力して≪英数カナ≫をタップするとカタカナ／英字／数字に変換できます。例として、「くも」と入力して≪英数カナ≫をタップすると、カタカナの「クモ」や英字の「C」、数字の「22277777」が変換候補として表示されます。また入力した文字の条件によっては、時刻や日付も変換候補として表示されます。
- 手書き入力では、どのような文字を入力しても文字入力モードで選択している文字として認識されます。

記号を入力する

1 文字入力画面で記号

- 手書き入力の場合は、入力モードを全角記号／半角記号に切り替えます。
- 入力したい記号が表示されるまで ／ をタップします。

2 目的の記号を選択

- 続けて記号を入力できます。記号入力をやめるときは、≪閉じる≫をタップします。

●記号を一度入力すると履歴が残り、記号一覧の最初のページに表示されます。
●記号の全角／半角を切り替える場合は、≪全角記号≫／≪半角記号≫をタップします。
●漢字／かな入力モードで、文字を入力して≪変換≫をタップすると記号に変換できます。例として、「てん」と入力して≪変換≫をタップすると、記号の「・」や「･･･」が変換候補として表示されます。

絵文字／顔文字を入力する

1 文字入力画面で 絵 ／ 絵

●手書き入力の場合は、入力モードを絵文字／顔文字に切り替えます。
●顔文字を入力する場合は、操作1のあと、≪顔文字≫をタップします。
●入力したい絵文字（顔文字）が表示されるまで 絵／絵（顔／顔）をタップします。

2 目的の絵文字／顔文字を選択

●続けて絵文字／顔文字を入力できます。絵文字／顔文字入力をやめるときは、≪閉じる≫をタップします。

●≪絵文字≫／≪顔文字≫をタップして、絵文字／顔文字一覧を切り替えられます。

●メール本文の入力画面では、≪全絵文字≫／≪他社共通絵文字≫をタップして、すべての絵文字／他社携帯で共通して使える絵文字一覧を切り替えられます。
●絵文字を一度入力すると履歴が残り、絵文字一覧の最初のページに表示されます。
●漢字／かな入力モードで、「はーと」や「でんわ」と入力して絵文字に変換できます。同様に、「わーい」や「えーん」などを顔文字に変換することもできます。

改行する

改行の操作は、どの入力モードでも同じです。

1 文字入力画面で ↵

●文末で をタップしても改行できます。

●入力画面によっては、改行の操作ができない場合があります。

ハングル入力する

1 文字入力画面で 漢 → 韓（ハングル）

2 文字を入力

- キー入力時は、画面に表示された文字に対応する数字を押して、子音と母音を組み合わせて文字を入力します。

子音の入力例	
ㄱ	4ㄱㅋ（1回押す）
ㅋ	4ㄱㅋ（2回押す）
ㄲ	4ㄱㅋ（3回押す）
母音の入力例	
아	0ㅇㅁ 1ㅣ 2・
어	0ㅇㅁ 2・ 1ㅣ
오	0ㅇㅁ 2・ 3ㅡ
야	0ㅇㅁ 1ㅣ 2・ 2・
여	0ㅇㅁ 2・ 2・ 1ㅣ
요	0ㅇㅁ 2・ 2・ 3ㅡ
왜	0ㅇㅁ 2・ 3ㅡ 1ㅣ 2・ 1ㅣ

- S! メールでは受信したメールのハングルを表示できますが、S! メールの入力画面でハングルを入力することはできません。

文字を消去／編集する

1 消去する文字にカーソルを合わせ Clear

- CLEAR を押しても消去できます。

- カーソル上に文字がない場合は、カーソルの左側の1文字が消去されます。
- カーソル以降の文字をすべて消去するには、Clear をホールドまたは CLEAR を1秒以上押します。カーソル以降に文字がない場合は、すべての文字が消去されます。
- （終了キー）を押すと、文字入力を終了するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」または「いいえ」を選択します。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.2-34

- よく使う文を定型文に登録したい
- 定型文を削除したい
- 範囲を指定して文字のコピー／カットをしたい
- コピー／カットした文字を貼り付けたい
- 文字をもとに戻したい

設定

- 文字入力履歴をリセットする（☞P.13-20）

ユーザ辞書を利用する

よく使う単語や文（最大20文字）をユーザ辞書に登録しておくと、「読み」を入力しただけで目的の単語や文が候補表示エリアに表示され、入力が簡単になります。

1. ≪メニュー≫→「設定」→「一般設定」→「ユーザ辞書」→「辞書編集」→≪新規登録≫
2. 語句欄をタップ→単語や文を入力
3. 読み欄をタップ→文字を入力

新規登録
語句
ケータイ
読み
けいたい
保存

4. ≪保存≫

入力した文字をユーザ辞書に登録する

1. 文字入力画面で≪その他≫→「ユーザ辞書登録」
2. 登録する文字の先頭をタップして≪始点≫
3. 登録する文字の末尾をタップして範囲を指定→≪終点≫

新規登録
語句
ケータイ
読み
保存

4. 読み欄をタップ→文字を入力
5. ≪保存≫

- 改行を含む範囲を指定すると、改行前までの文字列が語句に登録されます。
- 操作2で≪ユーザ辞書≫をタップすると、新規登録画面が表示されます。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.2-35

- ユーザ辞書の登録内容を削除したい

設定

- ユーザ辞書を登録する（☞P.13-20）
- ユーザ辞書の登録内容を編集する（☞P.13-20）
- ユーザ辞書の登録内容を削除する（☞P.13-20）
- 文字入力履歴をリセットする（☞P.13-20）

電話帳について

電話帳に登録できる項目について

930SC本体には最大1,000件の電話帳を登録できます。USIMカードに登録できる件数は、カードの種類によって異なります。USIMカードの電話帳は、カードを差し替えることにより、ほかのソフトバンク携帯電話でも利用できます。
1件の電話帳に登録できる内容は次のとおりです。

項目／内容	登　録
名前／姓	
全角／半角文字（USIM カードには「名前」として登録）	930SC本体：○（50バイトまで） USIMカード：○[2]
名前／名	
全角／半角文字（USIM カードには「名前」として登録）	930SC本体：○（50バイトまで） USIMカード：○[2]
ヨミガナ／姓	
半角文字（USIM カードには「ヨミガナ」として登録）	930SC本体：○（50バイトまで） USIMカード：○[2]
ヨミガナ／名	
半角文字（USIM カードには「ヨミガナ」として登録）	930SC本体：○（50バイトまで） USIMカード：○[2]
電話番号	
市外局番も含めて登録	930SC本体：○（32バイトまでで5件） USIMカード：○[1,2]
電話番号アイコン	
7種類から選択	930SC本体：○ USIMカード：○[3]
Eメールアドレス	
半角英数字	930SC本体：○（128バイトまでで5件） USIMカード：○[2]（1件）
Eメールアドレスアイコン	
4種類から選択	930SC本体：○ USIMカード：×（1種類のみ）
フォト	
音声電話、TVコールの着信時に表示させる画像。データフォルダからの選択やカメラでの撮影が可能	930SC本体：○ USIMカード：×
顔登録	
画像に電話帳データを登録し、画像から音声電話の発信などが可能	930SC本体：○ USIMカード：×
着信音設定	
音声電話／TVコール／メール／S!ともだち状況の着信音。データフォルダからの選択が可能	930SC本体：○ USIMカード：×
バイブ設定	
音声電話／TVコール／メール／S!ともだち状況のバイブレータを設定	930SC本体：○ USIMカード：×
グループ	
20個の中から選択	930SC本体：○ USIMカード：○[1]

項目／内容		登　録
シークレットモード		
	On/Off	930SC本体：○
		USIMカード：×
誕生日		
	生年月日	930SC本体：○
		USIMカード：×
血液型		
	4種類と「設定なし」から選択	930SC本体：○
		USIMカード：×
趣味		
	100バイトまで	930SC本体：○
		USIMカード：×
会社		
	64バイトまで	930SC本体：○
		USIMカード：×
役職		
	64バイトまで	930SC本体：○
		USIMカード：×
住所		
	郵便番号は40バイトまで、国名は64バイトまで、都道府県名、市町村名、番地、追加情報は128バイトまで	930SC本体：○（2件）
		USIMカード：×

項目／内容		登　録
住所アイコン		
	2種類から選択	930SC本体：○
		USIMカード：×
ホームページ		
	1024バイトまで	930SC本体：○（2件）
		USIMカード：×
ホームページアイコン		
	2種類から選択	930SC本体：○
		USIMカード：×
メモ		
	512バイトまで	930SC本体：○
		USIMカード：×

1 登録できる件数は、USIMカードの種類によって異なります。
2 登録できる文字数は、USIMカードの種類によって異なります。
3 登録できるアイコンの種類は、USIMカードの種類によって異なります。

- 電話帳が登録されている別のUSIMカードに差し替えた場合、差し替えて初めて電話帳を利用するときに、USIMカードの電話帳の内容を930SC本体にコピーするかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択するとコピーが開始されます。

注意

- **大切なデータを失わないために**
  電話帳に登録した電話番号や名前などは、電池パックを長い間外していたり電池残量のない状態で放置したりすると、消失または変化してしまうことがあります。事故や故障でも同様の可能性があります。大切な電話帳などは、控えをとっておかれることをおすすめします。電話帳が消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

2

電話帳の各項目のタブを切り替える

930SC本体の電話帳の各項目は、3つのタブに分かれています。タブを切り替えることで情報を確認することができます。

1 ≪電話≫→「電話帳」→電話帳を検索し、選択（➔P.2-18）→タブをタップして切り替え

電話帳に登録する

お買い上げ時の電話帳の保存先は「本体」になっていますが、あらかじめ設定するとUSIMカードを常に保存先に指定することもできます（➔P.13-15）。

電話帳の登録画面

ここでは例として、930SC本体に姓名、ヨミガナ、電話番号、Eメールアドレスを登録します。

- 他の項目については、「電話帳に情報を登録したい」（➔P.2-36）を参照してください。

1 ≪電話≫→「電話帳」→≪新規登録≫
   - 保存先設定（➔P.13-15）が「毎回確認」に設定されている場合、保存先を確認するメッセージが表示されます。「本体」／「USIM」をタップします。

2 名前欄をタップ

3 「名前／姓」／「名前／名」／「ヨミガナ／姓」／「ヨミガナ／名」→姓／名／ヨミガナを入力→≪OK≫

4 電話番号欄をタップ→電話番号を入力→アイコンを選択

5 Eメールアドレス欄をタップ→Eメールアドレスを入力→アイコンを選択

6 ≪保存≫

- **電話番号欄に入力できる内容は**
  電話番号には、0～9の数字のほか、#、*、P（ポーズ）、-、+（国際コード）を登録できます。*、P、-は P-✻ をタップするごとに切り替わります。+を入力するには、+0 をホールドします。
- メモリカードに保存されているファイルを着信画像や着信音などに設定すると、ファイルを930SC本体にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。
- Samsung PC Studioで電話帳を同期すると、「シークレットモード-On」に設定されている電話帳は、同期されません（パソコン側にバックアップされません）。「シークレットモード-Off」から「シークレットモード-On」に変更した電話帳は、「シークレットモード-On」に設定して同期した時点から同期されなくなります。パソコン側でも削除されます。Samsung PC Studioについては、SAMSUNG ホームページ（http://jp.samsungmobile.com/pc/lineup/930download.html）からダウンロードしてご利用いただけます。

通話履歴から登録する

通話履歴に記録されている電話番号を新規登録したり、既存の電話帳へ追加登録したりできます。

1 登録したい通話履歴をタップして表示（➔P.3-9）

着信履歴
08/12/15 15:30
電話帳未登録
090********
着信履歴
00:00:16
090********
電話帳登録　削除　拒否リスト追加

2 ≪電話帳登録≫

3 電話帳の登録操作

■ **新しい電話帳に登録するとき**
「新規」→（➔P.2-16 電話帳に登録する❷）

■ **既存の電話帳に追加登録するとき**
「更新」→電話番号を登録する電話帳を検索し、選択（➔P.2-18）→電話帳の登録操作（➔P.2-16）

使いこなしチェック！

便利 ☞P.2-36
- 電話帳に情報を登録したい
- 電話帳をvファイルに変換して送信したい
- 電話帳を登録するときの保存先を設定したい
- USIMカードに保存されているサービス番号を表示したい
- 電話帳のシークレット設定を一時的に解除したい
- メモリ使用状況を確認したい
- 電話帳を編集したい
- 電話帳からスピードダイヤルに追加したい
- 電話帳からS!ともだち状況メンバーに追加したい
- S!ともだち状況を表示したい
- vファイルを作成して「その他ファイル」フォルダに保存したい
- 電話帳の詳細をBluetooth®対応のプリンタで印刷したい
- 電話番号を入力してから登録したい

設定
- 優先的に登録される電話帳を変更する（☞P.13-15）
- 表示される電話帳（930SC本体／USIMカード）を変更する（☞P.13-15）
- 電話帳の検索方法を切り替える（☞P.13-15）
- 電話帳のバックアップをとる（☞P.13-15）
- スピード検索の設定をする（☞P.13-20）

電話帳から電話をかける

電話帳を検索する

ここでは例として、あかさたなで検索します。

1 ≪電話≫→「電話帳」

電話帳の一覧画面

2 検索方法を選択（➲P.2-18）

- 変更した検索方法の設定は保存されます。

3 タブをタップして目的の行に切り替え

- 🔍→ヨミガナの先頭を入力して検索することもできます。

4 目的の電話帳を選択

電話帳の詳細画面

- セキュリティ設定のシークレットモードが「表示しない」のとき、「シークレットモード-On」に設定されている電話帳は表示されません。検索する場合は、電話帳の検索画面で≪その他≫→「シークレット一時解除」をタップし、一時的にシークレットモード設定を表示してから操作します。

電話帳の検索方法を切り替える

指定した検索画面を表示するように設定できます。

1 ≪電話≫→「電話帳」→検索方法のプルダウンメニューをタップ

2 「あかさたな」／「グループ」／「ヨミガナ」

③ 電話帳を検索

■ グループで検索するとき

目的のグループを選択→表示された一覧から目的の電話帳を確認

- 目的のグループを選択したあと、🔍をタップしてヨミガナ（先頭の一部でよい）を入力して検索することができます。

■ ヨミガナで検索するとき

表示された一覧から目的の電話帳を確認

- 🔍をタップしてヨミガナ（先頭の一部でよい）を入力しても検索することができます。

- **電話帳を表示すると**
  「あかさたな」に設定した場合は、行のタブごとに分けて表示されます。「グループ」に設定した場合は、グループ一覧が表示されます。あらかじめ電話帳をグループに登録する必要があります（➔P.2-36）。「ヨミガナ」に設定した場合は、ヨミガナのあいうえお順に一覧で表示されます。
- 「シークレットモード-On」に設定されている電話帳は表示されません。検索する場合は、電話帳の検索画面で≪その他≫→「シークレット一時解除」をタップし、一時的にシークレットモード設定を表示してから操作します。

電話帳から電話をかける

① 電話帳の詳細画面で📞

- 電話帳に複数の電話番号が登録されている場合は、電話をかけたい電話番号の📞をタップします。

② 電話の発信操作

■ 音声電話をかけるとき

「音声発信」

■ TVコールをかけるとき

「TVコール発信」

■ 国際電話をかけるとき

「国際発信」（➔P.3-20 日本から国際電話をかけたい）

■ 発信者番号を通知／非通知にして音声電話／TVコールをかけるとき

「番号非通知」／「番号通知」→≪発信≫／≪TVコール≫

- 電話帳の一覧画面で目的の電話帳の📞をタップすると、音声電話をかけることができます。１つの電話帳に複数の電話番号が登録されている場合は、電話番号を選択する画面が表示されます。

- **スピード検索と検索結果からの発信**
「スピード検索設定」(➲P.13-20)を「On」に設定しているときは、電話をかけるときの電話番号入力時にキーパッドをタップすると、そのキーに割り当てられた文字に対応する「ヨミガナ」を先頭にもつ電話帳を検索し、名前と電話番号を表示します。電話帳を選択し、≪発信≫をタップすると音声電話、≪TVコール≫をタップするとTVコールをかけることができます。

電話帳を削除する

電話帳を選択して削除する

1 ≪電話≫→「電話帳」→≪削除≫

2 電話帳の削除操作

■ **本体またはUSIMカードの電話帳のみを表示しているとき**
削除したい電話帳をチェック→≪削除≫→「はい」

■ **本体とUSIMカードの電話帳を両方表示しているとき**
「個別」→削除したい電話帳の🗑→「はい」

電話帳をすべて削除する

930SC本体またはUSIMカードに保存されている電話帳をまとめて削除できます。

1 ≪電話≫→「電話帳」→≪削除≫

2 電話帳の削除操作

■ **本体またはUSIMカードの電話帳のみを表示しているとき**
「全チェック」→≪削除≫→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→「はい」

■ **本体とUSIMカードの電話帳を両方表示しているとき**
「全件」→「本体」/「USIM」/「本体とUSIM」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→「はい」

- 電話帳の詳細画面で≪削除≫→「はい」をタップしても電話帳を削除できます。

オーナー情報について

ご使用のUSIMカードに登録されている電話番号を確認できます。ご自分の名前やEメールアドレス、住所なども登録できます。

1 ≪電話≫→「オーナー情報」

名前なし
名前なし
090********
<Eメールアドレス>
編集 送信 リセット その他

- ≪メニュー≫→「電話帳」→「オーナー情報」を選択しても確認できます。

- オーナー情報に登録したホームページアドレスの をタップすると、ホームページへのアクセスができます。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.2-40

- オーナー情報の内容を編集したい
- オーナー情報をvファイルに変換して送信したい
- オーナー情報をリセットしたい
- vファイルを作成してオーナー情報をデータフォルダに保存したい
- Bluetooth®対応のプリンタでオーナー情報を印刷したい

データフォルダについて

データフォルダは、いろいろなデータを一括管理する機能です。

データフォルダの構成について

あらかじめ9個の種別フォルダが用意されています。各機能でデータを作成したり、Bluetooth®通信やインターネット、メールなどからデータを入手すると、ファイル形式に応じた種別フォルダに保存されます（下記参照）。
あらかじめ用意されている種別フォルダ内にサブフォルダを作成することもできます。

データフォルダ
- ピクチャー
- マイ絵文字
- 着うた・メロディ
- ミュージック
- ムービー
- デコレメールテンプレート
- Flash®
- 着信音 Flash®
- その他ファイル
- メモリ容量確認

あらかじめ用意されている種別フォルダ

フォルダ／概要	ファイル形式[1]
ピクチャー	
930SCで撮影した静止画などの画像ファイルを保存	JPEG、BMP、GIF、WBMP、PNG、Animation GIF
デジタルカメラ	
930SCで撮影した静止画を保存（メモリカードを取り付けているときのみ保存可能）	JPEG
マイ絵文字	
ダウンロードした絵文字を保存	GIF、GPK
着うた・メロディ	
ダウンロードしたメロディや、ボイスレコーダーで録音した音声などのファイルを保存	SMAF、MIDI、SP-MIDI、SMF、Mobile XMF、MPEG4 Audio、AMR

フォルダ／概要	ファイル形式[1]
ミュージック	
ダウンロードした着うたフル®を保存	MPEG4 Audio（mp4、m4a、aac、3gp）、smc
ムービー	
930SCで撮影した動画などのファイルを保存	MPEG4（mp4、3gp）
デコレメールテンプレート	
S!メールで作成したテンプレート	HMT
Flash®	
Flash®ファイルを保存	SWF
着信音Flash®	
ダウンロードしたFlash®ファイルの中で着信音に設定できるファイルのみ保存	SWF

フォルダ／概要	ファイル形式[1]
その他ファイル	
表示の際にドキュメントビューアが必要なファイル、グラフィックスのほか、vファイル[2]などを保存	vCard、vCalendar、vBookmark、EML、PDF、XLS、DOC、PPT、TXT、HTML、非サポートファイル

1 ファイル形式に応じて振り分けられます。対応していないファイルは、フォルダ間の移動や保存ができません。

2 vファイルとは、電話帳などの情報をインターネット経由で交換するためのファイル形式の規格です。930SCでは、電話帳の情報を交換するためのvCard（拡張子：vcf）、スケジュール／予定リストの情報を交換するためのvCalendar（拡張子：vcs）、ブックマークの情報を交換するためのvBookmark（拡張子：vbm）のファイル形式を利用できます。

- 1件の種別フォルダ内には、フォルダとファイルを合わせて最大999件保存できます。
- 「メモリ容量確認」を選択すると、データフォルダのフォルダごとのメモリ使用状況を確認できます。「設定」からも同じ操作を行うことができます（➲P.2-33）。
- データフォルダで をタップすると、メモリカードのデータフォルダに切り替わり、 をタップすると、930SC本体のデータフォルダに戻ります。
- ／ をタップして、リスト表示とサムネイル表示を切り替えることができます。
- 種別フォルダ内に表示される ／ は、ダウンロードサイトへのショートカットです。選択すると、インターネット上のダウンロードサイトに接続できます。

ファイルを確認する

1. **≪メニュー≫→「データフォルダ」**
2. **ファイルの保存場所を選択**
3. **一覧画面でファイルを選択**

- ファイルの一覧に表示されるアイコン
  - ：転送不可
  - ：転送不可かつ利用不可
  - ：保護あり
  - ：著作権保護ファイル（転送可、コンテンツ・キー有効）
  - ：著作権保護ファイル（転送可、コンテンツ・キー期限切れ）
  - ：著作権保護ファイル（転送不可、コンテンツ・キー有効）
  - ：著作権保護ファイル（転送不可、コンテンツ・キー期限切れ）
  - ：壁紙の設定あり（➲P.2-44）／着信音の設定あり（➲P.2-44）
- プリインストール以外の転送不可ファイルと著作権保護ファイルは利用できません。

- **データフォルダからのカメラ／ボイスレコーダー起動**
  「ピクチャー」フォルダを表示中、≪その他≫→「カメラ起動」をタップすると、静止画撮影モードのカメラが起動します。同様に、「ムービー」フォルダを表示中、≪その他≫→「ビデオカメラ起動」をタップすると、動画撮影モードのカメラが起動します。
  「着うた・メロディ」フォルダを表示中、≪その他≫→「録音」をタップしたときは、ボイスレコーダーが起動します。
  各フォルダにファイルが1つもないときは、「カメラ起動」／「ビデオカメラ起動」／「録音」のメニューはツールバーに表示されます。

注意

- **JPEGファイルの編集は、ファイルサイズが3Mバイト以下かつ解像度が5000×5000以下の場合のみ可能です。JPEGファイル以外のファイルの編集は、3Mバイト以下かつ解像度が1600×1600以下の場合のみ可能です。**
  また、JPEGファイルの拡大／縮小は、すべてのサイズに対して可能です。アニメーションGIFファイルの場合、データにより拡大／縮小できるサイズが異なります。その他のファイルの拡大／縮小は、3Mバイト以下で解像度が5000×5000以下の場合のみ可能です。
- **音楽の再生中は、「ムービー」フォルダの一覧画面などに、ムービーのサムネイルは表示されません。**

イメージビューアで画像ファイルを確認する

静止画を縦表示／横表示で確認できます。横長の静止画は、930SCを横にすると自動的に回転し、大きく表示されます。

- 本書では、縦表示で説明を記載しています。

1 ≪メニュー≫→「データフォルダ」→「ピクチャー」

2 ファイルを選択

ツールアイコン

- 930SCを縦／横にすると、画面も合わせて切り替わります。
- 画面をタップすると、ツールアイコンとツールバーの表示／非表示を切り替えます。表示後約3秒経過すると、非表示になります。

3 画像をスクロールして次を表示

- データによっては、表示されない場合があります。
- 「ピクチャー」フォルダの一覧画面で画像ファイルを選択すると、自動的にイメージビューアが起動します。

グラフィックス／アニメーションを確認する

グラフィックスやアニメーションは、縦表示または横表示で確認できます。

- 本書では、縦表示で説明を記載しています。

1 ≪メニュー≫→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択

2 ファイルを選択

3 ▶をタップ

- ⏸をタップすると一時停止できます。
- Ⓡをタップするとリプレイします。

- データフォルダ内のSWF形式のファイルを確認できます。
- データによっては、表示されない場合があります。
- データフォルダの一覧画面で該当するファイルを選択すると、自動的にFlash® ビューアが起動します。

画像を拡大／縮小する

1 ≪メニュー≫→「データフォルダ」→「ピクチャー」→画像を選択

2 🔍→🔍／🔍をタップして倍率を調節

- 🔍→△／▽を押しても倍率を調節できます。

3 ≪OK≫

- ⬚をタップすると、画面の高さに合わせて画像を表示します。⬚をタップすると、画面の幅に合わせて画像を表示します。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.2-41

- 著作権保護ファイルのコンテンツ・キーを購入または取得したい

フォトアルバムを利用する

フォトアルバムでは、本体／メモリカードに保存したJPEG形式の静止画を確認できます。画面をタップしたり、930SCを斜めにしたりすることでファイルの操作ができます。
フォトアルバムは、930SCを横にして操作します。

1 ≪メニュー≫→「フォトアルバム」

2 フォルダを選択

3 ファイルを選択

- ファイルによっては表示されない場合があります。
- フォルダ一覧／ファイル一覧では、画面をドラッグする以外に930SCを斜めにしてもスクロールできます。
- ファイル一覧では、≪レイアウト切替≫をタップして、２枚表示／４枚表示を切り替えられます。
- 画像をタップすると、タップした位置を中心に拡大して表示できます。また、画像をスクロールして確認することもできます。表示をもとに戻すときは、画像の外側をタップするか、CLEARを押します。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.2-41

- 表示している静止画を各種の画面に設定したい
- 表示しているファイルを送信したい
- 表示している静止画を編集したい
- 表示している静止画を使ってお絵かきアニメをしたい
- 表示しているファイルを削除したい

ファイル／フォルダの管理

フォルダを作成する

種別フォルダ内にサブフォルダを作成できます。
自分で作成したサブフォルダに「シークレット設定」を設定すると、非表示にできます。

1. **≪メニュー≫→「データフォルダ」**
2. **サブフォルダを作成したい種別フォルダを選択**
3. **≪その他≫→「データ管理」→「フォルダ作成」**
   - フォルダ内にサブフォルダもファイルもない場合は、ツールバーのメニューが異なります。
4. **名前を入力**

- サブフォルダの中にサブフォルダを作成することはできません。

ファイル名／フォルダ名を編集する

1. **≪メニュー≫→「データフォルダ」**
2. **種別フォルダを選択→≪その他≫→「データ管理」→「フォルダ・ファイル名変更」**
3. **名前を編集したいサブフォルダ／ファイルを選択**
4. **名前を入力**

- ファイルが保護されていると、ファイル名を編集できません。

ファイル／フォルダを移動する

メモリカードを取り付けているときは、930SC本体とメモリカードの間でもファイル／フォルダ移動ができます。

1. **≪メニュー≫→「データフォルダ」**
2. **種別フォルダを選択→≪移動≫→「フォルダ」／「ファイル」**
3. **移動したいサブフォルダ／ファイルをチェック→≪移動≫**
4. **移動先を選択**
   - メモリカードを取り付けているときは、[本体アイコン]／[SDアイコン]をタップして本体／メモリカードを切り替えることができます。

- ファイルが保護されていると、移動できません。
- 移動先にすでに同名のファイル／フォルダがあったときは、移動するファイルまたはフォルダの名前を編集する必要があります。表示された文字入力画面に新しい名前を入力してください。
- 壁紙や着信音などに設定しているファイルをメモリカードへ移動するときは、確認メッセージが表示されます。「はい」をタップすると設定は解除され、移動が完了します。複数または全件移動するときに「いいえ」をタップすると、設定されていないファイルのみを移動します。移動を中止するときはCLEARを押します。

注意

- **930SCでダウンロードしたファイルは、他の携帯電話に移動したときや930SCに異なるUSIMカードを挿入したときには、表示や再生ができない場合があります。**
- **転送不可かつ利用不可ファイル（ ）、保護ありファイル（ ）、転送不可の著作権保護ファイル（ 、 ）はメモリカードに移動できません。**

ファイル／フォルダをコピーする

コピーを作成して、別のフォルダ内またはフォルダの外に貼り付けることができます。メモリカードを取り付けているときは、930SCとメモリカードの間でも貼り付け操作ができます。

1 ≪メニュー≫→「データフォルダ」

2 種別フォルダを選択→≪コピー≫→「フォルダ」／「ファイル」

3 コピーしたいサブフォルダ／ファイルをチェック→≪コピー≫

4 コピー先を選択

- メモリカードを取り付けているときは、 ／ をタップして本体／メモリカードを切り替えることができます。

- フォルダ／ファイルのコピーをコピー元と同じ場所に貼り付けると、貼り付けたファイルまたはフォルダに、自動的に「_001」などが付き、別名で保存されます。
- 貼り付け先にすでに同名のフォルダ／ファイルがあったときは、貼り付けるファイルまたはフォルダの名前を編集する必要があります。表示された文字入力画面に新しい名前を入力してください。

注意

- **転送不可のファイルはコピーできません。**

ファイル／フォルダを削除する

1 **≪メニュー≫→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→≪削除≫**

2 **削除したいサブフォルダ／ファイルをチェック→≪削除≫→「はい」**

- 「全チェック」をタップした場合は、操作用暗証番号を入力→≪OK≫→「はい」をタップします。

- 壁紙や着信音などの設定や、保護を設定しているファイルを削除するときは、確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定は解除され、削除を実行します。複数または全件削除するときは、「いいえ」を選択すると設定や保護のないファイルのみが削除されます。
- コンテンツ・キーがあるファイルを削除すると、確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると、コンテンツ・キーも削除されます。

使いこなしチェック！

便利☞P.2-42

- 静止画を使って画像を編集したい
- 静止画を使ってお絵かきアニメをしたい
- 画像を自動的に切り替えながら確認したい
- ファイルを送信したい
- 静止画をUSB接続／Bluetooth®通信で接続したプリンタで印刷したい
- ファイルを並べ替えたい
- コンテンツ・キーを削除したい
- サブフォルダにシークレット設定をしたい
- シークレット設定を一時的に解除したい
- 静止画撮影モードのカメラを起動したい
- 動画撮影モードのカメラを起動したい
- ボイスレコーダーを起動したい
- ファイルの保護／保護を解除したい
- 画像ファイルを各種の画面に設定したい
- サウンドファイルを通常モードの着信音に設定したい
- 動画ファイルを通常モードの着信音に設定したい
- vファイルを各機能に取り込みたい

顔リンクを利用する

顔リンクのデータを登録する

静止画の人物の顔に電話帳の情報をリンクさせ、静止画から電話をかけたりメールを送信したりできます。
1枚の静止画につき、最大5件の情報を登録できます。

静止画を撮影して登録する

1 ⊖（2秒以上）

2 ■→「カメラ」→「顔リンク表示」の「On」

3 ⊖

不明
保存 送信 ファイル名変更 登録

●顔リンク表示を「On」に設定しないと登録できません。
●撮影後に顔が認識されると、静止画の顔部分に枠が表示されます。
●すでに顔リンクのデータを登録済みの場合は、登録された名前が表示されます。登録されていない場合は、「不明」と表示されます。
●撮影後に顔が認識されなかった場合は、枠は表示されず、画像を保存するとカメラの撮影画面に戻ります。

4 データを登録する顔リンクをタップ

5 電話帳を検索し、選択（➔P.2-18）

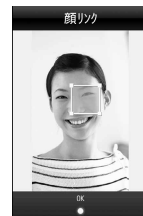
保存した画像にデータを登録する

1 ≪メニュー≫→「データフォルダ」→「ピクチャー」

2 ファイルを選択

3 ≪その他≫→「顔リンク設定」

4 ≪顔リンク追加≫

5 枠をドラッグし、顔の位置にドロップ

顔リンク
OK

6 枠の角点をドラッグして大きさを調整

顔リンク
OK

7 ≪OK≫

8 電話帳を検索し、選択（➔P.2-18）

- 顔が認識されていてまだデータが登録されていない画像の場合、操作❸のあと「不明」をタップし、電話帳を選択するとデータを登録できます。
- 登録した顔リンクのデータは、操作❸のあと≪その他≫→「電話帳表示」をタップすると、登録した電話帳の詳細情報が確認できます。
- メモリカードに保存した画像には、顔リンクを設定できません。

顔リンクを利用する

顔リンクのデータが登録された静止画から、電話をかけたりメールを送信したりすることができます。

登録した画像から電話／メールをする

❶ **≪メニュー≫→「データフォルダ」→「ピクチャー」**

❷ **ファイルを選択→≪その他≫→「顔リンク設定」→≪発信≫**
- 複数の顔リンクが設定されている場合は、≪発信≫→利用する顔リンクをタップします。

❸ **顔リンクのデータからの選択操作**

■ 音声電話をかけるとき
「音声通話」

■ TVコールをかけるとき
「TVコール」

■ S!メールを送信するとき
「S!メール」→（➔P.4-3 S!メールを送信する❺）

■ SMSを送信するとき
「SMS」→（➔P.4-7 SMSを送信する❺）

- 顔リンクを設定した画像を壁紙にしている場合は、待受画面から顔リンクを利用できます。待受画面で[キー]→利用する顔リンクをタップし、操作❸を行います。

登録した顔リンクのデータをメールで送信する

❶ **≪メニュー≫→「データフォルダ」→「ピクチャー」**

❷ **ファイルを選択→≪その他≫→「顔リンク設定」**

❸ **≪その他≫→「メール添付送信」→確認メッセージが表示されたら「はい」／「いいえ」**
- 「はい」を選択すると画像と電話帳のデータを添付し、「いいえ」を選択すると画像のみを添付します。

❹ **メールの送信操作（➔P.4-3 S!メールを送信する❷）**

使いこなしチェック！

便利 ☞P.2-45
- 顔リンクの画像を各種の画面に設定したい
- 登録したデータの他の顔リンク画像を確認したい

メモリカードを利用する

930SCはmicroSD™メモリカードおよびmicroSDHC™メモリカードに対応しています。メモリカードを利用する場合は、市販のメモリカードを購入してください。

- 930SCで利用するmicroSD™メモリカードおよびmicroSDHC™メモリカードは、64Mバイト、128Mバイト、256Mバイト、512Mバイト、1Gバイト、2Gバイト、4Gバイト※のメモリカードを推奨します。
  ※ microSDHC™メモリカードのみ推奨

注意

- **大切なデータを失わないために**
  メモリカードに登録した内容は、事故や故障などにより消失または変化してしまうことがあります。大切なデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **メモリカードには、ライトプロテクトがありません。データの消去や上書きなどにご注意ください。**

メモリカードの取り扱いについて

次の点にご注意ください。

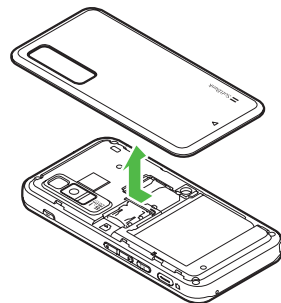
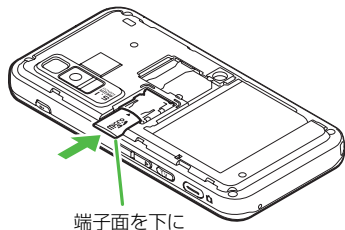
- 推奨のものを使用してください。推奨以外のメモリカードを使用すると、正しく動作しないことがあります。
- ラベルやシールなどを貼り付けないでください。メモリカードは非常に薄く、精密に作られているため、ラベルやシール程度の厚みでも接触不良やデータの破壊などの原因となることがあります。
- 分解や改造などをしないでください。
- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水にぬらすなどしないでください。
- 端子部分を手や金属で触れないでください。
- 高温になる所、湿度が高い所、ほこりが多い所には置かないでください。
- 腐食性のガスなどが発生する所には置かないでください。
- 火気に近づける、火の中に投げ込むなどしないでください。
- メモリカードには寿命があります。長期間使用するとデータが書き込めなくなることがあります。

メモリカードを取り付ける／取り外す

取り付けや取り外しをするときは、必ず電源を切ってください。

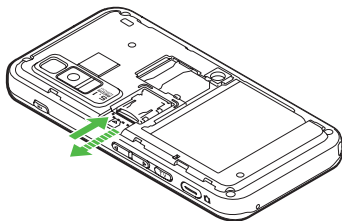
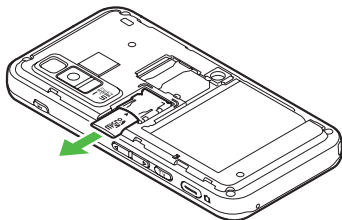
取り付ける

1 電池カバーを取り外す

2 共通機能／操作

2 メモリカードの端子部分を下にしてメモリカードスロットに差し込み、「カチッ」と音がするまで押し込む

端子面を下に

3 電池カバーを取り付ける

取り外す

1 電池カバーを取り外し、「カチッ」と音がするまでメモリカードを軽く押し込む

2 メモリカードから手を離し、メモリカードが少し飛び出したら取り出す

3 電池カバーを取り付ける

- メモリカードをデータフォルダ表示中に取り外すと、930SC本体のデータフォルダ表示に切り替わります。

注意

- 無理に取り付けたり取り外したりすると、メモリカードや930SCが破損することがありますのでご注意ください。
- 取り外したメモリカードは、紛失しないようにご注意ください。
- メモリカードの取り付けや取り外しを行うときは、端子部分に不用意に触れたり、傷をつけたりしないでください。
- データの読み込み中や書き込み中は絶対にメモリカードや電池パックを取り外さないでください。メモリカードや930SCが破損することがあります。

使いこなしチェック！

設定

- メモリカードの詳細情報を確認する（☞P.13-31）
- メモリカードの表示名を編集する（☞P.13-31）
- メモリカードをフォーマット（初期化）する（☞P.13-31）
- データの保存先を930SC本体／メモリカードに指定する（☞P.13-32）

メモリ容量を確認する

次の情報を確認できます。

- SMS および S! メールのメールボックスの使用状況
- データフォルダのメモリ使用状況
- カレンダー／予定リストの種別の登録状況の確認
- メモ帳のメモリ使用状況
- 電話帳（930SC本体およびUSIMカード）の登録状況

1 ≪メニュー≫→「設定」→「メモリ設定」→「メモリ容量確認」

メモリ容量確認
メール
データフォルダ
カレンダー／予定リスト
メモ帳
電話帳

2 確認する項目の選択操作

■ メールの容量を確認するとき

「メール」

- メールのサイズ容量が表示されます。
- メールの件数容量を確認したいときは、プルダウンメニューから「件数」を選択します。
- USIMカード内に保存したSMSの件数は、メール（件数）画面でのみ確認できます。

■ データフォルダの容量を確認するとき

「データフォルダ」→「本体メモリ」／「メモリカード」

■ カレンダー／予定リストの容量を確認するとき

「カレンダー／予定リスト」

■ メモ帳の容量を確認する

「メモ帳」

■ 電話帳を確認するとき

「電話帳」

使いこなしチェック！

便利 ☞P.2-46

- 登録／保存した内容を削除してメモリを整理したい

設定

- 930SC本体のメモリの詳細情報を確認する（☞P.13-31）
- 930SC本体のメモリを消去する（☞P.13-31）
- メモリ容量を確認する（☞P.13-32）

便利

待受画面の設定に関する便利な機能

静止画を拡大して表示させたい [ズーム]

≪メニュー≫→「設定」→「ディスプレイ設定」→「壁紙」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→≪ズーム≫→ / をタップして倍率を調節→≪設定≫

- ≪元に戻す≫をタップするともとの表示に戻ります。

静止画を回転して表示させたい [回転]

≪メニュー≫→「設定」→「ディスプレイ設定」→「壁紙」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→≪回転≫→ / →≪設定≫

- ≪元に戻す≫をタップするともとの表示に戻ります。

スライドショーを編集したい

≪メニュー≫→「設定」→「ディスプレイ設定」→「壁紙」→「スライドショー」

■ **静止画を変更するとき**

変更したい静止画を選択→「画像変更」→ファイルの保存場所を選択→設定したい静止画を選択→≪保存≫→「はい」／「いいえ」

■ **静止画の順序を変更するとき**

≪順序変更≫→順序を変更したい静止画をドラッグし、挿入する位置へドロップ→≪OK≫→≪保存≫→「はい」／「いいえ」

■ **静止画を削除するとき**

削除したい静止画を選択→「リセット」→「はい」→≪保存≫→「はい」／「いいえ」

- 画像を画面サイズに合わせて表示するときは「はい」を、もとの縦横比のまま全体を表示するときは「いいえ」を選択します。

便利

文字入力に関する便利な機能

よく使う文を定型文に登録したい [新規作成]

≪メール≫→「テンプレート」→「定型文」→≪新規作成≫→文を入力

- 定型文は、最大70文字まで登録できます。

定型文を編集したい

≪メール≫→「テンプレート」→「定型文」→編集したい定型文をタップ→文を編集

定型文を削除したい [削除]

≪メール≫→「テンプレート」→「定型文」→≪削除≫→削除したい定型文をチェック→≪OK≫→「はい」

- 「全チェック」をタップした場合は、操作用暗証番号を入力→≪OK≫→「はい」をタップします。

範囲を指定して文字のコピー／カットをしたい　［コピー］／［カット］

文字入力画面で≪編集≫→「コピー」／「カット」→コピー／カットをする最初の文字をタップして≪始点≫→最後の文字をタップして範囲を指定→≪終点≫

- 文字入力画面上のすべての文字をコピー／カットする場合は、≪全て≫をタップします。
- コピー／カットを行うと、コピー／カットをした内容は電源を切っても保持されます。

コピー／カットした文字を貼り付けたい　［貼り付け］

文字入力画面で文字を貼り付ける位置にカーソルを移動→≪編集≫→「貼り付け」

文字をもとに戻したい　［元に戻す］

文字入力画面で≪編集≫→「元に戻す」

- 漢字／かな入力モードで直前に行った文字の入力や切り取り、貼り付け、削除などの操作をもとに戻すことができます。変換した文字をもとに戻すこともできます。

入力文字エリアを大きく表示したい

文字入力画面で

Eメールアドレスや URL を簡単に入力したい

Eメールアドレスや URL の文字入力画面で≪その他≫→必要に応じて「挿入」→「簡単アドレス入力」→項目を選択

便利

ユーザ辞書に関する便利な機能

ユーザ辞書の登録内容を削除したい　［削除］

≪メニュー≫→「設定」→「一般設定」→「ユーザ辞書」→「辞書編集」→≪削除≫→削除したいユーザ辞書をチェック→≪削除≫→「はい」

- 「全チェック」をタップした場合は、操作用暗証番号を入力→≪OK≫→「はい」をタップします。

学習情報をリセットしたい

≪メニュー≫→「設定」→「一般設定」→「ユーザ辞書」→「学習リセット」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→「はい」

- メール本文の入力画面で≪その他≫→「入力／変換設定」→「ユーザ辞書リセット」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→「はい」をタップしてもリセットできます。

便利

電話帳に関する便利な機能

電話帳に情報を登録したい［新規登録］

≪電話≫→「電話帳」→≪新規登録≫

■ **グループを登録するとき**

→グループ欄をタップ→項目を選択→≪保存≫

■ **シークレットモードを設定するとき**

→シークレットモード欄をタップ→「On」／「Off」→≪保存≫

■ **誕生日を登録するとき**

→誕生日欄をタップ→生年月日を入力→≪保存≫

■ **血液型を登録するとき**

→血液型欄をタップ→項目を選択→≪保存≫

■ **趣味を登録するとき**

→趣味欄をタップ→内容を入力→≪保存≫

■ **会社を登録するとき**

→会社欄をタップ→会社名を入力→≪保存≫

■ **役職を登録するとき**

→役職欄をタップ→役職名を入力→≪保存≫

■ **住所を登録するとき**

→住所欄をタップ→郵便番号欄をタップ→郵便番号を入力→国欄をタップ→国名を入力→都道府県欄をタップ→都道府県名を入力→市町村欄をタップ→市町村名を入力→番地欄をタップ→番地を入力→追加情報欄をタップ→追加情報を入力→≪OK≫→項目を選択→≪保存≫

■ **ホームページのURLを登録するとき**

→ホームページ欄をタップ→URLを入力→項目を選択→≪保存≫

■ **メモを登録するとき**

→メモ欄をタップ→内容を入力→≪保存≫

- グループ以外はUSIMカードの電話帳には登録できません。

電話帳に着信画像を設定したい

≪電話≫→「電話帳」→≪新規登録≫→

■ **保存された画像を設定するとき**

「ピクチャー」→ファイルを選択→≪保存≫

- メモリカードを取り付けているときは、「ピクチャー」フォルダと「デジタルカメラ」フォルダからファイルを選択できます。

■ **静止画を撮影して設定するとき**

「カメラ起動」→静止画を撮影→≪保存≫→≪保存≫

■ **設定した着信画像を解除するとき**

「Off」→≪保存≫

- メモリカードに保存されているファイルを着信画像や着信音などに設定すると、ファイルを930SC本体にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。

電話帳の情報を顔リンクとして静止画に登録したい

≪電話≫→「電話帳」→≪新規登録≫→［アイコン］→顔登録欄をタップ→画像を設定していない箇所を選択

■ **保存された静止画に登録するとき**

「ピクチャー」→ファイルを選択→登録する顔リンクをタップ→≪OK≫→≪保存≫

■ **静止画を撮影して登録するとき**

「カメラ起動」→静止画を撮影→登録する顔リンクをタップ→≪OK≫→≪保存≫

■ **顔リンクを解除するとき**

「オフ」→≪OK≫→≪保存≫

- 登録した顔リンクを変更する場合は、顔登録欄をタップ→変更する画像をタップ→「上書き」→登録操作を行います。
- 登録した顔リンクを解除する場合は、顔登録欄をタップ→解除する画像をタップ→「リセット」→≪OK≫→≪保存≫をタップします。

電話帳に着信音を設定したい

≪電話≫→「電話帳」→≪新規登録≫→［アイコン］→着信音欄をタップ

■ **音声着信／TVコール着信を設定するとき**

「音声着信」／「TVコール着信」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→≪OK≫→≪保存≫

■ **メール着信／S!ともだち状況着信を設定するとき**

「メール着信」／「S!ともだち状況着信」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→鳴動時間欄をタップ→時間を入力→≪OK≫→≪保存≫

- ファイル選択時に▶をタップするとファイルが再生されます。
- メモリカードに保存されているファイルを着信画像や着信音などに設定すると、ファイルを930SC本体にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。

電話帳にバイブレータを設定したい

≪電話≫→「電話帳」→≪新規登録≫→［アイコン］→バイブ欄をタップ→項目を選択→振動パターンを選択→≪OK≫→≪保存≫

- バイブパターン選択時に▶をタップするとバイブレータが振動します。

電話帳からメールを作成したい

≪電話≫→「電話帳」→メールを作成したい電話帳を検索し、選択（➲P.2-18）→宛先にする電話番号またはEメールアドレスの［メールアイコン］→「S!メール」／「SMS」→（➲P.4-3 S!メールを送信する❺、P.4-7 SMSを送信する❺）

- Eメールアドレスを選択した場合はS!メールになります。

電話帳からホームページに接続したい

≪電話≫→「電話帳」→ホームページが登録された電話帳を検索し、選択（➲P.2-18）→接続するホームページアドレスの［アイコン］→「はい」

- PCサイトブラウザで接続するときは「PCサイトブラウザ」をタップします。

電話帳をvファイルに変換して送信したい　[送信]

≪電話≫→「電話帳」→≪送信≫

■ **メールで送信するとき**

「メール添付」→送信したい電話帳を検索し、選択（➲P.2-18）→（➲P.4-3 S!メールを送信する❷）

■ **Bluetooth®で送信するとき**

「Bluetooth」→送信したい電話帳をチェック→≪送信≫→（➲P.12-7 データを送信する❷）

■ **赤外線で送信するとき**

「赤外線通信」→送信したい電話帳をチェック→≪送信≫（➲P.12-3）

- 電話帳の詳細画面で≪その他≫→「送信」をタップしても送信できます。

930SC本体とUSIMカードとの間で電話帳をコピーしたい

≪電話≫→「電話帳」

■ **選択してコピーするとき**

≪その他≫→「USIMにコピー」／「本体にコピー」→コピーしたい電話帳をチェック→≪コピー≫→「はい」

- 本体とUSIMカードの電話帳を両方表示している場合は、≪その他≫→「個別コピー」→コピーしたい電話帳の[アイコン]→「はい」をタップします。
- 電話帳の詳細画面で≪その他≫→「USIMにコピー」／「本体にコピー」をタップしてもコピーできます。
- 電話帳の検索方法をグループ検索にしている場合は、コピーする電話帳を検索し、選択→≪その他≫→「USIMにコピー」／「本体にコピー」→「はい」をタップしてコピーします。

■ **930SC本体／USIMカードに保存されている電話帳をまとめてコピーするとき**

≪その他≫→「全件コピー」→項目を選択→「はい」

電話帳を登録するときの保存先を設定したい　[保存先設定]

≪電話≫→「電話帳」→≪その他≫→「保存先設定」→項目を選択

USIMカードに保存されているサービス番号を表示したい　[サービス番号]

≪電話≫→「電話帳」→≪その他≫→「サービス番号」

- USIMカードの種類によっては、「サービス番号」の項目は表示されません。

電話帳のシークレット設定を一時的に解除したい　[シークレット一時解除]

≪電話≫→「電話帳」→≪その他≫→「シークレット一時解除」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫

- セキュリティ設定のシークレットモードを「表示しない」にしているときに、「シークレットモード-On」に設定した電話帳を一時的に表示することができます。
- 電話帳の検索方法をグループ検索にしている場合は、≪シークレット一時解除≫→操作用暗証番号を入力→≪OK≫をタップします。

メモリ使用状況を確認したい　[メモリ容量確認]

≪電話≫→「電話帳」→≪その他≫→「メモリ容量確認」

- 確認したメモリを削除するには≪削除≫をタップします（➲P.2-46 登録／保存した内容を削除してメモリを整理したい）。

電話帳を編集したい　[編集]

≪電話≫→「電話帳」→編集したい電話帳を検索し、選択（➲P.2-18）→≪編集≫→（➲P.2-16 電話帳に登録する❷）

- 「シークレットモード-On」に設定している電話帳を編集するときは、あらかじめセキュリティ設定のシークレットモードを「表示する」にします。

電話帳からスピードダイヤルに追加したい　[スピードダイヤル登録]

≪電話≫→「電話帳」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-18）→≪その他≫→「スピードダイヤル登録」→登録する番号欄を選択

電話帳からS!ともだち状況メンバーに追加したい　[S!ともだち状況登録]

≪電話≫→「電話帳」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-18）→≪その他≫→「S!ともだち状況登録」→電話番号を選択→「はい」

S!ともだち状況を表示したい　[S!ともだち状況表示]

≪電話≫→「電話帳」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-18）→≪その他≫→「S!ともだち状況表示」→電話番号を選択

vファイルを作成して「その他ファイル」フォルダに保存したい　[データフォルダに保存]

≪電話≫→「電話帳」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-18）→≪その他≫→「データフォルダに保存」→項目を選択→「はい」

- メモリカードを取り付けているときは、「メモリカード」を選択できます。

電話帳の詳細をBluetooth®対応のプリンタで印刷したい　[Bluetoothで印刷]

≪電話≫→「電話帳」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-18）→≪その他≫→「Bluetoothで印刷」→（➲P.7-12 Bluetooth®経由でプリントする❺）

表示をUSIMカード／930SC本体の電話帳に切り替えたい

≪電話≫→「電話帳」→[本体]→項目を選択

- 電話帳表示を変更すると、次に設定を変更するまで設定は保持されます。

電話番号を入力してから登録したい　[電話帳登録]

[キー]→電話番号を入力→≪電話帳登録≫

■ **新規で登録するとき**

「新規」→（➲P.2-16 電話帳に登録する❷）

■ **追加で登録するとき**

「更新」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-18）→電話帳の登録操作（➲P.2-16）

- 通話中に≪その他≫をタップして「電話帳登録」を選択しても、同様に登録できます。
- 姓名、ヨミガナ、Eメールアドレス、グループ以外の項目はUSIMカードの電話帳では登録できません。

グループ名を編集したい

≪メニュー≫→「電話帳」→「グループ設定」→「本体」／「USIM」→編集するグループを選択→グループ名欄をタップ→グループ名を入力→≪保存≫

グループの設定を変更したい

≪メニュー≫→「電話帳」→「グループ設定」→「本体」／「USIM」→編集するグループを選択

■ 着信画像を設定するとき

→項目を選択→着信画像を設定→≪保存≫

- 「ピクチャー」を選択した場合は、ファイルを選択します。
- 「カメラ起動」を選択した場合は、静止画を撮影します。

■ アイコンを設定するとき

アイコン設定欄をタップ→アイコンを選択→≪保存≫

■ 着信音を設定するとき

着信音欄をタップ→着信の種類を選択→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→≪OK≫→≪保存≫

- 「メール着信」／「S!ともだち状況着信」の着信音を設定するときは、着信音選択後、鳴動時間欄をタップ→時間を入力→≪OK≫→≪保存≫をタップします。

■ バイブレータを設定するとき

バイブ欄をタップ→着信の種類を選択→振動パターンを選択→≪OK≫→≪保存≫

- USIMカードのグループにはグループ名とアイコンのみ設定できます。
- 着信画像や着信音などを電話帳ごとの個別に設定している場合は、グループごとの設定よりもそちらが優先されます。

便利

オーナー情報に関する便利な機能

オーナー情報の内容を編集したい **[編集]**

≪電話≫→「オーナー情報」→≪編集≫→（➲P.2-16 電話帳に登録する❷）

オーナー情報をvファイルに変換して送信したい **[送信]**

≪電話≫→「オーナー情報」→≪送信≫

■ メールで送信するとき

「メール添付」→（➲P.4-3 S!メールを送信する❷）

■ Bluetooth®で送信するとき

「Bluetooth」→（➲P.12-7 データを送信する❷）

■ 赤外線で送信するとき

「赤外線通信」（➲P.12-3）

オーナー情報をリセットしたい **[リセット]**

≪電話≫→「オーナー情報」→≪リセット≫→「はい」

- USIMカードに登録されている電話番号を除くすべてのオーナー情報がリセットされます。

vファイルを作成してオーナー情報をデータフォルダに保存したい **[データフォルダに保存]**

≪電話≫→「オーナー情報」→≪その他≫→「データフォルダに保存」→項目を選択→「はい」

- メモリカードを取り付けているときは、「メモリカード」を選択できます。

Bluetooth®対応のプリンタでオーナー情報を印刷したい **[Bluetoothで印刷]**

≪電話≫→「オーナー情報」→≪その他≫→「Bluetoothで印刷」→（➲P.7-12 Bluetooth®経由でプリントする❹）

便利

ファイルの確認に関する便利な機能

著作権保護ファイルのコンテンツ・キーを購入または取得したい　[コンテンツ・キー再取得]

≪メニュー≫→「データフォルダ」→「ピクチャー」→ファイルの保存場所を選択→≪その他≫→「コンテンツ・キー再取得」→コンテンツ・キーを取得するファイルを選択→画面に従ってコンテンツ・キーを取得

SWF形式のグラフィックス／アニメーションを確認したい

≪メニュー≫→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択

■ **キーパッドを表示するとき**
≪キーパッド≫

■ **全画面表示／標準表示に切り替えるとき**
≪その他≫→「全画面表示」／「通常表示」

■ **画質を切り替えるとき**
≪その他≫→「画質」→項目を選択

表示しているファイルを削除したい

≪メニュー≫→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→🗑→「はい」

- ツールアイコンが表示されていないときは、画面をタップすると表示されます。

表示しているファイルの詳細を確認したい

≪メニュー≫→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→ⓘ

- ツールアイコンが表示されていないときは、画面をタップすると表示されます。

便利

フォトアルバムに関する便利な機能

表示している静止画を各種の画面に設定したい　[登録]

≪メニュー≫→「フォトアルバム」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→≪登録≫

■ **ディスプレイの壁紙に設定するとき**
「壁紙」→≪設定≫

■ **電話帳の着信画像に設定するとき**
「個別着信画像」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-18）→≪設定≫

■ **TVコールの代替画像に設定するとき**
「TVコール代替画像」→≪OK≫

表示しているファイルを送信したい　[送信]

≪メニュー≫→「フォトアルバム」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→≪送信≫

■ **メールで送信するとき**
「メール添付」→（➲P.4-3 S!メールを送信する❷）

■ **Bluetooth®で送信するとき**
「Bluetooth」→（➲P.12-7 データを送信する❷）

■ **赤外線で送信するとき**
「赤外線通信」（➲P.12-3）

表示している静止画を編集したい [画像編集]

≪メニュー≫→「フォトアルバム」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→≪編集≫→「画像編集」→（➲P.7-9 静止画を編集する❹）

表示している静止画を使ってお絵かきアニメをしたい [お絵かきアニメ]

≪メニュー≫→「フォトアルバム」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→≪編集≫→「お絵かきアニメ」→（➲P.7-10 お絵かきアニメ❸）

表示しているファイルを削除したい [削除]

≪メニュー≫→「フォトアルバム」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→≪削除≫→「はい」

便利

ファイル／フォルダの管理に関する便利な機能

静止画を使って画像を編集したい [画像編集]

≪メニュー≫→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→≪編集≫→「画像編集」→（➲P.7-9 静止画を編集する❹）

静止画を使ってお絵かきアニメをしたい [お絵かきアニメ]

≪メニュー≫→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→≪編集≫→「お絵かきアニメ」→（➲P.7-10 お絵かきアニメ❸）

画像を自動的に切り替えながら確認したい [スライドショー]

≪メニュー≫→「データフォルダ」→「ピクチャー」→最初に表示するファイルを選択→≪その他≫→「スライドショー」

- 一時停止する場合は画面をタップし、⏸をタップします。
- ⏮／⏭で前／次のデータを表示できます。

ファイルを送信したい [送信]

≪メニュー≫→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→≪その他≫→「送信」

■ メールで送信するとき

「メール添付」→ファイルを選択→（➲P.4-3 S!メールを送信する❷）

■ Bluetooth®で送信するとき

「Bluetooth」→送信したいファイルをチェック→≪送信≫→（➲P.12-7 データを送信する❷）

■ 赤外線で送信するとき

「赤外線通信」→送信したいファイルをチェック→≪送信≫（➲P.12-3）

静止画をUSB接続／Bluetooth®通信で接続したプリンタで印刷したい [印刷]

≪メニュー≫→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→≪その他≫→「印刷」

■ USBのとき

「USB」→印刷したいファイルをチェック→≪印刷≫→（➲P.7-12 USB接続でプリントする❹）

■ Bluetooth®のとき

「Bluetooth」→印刷したいファイルをチェック→≪印刷≫→（➲P.7-12 Bluetooth®経由でプリントする❹）

ファイルを並べ替えたい　[ソート]

≪メニュー≫→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→≪その他≫→「ソート」→項目を選択

- 次の項目で並び替えができます。
  - 日付の新しい順（「日付順」）
  - ファイル形式別（「ファイルタイプ順」）
  - ファイル名（「ファイル名順」）
  - ファイルのサイズの小さい順（「サイズ順」）
  - タイトル順（「タイトル順」）
  - コンテンツ・キーの状態別（「コンテンツ・キータイプ順」）
- 一覧にフォルダが含まれているときは、どの基準で並べたときも、先頭にフォルダが表示されます。
- 「ファイルタイプ順」を選択したときの並び順は、拡張子のアルファベット順で表示されます。
- 「ファイル名順」を選択したときの並び順は、数字→英字→日本語の順で表示されます。
- 「タイトル順」で並び替えられるファイルは、「着うた・メロディ」／「ミュージック」／「ムービー」／「デコレメールテンプレート」のファイルです。
- 「デコレメールテンプレート」のファイルは「ファイルタイプ順」で並び替えはできません。
- 「コンテンツ・キータイプ順」を選択したときの並び順は、著作権保護や転送の制限のないファイル→転送不可のファイル→著作権保護のファイル（コンテンツ・キー有効）→著作権保護のファイル（コンテンツ・キー期限切れ）→転送不可かつ利用不可のファイルの順に表示されます。

サウンドファイルや動画ファイルをプレイリストに追加したい

≪メニュー≫→「データフォルダ」→「着うた・メロディ」／「ミュージック」／「ムービー」→≪その他≫→「データ管理」→「プレイリストに追加」→追加するファイルをチェック→≪OK≫→プレイリストを選択

- プレイリストを新しく作成して追加するときは、追加画面で≪プレイリスト作成≫をタップします。

データフォルダ内のコンテンツ・キーを管理したい

≪メニュー≫→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→≪その他≫→「データ管理」→「コンテンツ・キー情報」→確認したいコンテンツ・キーを選択

- どのフォルダでコンテンツ・キー情報を表示しても、データフォルダおよびメモリカードに保存されているすべてのコンテンツ・キーが表示されます。
- コンテンツ・キーを持つファイルがない場合は「コンテンツ・キー情報」の項目は表示されません。

コンテンツ・キーを削除したい　[削除]

≪メニュー≫→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→≪その他≫→「データ管理」→「コンテンツ・キー情報」→≪削除≫→削除したいコンテンツ・キーをチェック→≪削除≫→「はい」

サブフォルダにシークレット設定をしたい　[シークレット設定]

≪メニュー≫→「データフォルダ」→シークレット設定したいサブフォルダの保存場所を選択→≪その他≫→「シークレット設定」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→シークレット設定したいフォルダをチェック→≪OK≫

- シークレット設定を解除する場合は、チェックを外します。

シークレット設定を一時的に解除したい　[シークレット一時解除]

≪メニュー≫→「データフォルダ」→フォルダの保存場所を選択→≪その他≫→「シークレット一時解除」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫

静止画撮影モードのカメラを起動したい　[カメラ起動]

≪メニュー≫→「データフォルダ」→「ピクチャー」→≪その他≫→「カメラ起動」

- 「ピクチャー」フォルダにデータが保存されていないときは≪カメラ起動≫をタップします。

動画撮影モードのカメラを起動したい　[ビデオカメラ起動]

≪メニュー≫→「データフォルダ」→「ムービー」→≪その他≫→「ビデオカメラ起動」

- 「ムービー」フォルダにデータが保存されていないときは≪ビデオカメラ起動≫をタップします。

ボイスレコーダーを起動したい　[録音]

≪メニュー≫→「データフォルダ」→「着うた・メロディ」→≪その他≫→「録音」

- 「着うた・メロディ」フォルダにデータが保存されていないときは≪録音≫をタップします。

ファイルの保護／保護を解除したい　[保護設定]

≪メニュー≫→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→≪その他≫→「保護設定」→保護したいファイルの🔓→≪OK≫

- 保護を解除する場合には🔒をタップします。
- 保護すると、ファイル名の編集やファイルの移動、削除などが制限されます。

画像ファイルを各種の画面に設定したい　[登録]

≪メニュー≫→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→≪登録≫

■ **ディスプレイの壁紙に設定するとき**

「壁紙」→プレビューを確認→≪設定≫

■ **電話帳の着信画像に設定するとき**

「個別着信画像」→設定したい電話帳を検索し、選択（➲P.2-18）→≪設定≫

■ **TVコールの代替画像に設定するとき**

「TVコール代替画像」→≪OK≫

- メモリカードに保存されているファイルを設定すると、ファイルを930SC本体にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。

サウンドファイルを通常モードの着信音に設定したい　[登録]

≪メニュー≫→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→≪停止≫→≪登録≫

■ **各機能の着信音に設定するとき**

「音声着信音」／「TVコール着信音」／「メール着信音」／「S!ともだち状況着信音」／「着信お知らせ機能着信音」／「S!速報ニュース着信音」／「配信確認着信音」

■ **各電話帳の着信音に設定するとき**

「個別着信音」→設定したい電話帳を検索し、選択（➲P.2-18）

- メモリカードに保存されているファイルを設定すると、ファイルを930SC本体にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。
- MPEG4ファイルのオーディオコーデックがAAC、AAC+、Enhanced AAC+の場合は、著作権保護ファイルのみ設定できます。ただし、使用回数に制限のある著作権保護ファイルは設定できません。

動画ファイルを通常モードの着信音に設定したい [登録]

≪メニュー≫→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→≪停止≫→≪登録≫

■ **各機能の着信音に設定するとき**

「音声着信音」／「TVコール着信音」

■ **各電話帳の着信音に設定するとき**

「個別着信音」→設定したい電話帳を選択（➔P.2-18）

- MPEG4（mp4、3gp）ファイルのオーディオコーデックがAAC、AAC+、Enhanced AAC+の場合は、著作権保護ファイルのみ設定できます。ただし、使用回数に制限のある著作権保護ファイルは設定できません。

vファイルを各機能に取り込みたい [登録]

≪メニュー≫→「データフォルダ」→「その他ファイル」→≪その他≫→「登録」→項目を選択→ファイルを選択

- データフォルダに保存されているvCardファイルやvCalenderファイルを電話帳やカレンダーに登録します。

便利

顔リンクに関する便利な機能

顔リンクの画像を各種の画面に設定したい [登録]

≪メニュー≫→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→≪登録≫

■ **ディスプレイの壁紙に設定するとき**

「壁紙」→≪設定≫

- ズームや回転の編集を行うと、顔リンクは解除されます。

■ **電話帳の着信画像に設定するとき**

「個別着信画像」→電話帳を検索し、選択（➔P.2-18）→≪設定≫

■ **TVコールの代替画像に設定するとき**

「TVコール代替画像」→≪OK≫

登録したデータの他の顔リンク画像を確認したい [リンク画像]

≪メニュー≫→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→≪その他≫→「顔リンク設定」→≪リンク画像≫

- 登録しているデータにリンクしている画像がすべて表示されます。

顔リンクの枠の部分を個別着信画像に設定したい

≪メニュー≫→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→≪その他≫→「顔リンク設定」→≪その他≫→「登録」→「個別着信画像」→電話帳を検索し、選択（➔P.2-18）→≪設定≫

- 顔リンクの枠の部分で切り取られた画像が個別着信画像として設定されます。

便利

メモリ容量確認に関する便利な機能

登録／保存した内容を削除してメモリを整理したい　[削除]

≪メニュー≫→「設定」→「メモリ設定」→「メモリ容量確認」→データを選択→≪削除≫→削除の対象とするデータを選択→削除したいデータをチェック→≪削除≫→「はい」

- 「全チェック」をタップした場合は、≪削除≫→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→「はい」をタップします。
- メールボックスやデータフォルダ、カレンダー／予定リスト、電話帳の内容を削除します。
- 削除する内容に機能や保護が設定されている内容が含まれているときは、削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると、削除が実行されます。「いいえ」を選択すると機能や保護の設定されていないファイルのみが削除されます。

電話

3

電話をかける

電話帳から電話をかける操作は「電話帳から電話をかける」(➲P.2-18)、TVコールをかける操作は「TVコールをかける」(➲P.3-5)を参照してください。

1 **[発信キー]→電話番号全桁(市外局番を含む)を入力**

090********

電話番号入力画面

2 **電話番号を確認→[発信キー]/≪発信≫**

3 **通話終了後[終話キー]**

- 電話番号を間違えたときは、[←]/[→]で消す数字の後ろにカーソルを移動して[Clear]をタップまたは[CLEAR]を押します。[Clear]をホールドまたは[CLEAR]を1秒以上押すと、すべての数字が消えます。

- 電話番号として「P(ポーズ)」を入力するには、[P-✗]を2回タップします。「+(国際コード)」を入力するには、[+0]をホールドします。
- 相手がお話し中のときは、[終話キー]を押して電話を切り、しばらくしてからかけ直してください。「オートリダイヤル」(➲P.13-28)を「On」に設定している場合は、自動的に電話を切ってリダイヤルする動作が繰り返されます。リダイヤルを停止するには、≪キャンセル≫をタップまたは[終話キー]を押します。
- ステレオイヤホンマイクを接続している場合は、「イヤホン通話」を「On」に設定すると、ステレオイヤホンマイクのスイッチを1秒以上押すだけで指定した電話番号に電話をかけることができます。電話を切るときもスイッチを1秒以上押します。
- 自動音声サービスなどでガイダンスに従って数字を入力するときは、[発信キー]を押してキーパッドを表示してから数字をタップします。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.3-20

- 入力した電話番号を電話帳に登録したい
- 入力した電話番号を宛先としたメールを作成したい
- 日本から国際電話をかけたい
- 自分の電話番号を通知するかどうかを設定して電話をかけたい
- 電話番号入力画面から電話帳検索画面に切り替えたい
- 電話番号入力画面から通話履歴画面に切り替えたい
- 着信中の電話に応答せず、着信を拒否して電話を切りたい
- 音声の送信を設定したい
- 通話中にスピーカーホン通話に切り替えたい
- 通話を保留にしたい
- 小さい声で通話したい
- ヘッドセットでの通話と本体での通話を切り替えたい
- 通話中に電話帳を検索したい
- 通話相手の電話番号を電話帳に登録したい
- 通話中に通話履歴を確認したい
- 通話中にメールを作成したい
- 通話中にプッシュトーンを送信したい
- 通話中に相手の声を録音したい
- 通話中にメモを作成したい

設定

- 国際コードを登録する(☞P.13-24)
- 国番号を追加/編集/削除する(☞P.13-24)
- 発信者番号の通知/非通知を設定する(☞P.13-28)
- 話し中だった相手に自動的にリダイヤルする(☞P.13-28)

電話を受ける

1 着信中に[通話キー]

2 通話終了後[終話キー]

- 「エニーキーアンサー」を「On」に設定している場合は、着信中に[▲]、[▼]を除くどのボタンを押しても音声電話を受けられます。
- 着信中に応答せずに保留にするには、≪応答保留≫をタップまたは[終話キー]を押します。保留を終了して通話をするには、保留中に≪通話≫をタップまたは[通話キー]を押します。
- 着信音量を調節するには、着信中に[▲]／[▼]を押します。
- ステレオイヤホンマイクを接続しているときは、着信中にステレオイヤホンマイクのスイッチを1秒以上押しても音声電話を受けられます。電話を切るときもスイッチを1秒以上押します。
- **電話に出なかったときの表示（不在着信）**
  かかってきた電話に出なかったときは、不在着信としてお知らせします。通知をタップすると、着信履歴（➲P.3-9）を確認できます。
- **着信音**
  相手の電話番号が電話帳に登録され、個別またはグループごとの着信音が設定されている場合は、設定されている着信音が鳴ります（➲P.2-37、P.2-40）。それ以外の場合は、モードごとに設定されている着信音が鳴ります（➲P.1-11）。
  セキュリティ設定のシークレットモードが「表示しない」の場合で、電話帳のシークレットモードが「シークレットモード-On」の相手から着信があったときは、モードごとに設定されている着信音が鳴ります。
- **電話がかかってきたときの表示**
  相手が電話番号を通知してかけてきたときは、ディスプレイに電話番号が表示されます。電話番号が電話帳に登録されている場合は、登録されている名前が表示されます。相手が電話番号を通知してこなかった場合は、「非通知設定」と表示されます。
  電話帳やグループに着信画像が設定されている場合は、画像も表示されます（➲P.2-37、P.2-40）。
  セキュリティ設定のシークレットモードが「表示しない」の場合で、電話帳のシークレットモードが「シークレットモード-On」の相手から着信があったときは、名前や画像は表示されません。
- **電話に出られないときの便利な機能**
  オプションサービスの転送電話サービスまたは留守番電話サービスをご利用になれます。着信中に≪転送≫をタップすると、すぐに転送先または留守番電話センターに転送できます（➲P.3-13、P.3-15）。また、着信中に≪留守録≫をタップすると、すぐに簡易留守録を利用することができます（➲P.3-4）。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.3-20

設定

- サイドキー操作で応答拒否する／着信音を消す（☞P.13-20）
- エニーキーアンサーを設定する（☞P.13-20）
- 電話番号を指定して着信の許可／拒否を設定する（☞P.13-27）
- 着信拒否する電話番号を登録する（☞P.13-27）
- 電話帳に登録していない番号からの着信の許可／拒否を設定する（☞P.13-27）
- 非通知着信の許可／拒否を設定する（☞P.13-27）
- 公衆電話からの着信の許可／拒否を設定する（☞P.13-27）
- 電話番号が通知不可能な着信の許可／拒否を設定する（☞P.13-28）

簡易留守録を利用する

電話に出られないとき、相手の用件を930SC本体に録音できます。用件は1件につき最長15秒間録音でき、3件まで保存できます。

簡易留守録を設定／解除する

1. ≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」→「簡易留守録」
2. 「On/Off」の「On」／「Off」

- 簡易留守録を設定すると、ディスプレイに[icon]が表示されます。
- 待受画面で[CLEAR]を1秒以上押しても、設定／解除が行えます。

注意

- 電波の届かない場所にいるときや930SCの電源を切っているとき、電波Offモード中は、簡易留守録を利用できません。着信ができない状況の場合は、オプションサービスの留守番電話サービスをご利用ください。
- 930SC本体のメモリ残量が600Kバイトより少ない場合は、簡易留守録を利用できません。

録音された用件を確認する

1. ≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」→「簡易留守録」→「録音メッセージ再生」
2. 用件を選択

- 簡易留守録に伝言メッセージが録音されると、ディスプレイに[icon]が表示されます。
- 待受画面で[CLEAR]を押しても、録音された用件を確認できます。

録音された用件を削除する

1. ≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」→「簡易留守録」→「録音メッセージ再生」→≪削除≫
2. 削除したい用件をチェック→≪削除≫→「はい」

TVコールを利用する

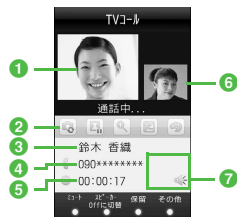
TVコールをご利用になる前に

TVコールに対応している携帯電話との間で、お互いの映像を見ながら通話できます。

- スピーカーホン通話（➔P.3-22）中は、受話音量を大きくすると会話しづらくなることがあります。この場合は音量を下げるか、ステレオイヤホンマイクをお使いになることをおすすめします。
- 周囲の騒音が大きい場所では、音声が途切れるなど良好な通話ができないことがあります。この場合はステレオイヤホンマイクをお使いになることをおすすめします。
- スピーカーホン通話のときは、相手の音声がスピーカーから流れます。ほかの人の迷惑にならないようにご注意ください。

注意

- ソフトバンクのTVコールと異なる方式の携帯電話と接続した場合に、通話が切れることがあります。このときも、切れるまでの通話料金が課金されます。

TVコール中の画面の見かた

❶大画面（通常は相手の映像）
タップすると、小画面と表示を切り替えることができます。

❷操作用アイコン
:アウトカメラに切替／インカメラに切替
／ :自画像の送信を一時停止／再開
:ズーム調整
:明るさ調整
:エフェクト

❸相手の名前

❹電話番号

❺通話時間

❻小画面（通常は自分の映像）
タップすると、大画面と表示を切り替えることができます。

❼状態アイコン
:ヘッドセットに切替
:私の音声ミュートOn
／ :スピーカーOff／スピーカーOn

TVコールをかける

音声電話をかけるときと同様に、電話帳や通話履歴なども利用できます。

1 **[発信キー]→電話番号全桁（市外局番を含む）を入力**

2 **≪TVコール≫**

3 **通話終了後[終話キー]**

●**TVコールがつながらなかったときの操作**
メニュー操作をうながす確認メッセージが表示されたときは「リトライ」を選択し、「音声電話」を選択して音声電話でかけ直したり、「メール作成」を選択して相手にメールを送信したりできます。「電話帳表示」を選択すると、登録している相手の電話帳の詳細画面を確認できます。「電話帳登録」を選択すると、相手の電話番号を本体またはUSIMカードの電話帳に登録できます。もう一度かけるときは「TVコール」を選択してください。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.3-22
- 自分の電話番号を通知するかどうかを設定してTVコールをかけたい
- 音声の送信を設定したい
- スピーカーホン通話と本体での通話を切り替えたい
- TVコール通話を保留にしたい
- 送信する画像を切り替えたい
- TVコール中の画像の表示を切り替えたい
- 相手画像を静止画／カメラに切り替えたい
- ヘッドセットでの通話と本体での通話を切り替えたい
- TVコール着信を自動で受ける相手を指定したい
- TVコール着信の自動応答に指定した相手を削除したい
- TVコール中に電話帳を検索したい
- 通話相手の電話番号を電話帳に登録したい
- 通話中にメールを作成したい
- プッシュトーンを送信したい
- TVコール中にメモを作成し、保存したい
- 相手の電話番号が登録されている電話帳の詳細画面を確認したい

設定
- 自画像の代わりに送信する代替画像を設定する（☞P.13-26）
- TVコール中の自画像の画質を調整する（☞P.13-26）

- TVコール中の保留画像をお買い上げ時の画像に設定する（☞P.13-26）
- TVコール中の保留画像について設定する（☞P.13-26）
- TVコール中にスピーカーホンを利用するかどうか設定する（☞P.13-26）
- TVコール中のバックライトの明るさを設定する（☞P.13-26）
- TVコールがつながらなかったときの動作を設定する（☞P.13-27）
- TVコール発信時の自画像の送信について設定する（☞P.13-27）
- 発信者番号の通知／非通知を設定する（☞P.13-28）
- 話し中だった相手に自動的にリダイヤルする（☞P.13-28）
- イヤホン通話を使う（☞P.13-28）
- 通話中の音量を調節する（☞P.13-28）

TVコールを受ける

1 TVコール着信中に[key]

- 自画像を送信するかどうかの確認メッセージが表示されたときは、「はい」／「いいえ」を選択します。

2 通話終了後[key]

- 「エニーキーアンサー」を「On」に設定している場合は、着信中に[key]、[key]を除くどのボタンを押してもTVコールを受けられます。
- TVコール着信中に応答せずに保留にするには、≪応答保留≫をタップまたは[key]を押します。保留を終了してTVコール通話を開始するには、保留中に≪再開≫をタップまたは[key]を押します。
- 着信音量を調節するには、TVコール着信中に[key]／[key]を押します。
- ステレオイヤホンマイクを接続している場合は、TVコール着信中にステレオイヤホンマイクのスイッチを1秒以上押しても受けられます。TVコールを切るときもスイッチを1秒以上押します。
- TVコールに応答せずに切るには、≪転送≫または≪拒否≫をタップします。
- 操作1で[key]を押した直後には自分の映像が大画面に表示されますが、この映像は相手に送信されていません。確認メッセージが表示された場合、自画像を送信するときは「はい」、代替画像を送信するときは「いいえ」を選択してください。選択操作後、TVコール通話が開始されると、小画面に自画像または代替画像が表示されます。
- 受話音量を調節するには、TVコール中に[key]／[key]を押します。
- カメラ画像の送信を停止したときは、相手には代替画像が送信されます。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.3-22

設定

- 自画像の代わりに送信する代替画像を設定する（☞P.13-26）
- TVコール中の相手画像の画質を調整する（☞P.13-26）
- TVコールに応答保留する際の画像をお買い上げ時の画像に設定する（☞P.13-26）
- TVコールに応答保留する際の画像について設定する（☞P.13-26）

- TVコール中の音声の送信について設定する（☞P.13-26）
- 指定した相手からのTVコール着信を自動で受ける（☞P.13-27）
- TVコール着信を自動で受ける相手を指定する（☞P.13-27）
- 電話番号を指定して着信の許可／拒否を設定する（☞P.13-27）
- 着信拒否する電話番号を登録する（☞P.13-27）
- 電話帳に登録していない番号からの着信の許可／拒否を設定する（☞P.13-27）
- 非通知着信の許可／拒否を設定する（☞P.13-27）
- 公衆電話からの着信の許可／拒否を設定する（☞P.13-27）
- 電話番号が通知不可能な着信の許可／拒否を設定する（☞P.13-28）
- 着信音調節機能を設定する（☞P.13-28）
- 着信時の応答方法を設定する（☞P.13-30）

スピードダイヤルを利用する

スピードダイヤルに登録する

よく電話をかける相手をスピードダイヤルに登録すると、簡単な操作で電話をかけることができます。スピードダイヤルは10件登録できます。

1 ≪メニュー≫→「電話帳」→「スピードダイヤル設定」

2 登録したい番号欄を選択

3 電話帳を検索し、選択（➔P.2-18）→登録したい電話番号を選択

- 登録した電話番号を変更するときは、≪メニュー≫→「電話帳」→「スピードダイヤル設定」→変更したい相手を選択→「上書き」→電話帳を検索し、選択（➔P.2-18）→登録したい電話番号を選択します。
- 登録した電話番号を削除するときは、≪メニュー≫→「電話帳」→「スピードダイヤル設定」→削除したい相手を選択→「リセット」→「はい」を選択します。
- 登録した電話番号をすべて削除するときは、≪メニュー≫→「電話帳」→「スピードダイヤル設定」→≪設定リセット≫→「はい」を選択します。
- 「シークレットモード-On」に設定している電話帳は、スピードダイヤルに登録できません。
- すでにスピードダイヤルに登録されている電話帳を、「シークレットモード-On」に設定した場合はスピードダイヤルから自動的に削除されます。

スピードダイヤルで電話をかける

1 [キー]→スピードダイヤルに登録済みの[0]〜[9]のいずれかをタップ

2 [キー]

- 操作1のあと、≪スピードダイヤル≫をタップして「音声通話」を選択しても、スピードダイヤルで電話をかけることができます。「TVコール」を選択するとTVコールをかけることができ、「S!メール」を選択するとメール作成画面に切り替わります。

通話時間／通話料金などを管理する

「通話後料金表示」は、ご契約の内容によりご利用になれない場合があります。また、「通話後料金表示」がご利用になれない場合、「通話料金上限設定」もご利用になれません。

通話データ管理の各項目から、次の操作ができます。

設　定	設定内容
累積	合計通話時間、合計通話料金の目安を確認、リセットできます。
直前の通話	前回の通話時間、通話料金の目安を確認、リセットできます。
累積データ通信量	累積送信データ量、累積受信データ量の目安を確認、リセットできます。
通話後料金表示	通話終了後に通話料金を表示するかどうか設定します。
通貨設定	通貨単位の変更ができます。
通話料金上限設定	通話料金の上限の設定ができます。

通話時間／通話料金／データ通信量などを確認する

1 ≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」→「通話時間・料金」

2 確認したい項目を選択

- 確認した項目をリセットするには、≪リセット≫をタップします。

使いこなしチェック！

設定

- すべての通話の合計通話時間／合計通話料金を確認する（☞P.13-24）
- 前回の通話時間／通話料金を確認する（☞P.13-24）
- 累積データ通信量を確認する（☞P.13-25）
- 通話終了後に通話料金を表示するかどうか設定する（☞P.13-25）
- 通話料金の通貨単位を変更する（☞P.13-25）
- 通話料金の限度額を設定する（☞P.13-25）
- 通話料金の限度額の設定を解除する（☞P.13-25）

通話履歴を利用する

通話履歴には、着信履歴（かかってきた電話の履歴）と発信履歴（かけた電話の履歴）があります。それぞれの履歴から相手の電話番号や通話時間などを確認したり、履歴を利用して電話をかけたりすることができます。着信履歴、発信履歴はそれぞれ500件まで記録されます。

通話履歴を確認する

1 （1秒以上）→「着信履歴」／「発信履歴」

着信履歴　発信履歴
佐藤　拓也　12月　15日　15:30
鈴木　香織　12月　15日　14:45
小林　大輔　12月　15日　13:37
中村　麻衣　12月　15日　11:14
削除

一覧画面（着信履歴の場合）

2 確認したい履歴を選択

- **履歴一覧のアイコン**
  履歴一覧には、音声電話、TVコールを識別するアイコンが表示されます。
  ：音声通話発信
  ：TVコール発信
  ：音声通話着信
  ：TVコール着信
  ：音声通話の不在着信
  ：TVコールの不在着信
  ：音声電話の着信拒否
  ：TVコールの着信拒否
  ：留守番電話のお知らせ
  ：着信のお知らせ
- セキュリティ設定のシークレットモードを「表示しない」に設定しているとき、「シークレットモード-On」に設定されている電話帳は、履歴には電話帳に登録された名前などの情報は表示されません。

通話履歴を使って電話をかける

1 （1秒以上）→「着信履歴」／「発信履歴」→目的の履歴を選択→目的の電話番号の

2 電話の発信操作

■ **音声電話をかけるとき**
「音声発信」

■ **TVコールをかけるとき**
「TVコール発信」

- 一覧画面で目的の履歴のをタップしても、音声電話をかけることができます。

通話履歴を削除する

1 [key]（1秒以上）→「着信履歴」／「発信履歴」

2 ≪削除≫→削除したい履歴をチェック→≪削除≫→「はい」

- 1通話ごとの履歴を確認し、削除するときは、操作1のあと、削除したい履歴を選択→履歴を確認後≪削除≫→「はい」を選択します。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.3-25

- 通話履歴の電話番号が登録されている電話帳の詳細画面を確認したい
- 通話履歴の電話番号を電話帳に登録したい
- 通話履歴の電話番号を着信拒否リストに追加したい

海外で利用する（世界対応ケータイ）

世界対応ケータイのご利用には、別途お申し込みが必要です。海外でのご利用の詳細については、『世界対応ケータイガイド』を参照してください。

海外にお出かけになるときは、『世界対応ケータイガイド』を携帯してください。

ネットワークモードを切り替える

お買い上げ時は自動的にネットワークモードが切り替わるように設定されています。手動で特定のネットワークモードを選択するように設定することもできます。

1 ≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「国際設定」→「3G/GSM選択」

2 設定の選択操作

■ 自動的にネットワークモードを選択させるとき

「自動」

■ 手動で特定のネットワークモードを選択するとき

「手動」→「3G/GSM」／「3G」／「GSM」

- **ネットワークモードの設定**

  「自動」：
  お使いの場所（ネットワークの状態）に応じて、自動的にモードが切り替わる

  「3G」：
  日本国内と海外の3G/UMTSサービスエリアで使用できるモード

  「GSM」：
  海外のGSMサービスエリアで使用できるモード

- 通常は「自動」に設定してお使いになることをおすすめします。

ネットワークを設定する

接続するネットワークを選択する

ご利用になる地域によって、ネットワーク（事業者）を切り替える必要があります。「手動」で切り替えることもできます。

1 ≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「国際設定」→「事業者設定」→「自動・手動選択」

2 設定の選択操作

■ 自動的にネットワークを選択させるとき
「自動」

■ 特定のネットワークを選択するとき
「手動」→ネットワークを選択

優先されるネットワークを設定する

ネットワーク選択を「自動」に設定したときに、優先的に選択されるネットワークの一覧を編集できます。

1 ≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「国際設定」→「事業者設定」→「優先度リスト」

2 優先度リストの編集操作

■ ネットワークリストから選択して追加するとき
≪追加≫→「ネットワークリスト」→追加したいネットワークを選択

■ ネットワークを新規追加するとき
≪追加≫→「新規ネットワーク」→国番号欄をタップ→国番号を入力→ネットワークコード欄をタップ→ネットワークコードを入力→ネットワーク名欄をタップ→ネットワーク名を入力→ネットワークタイプ欄をタップ→「GSM」／「3G」→≪追加≫

- 新規追加すると、一覧の最初にネットワークが追加されます。
- 操作1のあと、≪順序変更≫をタップすると優先順位を変更できます。変更したいネットワークをホールドし、選択されたのを確認後ドラッグして変更したい位置へドロップし、≪OK≫をタップします。
- 操作1のあと、≪削除≫をタップするとネットワークを削除できます。削除したいネットワークの🗑をタップします。
- **「新規ネットワーク」で設定できる項目は次のとおりです。**
  「国番号」：最大3桁
  「ネットワークコード」：最大3桁
  「ネットワーク名」：最大20桁
  「ネットワークタイプ」：GSM/3Gから選択

海外で電話をかける

1 [通話キー]→電話番号を全桁（市外局番を含む）入力→[通話キー]

2 電話の発信操作

■ **日本へ電話をかけるとき**
「日本へ」

■ **日本以外の国へかけるとき**
「他国番号付加」→発信したい国を選択

■ **滞在国の一般電話や携帯電話にかけるとき**
「このまま発信」

- 国番号などを直接入力して電話をかけるには、[+0]をホールドして「+」を入力します。続けて国番号、先頭の「0」を除いた電話番号の順に入力して[通話キー]を押すと発信できます。イタリアに電話をかける場合、先頭に「0」があるときは除かずにそのまま電話番号を入力します。
- 電話番号の最初に「＋国番号」が付く場合は、操作2が不要です。

使いこなしチェック！

設定
- 接続するネットワークを選択する（☞P.13-24）
- 優先されるネットワークをリストから設定する（☞P.13-24）
- 優先されるネットワークを新規追加する（☞P.13-24）
- ネットワーク自動調整を手動で行う（☞P.13-31）

オプションサービスの種類について

オプションサービスの種類は次のとおりです。

サービス	内　容
留守番電話サービス	電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします。 •「着信お知らせ機能」を設定すると、電源を切っているときや圏外のときにかかってきた電話をSMSでお知らせします（➔P.3-14）。
転送電話サービス	電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときに、かかってきた電話を指定した電話番号へ転送します。
割込通話サービス※	通話中の相手を保留にし、他の相手からの電話を受けたり、他の相手へ電話をかけることができます。また、相手を切り替えながら通話することもできます。

サービス	内　容
グループ通話サービス※	通話中に他の相手に音声電話をかけ、最大6人同時に通話できます。相手を切り替えながら通話することもできます。
発着信規制サービス	電話をかけたり受けたりすることを、状況に合わせて制限できます。
発信者番号通知サービス	お客様の電話番号を相手に通知したり、非通知にする設定ができます。

※ サービスのご利用には、別途お申し込みが必要です。

注意

●電波の届かない場所では、930SC からは操作できません。一般電話からの操作、サービスの詳細についてはソフトバンクホームページ（http://www.softbank.jp）でご確認ください。

留守番電話サービスを利用する

下記の転送条件に従って、かかってきた音声電話を留守番電話センターに転送します。

留守番電話サービスの種類は次のとおりです。

転送条件	内　容
呼出なし	着信音を鳴らさずに、すべての着信を転送します。不在着信も記録されません。
呼出あり	設定した呼出時間内に電話に出なかったときや、通話中または圏外などのために電話がつながらないときに転送します。

注意

●留守番電話サービスと転送電話サービスを同時に利用することはできません。

●すでに転送電話サービスを設定しているときに留守番電話サービスを設定すると、転送電話サービスは解除されます。

留守番電話サービスを設定する

1 ≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「留守番On」

2 項目の選択操作

■ すぐに転送電話につなぎたいとき

「呼出なし（0秒）」

■ 呼び出し時間を設定したいとき

「呼出あり（5-30秒）」→「5秒」／「10秒」／「15秒」／「20秒」／「25秒」／「30秒」

●「呼出あり」で留守番電話サービスを設定したときは、着信中（呼出時間の設定秒数内）に電話に出ると、そのまま通話できます。また、着信中に≪転送≫をタップすると、すぐに転送できます。

留守番電話サービスを解除する

1 ≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「留守番・転送全てOff」→「はい」

注意
- 転送電話サービスが設定されている場合も、解除されます。

留守番電話の伝言メッセージを聞く

留守番電話センターに伝言メッセージが録音されると、その旨の通知画面が表示され、ディスプレイにが表示されます。

アイコンとメッセージでお知らせする

通知画面

通知画面が表示されているときの操作

通知画面が表示されているときは、次のように操作すると留守番電話センターに接続できます。接続後はガイダンスに従って操作してください。

1 通知をタップ→目的の履歴の▶
- 伝言メッセージの詳細情報を確認するときは、通知画面で通知をタップ→目的の履歴を選択します。
- 伝言メッセージを聞かずに通知画面を消すときは、≪閉じる≫をタップします。

通知画面が表示されていないときの操作

1 → 「1416」を入力→

- ガイダンスに従って数字を入力するときは、を押してキーパッドを表示してから数字をタップします。
- 930SCから伝言メッセージを聞き、ガイダンスに従ってメッセージを消去すると、ディスプレイのが消えます。

着信お知らせ機能を設定する

留守番電話サービス設定中に、電波の届かない場所や電源が入っていなかったために受けられなかった着信があったときは、SMSでお知らせします。また、通話中に留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりした場合もお知らせします。

1 → 「1414」を入力→
- 国内の固定電話から設定するときは、「090-665-1414」にかけます。

2 ガイダンスに従って操作

- 通知されたSMSは、メールではなく着信履歴として管理されます。
- 着信お知らせ機能は、通話料無料で設定できます。

使いこなしチェック！

設定

- 呼び出し時間なしで留守番電話サービスを開始する（☞P.13-23）
- 呼び出し時間を設定して留守番電話サービスを開始する（☞P.13-23）
- 留守番電話サービス／転送電話サービスを解除する（☞P.13-23）
- 留守番電話サービス／転送電話サービスの設定を確認する（☞P.13-23）
- 留守番電話の伝言メッセージを聞く（☞P.13-23）
- 着信お知らせ機能を設定する（☞P.13-24）

転送電話サービスを利用する

あらかじめ設定した転送条件（➔P.3-13）に従って、かかってきた電話を別の電話番号に転送します。転送は、着信種別（音声電話、TVコール）ごとに設定できます。

注意

- **転送電話サービスと留守番電話サービスを同時に利用することはできません。**
- **すでに留守番電話サービスを設定しているときに転送電話サービスを設定すると、留守番電話サービスは解除されます。**

転送電話サービスを設定する

サービスを設定するときは転送先を指定します。「音声／TVコール」「音声通話」「TVコール」から、それぞれ転送先を指定することができます。

1. **≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「転送On」**
2. **「音声／TVコール」／「音声通話」／「TVコール」**
3. **「呼出なし（0秒）」／「呼出あり（5-30秒）」**
4. **転送先の設定操作**

■ 前回の転送先を設定するとき

「前回転送先番号」→前回の電話番号を選択

■ 電話帳から転送先を設定するとき

「電話帳」→電話帳を検索し、選択（➔P.2-18）→電話番号を選択

■ 電話番号を入力して設定するとき

「番号入力」→電話番号を入力

- 「呼出あり」で転送電話サービスを設定するときは、操作4の後に呼び出し時間を選択します。

- 「呼出あり」で転送電話サービスを設定したときは、着信中（呼出時間の設定秒数内）に電話に出ると、そのまま通話できます。また、着信中に≪転送≫をタップすると、すぐに転送できます。

転送電話サービスを解除する

転送条件にかかわらず、解除することができます。

1 ≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「留守番・転送全てOff」→「はい」

注意

- 留守番電話サービスが設定されている場合も、解除されます。

使いこなしチェック！

設定

- 転送電話サービスを設定する（☞P.13-23）
- 留守番電話サービス／転送電話サービスを解除する（☞P.13-23）
- 留守番電話サービス／転送電話サービスの設定を確認する（☞P.13-23）

割込通話サービスを利用する

サービスのご利用には、別途お申し込みが必要です。このサービスは、音声電話でのみご利用いただけます。

割込通話サービスを設定／解除する

1 ≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「割込通話」

2 「On」／「Off」

- 現在の設定を確認するには操作2で「設定確認」を選択します。

割込通話を受ける

通話中に着信があったときは、割り込み音と画面表示でお知らせします。通話中の電話を保留にして、あとからかかってきた電話を受けることができます。

1 割り込み音が聞こえたら≪通話≫

- ≪通話≫の代わりに[通話キー]を押すと、操作2が不要です。

2 「現在の通話を保留」

- 現在の通話を切って、あとからかかってきた電話に出るときは「現在の通話を終了」を選択します。
- 現在の通話と、あとからかかってきた電話の両方を切るときは「全ての相手と終話」を選択します。

3 相手を切り替えるときは、≪グループ通話機能≫→「相手切替」

4 通話の終了操作

■ 相手を選択して通話を切るとき

≪グループ通話機能≫→「個別に通話を終了」→通話を切りたい相手の[終話キー]

■ すべての通話を切るとき

≪グループ通話機能≫→「全ての相手と終話」

- 割込通話中に通話中の相手が電話を切ったときは、《再開》をタップすると、保留にしていた相手との通話になります。
- 転送電話サービスや留守番電話サービスを設定している場合に割り込みに応答しなかったときは、転送先または留守番電話センターに転送されます。転送条件を「呼出なし」に設定していると、割込通話サービスをご利用になれません。

使いこなしチェック！

設定

- 割込通話サービスを開始／解除する（☞P.13-23）
- 割込通話サービスの設定を確認する（☞P.13-23）

グループ通話サービスを利用する

サービスのご利用には、別途お申し込みが必要です。最大6人まで同時に通話できます。

通話中に別の相手に電話をかける

相手につながると、それまで通話していた相手は保留になります。

1 通話中に《その他》→「ダイヤル」→電話番号を入力

- 電話帳から選択するときは、「電話帳」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-18）→電話番号を選択します。

2 ［キー］／《発信》→つながったら通話

- 3人目以降に電話をかける場合は、グループ通話中でのみ可能です（保留中の相手がいるときはできません）。

通話相手を切り替える

1 複数の相手と通話中に《グループ通話機能》→「相手切替」

- 通話中の相手が電話を切っても、保留中の相手は保留状態のままです。保留中の相手と通話するには、《再開》をタップして保留を解除します。

すべての相手と通話する

1 複数の相手と通話中に《グループ通話機能》→「グループ通話に切替」

- 個別通話に切り替えるには、通話中に《グループ通話機能》→「個別通話に切替」→通話したい相手の［アイコン］をタップします。

- すべての通話を切るには、通話中に《グループ通話機能》をタップして「全ての相手と終話」を選択します。
- グループ通話中に相手が電話を切ったときは、残された相手との通話になります。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.3-25

- グループ通話中に相手を選択して通話を切りたい
- グループ通話中にすべての通話を保留にしたい

発着信規制サービスを利用する

音声電話やTVコールの発着信、SMSの送受信を、次の規制内容で制限できます。

設定項目		内　容
発信規制		
	全発信規制	緊急通話以外、電話をかけられない、またはSMSを送信できないようにします。
	滞在国以外規制	日本以外の国へ電話をかけられない、またはSMSを送信できないようにします。
	日本／滞在国以外規制	滞在国と日本以外の国へ、国際電話をかけられない、またはSMSを送信できないようにします。
着信規制		
	全着信規制	すべての電話を受けられない、またはSMSを受信できないようにします。
	国際着信規制	日本以外では、すべての電話を受けられない、またはSMSを受信できないようにします。

- 設定時には、発着信規制用暗証番号（ご契約時の4桁の暗証番号）の入力が必要です。発着信規制用暗証番号は変更することもできます（➔P.3-19）。
- 発信規制中に電話をかけようとすると、発信規制中である旨のメッセージが表示されます。お客様がご利用になる地域によっては、表示されるまでに時間がかかることがあります。

注意

- **発着信規制用暗証番号の入力を3回続けて間違えると、発着信規制サービスの設定や解除ができなくなります。この場合は、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となりますので、ご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先（➔P.14-30）までご連絡ください。**
- **転送電話サービスまたは留守番電話サービスを開始しているときは、「全発信規制」および「全着信規制」はご利用になれません（転送電話サービスまたは留守番電話サービスが優先されます）。**

発信規制／着信規制を設定／解除する

発信規制および着信規制は、通話や通信の種別ごとに設定できます。

1. **≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「発着信規制」**
2. **規制内容の選択操作**

   ■ 発信規制を選択するとき
   「発信規制」→「全発信規制」／「滞在国以外規制」／「日本／滞在国以外規制」

   ■ 着信規制を選択するとき
   「着信規制」→「全着信規制」／「国際着信規制」
3. **「On」／「Off」**
4. **規制暗証番号を入力→≪OK≫**

発着信規制の制限をすべて解除する

発信規制および着信規制の制限をすべて解除します。

1. ≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「発着信規制」
2. 「規制全停止」
3. 規制暗証番号を入力→≪OK≫→「はい」

発着信規制の設定状況を確認する

1. ≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「発着信規制」
2. 「設定確認」→「全発信規制」／「滞在国以外規制」／「日本／滞在国以外規制」／「全着信規制」／「国際着信規制」

発着信規制用暗証番号を変更する

1. ≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」→「通話サービス」→「発着信規制」→「規制暗証番号」
2. 現在の規制暗証番号を入力→≪OK≫
3. 新しい規制暗証番号を入力→≪OK≫
4. もう一度新しい規制暗証番号を入力→≪OK≫

使いこなしチェック！

設定

- 発信規制を設定する（☞P.13-23）
- 着信規制を設定する（☞P.13-23）
- 発着信規制の制限をすべて解除する（☞P.13-23）
- 発着信規制の設定を確認する（☞P.13-23）
- 発着信規制用暗証番号を変更する（☞P.13-24）

発信者番号通知サービスを利用する

お客様の電話番号を相手に通知するかどうか設定するサービスです。

発信者番号の通知／非通知を設定する

1. ≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」→「発信者番号通知」
2. 「通知する」／「通知しない」

- 操作1のあと、「設定確認」を選択すると現在の設定を確認できます。
- 本サービスの設定にかかわらず、発信するごとに電話番号を通知／非通知にできます（➔P.3-20）。

使いこなしチェック！

設定

- 発信者番号の通知／非通知を設定する（☞P.13-28）

便利

電話に関する便利な機能

入力した電話番号を電話帳に登録したい [電話帳登録]

□→電話番号全桁（市外局番を含む）を入力→≪電話帳登録≫→（➔P.2-39 電話番号を入力してから登録したい）

入力した電話番号を宛先としたメールを作成したい [メール作成]

□→電話番号全桁を入力→≪その他≫→「メール作成」→「S!メール」／「SMS」→（➔P.4-3 S! メールを送信する⑤、P.4-7 SMSを送信する⑤）

日本から国際電話をかけたい [国際発信]

□→電話番号全桁（市外局番を含む）を入力→≪その他≫→「国際発信」→発信先の国を選択／「ユーザ入力」を選択して国番号を入力→「日本から」→電話番号を確認→□

- ご利用には別途お申し込みが必要です。詳しくは、お問い合わせ先（➔P.14-30）までご連絡ください。
- 海外にいる相手のソフトバンク携帯電話へは、相手のいる国にかかわらず電話番号だけでかけることができます。

自分の電話番号を通知するかどうかを設定して電話をかけたい [番号非通知]／[番号通知]

□→電話番号全桁（市外局番を含む）を入力→≪その他≫

■ 番号を非通知にするとき

「番号非通知」→□

■ 番号を通知するとき

「番号通知」→□

- 指定しない場合は、発信者番号通知サービスの設定に従います。
- □→「186」を入力→相手の電話番号を入力→□と操作しても、通知して電話をかけることができます。
- □→「184」を入力→相手の電話番号を入力→□と操作しても、非通知で電話をかけることができます。

電話番号入力画面から電話帳検索画面に切り替えたい [電話帳検索]

電話番号入力画面で≪その他≫→「電話帳検索」

電話番号入力画面から通話履歴画面に切り替えたい [通話履歴]

電話番号入力画面で≪その他≫→「通話履歴」

着信中の電話に応答せず、着信を拒否して電話を切りたい [拒否]

着信中に≪拒否≫

- 拒否した電話は、着信拒否履歴として記録されます。
- 「サイドキー設定」を「着信拒否」に設定している場合は、着信中に□／□を1秒以上押しても着信を拒否できます。
- 転送電話サービスまたは留守番電話サービスをご利用になっていない場合は、着信中に≪転送≫をタップすると、着信を拒否します。このとき相手のディスプレイには、こちらがお話し中である旨のメッセージが表示されます。ただし、相手がこの機能に対応していない場合は、メッセージ表示されません。

通話中に相手の声の音量を調節したい

通話中に□／□

- 受話口やステレオイヤホンマイクのイヤホンから聞こえる相手の声の大きさを調節できます。変更した音量は、電源を切っても保持されています。

音声の送信を設定したい [ミュート]／[ミュートオフ]

通話中に≪ミュート≫／≪ミュートオフ≫

通話中にスピーカーホン通話に切り替えたい
［スピーカー ON］／［スピーカー OFF］

通話中に≪スピーカー ON≫

- 通常の通話に切り替えるときは通話中に≪スピーカー OFF≫をタップします。

通話を保留にしたい **［保留］**

通話中に≪保留≫

- 保留中は相手に保留音が流れ、双方の声が聞こえなくなります。保留操作を行うには、割込通話サービスまたはグループ通話サービスのお申し込みが必要です。
- 通話に戻るときは≪再開≫をタップします。

小さい声で通話したい
［ささやきOn］／［ささやきOff］

通話中に≪その他≫→「ささやきOn」／「ささやきOff」

- 「ささやき On」に設定すると、小さい声でも相手に大きな音声で伝えられます。

ヘッドセットでの通話と本体での通話を切り替えたい
［ヘッドセットに切替］／［本体に切替］

通話中に≪その他≫→「ヘッドセットに切替」／「本体に切替」

- Bluetooth®対応のヘッドセットをご利用の場合に切り替えることができます。

通話中に電話帳を検索したい **［電話帳］**

通話中に≪その他≫→「電話帳」→（➲P.2-18 電話帳を検索する❸）

通話相手の電話番号を電話帳に登録したい **［電話帳登録］**

通話中に≪その他≫→「電話帳登録」

■ **新規で登録するとき**

「新規」→（➲P.2-16 電話帳に登録する❷）

■ **追加で登録するとき**

「更新」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-18）→電話帳の登録操作（➲P.2-16）

通話中に通話履歴を確認したい
［通話履歴］

通話中に≪その他≫→「通話履歴」

通話中にメールを作成したい
［メール作成］

通話中に≪その他≫→「メール作成」→「S!メール」／「SMS」→（➲P.4-3 S!メールを送信する❷、P.4-7 SMSを送信する❷）

通話中にプッシュトーンを送信したい
［プッシュトーン送信］

通話中に≪その他≫→「プッシュトーン送信」→ダイヤルキーをタップ→≪送信≫

- 電話帳から検索するには、「プッシュトーン送信」を選択したあと、≪電話帳検索≫をタップします。

通話中に相手の声を録音したい
［音声録音］

通話中に≪その他≫→「音声録音」→●→■

- 通話中にボイスレコーダーを利用して、相手の声を録音できます。最長2分間録音できます。
- 録音中に一時停止する場合は❚❚をタップします。録音を再開する場合は●、一時停止したところまで保存する場合は≪保存≫をタップします。
- 録音された音声ファイルは、データフォルダの「着うた・メロディ」フォルダに保存されます。
- 割込通話サービスをご利用の場合、録音中に他の相手から電話がかかってくると、録音を終了して着信画面を表示します。
- 録音中に電話が切れると録音が自動的に終了し、音声が保存されます。

通話中にメモを作成したい **［メモ］**

通話中に≪その他≫→「メモ」→メモを入力→項目を選択

便利

TVコールに関する便利な機能

自分の電話番号を通知するかどうかを設定してTVコールをかけたい　［番号非通知］／［番号通知］

→電話番号全桁（市外局番を含む）を入力→≪その他≫

■ **番号を非通知にするとき**

「番号非通知」→≪TVコール≫

■ **番号を通知するとき**

「番号通知」→≪TVコール≫

- →「186」を入力→相手の電話番号を入力→≪TVコール≫と操作しても、通知して電話をかけることができます。
- →「184」を入力→相手の電話番号を入力→≪TVコール≫と操作しても、非通知で電話をかけることができます。

外側カメラ／内側カメラを切り替えたい

TVコール中に

自画像の送信を一時停止／再開したい

TVコール中に／

自画像を拡大／縮小したい

TVコール中に→ズームを調整

送信する映像の明るさを調節したい

TVコール中に→明るさを調節

送信する映像の色調を調節したい

TVコール中に→項目を選択

音声の送信を設定したい　［ミュート］／［ミュートオフ］

TVコール中に≪ミュート≫／≪ミュートオフ≫

スピーカーホン通話と本体での通話を切り替えたい　［スピーカー Onに切替］／［スピーカー Offに切替］

TVコール中に≪スピーカー Onに切替≫／≪スピーカー Offに切替≫

- 「スピーカー Onに切替」にする場合は確認メッセージが表示されます。「はい」を選択するとスピーカーホン通話に切り替わります。

TVコール通話を保留にしたい　［保留］

TVコール中に≪保留≫

- 保留中は代替画像が送信され、双方の音声が聞こえなくなります。
- 通話に戻るときは、保留中に≪再開≫をタップします。

送信する画像を切り替えたい　［自画像］

TVコール中に≪その他≫→「自画像」

■ **自画像に切り替えるとき**

「カメラ」

■ **代替画像に切り替えるとき**

「代替画像に切替」

■ **送信する画像を選択するとき**

「画像送信」→「ピクチャー」→送信したい画像を選択→≪OK≫

- メモリカードを取り付けているときは、「デジタルカメラ」フォルダからもファイルを選択できます。

TVコール中の画像の表示を切り替えたい　［表示切替］

TVコール中に≪その他≫→「表示切替」

- 相手画像を大きく自画像を小さく表示したり、相手画像を小さく自画像を大きく表示したり切り替えることができます。

相手画像を静止画／カメラに切り替えたい　［相手画像：静止画に切替］／［相手画像：カメラに切替］

TVコール中に≪その他≫→「相手画像：静止画に切替」／「相手画像：カメラに切替」

ヘッドセットでの通話と本体での通話を切り替えたい

[ヘッドセットに切替]／[本体に切替]

TVコール中に≪その他≫→「ヘッドセットに切替」／「本体に切替」

- Bluetooth®対応のヘッドセットをご利用の場合に切り替えることができます。

自画像の代わりに送信する画像を設定したい

TVコール中に≪その他≫→「設定」→「代替画像」

■ **お買い上げ時の画像に戻すとき**

「固定データ」→≪OK≫

■ **データフォルダから画像を選択するとき**

「ピクチャー」→送信したい画像を選択→≪OK≫

- メモリカードを取り付けているときは、「デジタルカメラ」フォルダからもファイルを選択できます。

TVコール中の相手画像の画質を調整したい

TVコール中に≪その他≫→「設定」→「受信画質」→項目を選択

TVコール中の自画像の画質を調整したい

TVコール中に≪その他≫→「設定」→「送信画質」→項目を選択

通話／応答保留中に送信する画像を設定したい

TVコール中に≪その他≫→「設定」→「保留設定」→「通話中保留」／「応答保留」

■ **お買い上げ時の画像に戻すとき**

「固定データ」→≪OK≫

■ **データフォルダから画像を選択するとき**

「ピクチャー」→送信したい画像を選択→≪OK≫

- メモリカードを取り付けているときは、「デジタルカメラ」フォルダからもファイルを選択できます。

音声を送信するかどうか設定したい

TVコール中に≪その他≫→「設定」→「私の音声ミュート」の「On」／「Off」

- 現在通話中のTVコールには設定が反映されません。次回のTVコールから設定が反映されます。

スピーカーホン通話と本体での通話を切り替えたい

TVコール中に≪その他≫→「設定」→「スピーカーホン」の「On」／「Off」

TVコール中のバックライトの明るさを設定したい

TVコール中に≪その他≫→「設定」→「バックライト」の「On」／「Off」

- TVコール中のディスプレイの明るさを設定します。「Off」に設定するとディスプレイは「On」の設定時より暗くなります。

再発信方法を設定したい

TVコール中に≪その他≫→「設定」→「再発信方法」→項目を選択

指定した相手からのTVコール着信を自動で受けたい

TVコール中に≪その他≫→「設定」→「自動応答」→「On/Off設定」の「On」／「Off」

- 指定した相手からTVコールの着信があったときに、通知音でお知らせして自動的に電話を受けることができます。

TVコール着信を自動で受ける相手を指定したい [追加]

TVコール中に≪その他≫→「設定」→「自動応答」→「自動応答リスト」→≪追加≫

■ **電話帳から選択するとき**

「電話帳」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→電話帳を検索し、選択（➲P.2-18）→電話番号を選択

■ **通話履歴から選択するとき**

「通話履歴」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→「着信履歴」／「発信履歴」→指定したい履歴を選択

■ **電話番号を直接入力するとき**

「直接入力」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→電話番号を入力

- 指定した相手からTVコールの着信があったときに、通知音でお知らせして自動的に電話を受けることができます。

TVコール着信の自動応答に指定した相手を削除したい [削除]

TVコール中に≪その他≫→「設定」→「自動応答」→「自動応答リスト」→≪削除≫→削除したい電話番号をチェック→≪削除≫→「はい」

TVコール発信時に自画像を送信するかどうか設定したい

TVコール中に≪その他≫→「設定」→「自画像送信」の「On」／「Off」

- 現在通話中のTVコールには設定が反映されません。次回のTVコールから設定が反映されます。

TVコール中に電話帳を検索したい [電話帳]

TVコール中に≪その他≫→「電話帳」→（➲P.2-18 電話帳を検索する❸）

通話相手の電話番号を電話帳に登録したい [電話帳登録]

TVコール中に≪その他≫→「電話帳登録」

■ **新規で登録するとき**

「新規」→（➲P.2-16 電話帳に登録する❷）

■ **電話帳を更新するとき**

「更新」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-18）→電話帳の登録操作（➲P.2-16）

通話中にメールを作成したい [メール作成]

TVコール中に≪その他≫→「メール作成」→「S!メール」／「SMS」→（➲P.4-3 S!メールを送信する❷、P.4-7 SMSを送信する❷）

プッシュトーンを送信したい [プッシュトーン送信]

TVコール中に≪その他≫→「プッシュトーン送信」→ダイヤルキーをタップ→≪送信≫

- 電話帳の番号から送信するときは、「プッシュトーン送信」を選択したあと、≪電話帳検索≫→電話帳を検索し、選択（➲P.2-18）→電話番号を選択します。

TVコール中にメモを作成し、保存したい [メモ]

TVコール中に≪その他≫→「メモ」→メモを入力→項目を選択

相手の電話番号が登録されている電話帳の詳細画面を確認したい [通話相手の詳細]

TVコール中に≪その他≫→「通話相手の詳細」

便利

通話履歴に関する便利な機能

通話履歴からメールを作成したい

（1秒以上）→「着信履歴」／「発信履歴」→宛先にしたい履歴を選択→宛先にしたい電話番号／Eメールアドレスの→「S!メール」／「SMS」→（➔P.4-3 S!メールを送信する❺、P.4-7 SMSを送信する❺）

- 一覧画面で目的の履歴のをタップしても、S!メールを作成することができます。

通話履歴の電話番号に国際コードと国番号を付加して国際電話をかけたい

（1秒以上）→「着信履歴」／「発信履歴」→目的の履歴を選択→目的の電話番号の→「国際発信」→発信先の国を選択／「ユーザ入力」を選択して国番号を入力→発信元を選択→電話番号を確認→

通話履歴から自分の電話番号を通知するかどうかを設定して電話をかけたい

（1秒以上）→「着信履歴」／「発信履歴」→目的の履歴を選択→目的の電話番号の

■ **番号を非通知にするとき**
「番号非通知」→

■ **番号を通知するとき**
「番号通知」→

通話履歴の電話番号が登録されている電話帳の詳細画面を確認したい [電話帳詳細]

（1秒以上）→「着信履歴」／「発信履歴」→確認したい履歴を選択→≪電話帳詳細≫

通話履歴の電話番号を電話帳に登録したい [電話帳登録]

（1秒以上）→「着信履歴」／「発信履歴」→登録したい履歴を選択→≪電話帳登録≫→（➔P.2-17 通話履歴から登録する❸）

通話履歴の電話番号を着信拒否リストに追加したい [拒否リスト追加]

（1秒以上）→「着信履歴」／「発信履歴」→着信拒否リストに追加したい履歴を選択→≪拒否リスト追加≫→「はい」

便利

グループ通話サービスに関する便利な機能

グループ通話中に相手を選択して通話を切りたい [個別に通話を終了]

グループ通話中に≪グループ通話機能≫→「個別に通話を終了」→通話を切りたい相手の

グループ通話中にすべての通話を保留にしたい [保留]

グループ通話中に≪グループ通話機能≫→「保留」

- 保留を解除するには、≪グループ通話機能≫→「再開」を選択します。

メール

4

メールについて

930SCでは、S!メールとSMSの2種類のメールを利用できます。

S!メール

ソフトバンク携帯電話や、メールを利用できるパソコンなどの機器との間で、長い文字メッセージや画像、サウンドなどを送受信できます。
また、文字サイズや色、背景などを装飾できるデコレメールや、件名の先頭にフィーリングメール用絵文字を挿入することで、相手に自分の気持ちを伝えられるフィーリングメールを送受信できます。

- フィーリングメールは対応機種のみ受信できます。
- S!メールの利用には、別途ご契約が必要です。

SMS

ソフトバンク携帯電話との間で、電話番号を宛先として短い文字メッセージを送受信できます。

メールの種類により、入力項目や送信できる文字数が次のように異なります。

入力項目／文字数		S!メール[1]	SMS
入力項目			
	宛先	○	○
	件名	○	×
	添付ファイル	○	×
	本文	○	○
送信可能な文字数		全角で約15,000文字、半角で約30,000文字（30Kバイトまで）[2]	全角で最大70文字、半角で最大70文字、半角英数記号で最大160文字[3]

1 宛先や件名、メッセージ、添付ファイルなどを含めたメールサイズの合計は300Kバイトです（返信または転送するメールも同様）。
2 添付ファイルのサイズなどにより、送信可能な文字数は変わります。
3「文字コード」（➔P.13-6）を「英語」に設定したときの文字数です。

- リトライ機能とは、相手が電源を切っていたり、電波の届かないところにいたりしてメールを受信できない場合に、メールサーバーにメールが保管され、電波が届くようになると配信する機能です。

注意

- **930SCで作成したメールは、相手側の携帯電話によっては930SCと同様に表示されない場合があります。**
- **本文にハングルを含むS!メールやSMSを受信した場合は、ハングルを表示できます。ただし、ハングルの入力はSMSの本文にのみできます。本文にハングルを含む受信メールをS!メールで返信／転送すると、本文のハングルが削除されます。**
- **SMSの本文をハングルで入力して送信した場合、相手側の携帯電話によっては入力した文字が削除されたりスペースとして表示されるときがあります。**

Eメールアドレスを変更／登録する

ご契約時のEメールアドレスのアカウント名（@より前の部分）は、ランダムな英数字に設定されています。アカウント名はお好きな文字に変更することができます。Eメールアドレス変更の詳細については、ソフトバンクホームページ（http://www.softbank.jp）でご確認ください。

Eメールアドレスを変更する

パソコンなどからメールを受信するときに使用するEメールアドレスのアカウント名を変更できます。

1. ≪メール≫→「設定」→「メール・アドレス設定」
2. 画面の指示に従って操作

Eメールアドレスを登録する

Eメールアドレスの変更が完了すると、ソフトバンクよりEメールアドレス変更の完了通知が届きます。

1. ≪メール≫→「受信ボックス」→フォルダを選択→Informationからのメールを選択→「はい」／「いいえ」

使いこなしチェック！

設定

- Eメールアドレスを変更する（☞P.13-2）

S!メールを送信する

ここでは例として、電話帳に登録している相手にS!メールを送信します。

1. ≪メール≫→「メール作成」

メール作成 [0KB]
宛先
件名
添付
[本文入力]
送信 保存 設定 その他

S!メール作成画面

2. 宛先欄をタップ
3. 「電話帳」→電話帳を検索し、送信したい宛先を選択（➔P.2-18 電話帳を検索する③）
4. 電話番号／Eメールアドレスを選択
5. 件名欄をタップ→件名を入力

6 本文入力欄をタップ→本文を入力

7 ≪送信≫

- 待受画面で≪メール≫をホールドしてもS!メール作成画面を呼び出すことができます。
- S!メールの宛先には電話番号またはEメールアドレスを入力します。入力できる宛先の件数は最大20件です。
- 宛先、件名、本文のいずれかを入力した状態、またはファイルを添付した状態でCLEAR／[key]を押すとメール作成の終了を確認するメッセージが表示されます。「はい」を選択するとただちにメール作成を終了します。CLEARを押した場合は、「保存」を選択すると作成中のメールが下書きに保存されます。

- 送信したメールは送信済みボックス、または未送信ボックスに保存されます。送信済みボックスの「自動削除設定」（➔P.13-3）を「On（自動削除）」に設定している場合、メール送信時のメモリ容量がいっぱいになると、自動的に日時の古いメールから順に削除されます（保護されたメールを除く）。ただし、未送信ボックスがいっぱいのときや自動削除できない場合はメッセージが表示されるので、不要なメールを削除してから再度送信します。

注意

- **S!メールではハングルの表示はできますが、入力や送信はできません。**

ファイルを添付する

S!メールに添付できるファイルのサイズは、宛先や件名、メッセージなどを含めて300Kバイトまでです。
1通のS!メールに添付できるファイルの数は20個までです。

- 作成中のS!メールのサイズは、S!メール作成画面の右上に表示されます。

注意

- **メールを送信する相手によっては、添付したファイルを受信できない場合がありますのでご注意ください。ソフトバンク携帯電話が対応するファイルについては、ソフトバンクホームページ（http://www.softbank.jp）でご確認ください。**
- **S!メールで動画を添付するときは、「S!メール」（➔P.7-8）で撮影したファイルを選択してください。送信できない動画を添付しようとした場合、添付できないという旨のメッセージが表示されます。**

データフォルダなどからファイルを添付する

画像や動画、サウンドを選択して添付できるほか、電話帳やカレンダー、オーナー情報の登録内容をvCard形式やvCalendar形式にして添付できます。

1 ≪メール≫→「メール作成」→添付ファイル欄をタップ

2 ファイルの添付操作

■ データフォルダ内のファイルを添付するとき

「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→添付したいファイルを選択

- 画像のリサイズ画面が表示されたときは、サイズを選択してください。

■ 電話帳の登録内容を vCard 形式で添付するとき

「電話帳データ」→電話帳を検索し、添付したい電話帳を選択（➲P.2-18）→≪追加≫

■ カレンダーの登録内容を vCalendar 形式で添付するとき

「カレンダーデータ」→プルダウンメニューから「スケジュール」／「予定リスト」→添付したい登録内容を選択

■ オーナー情報の登録内容を vCard 形式で添付するとき

「オーナー情報引用」→≪追加≫

- ファイルを追加するには、添付ファイル欄をタップし、「ファイル追加」を選択して操作2を繰り返します。
- ファイルを添付すると、添付ファイル表示画面にファイルの種別を示すアイコンとファイル名が表示されます。
  - ：画像
  - ：サウンド
  - ：動画
  - ：vCalendar
  - ：vCard
  - ：上記以外のファイル

注意

- **オーナー情報の登録内容を添付する場合に、趣味の情報は添付できません。**

デコレメールを作成する

ここでは例として、次のとおりに設定します。

- 文字サイズ、背景色を変更
- データフォルダの画像、絵文字を挿入
- 文字を左右に移動表示（スクロール）
- 他の項目については、「S!メールに関する便利な機能」（➲P.4-17）を参照してください。

1 ≪メール≫→「メール作成」→本文入力欄をタップ

2 ≪その他≫→「デコレメール設定」

デコレメール作成画面

3 「サイズ」→「大」／「標準」／「小」→本文を入力

- 続けて他の設定をするときは、≪装飾≫をタップして操作します。

4 ≪装飾≫→「背景」

5 背景色を選択

6 ≪装飾≫→「画像」

7 「ピクチャー」→ファイルを選択

- メモリカードを取り付けているときは、「デジタルカメラ」フォルダからファイルを選択することができます。
- 画像を撮影して挿入するときは「カメラ起動」を選択します。
- メモリカードを取り付けているときは、「ピクチャー」を選択したあとに をタップすると、メモリカードからファイルを選択することができます。

8 ≪装飾≫→「マイ絵文字」→絵文字を選択

9 ≪装飾≫→≪範囲選択≫→装飾する最初の箇所をタップ→≪始点≫→装飾する最後の箇所をタップ→≪終点≫→「効果」

10 「スクロール」

11 「右から左へ」／「スイング」

12 ≪メニューを閉じる≫→≪OK≫

- 1つ前の状態に戻すには、デコレメール作成画面で≪戻す≫をタップします。
- 装飾をすべてやり直すには、デコレメール作成画面で≪解除≫をタップし、「はい」を選択します。
- 「手書き入力（スクリーンモード）」は利用できません。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.4-17

- 送受信履歴の詳細を確認したい
- 送受信履歴を削除したい
- S!メールに情報を挿入したい
- S!メールの本文を作成中にカーソルを文頭／文末に移動させたい
- S!メールの本文を作成中にユーザ辞書登録したい
- S!メールの本文を作成中に文字の入力／変換設定をしたい
- 作成中のS!メールを下書きに保存したい
- フィーリングメールを送信したい
- フィーリング設定を解除したい
- 「アクション設定」を設定したメールを送信したい
- 送信前にデルモジ表示を確認したい
- 入力した本文をすべて削除したい
- デコレーションを確認したい
- デコレメールテンプレートを登録したい
- テンプレートを利用してS!メールを作成したい

設定

- 配信レポートの送信を設定する（☞P.13-2）
- 署名を設定する（☞P.13-2）
- 署名を編集する（☞P.13-2）
- 送信済みボックスのメールの自動削除を設定する（☞P.13-3）

●送信中の進行状況表示を設定する（☞P.13-3）
●送信の進行状況を表示しない場合の送信の結果表示を設定する（☞P.13-3）
●送信メールの優先度を設定する（☞P.13-5）
●送信メールのメールサーバーへの保存期間を設定する（☞P.13-5）
●送信メールをメールサーバーから相手に配信する時間を設定する（☞P.13-5）
●返信先を設定する（☞P.13-5）
●返信先アドレスを設定する（☞P.13-5）
●メール本文の文字サイズを変更する（☞P.13-18）

SMSを送信する

ここでは例として、電話帳に登録している相手にSMSを送信します。

1 ≪メール≫→「SMS 新規作成」

SMS [70]
宛先
本文入力
送信 下書きに保存 S!メールに変換 その他

SMS作成画面

2 宛先欄をタップ

3 「電話帳」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-18 電話帳を検索する③）

4 電話番号を選択

5 本文入力欄をタップ→本文を入力

6 ≪送信≫

- SMSの宛先には電話番号を入力します。入力できる宛先の件数は最大20件です。
- SMSの本文で送信可能な文字数（➲P.4-2）を超えた場合、S!メールに変更する確認メッセージが表示されます。「はい」を選択するとS!メールに切り替わります。本文にハングルが含まれている場合は、ハングルを削除する旨の確認メッセージが表示されます。「はい」を選択するとハングルが削除されたS!メールに切り替わります。
- 送信したSMSは送信済みボックス、または未送信ボックスに保存されます。送信済みボックスの「自動削除設定」（➲P.13-3）を「On（自動削除）」に設定している場合、メール送信時のメモリ容量がいっぱいになると、自動的に日時の古いメールから順に削除されます（保護されたメールを除く）。ただし、未送信ボックスがいっぱいのときや自動削除できない場合はメッセージが表示されるので、不要なメールを削除してから再度送信します。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.4-21
●送受信履歴の詳細を確認したい
●送受信履歴を削除したい
●SMSに情報を挿入したい

- SMSの本文を作成中にユーザ辞書登録したい
- SMSの本文を作成中に文字の入力／変換設定をしたい
- 作成中のSMSを下書きに保存したい
- 作成中のSMSをS!メールに変更したい
- 送信前にデルモジ表示を確認したい
- 入力した本文をすべて削除したい
- テンプレートを利用してSMSを送信したい

設定

- 配信レポートの送信を設定する（☞P.13-2）
- 署名を設定する（☞P.13-2）
- 署名を編集する（☞P.13-2）
- 送信済みボックスのメールの自動削除を設定する（☞P.13-3）
- 送信中の進行状況表示を設定する（☞P.13-3）
- 送信の進行状況を表示しない場合の送信の結果表示を設定する（☞P.13-3）
- メールサーバーへの保存期間を設定する（☞P.13-6）
- SMSセンター番号を設定する（☞P.13-6）
- 文字コードを変更する（☞P.13-6）

受信メールを確認／返信する

新着メールを確認する

メールを受信すると、待受画面に新着メール受信の通知画面が表示され、受信件数が表示されます。

- S! メールでは、添付ファイルを含む全文が自動的に受信されます。お客様のご契約の内容により、所定の料金が発生いたしますので、ご注意ください。自動受信しないように設定することもできます（➔P.4-9）。

15:30
インフォメーション
新着メッセージ (1)
受信件数
閉じる
電話 メール Y! メニュー

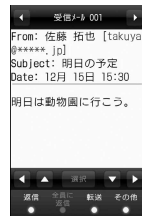
受信の通知画面

1 通知をタップ→フォルダを選択

受信メール
佐藤 拓也 12/15 15:30 明日の予定
中村 麻衣 12/15 12:39 会議について
高橋 直樹 12/14 11:12 こんにちは
鈴木 香織 12/13 09:53 楽しかったね
返信 全員に返信 転送 その他

メール一覧画面

2 新着メールを選択

受信メール 001
From: 佐藤 拓也 [takuya@*****.jp]
Subject: 明日の予定
Date: 12月 15日 15:30
明日は動物園に行こう。
選択
返信 全員に返信 転送 その他

メッセージ受信画面
（S!メールの場合）

- デルモジ表示設定の確認メッセージが表示されたときは、必要に応じて「常に表示」／「未読のみ表示」／「表示しない」を選択します。

4
メール

- **デルモジ**
  デルモジとは、新着または未読のメールを確認するとメッセージが単語や絵文字、顔文字などに合わせた3Dアニメーションで表示されることです。
  「デルモジ表示設定」（➔P.13-4）を「表示しない」以外に設定している場合、メッセージがデルモジ表示されます。デルモジ表示が終了するか、デルモジ表示中に≪停止≫をタップすると、メッセージ画面が表示されます。各種操作を行う場合は、メッセージ画面が表示されてから操作してください。
- ファイルが添付されている場合は、メールの一番下にファイル名やサムネイルが表示されます。
- 待受画面以外を表示中にメールを受信すると、ディスプレイ最上段に受信件数と差出人の電話番号またはEメールアドレス（電話帳に登録されている場合は、登録した名前）などがスクロールして表示されます。スクロールが終了すると、ディスプレイ最上段にが表示されます（➔P.1-3、P.13-3）。
- 配信レポートを受信すると、ディスプレイ最上段にが点滅したあと表示が消えます。待受画面には配信レポート受信の通知画面が表示されます。
- 受信したメールは受信ボックスに保存されます。受信ボックスの「自動削除設定」（➔P.13-3）を「On（自動削除）」に設定している場合、メール受信時のメモリ容量がいっぱいになると、自動的に日時の古いメールから順に削除されます（保護されたメールを除く）。自動削除ができない場合はメッセージが表示されるので、不要なメールを削除してから再度受信します。

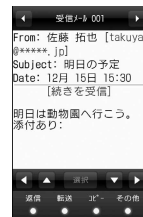
注意

- **海外でのご利用時に「受信設定」の「ローミング自動受信」を「自動受信」に設定すると、メール通信料が高額になる場合がありますので、ご注意ください。お買い上げ時は「自動受信」に設定されています（➔P.13-5）。「自動受信」では、お客様の携帯電話に送信されたメール（電話番号宛、Eメールアドレス宛ともに）は自動的に全文受信されます。**

メールを「手動取得」に設定する

S! メールの「受信設定」（➔P.13-5）を「手動取得」に設定している場合は、受信したS! メールがメールサーバーに一時保存され、メッセージの一部が受信通知としてお客様の930SCに送信されます。続きはメールサーバーから受信する必要があります。

1 ≪メール≫→「受信ボックス」

2 フォルダを選択→受信通知を選択

3 「続きを受信」をタップ→続きを受信したメールを選択

- メール一覧画面に表示される受信通知のアイコン

未読の受信通知
：優先度高
：優先度標準
：優先度低

既読の受信通知
：優先度高
：優先度標準
：優先度低

受信したメールに返信する

受信したメールの差出人に返信できます。

1 ≪メール≫→「受信ボックス」

2 フォルダを選択→返信するメールを選択

3 ≪返信≫→「S!メール」／「S!メール（引用付）」／「SMS」／「SMS（引用付）」

- 受信したメールの本文を残したい場合は、「S!メール（引用付）」または「SMS（引用付）」を選択します。

4 メールの作成操作（➔P.4-3 S!メールを送信する5）

- 返信するS!メールの件名には「Re:」が自動的に付きます。
- 受信したメールに入力されているすべての宛先へ返信したいときは、操作3で≪全員に返信≫をタップします。
- ≪メール≫→「受信ボックス」→フォルダを選択→≪返信≫／≪全員に返信≫→返信したいメールの／をタップしても同じ操作が行えます。

受信したメールを転送する

受信したメールを他の宛先に転送できます。

1 ≪メール≫→「受信ボックス」→フォルダを選択

2 転送するメールを選択→≪転送≫

3 メールの作成操作（➔P.4-3 S!メールを送信する2）

- 転送するS!メールの件名には「Fw:」が自動的に付きます。
- 受信したSMSを転送する場合は、S!メールで転送するかSMSで転送するかを選択できます。
- ≪メール≫→「受信ボックス」→フォルダを選択→≪転送≫→転送したいメールのをタップしても同じ操作が行えます。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.4-23

- 受信通知／サーバーメールを転送したい
- 差出人に電話をかけたい
- 受信通知からメールサーバーに保存されているメールを削除したい

設定

- 文字サイズを設定する（☞P.13-2）
- メッセージ画面で本文をスクロールする単位を設定する（☞P.13-2）
- ナビゲーションバーを表示するかどうかを設定する（☞P.13-2）
- 受信の通知を設定する（☞P.13-3）
- シークレット設定を設定したフォルダの受信通知を設定する（☞P.13-4）
- メッセージのデルモジ表示を設定する（☞P.13-4）
- デルモジ表示の文字色と背景色のパターンを設定する（☞P.13-4）
- デルモジ表示の表示速度を設定する（☞P.13-4）
- S!メールの受信方法を設定する（☞P.13-5）
- ローミング中に受信するS!メールの受信方法を設定する（☞P.13-5）
- フィーリングメールを受信したときの着信ライトの有無を設定する（☞P.13-5）
- フィーリングメールを受信したときの着信ライトの色を設定する（☞P.13-6）
- フィーリングメールを受信したときのバイブレータを設定する（☞P.13-6）
- フィーリングメールを受信したときの着信音の有無を設定する（☞P.13-6）
- フィーリングメールの着信音を設定する（☞P.13-6）
- フィーリングメール着信音の鳴動時間を設定する（☞P.13-6）
- 添付画像の表示方法を設定する（☞P.13-6）
- 添付画像の自動再生を設定する（☞P.13-6）
- 添付サウンドの自動再生を設定する（☞P.13-6）

メールを利用／管理する

930SCでは、メールの種類ごとに5種類のメールボックスが用意されています。

メールボックス	メールの種類
受信ボックス	受信したメールが保存されます。
下書き	作成途中で保存したメールが保存されます。
テンプレート	テンプレートとして登録したデコレメールテンプレートやSMSの定型文が保存されます。
送信済みボックス	送信済みのメールが保存されます。
未送信ボックス	送信に失敗したメール、送信をキャンセルしたメール、送信待機中のメールが保存されます。

メール一覧から確認する

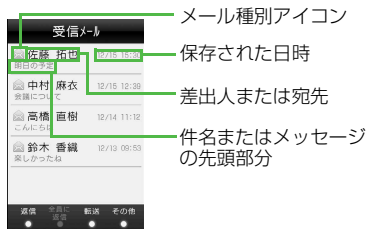
受信ボックスや送信済みボックス、未送信ボックスのメール一覧画面から、メッセージを確認できます。

1 ≪メール≫→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択

2 メールを選択

- 「シークレット設定」を設定したフォルダは、セキュリティ設定のシークレットモードが「表示しない」に設定されていると確認できません。確認するには、≪その他≫→「シークレット一時解除」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→フォルダを選択します。
- 画面をスクロールしたり、メール内の電話番号などを反転表示するには◀／▲／▼／▶をタップします。「選択」をタップすると、反転表示した項目を選択します。
- メッセージ画面で◀／▶をタップするか、右／左にスクロールすると、前後のメールのメッセージ画面に切り替わります。

メール一覧画面の表示

各メールボックスのメール一覧画面には、次の情報が表示されます。

メール一覧画面（受信ボックスの場合）

- **受信ボックスのメール一覧画面に表示されるアイコン**

未読のS!メール
：優先度高
：優先度標準
：優先度低
：動画やサウンドの挿入あり

既読のS!メール
：優先度高
：優先度標準
：優先度低
：動画やサウンドの挿入あり

未読の受信通知
：優先度高
：優先度標準
：優先度低

既読の受信通知
：優先度高
：優先度標準
：優先度低

未読のSMS
：本体に保存
：USIMカードに保存

既読のSMS
：本体に保存
：USIMカードに保存

受信中
：S!メール

- **下書きのメール一覧画面に表示されるアイコン**

S!メール
：S!メール
：動画やサウンドの挿入あり

SMS
：SMS

- **未送信ボックスのメール一覧画面に表示されるアイコン**
  S!メール
  ：S!メール
  ：動画やサウンドの挿入あり
  ：再送信

  SMS
  ：SMS
  ：USIMカードに保存
- **送信済みボックスのメール一覧画面に表示されるアイコン**
  S!メール
  ：S!メール
  ：動画やサウンドの挿入あり

  SMS
  ：SMS
  ：USIMカードに保存

  配信レポート
  ：未読のS!メール
  ：未読のSMS
- セキュリティ設定のシークレットモードが「表示しない」のときは、電話帳のシークレットモードが「シークレットモード-On」の相手との送受信メールでは、名前は表示されずに電話番号またはEメールアドレスが表示されます。

メールの差出人や宛先、メール内の情報を利用する

メールのメッセージ画面や受信通知画面で、カーソルを合わせると反転表示する情報があります。差出人や宛先、メール本文の電話番号、Eメールアドレス、URLは、電話帳への登録や、電話の発信、メールの送信、ブックマークへの登録、インターネットへのアクセスができます。

電話帳に登録する

1 ≪メール≫→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを選択→電話番号／Eメールアドレス／URLを選択→「電話帳登録」

2 電話帳の登録操作

■ 新しい電話帳に登録するとき
「新規」→（➔P.2-16 電話帳に登録する2）

■ 既存の電話帳に追加登録するとき
「追加」→電話帳を検索し、選択（➔P.2-18）→電話帳の登録操作（➔P.2-16）

ブックマークに登録する

1 ≪メール≫→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを選択→URLを選択→「ブックマーク登録」

2 タイトルを入力

電話発信／メール送信／インターネットアクセスを行う

メールのメッセージ画面や受信通知画面に表示されている差出人や宛先、電話番号、Eメールアドレス、URLの情報を利用できます。

1 ≪メール≫→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを選択

2 情報の利用操作

■ 音声電話をかけるとき
電話番号を選択→「音声通話」

■ TVコールをかけるとき
電話番号を選択→「TVコール」

■ **電話番号を変更してから電話をかけるとき**
電話番号を選択→「発信前に電話番号を編集」

■ **メールを送信するとき**
電話番号／Eメールアドレスを選択→「メール作成」→「S!メール」／「SMS」→（➔P.4-3 S!メールを送信する⑤、P.4-7 SMSを送信する⑤）

■ **インターネットへアクセスするとき**
URLを選択→「URLに接続」→「はい」

- 電話番号を選択してメールを送信する場合は、S!メールを送信するかSMSを送信するかを選択し、メールを作成します。
- 電話番号などは直接タップすることもできます。

メール／テンプレートを削除する

メールを削除する

メールを指定して削除したり、メールボックス内のすべてのメールをまとめて削除することができます。

1. **≪メール≫→「受信ボックス」／「下書き」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択**
2. **≪削除≫（画面によっては≪その他≫→「削除」）→削除したいメールをチェック→≪削除≫→「はい」**

テンプレートを削除する

テンプレートを指定して削除したり、登録されているすべてのテンプレートをまとめて削除することができます。

1. **≪メール≫→「テンプレート」→「デコレメールテンプレート」／「定型文」**
2. **≪削除≫→削除したいデコレメールテンプレート／定型文をチェック→≪削除≫→「はい」**
   - 保護されているメール／テンプレートが含まれる場合は、確認メッセージが表示されます。テンプレートの場合は、「はい」を選択すると保護されたテンプレート以外を削除し、「いいえ」を選択すると保護されたテンプレートを含めて削除します。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.4-23
- デルモジ表示したい
- 差出人や宛先を電話帳に登録したい
- 送信者や宛先を確認したい
- メールの内容をコピーしたい
- 表示中のメールを削除したい
- メールの文字コードを設定したい
- メッセージ画面の文頭／文末に移動したい
- メール／デコレメールテンプレートの詳細を確認したい
- メール一覧画面のメールを並べ替えたい
- メール／デコレメールテンプレートを保護／保護解除したい
- メールを既読／未読にしたい
- メール一覧画面でSMSを930SC本体／USIMカードに移動したい
- 下書きからメールを送信したい
- 送信済みメールを編集して送信したい
- 配信レポートを確認したい
- 未送信メールを編集して送信したい
- 未送信メールを再送信したい
- 未送信メールのエラー詳細を確認したい
- 登録したデコレメールテンプレートをメールで送信したい
- デコレメールテンプレートを移動したい
- デコレメールテンプレートをコピーしたい
- デコレメールテンプレートを送信したい
- デコレメールテンプレートを並べ替えたい
- デコレメールテンプレートを管理したい
- デコレメールテンプレートのフォルダに「シークレット設定」を設定したい
- メールリストを更新したい
- メールサーバーに保存されているメールを転送したい
- メールリストを利用してサーバー内のメールを削除したい

設定
- 受信ボックスのメールの自動削除を設定する（☞P.13-3）
- 送信済みボックスのメールの自動削除を設定する（☞P.13-3）
- 受信ボックスのメールの表示方法を設定する（☞P.13-4）
- 送信済みボックスのメールの表示方法を設定する（☞P.13-4）

フォルダで管理する

受信ボックス、送信済みボックス内に自分でフォルダを作成したり、フォルダにルールを設定して自動でメールを振り分けることができます。フォルダにセキュリティを設定することもできます。ただし、「受信メール」フォルダ、「送信メール」フォルダは削除したり、設定を変更したりすることはできません。

フォルダを作成する

1. **≪メール≫→「受信ボックス」／「送信済みボックス」**
2. **≪フォルダ作成≫**
3. **フォルダ名を編集**

メールを移動する

1. **≪メール≫→「受信ボックス」/「送信済みボックス」→必要に応じてフォルダを選択**
2. **≪その他≫→「フォルダへ移動」→移動したいメールをチェック→≪フォルダへ移動≫**
3. **移動先のフォルダを選択**

- 受信したメールは「受信メール」フォルダに、送信したメールは「送信メール」フォルダに保存されます。他のフォルダに移動したあと、メールを戻すときは操作❸で「受信メール」フォルダ/「送信メール」フォルダを選択します。

メールを振り分ける

送受信したメールを相手の電話番号やEメールアドレスによって自動的に指定したフォルダに振り分けることができます。S!メールでの件名や、SMSの本文に入力されたテキストでも振り分けることができます。1つのフォルダに設定できるルールは最大20件です。

1. **≪メール≫→「受信ボックス」/「送信済みボックス」**
2. **≪メール振り分け設定≫→移動先に指定したいフォルダを選択**
3. **振り分けルールの設定操作**

■ 振り分ける電話番号/Eメールアドレスを電話帳から選択するとき

「ルール追加」→「送信者」/「宛先」→「電話帳検索」→電話帳を検索し、選択(➔P.2-18)→電話番号/Eメールアドレスを選択

■ 振り分ける電話番号/Eメールアドレスを直接入力するとき

「ルール追加」→「送信者」/「宛先」→「番号入力」/「アドレス入力」→電話番号/Eメールアドレスを入力

■ 振り分ける電話番号/Eメールアドレスを電話帳のグループから選択するとき

「ルール追加」→「送信者」/「宛先」→「グループ」→グループを選択

- USIMカードに登録されているグループは設定できません。

■ 振り分ける電話番号/Eメールアドレスを履歴から選択するとき

「ルール追加」→「送信者」/「宛先」→「送受信履歴」→プルダウンメニューから「送信履歴」/「受信履歴」→履歴を選択

■ テキストから選択するとき

「ルール追加」→「件名」→振り分けルールに設定するテキストを入力

4. **≪OK≫**

使いこなしチェック！

便利 ☞P.4-29
- フォルダ名を変更したい
- シークレット設定を設定したい
- フォルダを削除したい
- フォルダの詳細情報を確認したい
- メールの自動振り分けルールを変更したい
- 振り分けルールを削除したい

設定
- 受信ボックスのメールの表示方法を設定する（☞P.13-4）
- 送信済みボックスのメールの表示方法を設定する（☞P.13-4）

便利

S!メール送信に関する便利な機能

「電話帳」以外の方法で宛先を入力したい

S!メール作成画面で宛先欄をタップ

■ **電話番号を直接入力するとき**
「番号入力」→電話番号を入力

■ **Eメールアドレスを直接入力するとき**
「アドレス入力」→Eメールアドレスを入力

■ **電話帳のグループから選択するとき**
「グループ」→「本体」／「USIM」→グループを選択
- グループに21件以上登録されている場合、送信したい宛先をチェック→≪追加≫をタップします。
- 電話番号やEメールアドレスが複数登録されている電話帳が含まれている場合、宛先の選択画面が表示されることがあります。電話番号／Eメールアドレスを選択してください。

■ **履歴から入力するとき**
「送受信履歴」→プルダウンメニューから「送信履歴」／「受信履歴」→履歴を選択

宛先を追加したい

宛先が入力済みのS!メール作成画面で宛先欄をタップ→「宛先追加」

■ **電話帳から選択するとき**
「電話帳」→電話帳を検索し、選択（➔P.2-18）→電話番号／Eメールアドレスを選択

■ **電話番号を直接入力するとき**
「番号入力」→電話番号を入力

■ **Eメールアドレスを直接入力するとき**
「アドレス入力」→Eメールアドレスを入力

■ **電話帳のグループから宛先を選択するとき**
「グループ」→「本体」／「USIM」→グループを選択
- 電話番号やEメールアドレスが複数登録されている電話帳が含まれている場合、宛先の選択画面が表示されることがあります。電話番号／Eメールアドレスを選択してください。

■ **履歴から入力するとき**
「送受信履歴」→プルダウンメニューから「送信履歴」／「受信履歴」→履歴を選択

- メール作成画面の宛先欄の横に宛先件数が表示されます。

送受信履歴の詳細を確認したい［表示］

S!メール作成画面で宛先欄をタップ→「送受信履歴」→プルダウンメニューから「送信履歴」／「受信履歴」→≪表示≫→表示したい履歴を選択

送受信履歴を削除したい［削除］

S!メール作成画面で宛先欄をタップ→「送受信履歴」→プルダウンメニューから「送信履歴」／「受信履歴」→≪削除≫

■ **1件のみ削除する場合**
削除したい履歴の🗑→「はい」

■ **全件削除する場合**
≪全送信履歴削除≫／≪全受信履歴削除≫→「はい」

宛先の種類をTO/CC/BCCに変更したい

S!メール作成画面で宛先欄をタップ→変更したい宛先の種類アイコンをタップ→項目を選択

宛先を削除したい

S!メール作成画面で宛先欄をタップ

■ **1件削除するとき**
削除したい宛先の種類アイコンをタップ→「削除」

■ **すべて削除するとき**
≪全件削除≫→「はい」

添付したファイルを確認したい

S!メール作成画面で添付ファイル欄をタップ→確認したいファイルを選択

添付したファイルを削除したい

S!メール作成画面で添付ファイル欄をタップ

■ **1件削除するとき**
削除したいファイルの🗑→「はい」

■ **すべて削除するとき**
≪全件削除≫→「はい」

S!メールに情報を挿入したい［挿入］

S!メールの本文を作成中に≪その他≫→「挿入」

■ **定型文を挿入するとき**
「定型文」→項目を選択

■ **バーコードを挿入するとき**
「バーコードリーダー」→（➲P.9-9 バーコード／QRコードを読み取る❷）

■ **署名を挿入するとき**
「署名」

■ **電話帳の番号を挿入するとき**
「電話帳引用」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-18）→項目を選択

■ **オーナー情報を挿入するとき**
「オーナー情報引用」→項目を選択

■ **アドレスの一部を挿入するとき**
「簡単アドレス入力」→項目を選択

S!メールの本文を作成中にカーソルを文頭／文末に移動させたい［カーソル移動］

S!メールの本文を作成中に≪その他≫→「カーソル移動」→項目を選択

S!メールの本文を作成中にユーザ辞書登録したい［ユーザ辞書登録］

S!メールの本文を作成中に≪その他≫→「ユーザ辞書登録」→（➲P.2-13 入力した文字をユーザ辞書に登録する❷）

S!メールの本文を作成中に文字の入力／変換設定をしたい［入力／変換設定］

S!メールの本文を作成中に≪その他≫→「入力／変換設定」

■ **予測入力機能を設定／解除するとき**
「予測入力」の「On」／「Off」

■ **学習機能を設定／解除するとき**
「学習」の「On」／「Off」

■ **ユーザ辞書をリセットするとき**
「ユーザ辞書リセット」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→「はい」

■ **絵文字／記号の履歴をリセットするとき**
「絵／記号履歴リセット」→「はい」

作成中のS!メールを下書きに保存したい　［下書きに保存］

S!メール作成画面で≪保存≫→「下書きに保存」

- 宛先、件名、本文のいずれかが入力されている、またはファイルが添付／挿入されている場合のみ保存できます。

フィーリングメールを送信したい　［フィーリング設定］

S!メール作成画面で≪設定≫→「フィーリング設定」→フィーリングを選択→感情を表す絵文字を選択

フィーリング設定を解除したい　［フィーリング設定解除］

S!メール作成画面で≪設定≫→「フィーリング設定解除」

「アクション設定」を設定したメールを送信したい　［アクション設定］

S!メール作成画面で≪設定≫→「アクション設定」

■ **相手がメールを読むと自動で削除されるかどうか設定するとき**

「メール自動消去」の「On」／「Off」

■ **相手に返信を要求するとき**

「返信リクエスト」の「On」

- 「On」に設定しているときは、「返信リクエスト」の「メッセージ編集」からメッセージを編集することができます。

■ **相手が転送できないようにするとき**

「転送NG」の「On」

- 「On」に設定しているときは、「転送NG」の「メッセージ編集」からメッセージを編集することができます。

■ **相手が削除できないようにするとき**

「削除NG」の「On」

- 「On」に設定しているときは、「削除NG」の「メッセージ編集」からメッセージを編集することができます。

■ **相手がクイズ（一問一答）に答えないとメールを読めないようにするとき**

「クイズ」→「一問一答」→「問題編集」→問題欄をタップ→問題を入力→答え欄をタップ→答えを入力→メッセージ（正解時）欄をタップ→正解の場合のメッセージを入力→メッセージ（不正解時）欄をタップ→不正解の場合のメッセージを入力→≪OK≫

- 問題を編集し直すときは、「クイズ」の「問題編集」を選択します。

■ **相手がクイズ（選択式）に答えないとメールを読めないようにするとき**

「クイズ」→「選択式」→「問題編集」→問題欄をタップ→問題を入力→「答え」→正解番号を選択→選択肢1～4欄をタップしそれぞれに選択肢を入力→メッセージ（正解時）欄をタップ→正解の場合のメッセージを入力→メッセージ（不正解時）欄をタップ→不正解の場合のメッセージを入力→≪OK≫

- 問題を編集し直すときは、「クイズ」の「問題編集」を選択します。

- 「アクション設定」を設定すると、メールを受け取った相手側の動作を設定できます。

作成中のS!メールの配信確認を設定したい

S!メール作成画面で≪設定≫→「送信オプション」→「配信確認」の「On」/「Off」

- 「On」に設定すると、メールサーバーからメールが相手に送信されたときに、配信レポートがお客様の930SCに送信されます。作成中のメールにのみ設定が反映されます。

作成中のS!メールの返信先を設定したい

S!メール作成画面で≪設定≫→「送信オプション」→「返信先指定」の「On」/「Off」

- 返信先は「返信先アドレス設定」(➲P.13-5)から設定できます。

作成中のS!メールの優先度を設定したい

S!メール作成画面で≪設定≫→「送信オプション」→「優先度」→項目を選択

作成中のS!メールのメールサーバーに保存する期限を設定したい

S!メール作成画面で≪設定≫→「送信オプション」→「有効期限」→項目を選択

作成中のS!メールの配信時間を指定したい

S!メール作成画面で≪設定≫→「送信オプション」→「配信時間指定」→項目を選択

サーバーメール転送後、サーバーからメールを削除するかどうか設定したい

S!メール作成画面で≪設定≫→「送信オプション」→「サーバーメール転送設定」→項目を選択

- サーバーメール転送時(➲P.4-28)のみ設定できます。

送信前にデルモジ表示を確認したい [デルモジ表示]

S!メール作成画面で≪その他≫→「デルモジ表示」

入力した本文をすべて削除したい [本文削除]

S!メール作成画面で≪その他≫→「本文削除」→「はい」

文字色を変更したい

デコレメール作成画面で「色」→文字色を選択→本文を入力

文字を点滅させたい

デコレメール作成画面で「効果」→「点滅」→「On」→本文を入力

- 効果をもとに戻した文字を続けて入力したいときは、「効果」→「点滅」→「Off」と操作してから入力します。

文字を整列させたい

デコレメール作成画面で「効果」→「整列」→項目を選択→本文を入力

BGM/Flash®/区切り線を挿入したい

デコレメール設定画面で「挿入」

■ データフォルダからBGMを挿入するとき

「BGM挿入」→「着うた・メロディ」/「ミュージック」→ファイルを選択

■ BGMを録音して挿入するとき

「BGM挿入」→「ボイスレコーダー起動」→(➲P.9-8 音声を録音する❷)

■ Flash®を挿入するとき

「Flash挿入」→ファイルを選択

■ 区切り線を挿入するとき

「区切り線挿入」

挿入したBGMを解除したい

BGMが挿入されたデコレメール設定画面で「挿入」→「BGM解除」

入力済みの文字の文字色/文字サイズ/効果を変更したい

文字が入力済みのデコレメール作成画面で≪範囲選択≫→装飾する最初の文字をタップ→≪始点≫→変更したい最後の文字をタップ→≪終点≫

■ 文字色を変えるとき

「色」→文字色を選択

■ 文字サイズを変えるとき

「サイズ」→項目を選択

■ 効果を変えるとき

「効果」→効果を選択→項目を選択

■ 元に戻すとき

「戻す」

デコレーションを確認したい　［プレビュー］

デコレメールの本文入力中に≪プレビュー≫

デコレメールテンプレートを登録したい　［デコレメールテンプレート保存］

S!メール作成画面で≪保存≫→「デコレメールテンプレート保存」→ファイル名を入力

- 本文を装飾している場合のみ、デコレメールテンプレートに保存できます（➔P.4-5）。

テンプレートを利用してS!メールを作成したい　［デコレメールテンプレート呼出し］

S!メール作成画面で≪その他≫→「デコレメールテンプレート呼出し」→テンプレートを選択

- すでにテンプレートを利用しているときは、編集内容を破棄する旨の確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると編集内容は破棄され、新たにテンプレートを呼び出すことができます。

テンプレートを利用してS!メールを送信したい

≪メール≫→「テンプレート」→「デコレメールテンプレート」→デコレメールテンプレートを選択→≪メール≫→（➔P.4-3 S!メールを送信する❷）

便利

SMS送信に関する便利な機能

「電話帳」以外の方法で宛先を入力したい

SMS作成画面で宛先欄をタップ

■ **電話番号を直接入力するとき**

「番号入力」→電話番号を入力

■ **電話帳のグループから選択するとき**

「グループ」→「本体」／「USIM」→グループを選択

- グループに21件以上登録されている場合、送信したい宛先をチェック→≪追加≫をタップしてください。
- 電話番号が複数登録されている電話帳が含まれている場合、宛先の選択画面が表示されることがあります。電話番号を選択してください。

■ **履歴から入力するとき**

「送受信履歴」→プルダウンメニューから「送信履歴」／「受信履歴」→履歴を選択

宛先を追加したい

宛先が入力済みのSMS作成画面で宛先欄をタップ→「宛先追加」

■ **電話帳から選択するとき**

「電話帳」→電話帳を検索し、選択（➔P.2-18）→電話番号を選択

■ **電話番号を直接入力するとき**

「番号入力」→電話番号を入力

■ **電話帳のグループから選択するとき**

「グループ」→「本体」／「USIM」→グループを選択

- 電話番号が複数登録されている電話帳が含まれている場合、宛先の選択画面が表示されることがあります。電話番号を選択してください。

■ **履歴から入力するとき**

「送受信履歴」→プルダウンメニューから「送信履歴」／「受信履歴」→履歴を選択

- SMS作成画面の宛先欄 の横に宛先件数が表示されます。

送受信履歴の詳細を確認したい　［表示］

SMS作成画面で宛先欄をタップ→「送受信履歴」→プルダウンメニューから「送信履歴」／「受信履歴」→≪表示≫→表示したい履歴を選択

送受信履歴を削除したい　［削除］

SMS作成画面で宛先欄をタップ→「送受信履歴」→プルダウンメニューから「送信履歴」／「受信履歴」→≪削除≫

■ **1件のみ削除する場合**

削除したい履歴の →「はい」

■ **全件削除する場合**

≪全送信履歴削除≫／≪全受信履歴削除≫→「はい」

宛先を削除したい
SMS作成画面で宛先欄をタップ

■ **1件削除するとき**
削除したい宛先の🗑

■ **すべて削除するとき**
≪全件削除≫→「はい」

SMSに情報を挿入したい　**[挿入]**
SMSの本文を作成中に≪その他≫→「挿入」

■ **定型文を挿入するとき**
「定型文」→項目を選択

■ **バーコードを挿入するとき**
「バーコードリーダー」→（➲P.9-9 バーコード／QRコードを読み取る❷）

■ **署名を挿入するとき**
「署名」

■ **電話帳の番号を挿入するとき**
「電話帳引用」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-18）→項目を選択

■ **オーナー情報を挿入するとき**
「オーナー情報引用」→項目を選択

■ **アドレスの一部を挿入するとき**
「簡単アドレス入力」→項目を選択

SMSの本文を作成中にユーザ辞書登録したい　**[ユーザ辞書登録]**
SMSの本文を作成中に≪その他≫→「ユーザ辞書登録」→（➲P.2-13 入力した文字をユーザ辞書に登録する❷）

SMSの本文を作成中に文字の入力／変換設定をしたい　**[入力／変換設定]**
SMSの本文を作成中に≪その他≫→「入力／変換設定」

■ **予測入力機能を設定／解除するとき**
「予測入力」の「On」／「Off」

■ **学習機能を設定／解除するとき**
「学習」の「On」／「Off」

■ **ユーザ辞書をリセットするとき**
「ユーザ辞書リセット」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→「はい」

■ **絵文字／記号の履歴をリセットするとき**
「絵／記号履歴リセット」→「はい」

作成中のSMSを下書きに保存したい　**[下書きに保存]**
SMS作成画面で≪下書きに保存≫

- 宛先、本文のいずれかが入力されている場合のみ、下書きに保存できます。

作成中のSMSをS!メールに変更したい　**[S!メールに変換]**
SMS作成画面で≪S!メールに変換≫

作成中のSMSの配信確認を設定したい
SMS作成画面で≪その他≫→「送信オプション」→「配信確認」の「On」／「Off」

- 「On」に設定すると、メールサーバーからメールが相手に送信されたときに、配信レポートがお客様の930SCに送信されます。作成中のメールにのみ設定が反映されます。

作成中のSMSの有効期限を設定したい
SMS作成画面で≪その他≫→「送信オプション」→「有効期限」→項目を選択

送信前にデルモジ表示を確認したい　**[デルモジ表示]**
SMS作成画面で≪その他≫→「デルモジ表示」

入力した本文をすべて削除したい　**[本文削除]**
SMS作成画面で≪その他≫→「本文削除」→「はい」

テンプレートを利用してSMSを送信したい　**[送信]**
≪メール≫→「テンプレート」→「定型文」→≪送信≫→利用したい定型文を選択

便利

受信メールに関する便利な機能

手動でメールを受信したい

≪メール≫→「新着メール受信」

添付画像の表示サイズを設定したい

≪メール≫→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを選択→≪その他≫→「設定」→「画像表示設定」→項目を選択

受信通知／サーバーメールを転送したい [転送]

≪メール≫→「受信ボックス」→フォルダを選択→転送したい受信通知を選択→≪転送≫→項目を選択→（➔P.4-3 S!メールを送信する❷）

差出人に電話をかけたい [発信]

≪メール≫→「受信ボックス」→フォルダを選択→≪その他≫→「発信」→目的のメールの📞

- 宛先人が電話番号の場合のみ利用できます。

受信通知からメールサーバーに保存されているメールを削除したい [削除]

≪メール≫→「受信ボックス」→フォルダを選択→受信通知を選択→≪その他≫→「削除」→項目を選択

便利

メールの利用／管理に関する便利な機能

添付ファイルを確認したい

≪メール≫→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→ファイルを選択→「開く」

- 確認前にファイルをデータフォルダに保存するには、メッセージ画面でファイルを選択し、「保存」を選択します。
- 確認前にvCardやvCalendarを電話帳やカレンダーに登録するには、メッセージ画面でファイルを選択し、「電話帳登録」／「カレンダーに登録」を選択します。
- 確認後にvCardやvCalendarを電話帳やカレンダーに登録するには、≪登録≫をタップします。
- コンテンツ・キーの購入／取得が必要なファイルが添付されている場合は、確認メッセージが表示されます。ファイルを確認するときは、「はい」を選択してコンテンツ・キーを購入または取得します。
- 回数制限があり、1回だけ再生／表示できるファイルが添付されているときは、表示／再生回数が1回だけ残っていることをお知らせするメッセージが表示されます。

S!メールに添付／挿入されているファイルをデータフォルダに保存したい

≪メール≫→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→フォルダを選択→メールを選択→≪保存≫（画面によっては≪その他≫→「保存」）→「添付ファイル保存」→保存したいファイルをチェック→≪保存≫

- 保存時にファイル名が重複する旨のメッセージが表示されたときは、「OK」→ファイル名を編集します。

受信S!メールや送信済みS!メールをデコレメールテンプレートに保存したい

≪メール≫→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→フォルダを選択→メールを選択→≪保存≫（画面によっては≪その他≫→「保存」）→「デコレメールテンプレート保存」→ファイル名を入力

- 本文を装飾している場合のみ、デコレメールテンプレートに保存できます（➔P.4-5）。

デルモジ表示したい [デルモジ表示]

≪メール≫→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→≪その他≫→「デルモジ表示」

差出人や宛先を電話帳に登録したい［電話帳登録］

≪メール≫→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→フォルダを選択→メールを選択→≪その他≫→「電話帳登録」→電話番号／Eメールアドレスを選択

■ **新しい電話帳に登録するとき**
「新規」→（➔P.2-16 電話帳に登録する ❷）

■ **既存の電話帳に追加登録するとき**
「追加」→電話帳を検索し、選択（➔P.2-18）→電話帳の登録操作（➔P.2-16）

- ≪メール≫→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→フォルダを選択→≪その他≫→「電話帳登録」→目的のメールの→電話番号／Eメールアドレスを選択しても同じ操作が行えます。

送信者や宛先を確認したい［メールアドレス表示］

≪メール≫→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→フォルダを選択→メールを選択→≪その他≫→「メールアドレス表示」

メールの内容をコピーしたい［コピー］

≪メール≫→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→フォルダを選択→メールを選択→≪コピー≫（画面によっては≪その他≫→「コピー」）

■ **差出人や宛先をコピーするとき**
「アドレス」→コピーしたいアドレスを選択

■ **件名をコピーするとき**
「件名」（➔P.2-35 範囲を指定して文字のコピー／カットをしたい）

■ **本文をコピーするとき**
「本文」（➔P.2-35 範囲を指定して文字のコピー／カットをしたい）

表示中のメールを削除したい［削除］

≪メール≫→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→≪削除≫（画面によっては≪その他≫→「削除」）→「はい」

メールの文字サイズを設定したい

≪メール≫→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→≪その他≫→「設定」→「文字サイズ」→項目を選択

メッセージ画面のスクロール単位を設定したい

≪メール≫→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→≪その他≫→「設定」→「スクロール単位」→項目を選択

ナビゲーションバーを表示／非表示にしたい

≪メール≫→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→≪その他≫→「設定」→「ナビゲーションバー」→項目を選択

メールの文字コードを設定したい［文字コード変換］

≪メール≫→「受信ボックス」→フォルダを選択→メールを選択→≪その他≫→「文字コード変換」→項目を選択

メッセージ画面の文頭／文末に移動したい［画面移動］

≪メール≫→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メールを選択→≪その他≫→「画面移動」→項目を選択

メール／デコレメールテンプレートの詳細を確認したい　【詳細】

≪メール≫→「受信ボックス」／「テンプレート」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→メール／デコレメールテンプレートを選択→≪詳細≫（画面によっては≪その他≫→「詳細」）

- ≪メール≫→「受信ボックス」／「下書き」／「テンプレート」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→≪詳細≫（画面によっては≪その他≫→「詳細」）→メール／テンプレートを選択しても同じ操作が行えます。

メール一覧画面のメールを並べ替えたい　【ソート】

≪メール≫→「受信ボックス」／「下書き」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→≪ソート≫（画面によっては≪その他≫→「ソート」）→項目を選択

- 並べ替えができる項目は、次のとおりです。
  - 日付の順（「日付：新しい順」／「日付：古い順」）
  - 送信者の順（「送信者順」）
  - 宛先の順（「宛先順」）
  - 未読／既読を分けて表示（「未読／既読順」）
  - 件名の順（「件名順」）
  - メールサイズの大きい順（「サイズ順」）
  - 添付ファイルあり／なしを分けて表示（「添付順」）
  - 保護されている／されていないメールを分けて表示（「保護順」）
- 「送信者順」「宛先順」「件名順」を選択したときは、半角記号、半角数字、半角英字、半角カタカナ、全角記号、全角ひらがな、全角カタカナ、漢字、全角数字、全角英字の順で表示されます。ただし、「件名順」を選択したときは「タイトルなし」が優先されます。

メール／デコレメールテンプレートを保護／保護解除したい　【保護設定】

≪メール≫→「受信ボックス」／「下書き」／「テンプレート」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→≪保護設定≫（画面によっては≪その他≫→「保護設定」）→保護したいメール／デコレメールテンプレートの→≪OK≫

- 保護を解除する場合にはをタップします。

メールを既読／未読にしたい　【既読・未読に変更】

≪メール≫→「受信ボックス」→フォルダを選択→≪その他≫→「既読・未読に変更」→既読にしたいメールを／未読にしたいメールをにする→≪OK≫

- アイコンをタップするたびに設定が切り替わります。

4 メール

メール一覧画面でSMSを930SC本体／USIMカードに移動したい [USIM・本体に移動]

≪メール≫→「受信ボックス」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」→必要に応じてフォルダを選択→≪その他≫→「USIM・本体に移動」→移動したいSMSの／

- をタップするとUSIMに、をタップすると930SC本体に移動します。
- USIMカードには、最大10通のSMSを保存できます。USIMカードに保存できる件数は、カードの種類によって異なります。
- 作成したフォルダにある受信SMSをUSIMカードに移動する場合は、確認メッセージが表示されます。「はい」を選択するとUSIMカードに移動します。

下書きからメールを送信したい [送信]

≪メール≫→「下書き」→メールを選択→≪送信≫

- 宛先が入力されていないときは≪送信≫はタップできません。

送信済みメールを編集して送信したい [編集]

≪メール≫→「送信済みボックス」→フォルダを選択→メールを選択→≪編集≫→(➲P.4-3 S!メールを送信する❷、P.4-7 SMSを送信する❷)

- ≪メール≫→「送信済みボックス」→フォルダを選択→≪編集≫→編集したいメールのをタップしても同じ操作が行えます。

配信レポートを確認したい [レポート]

≪メール≫→「送信済みボックス」→フォルダを選択→「配信確認」を設定したメールを選択→≪レポート≫

- SMSまたは電話番号を宛先にしたS!メールで送信した場合に、確認できます。

未送信メールを編集して送信したい [編集]

≪メール≫→「未送信ボックス」→メールを選択→≪編集≫→(➲P.4-3 S!メールを送信する❷、P.4-7 SMSを送信する❷)

- ≪メール≫→「未送信ボックス」→≪編集≫→編集したいメールのをタップしても同じ操作が行えます。

未送信メールを再送信したい [再送信]

≪メール≫→「未送信ボックス」→≪再送信≫→再送信したいメールの

未送信メールのエラー詳細を確認したい [エラー詳細]

≪メール≫→「未送信ボックス」→≪その他≫→「エラー詳細」→確認したいメールを選択

登録したデコレメールテンプレートを表示して確認したい

≪メール≫→「テンプレート」→「デコレメールテンプレート」→デコレメールテンプレートを選択

登録したデコレメールテンプレートを編集したい

≪メール≫→「テンプレート」→「デコレメールテンプレート」→登録したデコレメールテンプレートを選択→≪メール≫→本文入力欄をタップ→本文を入力→≪OK≫→≪保存≫→「デコレメールテンプレート保存」→ファイル名を入力

登録したデコレメールテンプレートをメールで送信したい [メール添付送信]

≪メール≫→「テンプレート」→「デコレメールテンプレート」→デコレメールテンプレートを選択→≪メール添付送信≫→(➲P.4-3 S!メールを送信する❷)

デコレメールテンプレートを移動したい [移動]

≪メール≫→「テンプレート」→「デコレメールテンプレート」→≪移動≫→「フォルダ」／「ファイル」→移動したいフォルダ／デコレメールテンプレートをチェック→≪移動≫→移動先を選択

- 新規にフォルダを作成してその中に移動する場合は、≪フォルダ作成≫→フォルダ名を入力します。

デコレメールテンプレートをコピーしたい [コピー]

≪メール≫→「テンプレート」→「デコレメールテンプレート」→≪コピー≫→「フォルダ」／「ファイル」→コピーしたいフォルダ／デコレメールテンプレートをチェック→≪コピー≫→コピー先を選択

デコレメールテンプレートを送信したい [送信]

≪メール≫→「テンプレート」→「デコレメールテンプレート」→≪その他≫→「送信」

■ **メールで送信するとき**

「メール添付」→デコレメールテンプレートを選択→（➔P.4-3 S!メールを送信する❷）

■ **Bluetooth®で送信するとき**

「Bluetooth」→送信したいデコレメールテンプレートをチェック→≪送信≫→（➔P.12-7 データを送信する❷）

■ **赤外線で送信するとき**

「赤外線通信」→送信したいデコレメールテンプレートをチェック→≪送信≫（➔P.12-3）

デコレメールテンプレートを並べ替えたい [ソート]

≪メール≫→「テンプレート」→「デコレメールテンプレート」→≪その他≫→「ソート」→項目を選択

デコレメールテンプレートを管理したい [データ管理]

≪メール≫→「テンプレート」→「デコレメールテンプレート」→必要に応じてフォルダを選択→≪その他≫→「データ管理」

■ **フォルダ名／ファイル名を変更するとき**

「フォルダ・ファイル名変更」（画面によっては「テンプレート名変更」）→フォルダ／ファイルを選択→名前を入力

■ **フォルダを作成するとき**

「フォルダ作成」→フォルダ名を入力

■ **コンテンツ・キー情報を確認したい**

「コンテンツ・キー情報」→確認したいコンテンツ・キーを選択

■ **コンテンツ・キーを購入または取得したい**

「コンテンツ・キー再取得」→テンプレートを選択

デコレメールテンプレートのフォルダに「シークレット設定」を設定したい [シークレット設定]

≪メール≫→「テンプレート」→「デコレメールテンプレート」→≪その他≫→「シークレット設定」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→シークレット設定したいフォルダをチェック→≪OK≫

- 「シークレット設定」を設定したフォルダは、セキュリティ設定のシークレットモードが「表示しない」に設定されていると確認できません。確認するには、≪その他≫→「シークレット一時解除」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫をタップします。

メールサーバーに保存されているメールを確認したい

≪メール≫→「サーバーメール操作」→「メールリスト」→確認メッセージが表示されたときは「はい」

メールリストを更新したい [更新]

≪メール≫→「サーバーメール操作」→「メールリスト」→≪更新≫

メールリストからメールを受信したい

≪メール≫→「サーバーメール操作」

■ メールを選択して受信するとき

「メールリスト」→確認メッセージが表示されたときは「はい」→≪受信≫→受信したいメールを選択

■ すべてのメールを受信するとき

「メール全受信」

- 「メールリスト」→確認メッセージが表示されたときは「はい」→≪メール全受信≫をタップしても同じ操作を行うことができます。

メールサーバーに保存されているメールを転送したい [サーバーメール転送]

≪メール≫→「サーバーメール操作」→「メールリスト」→確認メッセージが表示されたときは「はい」→≪その他≫→「サーバーメール転送」→転送したいメールの→（➲P.4-3 S!メールを送信する❷）

- 転送するメールの件名には「Fw:」が自動的に付きます。
- サーバーメール転送後、サーバーからメールを削除するかどうかをあらかじめ設定することができます（➲P.4-20 サーバーメール転送後、サーバーからメールを削除するかどうか設定したい）。

メールサーバーに保存されているメールをすべて削除したい

≪メール≫→「サーバーメール操作」→「メール全削除」→項目を選択→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→「はい」

メールリストを利用してサーバー内のメールを削除したい [削除]

≪メール≫→「サーバーメール操作」→「メールリスト」→確認メッセージが表示されたときは「はい」→≪その他≫→「削除」→削除したいメールをチェック→≪削除≫→「はい」

メールサーバーの使用状況を確認したい

≪メール≫→「サーバーメール操作」→「サーバーメール容量」

- 最新の情報に更新する場合は≪更新≫をタップします。

メモリの使用状況を確認したい

≪メール≫→「メモリ容量確認」→プルダウンメニューから「サイズ（KB）」／「件数」

- 「受信ボックス」／「下書き」／「送信済みボックス」／「未送信ボックス」／「SMS（USIM）」別に表示されます。
- USIMカード内に保存したSMSは、「件数」のみ確認できます。
- 確認したメモリを削除するには≪削除≫をタップします（➲P.2-46 登録／保存した内容を削除してメモリを整理したい）。

便利

フォルダ管理に関する便利な機能

フォルダ名を変更したい [フォルダ名変更]

≪メール≫→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→≪フォルダ名変更≫→フォルダを選択→名前を入力

シークレット設定を設定したい [シークレット設定]

≪メール≫→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→≪その他≫→「シークレット設定」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→フォルダを選択→≪OK≫

- 「シークレット設定」を設定したフォルダは、セキュリティ設定のシークレットモードが「表示しない」に設定されていると確認できません。確認するには、≪その他≫→「シークレット一時解除」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫をタップします。

フォルダを削除したい [削除]

≪メール≫→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→≪その他≫→「削除」→削除したいフォルダを選択→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→「はい」

フォルダの詳細情報を確認したい [詳細]

≪メール≫→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→≪その他≫→「詳細」→フォルダを選択

メールの自動振り分けルールを変更したい [ルール変更]

≪メール≫→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→≪メール振り分け設定≫→ルールを変更したいフォルダを選択

■ **振り分ける電話番号／Eメールアドレスを変更するとき**

≪ルール変更≫→変更したいルール欄を選択→（➔P.4-16 メールを振り分ける❸）

■ **テキストを変更するとき**

変更したいテキスト欄を選択→テキストを編集→≪OK≫

振り分けルールを削除したい [削除]

≪メール≫→「受信ボックス」／「送信済みボックス」→≪メール振り分け設定≫→削除したいルールがあるフォルダを選択→≪削除≫

■ **1件削除するとき**

削除したいルールを選択

■ **すべて削除するとき**

≪全削除≫→「はい」

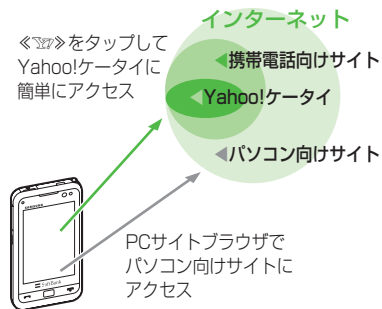
インターネット

5

インターネットをご利用になる前に

インターネットについて

Yahoo!ケータイやPCサイトブラウザでインターネットにアクセスし､いろいろなコンテンツを閲覧したり､画像やサウンドなどをダウンロードしたりできます。Yahoo!ケータイやPCサイトブラウザでインターネットにアクセスしたとき､表示される画面を情報画面といいます。

インターネット
≪Y!≫をタップしてYahoo!ケータイに簡単にアクセス
◀携帯電話向けサイト
◀Yahoo!ケータイ
◀パソコン向けサイト
PCサイトブラウザでパソコン向けサイトにアクセス

- 本書では、ソフトバンクのポータルサイトを「Yahoo!ケータイ」、PCサイトブラウザを利用して閲覧できるサイトを「PCサイト」とし、これらの総称を「インターネット」と表記しています。
- インターネットのご利用には、別途ご契約が必要です。
- インターネットのご利用前に、あらかじめネットワーク自動調整を行う必要があります。

注意

- **情報画面への接続時にパケット通信料がかかります。**

SSL/TLSについて

SSL（Secure Sockets Layer）とTLS（Transport Layer Security）とは、データを暗号化して送受信するためのプロトコル（通信規約）です。SSL/TLS接続時の画面では、データを暗号化し、プライバシーにかかわる情報やクレジットカード番号、企業秘密などを安全に送受信することができ、盗聴、改ざん、なりすましなどのネットワーク上の危険から保護します。930SCでは、あらかじめ認証機関から発行されたルート証明書が登録されていて、確認することもできます（➔P.5-16、5-19）。

注意

- **SSL/TLSの利用について**
  セキュリティで保護されている情報画面を表示する場合、お客様は自己の判断と責任においてSSL/TLSを利用するものとします。
  お客様自身によるSSL/TLSの利用に際し、ソフトバンクモバイル株式会社および認証会社である日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、エントラストジャパン株式会社、グローバルサイン株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社は、お客様に対しSSL/TLSの安全性に関して何ら保証を行うものではありません。万一、何らかの損害がお客様に発生した場合でも一切責任を負うものではありませんので、あらかじめご了承ください。

キャッシュについて

キャッシュとは、インターネットで入手したメニューや情報を、一時的に保存するメモリです。キャッシュに保存された情報は、インターネットを終了したり電源を切ったりしても保持されますが、メモリの容量がいっぱいになると古い情報から自動的に消去されます。

キャッシュに情報が保存されている情報画面を再表示すると、サービスセンター内の最新情報ではなく、以前に表示した情報画面が表示される場合があります。最新の情報を表示するには、情報を更新してください。

- 930SCに他のUSIMカードを取り付けたときは、キャッシュに保存されている情報が自動的に消去されます。
- 有効期限が設定されている情報が保存されているときは、設定されている期限になると、キャッシュから自動的に消去されます。

Yahoo!ケータイを利用する

Yahoo!ケータイのメインメニューからアクセスする

Yahoo!ケータイのメインメニューから項目を選択し、目的の情報画面にアクセスできます。

1 ≪Y!≫

2 **項目を選択**

- お買い上げ後に初めてインターネットにアクセスすると、操作1でネットワーク自動調整画面が表示されます。ネットワーク自動調整を行うと、情報画面が表示されます。
- PCサイトブラウザの情報画面に切り替えるには、Yahoo!ケータイの情報画面で≪その他≫→「PCサイトブラウザ切替」→「このページ」／「リンク先」→「はい」／「いいえ」を選択します。

注意

- **「Referer 送出」を「送出しない」に設定していると、情報画面を表示できない場合があります（➲P.5-16）。**

URLを入力してアクセスする

1 **≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫→「URL入力」**

- URL欄には、あらかじめ「http://」が入力されています。

2 **URLを入力**

使いこなしチェック！

便利 ☞P.5-14

- 情報画面でキーパッドを表示／非表示にしたい
- 情報画面のテキストをコピーしたい
- 情報画面を最新の情報に更新したい
- 情報画面でURLを入力して他の情報画面にアクセスしたい
- 情報画面のテキストを検索したい
- 表示しているページの文頭／文末へ移動したい
- 情報画面のURLをメールで送信したい
- 閲覧履歴を削除したい
- 閲覧履歴を送信したい
- 閲覧履歴の詳細を確認したい
- 情報画面を拡大／縮小したい
- 情報画面からFlash®を操作したい
- 選択中のフレームだけを表示したい
- 表示中の情報画面のプロパティを確認したい
- 情報画面からYahoo!ケータイのメインメニューに移動したい

● メニュー操作からブラウザを終了したい

設定

● 情報画面のキャッシュ／Cookie／認証情報を消去する（☞P.13-7）
● 製造番号を自動的に通知するかどうか設定する（☞P.13-7）
● リファラーを送信するかどうか設定する（☞P.13-7）
● Cookieの有効／無効を設定する（☞P.13-7）
● スクリプトの有効／無効を設定する（☞P.13-7）
● ルート証明書を確認する（☞P.13-7）
● 認証情報の保存期間を設定する（☞P.13-7）
● ブラウザを初期化する（☞P.13-7）
● 設定をリセットする（☞P.13-7）

PCサイトブラウザを利用する

PCサイトブラウザのメインメニューからアクセスする

PCサイトブラウザのメインメニューから項目を選択し、パソコン向けサイトの情報画面にアクセスできます。

1 ≪メニュー≫→≪Y! ケータイ≫→「PC サイトブラウザ」→「ホームページ」

- 警告メッセージが表示されたときは、「はい」／「いいえ」を選択します。

2 項目を選択

- PCサイトブラウザを起動すると、ディスプレイ最上段に 💻 が表示されます。
- PCサイトブラウザでは、ドキュメントファイル以外のデータをダウンロードまたはストリーミングすることはできません。
- サイトによっては正しく表示されない場合があります。
- Yahoo! ケータイの情報画面に切り替えるには、PCサイトブラウザの情報画面で≪その他≫→「ブラウザ切替」→警告メッセージが表示されたときは、「はい」／「いいえ」を選択します。

注意

- 「Referer送出」を「送出しない」に設定していると、情報画面を表示できない場合があります（➔P.5-19）。
- データ量の多い情報画面を表示するときはパケット通信料が高額になりますので、ご注意ください。

URLを入力してアクセスする

1 ≪メニュー≫→≪Y! ケータイ≫→「PC サイトブラウザ」→「URL入力」

- URL欄には、あらかじめ「http://」が入力されています。

2 URLを入力

- 警告メッセージが表示されたときは、「はい」／「いいえ」を選択します。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.5-17

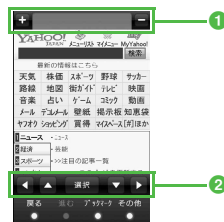
● 情報画面を拡大／縮小したい
● 情報画面のテキストをコピーしたい
● 情報画面のテキストを検索したい
● 情報画面のURLをメールで送信したい
● 表示しているページの文頭／文末へ移動したい
● 閲覧履歴を削除したい
● 閲覧履歴を送信したい

- 閲覧履歴の詳細を確認したい
- 情報画面からFlash®を操作したい
- 選択中のフレームだけを表示したい
- 表示中の情報画面のプロパティを確認したい
- 情報画面からPCサイトブラウザのメインメニューに移動したい
- 情報画面の表示幅を変更したい
- メニュー操作からブラウザを終了したい

設定

- 情報画面のキャッシュ／Cookie／認証情報を消去する（☞P.13-8）
- 製造番号を自動的に通知するかどうか設定する（☞P.13-8）
- リファラーを送信するかどうか設定する（☞P.13-8）
- Cookieの有効／無効を設定する（☞P.13-8）
- スクリプトの有効／無効を設定する（☞P.13-8）
- ルート証明書を確認する（☞P.13-8）
- 認証情報の保存期間を設定する（☞P.13-8）
- 警告メッセージを表示するかどうか設定する（☞P.13-8）
- ブラウザを初期化する（☞P.13-9）
- 設定をリセットする（☞P.13-9）

情報画面の操作のしかた

Yahoo!ケータイの操作のしかた

情報画面
（Yahoo!ケータイ）

❶ タブ操作部とページ名
＋：新しいタブを追加
ページ名欄：タップしたタブに切り替え
－：選択中のタブを閉じる

❷ 操作部
◀／▲／▼／▶：上下左右にスクロール、カーソルの移動
「選択」：反転表示されているリンクや、点線の枠で囲まれている画像などの選択

「選択」
≪戻る≫／CLEAR

❸ 情報画面の切替
≪戻る≫／CLEAR：前の情報画面へ切り替え
≪進む≫／リンクなどを反転表示して「選択」：次の情報画面へ切り替え
- ≪進む≫は次の画面へ移動したあとで、前の画面に戻った場合に選択できます。

- 項目を直接タップして、リンクを選択することもできます。
- 画面を直接触って、スクロールすることもできます。
- 前の情報画面がない状態でCLEARを押すと、インターネット接続終了の確認メッセージが表示され、「はい」を選択するとインターネット接続を終了します。

PCサイトブラウザの操作のしかた

情報画面
（PCサイトブラウザ）

❶ 情報画面の切替
◀／CLEAR：前の情報画面へ切り替え
▶／リンクをタップ：次の情報画面へ切り替え
⟳：情報画面を最新の情報に更新
URL欄：URLを表示
- URL欄をタップすると、URLを入力することができます。

❷ タブ操作部とページ名
＋：新しいタブを追加
ページ名欄：タップしたタブに切り替え
－：選択中のタブを閉じる

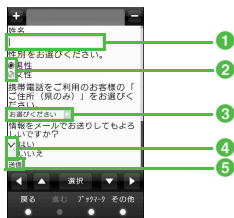
- 930SCを横に持つと横画面表示になります。操作は縦画面と同様です。
- TVを押すと全画面表示になります。もう一度押すともとに戻ります。
- 画面を直接触って、スクロールします。
- 項目を直接タップして、リンクを選択します。
- 項目をホールドすると、リンクを新しいタブで開きます（全画面表示中は開けません）。

タブ操作について

画面上部に表示されるタブを利用して、最大3つの情報画面を表示できます。

- Yahoo!ケータイの情報画面とPCサイトブラウザの情報画面は同時に表示できません。
- 情報画面によっては、自動的にタブが追加されることがあります。
- 複数の情報画面を表示しているときは、情報画面が一部表示できないことがあります。不要となった情報画面は閉じて閲覧することをおすすめします。

情報画面の文字入力／項目選択

情報画面には次のような欄や項目が表示される場合があります。

❶ 文字入力欄
登録内容や認証のパスワードなどを入力します。文字入力欄を選択し、文字を入力します。

❷ ラジオボタン
選択項目から１つの項目を選択します。○の項目を選択すると、◉に変わり選択された状態になります。

❸ メニュー欄
メニューを表示して項目を選択します。メニュー欄を選択すると、メニューが表示されます。項目を選択してください。複数の項目を選択できるメニュー欄では、CLEARを押すと選択モードが解除されます。

❹ チェックボックス
選択項目から複数の項目を選択します。□の項目を選択すると、☑に変わり選択された状態になります。選択を解除する場合は☑を選択します。

❺ 実行ボタン
「送信」や「リセット」など、ボタンに表示されている操作を実行します。実行ボタンを選択すると、操作が実行されます。

注意

- **文字入力や項目選択の表示は、表示する情報画面によって異なる場合があります。**

使いこなしチェック！

便利 ☞P.5-20

設定

- 情報画面に表示されるテキスト情報の文字サイズを設定する（☞P.13-7、P.13-8）
- 情報画面でのスクロール単位を設定する（☞P.13-7）
- 拡大／縮小時にガイドを表示するかどうかを設定する（☞P.13-8）
- 情報画面で画像を表示するかどうか設定する（☞P.13-7、P.13-8）
- 情報画面でサウンドを再生するかどうか設定する（☞P.13-7、P.13-8）
- Yahoo!ケータイの情報画面の文字サイズを変更する（☞P.13-18）
- PCサイトブラウザの情報画面の文字サイズを変更する（☞P.13-18）

ブックマークを利用する

ブックマークには情報画面のURLが登録され、インターネットに接続することで情報を確認できます。

ブックマークに登録する

ブックマークは、Yahoo!ケータイとPCサイトブラウザそれぞれで最大50件まで保存できます。

1 情報画面を表示

2 ≪ブックマーク≫→「登録」

3 タイトルを入力

ブックマークから接続する

1 ≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫→必要に応じて「PCサイトブラウザ」→「ブックマーク」

2 ブックマークを選択

注意

- **情報画面への接続時には、パケット通信料が発生します。**

使いこなしチェック！

便利 ☞P.5-21
- 情報画面を表示中にブックマークから接続したい
- ブックマークを直接入力して登録したい
- ブックマークのタイトルやURLを編集したい
- ブックマークを削除したい
- ブックマークの一覧表示にフォルダを作成したい
- ブックマークのURLをメールで送信したい
- ブックマークのURLをBluetooth®で送信したい
- ブックマークのURLを赤外線通信で送信したい
- ブックマークをフォルダの中に移動したい
- ブックマークを並び替えたい
- ブックマークをデータフォルダに保存したい
- ブックマークの詳細を確認したい

画面メモを利用する

画面メモには情報画面そのものが登録され、インターネットに接続せずに情報を確認できます。

画面メモに登録する

画面メモは、Yahoo!ケータイとPCサイトブラウザでそれぞれ最大30件まで登録できます。

1 **情報画面を表示**

2 **≪画面メモ≫(画面によっては≪その他≫→「画面メモ」)→「登録」**

3 **タイトルを入力**

画面メモを表示する

1 **≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫→必要に応じて「PCサイトブラウザ」→「画面メモ」**

2 **画面メモを選択**

注意

- **画面メモを保存したときに取り付けていたUSIMカードを差し替えると、画面メモは表示できません。**

使いこなしチェック！

便利 ☞P.5-24
- 情報画面を表示中に画面メモを表示したい
- 画面メモのタイトルを編集したい
- 画面メモを削除したい
- 画面メモを並び替えたい

ストリーミングを利用する

音楽や動画などのデータをダウンロードしながら順次再生します。情報画面に表示されているリンクなどからアクセスして、ストリーミングができます。

情報画面のリンクからストリーミングする

1 リンクが表示されている情報画面を表示

2 リンクを選択

URLを直接入力する

1 ≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ストリーミング」→「URL入力」

- URL欄には、あらかじめ「rtsp://」が入力されています。

2 URLを入力

ストリーミング画面

- ストリーミング中の操作は、メディアプレイヤー再生中の操作と同様です（➔P.8-4、P.8-5）。

注意

- ストリーミング中は、一時停止した場合でも通信は継続されるため、パケット通信料が発生します。

ブックマークから接続する

アクセスしたストリーミング画面のブックマークを最大20件まで保存できます。

1 ≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ストリーミング」→「ブックマーク」

2 ブックマークを選択

アクセス履歴から接続する

アクセスしたストリーミング画面のURLを最大20件まで保存できます。

1 ≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ストリーミング」→「履歴」

2 履歴を選択

使いこなしチェック！

便利 ☞P.5-25
- ストリーミング中にブックマークに登録したい
- ストリーミング画面でブックマークに登録したストリーミングにアクセスしたい
- ストリーミング画面で以前に利用したストリーミングにアクセスしたい
- ブックマークに登録したストリーミングのURLを編集したい
- ストリーミングのブックマークを直接入力して登録したい
- ブックマークに登録したストリーミングを削除したい
- ストリーミングのアクセス履歴を編集したい
- ストリーミングのアクセス履歴を削除したい

S!速報ニュースを利用する

S!速報ニュースでは、登録したYahoo!ケータイのコンテンツの更新情報を見ることができます。

- S!速報ニュースには、S!速報ニュース一覧とS!ループリストの2種類あります。
- 待受画面でS!速報ニュース一覧やS!ループリストに登録したコンテンツの最新情報を確認することができます（➔P.1-22）。
- S!速報ニュースのご利用には、別途お申し込みが必要です。

リスト画面を表示する

1. ≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S!速報ニュース」
2. 「S!速報ニュース一覧」／「S!ループリスト」

S!速報ニュース一覧画面の見かた

S!速報ﾆｭｰｽ一覧
登録はこちら
ニュース
930SC_TOPIC
更新 詳細 削除

S!速報ニュース一覧画面

- ：速報未読
- ：一般未読
- ：速報既読
- ：一般既読
- ：速報／一般自動更新停止中

S!ループリスト画面の見かた

S!ﾙｰﾌﾟﾘｽﾄ
S!ﾙｰﾌﾟ
Dの日記
ワールドカ…(15)
みさきのノ…
更新 詳細 削除

S!ループリスト画面

- ：S!ループ未読
- ：S!ループ既読
- ：S!ループ自動更新停止中

注意

- **S!速報ニュース／S!ループのご利用時には、パケット通信料が発生します。**

更新情報を確認する

S! 速報ニュース一覧の更新情報を確認する

1 ≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S! 速報ニュース」

2 「S!速報ニュース一覧」→コンテンツを選択

3 情報を選択

- S! 速報ニュース一覧画面／内容一覧画面に戻るときは、≪リスト≫／≪一覧≫をタップします。
- インターネットに接続して更新情報を確認するには、項目を選択し、「はい」を選択します。
- 次の情報があるときは、≪次≫をタップすると次の情報画面を表示します。
- ≪キーパッド表示≫をタップすると、キーパッドを表示できます。

S! ループリストの更新情報を確認する

1 ≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S! 速報ニュース」

2 「S!ループリスト」

3 項目を選択→情報を選択

- S!ループリスト画面／内容一覧画面に戻るときは、≪リスト≫／≪一覧≫をタップします。
- インターネットに接続して更新情報を確認するには、項目を選択し、「はい」を選択します。
- 次の情報があるときは、≪次≫をタップすると次の情報画面を表示します。
- ≪キーパッド表示≫をタップすると、キーパッドを表示できます。

S!速報ニュース一覧／S!ループリストに登録する

S!速報ニュース一覧に登録する

S!速報ニュース一覧には速報が1件、一般が最大4件まで登録できます。

1 ≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S! 速報ニュース」

2 「S!速報ニュース一覧」

3 「登録はこちら」→「はい」

4 コンテンツを選択→画面の指示に従って操作

S!ループリストに登録する

S!ループリストには最大5件まで登録できます。

1 ≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S!速報ニュース」

2 「S!ループリスト」

3 「S!ループ」→「はい」

- S!ループリストの登録方法について詳しくは、S!ループのヘルプを参照してください。

S!速報ニュース一覧/S!ループリストを手動で更新する

1 ≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S!速報ニュース」

2 「S!速報ニュース一覧」/「S!ループリスト」

3 ≪更新≫→更新したいコンテンツ/S!ループの項目をチェック→≪更新≫

- 更新中に中止したいときは≪キャンセル≫をタップします。

S!速報ニュース一覧/S!ループリストを削除する

1 ≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S!速報ニュース」

2 「S!速報ニュース一覧」/「S!ループリスト」

3 ≪削除≫→削除したいコンテンツ/S!ループの項目をチェック→≪削除≫→「はい」

使いこなしチェック！

便利 ☞P.5-27

- コンテンツの詳細を確認したい
- S!速報ニュース一覧の内容一覧画面で情報を更新したい
- S!速報ニュース一覧の内容一覧画面から更新情報を確認したい
- S!ループの項目の詳細を確認したい
- S!ループリストの内容一覧画面で情報を更新したい
- S!ループリストの内容一覧画面から更新情報を確認したい

S!ループについて

S!ループはコミュニケーションサービスです。

- S!ループのご利用には、別途お申し込みが必要です。

S!ループを利用する

1 ≪メニュー≫→「コミュニケーション」→「S!ループ」

- インターネットに接続し、S! ループのトップメニュー画面を表示します。

- S!ループの利用方法について詳しくは、「S!ループ」のヘルプを参照してください。

注意

- **S!ループのご利用時には、パケット通信料が発生します。**

S! 情報チャンネルを利用する

S! 情報チャンネルでは、登録したニュースなどを夜間にお届けします。また、待受画面にお天気情報をアイコンでお知らせします。

- 日本国内だけで利用できるサービスです。
- S! 情報チャンネルのご利用には、別途お申し込みが必要です。

サービス登録を行う

1 ≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S! 情報チャンネル／お天気」→「サービス登録・解除」

2 画面の指示に従って操作

新着情報を確認する

S! 情報チャンネルの情報は自動的に受信され、待受画面に通知が表示されます。

1 通知をタップ

2 画面の指示に従って操作

- 操作方法は、Yahoo!ケータイと同様です。

お天気アイコンを利用する

S! 情報チャンネルのサービス登録を行うと、現在いる地域の天気を示すマーク（お天気アイコン）が、待受画面に表示されます。

☀：晴れ（昼）
🌙：晴れ（夜）
☁：曇り
☂：雨
⛄：雪
⚡：雷雨
▷：のち
/：時々
例：☁ / ☂→曇り時々雨

- 上記以外に、降水確率や季節情報なども表示されます。

注意

- **S!情報チャンネルのご利用時には、パケット通信料が発生します。**

使いこなしチェック！

便利 ☞P.5-28

設定

- お天気アイコンが更新されたときに通知するかどうかを設定する（☞P.13-9）
- お天気アイコンを自動的に更新するかどうかを設定する（☞P.13-9）

便利

Yahoo!ケータイに関する便利な機能

情報画面でキーパッドを表示／非表示にしたい　［キーパッド表示］／［キーパッド非表示］

情報画面で≪その他≫→「キーパッド表示」／「キーパッド非表示」

- 情報画面によっては、キーパッドの数字／ * ／ # をタップして項目を選択できます。
- キーパッド表示中は、表示されているスライダーを動かすことでキーパッドの透過率を調節できます。

情報画面のテキストをコピーしたい　［テキストコピー］

情報画面で≪その他≫→「テキストコピー」

■ **文字を選択してコピーするとき**

コピーしたい最初の文字をタップ→≪始点≫→コピーしたい最後の文字をタップ→≪終点≫

■ **文字入力画面上のすべての文字をコピーするとき**

≪全て≫

情報画面を最新の情報に更新したい　［更新］

情報画面で≪その他≫→「更新」

情報画面でURLを入力して他の情報画面にアクセスしたい　［URL入力］

情報画面で≪その他≫→「URL入力」→URLを入力

履歴を使ってURLを入力したい

■ **Yahoo!ケータイから操作するとき**

≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫→「URL入力」→≪その他≫→「挿入」→「URL入力履歴」→URLを選択

■ **情報画面から操作するとき**

情報画面で≪その他≫→「URL入力」→≪その他≫→「挿入」→「URL入力履歴」→URLを選択

- URL入力画面で履歴を使ってURLを入力することができます。URL入力履歴は、新しいものから順に最大10件まで表示されます。最大件数を超えたときは、古い履歴から順に消去されます。

情報画面のテキストを検索したい　［ページ内検索］

情報画面で≪その他≫→「ページ内検索」→検索語を入力

- 一致する語句が反転表示されます。≪前≫／≪次≫をタップすると、前後のテキストを検索します。

表示しているページの文頭／文末へ移動したい [移動]

情報画面で≪その他≫→「移動」→項目を選択

情報画面のURLをメールで送信したい [URL送信]

情報画面で≪その他≫→「URL送信」→「S!メール」／「SMS」→（➲P.4-3 S!メールを送信する❷、P.4-7 SMSを送信する❷）

以前に表示した情報画面を表示したい

■ **Yahoo!ケータイから操作するとき**
≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫→「閲覧履歴」→表示したいURLを選択

■ **情報画面から操作するとき**
情報画面で≪その他≫→「閲覧履歴」→表示したいURLを選択

- 履歴にはアクセスした情報画面のURLが最大50件まで記録されます。

閲覧履歴を削除したい [削除]

≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫→「閲覧履歴」→≪削除≫→削除したい履歴をチェック→≪削除≫→「はい」

- 情報画面で≪その他≫→「閲覧履歴」→≪削除≫→削除したい履歴をチェック→≪削除≫→「はい」を選択しても同じ操作を行うことができます。

閲覧履歴を送信したい [URL送信]

≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫→「閲覧履歴」→≪URL送信≫→「S!メール」／「SMS」→送信したい履歴を選択→「はい」→（➲P.4-3 S!メールを送信する❷、P.4-7 SMSを送信する❷）

- 情報画面で≪その他≫→「閲覧履歴」→≪URL送信≫→「S!メール」／「SMS」→送信したい履歴を選択→「はい」を選択しても同じ操作を行うことができます。

閲覧履歴の詳細を確認したい [詳細]

≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫→「閲覧履歴」→≪詳細≫→目的の履歴を選択

- 情報画面で≪その他≫→「閲覧履歴」→≪詳細≫→目的の履歴を選択しても同じ操作を行うことができます。

情報画面を拡大／縮小したい [拡大縮小表示]

情報画面で≪その他≫→「拡大縮小表示」→ズームを調節

情報画面からFlash®を操作したい [Flash®メニュー]

情報画面のFlash®を表示し≪その他≫→「Flash®メニュー」

■ **一時停止／再生するとき**
「一時停止」／「再生」

■ **始めから再生するとき**
「始めから再生」

選択中のフレームだけを表示したい [フレームイン]／[フレームアウト]

情報画面で≪その他≫→「フレームイン」

- 情報画面によっては、画面が分割されていることがあります。このとき分割された1つ1つの画面を「フレーム」と呼びます。
- もとに戻るには、≪その他≫→「フレームアウト」を選択します。

表示中の情報画面のプロパティを確認したい [プロパティ表示]

情報画面で≪その他≫→「プロパティ表示」

■ **ページ情報を確認するとき**
「ページ情報」

■ **サーバー証明を確認するとき**
「サーバー証明」

情報画面からYahoo!ケータイのメインメニューに移動したい [Yahoo!ケータイ]

情報画面で≪その他≫→「Yahoo!ケータイ」

情報画面の文字サイズを変更したい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「文字サイズ」→項目を選択

情報画面のスクロール幅を変更したい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「スクロール単位」→項目を選択

文字コードを変更したい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「文字コード変換」→項目を選択

- 情報画面のテキスト情報が正しく表示されない場合、文字コードを変更すると正しく表示されることがあります。

情報画面で画像やサウンドを表示／再生するかどうか設定したい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「画像・音設定」

■ **画像の設定をするとき**
「画像表示」の「On」／「Off」

■ **サウンドの設定をするとき**
「音再生」の「On」／「Off」

キャッシュに保存された情報を消去したい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「メモリ操作」→「キャッシュ消去」→「はい」

Cookieを消去したい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「メモリ操作」→「Cookie消去」→「はい」

認証情報を消去したい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「メモリ操作」→「認証情報消去」→「はい」

製造番号を通知するかどうか設定したい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「製造番号通知」の「On」／「Off」

リファラー情報の転送を設定したい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「Referer送出」→項目を選択

- リファラーとは、情報画面にアクセスする際にウェブサーバへ送信するリンク元のURL情報のことです。

Cookieの設定をしたい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「Cookie設定」→項目を選択

- 「毎回確認」を選択するとCookieの記録を行うごとに受け入れるかどうかの確認メッセージが表示されます。
- Cookieとは、情報の提供者が訪問者を識別するためのデータを、自動的に930SCに記録する仕組みです。Cookieには、ユーザ情報やアクセス日時などが記録されます。

スクリプト設定をしたい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「スクリプト設定」→項目を選択

ルート証明書を確認したい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「ルート証明書表示」→証明書を選択

- 930SCにあらかじめ登録されている認証機関から発行されたルート証明書を確認できます。

認証情報の設定をしたい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「認証情報保持設定」→項目を選択

保存された情報を初期化したい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「ブラウザ初期化」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→「はい」

- ブラウザの設定やブックマーク、画面メモなどの保存された情報を初期化できます。

Yahoo!ケータイの設定をリセットしたい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「設定リセット」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→「はい」

メニュー操作からブラウザを終了したい　**[ブラウザ終了]**

情報画面で≪その他≫→「ブラウザ終了」

便利

PCサイトブラウザに関する便利な機能

情報画面を拡大／縮小したい [拡大縮小]

情報画面で≪拡大縮小≫→ズームを調節

情報画面のテキストをコピーしたい [テキストコピー]

情報画面で≪その他≫→「テキストコピー」

■ **文字を選択してコピーするとき**

コピーしたい最初の文字をタップ→≪始点≫→コピーしたい最後の文字をタップ→≪終点≫

■ **文字入力画面上のすべての文字をコピーするとき**

≪全て≫

履歴を使ってURLを入力したい

■ **PCサイトブラウザから操作するとき**

≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫→「PCサイトブラウザ」→「URL入力」→≪その他≫→「挿入」→「URL入力履歴」→URLを選択

■ **情報画面から操作するとき**

情報画面でURL欄をタップ→≪その他≫→「挿入」→「URL入力履歴」→URLを選択

- URL入力画面で履歴を使ってURLを入力することができます。URL入力履歴は、新しいものから順に最大10件まで表示されます。最大件数を超えたときは、古い履歴から順に消去されます。

情報画面のテキストを検索したい [ページ内検索]

情報画面で≪その他≫→「ページ内検索」→検索語を入力

- 一致する語句が反転表示されます。≪前≫／≪次≫をタップすると、前後のテキストを検索します。

情報画面のURLをメールで送信したい [URL送信]

情報画面で≪その他≫→「URL送信」→「S!メール」／「SMS」→（➔P.4-3 S!メールを送信する❷、P.4-7 SMSを送信する❷）

表示しているページの文頭／文末へ移動したい [クイック移動]

情報画面で≪その他≫→「クイック移動」→枠をドラッグして表示したい範囲へドロップ→≪選択≫

以前に表示した情報画面を表示したい

■ **PCサイトブラウザから操作するとき**

≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫→「PCサイトブラウザ」→「閲覧履歴」→表示したいURLを選択

■ **情報画面から操作するとき**

情報画面で≪その他≫→「閲覧履歴」→表示したいURLを選択

- 履歴にはアクセスした情報画面のURLが最大50件まで記録されます。

閲覧履歴を削除したい [削除]

≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫→「PCサイトブラウザ」→「閲覧履歴」→≪削除≫→削除したい履歴をチェック→≪削除≫→「はい」

- 情報画面で≪その他≫→「閲覧履歴」→≪削除≫→削除したい履歴をチェック→≪削除≫→「はい」を選択しても同じ操作を行うことができます。

閲覧履歴を送信したい [URL送信]

≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫→「PCサイトブラウザ」→「閲覧履歴」→≪URL送信≫→「S!メール」／「SMS」→送信したい履歴を選択→「はい」→（➔P.4-3 S!メールを送信する❷、P.4-7 SMSを送信する❷）

- 情報画面で≪その他≫→「閲覧履歴」→≪URL送信≫→「S!メール」／「SMS」→送信したい履歴を選択→「はい」を選択しても同じ操作を行うことができます。

閲覧履歴の詳細を確認したい [詳細]

≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫→「PCサイトブラウザ」→「閲覧履歴」→≪詳細≫→目的の履歴を選択

- 情報画面で≪その他≫→「閲覧履歴」→≪詳細≫→目的の履歴を選択しても同じ操作を行うことができます。

情報画面からFlash®を操作したい [Flash®メニュー]

情報画面のFlash®を表示し≪その他≫→「Flash®メニュー」

■ **一時停止／再生するとき**
「一時停止」／「再生」

■ **始めから再生するとき**
「始めから再生」

選択中のフレームだけを表示したい [フレームイン]／[フレームアウト]

情報画面で≪その他≫→「フレームイン」

- 情報画面によっては、画面が分割されていることがあります。このとき分割された1つ1つの画面を「フレーム」と呼びます。
- もとに戻るには、≪その他≫→「フレームアウト」を選択します。

表示中の情報画面のプロパティを確認したい [プロパティ表示]

情報画面で≪その他≫→「プロパティ表示」

■ **ページ情報を確認するとき**
「ページ情報」

■ **サーバー証明を確認するとき**
「サーバー証明」

情報画面からPCサイトブラウザのメインメニューに移動したい [ホームページ]

情報画面で≪その他≫→「ホームページ」

情報画面の文字サイズを変更したい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「文字サイズ」→項目を選択

拡大／縮小時にガイドを表示するかどうかを設定したい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「ガイド表示」の「On」／「Off」

文字コードを変更したい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「文字コード変換」→項目を選択

- 情報画面のテキスト情報が正しく表示されない場合、文字コードを変更すると正しく表示されることがあります。

情報画面で画像やサウンドを表示／再生するかどうか設定したい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「画像・音設定」

■ **画像の設定をするとき**
「画像表示」の「On」／「Off」

■ **サウンドの設定をするとき**
「音再生」の「On」／「Off」

キャッシュに保存された情報を消去したい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「メモリ操作」→「キャッシュ消去」→「はい」

Cookieを消去したい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「メモリ操作」→「Cookie消去」→「はい」

認証情報を消去したい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「メモリ操作」→「認証情報消去」→「はい」

製造番号の通知／非通知を設定したい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「製造番号通知」の「On」／「Off」

リファラー情報の転送を設定したい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「Referer送出」→項目を選択

- リファラーとは、情報画面にアクセスする際にウェブサーバへ送信するリンク元のURL情報のことです。

Cookieの設定をしたい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「Cookie設定」→項目を選択

- 「毎回確認」を選択すると、Cookieの記録を行うごとに受け入れるかどうかの確認メッセージが表示されます。
- Cookieとは、情報の提供者が訪問者を識別するためのデータを、自動的に930SCに記録する仕組みです。Cookieには、ユーザ情報やアクセス日時などが記録されます。

スクリプト設定をしたい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「スクリプト設定」→項目を選択

ルート証明書を確認したい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「ルート証明書表示」→証明書を選択

- 930SCにあらかじめ登録されている認証機関から発行されたルート証明書を確認できます。

認証情報の設定をしたい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「認証情報保持設定」→項目を選択

警告メッセージの表示を設定したい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「警告画面表示設定」→「PCサイトブラウザ起動・切替時」／「Yahoo!ケータイ切替時」の「On」／「Off」

- Yahoo!ケータイとPCサイトブラウザを切り替えたとき、またはPCサイトブラウザを起動したときに警告メッセージを表示するかどうか設定できます。

保存された情報を初期化したい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「ブラウザ初期化」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→「はい」

- ブラウザの設定やブックマーク、画面メモなどの保存された情報を初期化できます。

PCサイトブラウザの設定をリセットしたい

情報画面で≪その他≫→「設定」→「設定リセット」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→「はい」

情報画面の表示幅を変更したい

[スモールスクリーン]／[PCスクリーン]

情報画面で≪その他≫→「スモールスクリーン」／「PCスクリーン」

メニュー操作からブラウザを終了したい

[ブラウザ終了]

情報画面で≪その他≫→「ブラウザ終了」

便利

情報画面操作に関する便利な機能

情報画面内の電話番号／Eメールアドレスを電話帳に登録したい

電話番号／Eメールアドレスが表示されている情報画面で電話番号／Eメールアドレスを選択→「電話帳登録」→「本体」／「USIM」

■ **新しい電話帳に登録するとき**

「新規」→（➲P.2-16 電話帳に登録する❷）

■ **既存の電話帳に追加登録するとき**

「追加」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-18）→電話帳の登録操作（➲P.2-16）

- 利用できる電話番号／Eメールアドレスには、アンダーラインが表示されます。

情報画面内の電話番号／Eメールアドレスを利用してメールを送信したい

電話番号／Eメールアドレスが表示されている情報画面で電話番号／Eメールアドレスを選択→「メール作成」→「S!メール」／「SMS」→（➲P.4-3 S!メールを送信する❺、P.4-7 SMSを送信する❺）

- 利用できる電話番号／Eメールアドレスには、アンダーラインが表示されます。

情報画面内の電話番号を利用して電話をかけたい

電話番号が表示されている情報画面で電話番号を選択→「音声通話」／「TVコール」

- 利用できる電話番号には、アンダーラインが表示されます。

情報画面内のURLを利用して他の情報画面にアクセスしたい

URLが表示されている情報画面でURLを選択

- 利用できるURLには、アンダーラインが表示されます。

情報画面から画像や各種ファイルを保存したい

■ **情報画面内に表示されている画像を保存するとき**

目的の情報画面で≪その他≫→「保存」→「ファイル保存」→保存したい画像を選択→≪保存≫

- Yahoo! ケータイでは、画像が複数あるときのみ、保存したい画像を選択します。

■ **背景画像を保存するとき**

目的の情報画面で≪その他≫→「保存」→「背景画像を保存」→≪保存≫

■ **バックグラウンドで再生されるサウンドを保存するとき**

目的の情報画面で≪その他≫→「保存」→「ファイル保存」→≪保存≫

- PCサイトブラウザでは保存できません。

■ **リンク先の各種ファイルを保存するとき**

リンクが表示されている情報画面で保存したいファイルのリンクを選択→≪保存≫

- 自動保存形式のファイルの場合は、リンクを選択すると自動で保存を行います。

- ファイルの詳細が表示されている画面では、次の操作を行うことができます（ファイルにより、行える操作が異なります）。
  ≪ディスプレイ≫：画像などを表示
  ≪再生≫：ファイルを再生
  ≪マイ絵文字で保存≫：絵文字として保存
  ≪ブラウザへ戻る≫：情報画面へ戻る
  ≪登録≫：保存したファイルを各種の画面／着信音に設定
- ファイル名が重複する旨の確認メッセージが表示されたときは「はい」を選択すると別名で保存します。「いいえ」を選択するとファイル名を編集できます。

便利

ブックマークに関する便利な機能

情報画面を表示中にブックマークから接続したい　[一覧表示]

情報画面で≪ブックマーク≫→「一覧表示」→表示したいブックマークを選択

- ブックマークの一覧画面で▦／▤をタップして、リスト表示とサムネイル表示を切り替えることができます。

ブックマークを直接入力して登録したい　[新規登録]

■ **Yahoo!ケータイから操作するとき**

≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫→「ブックマーク」→≪新規登録≫→URL欄をタップ→URLを入力→タイトル欄をタップ→タイトルを入力→≪保存≫

■ **PCサイトブラウザから操作するとき**

≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫→「PCサイトブラウザ」→「ブックマーク」→≪新規登録≫→URL欄をタップ→URLを入力→タイトル欄をタップ→タイトルを入力→≪保存≫

■ **情報画面から操作するとき**

情報画面で≪ブックマーク≫→「一覧表示」→≪新規登録≫→URL欄をタップ→URLを入力→タイトル欄をタップ→タイトルを入力→≪保存≫

ブックマークのタイトルやURLを編集したい　[編集]

■ **Yahoo!ケータイから操作するとき**

≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫→「ブックマーク」→≪編集≫→編集したいブックマークを選択→URL欄をタップ→URLを編集→タイトル欄をタップ→タイトルを編集→≪保存≫

■ **PCサイトブラウザから操作するとき**

≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫→「PCサイトブラウザ」→「ブックマーク」→≪編集≫→編集したいブックマークを選択→URL欄をタップ→URLを編集→タイトル欄をタップ→タイトルを編集→≪保存≫

■ **情報画面から操作するとき**

情報画面で≪ブックマーク≫→「一覧表示」→≪編集≫→編集したいブックマークを選択→URL欄をタップ→URLを編集→タイトル欄をタップ→タイトルを編集→≪保存≫

ブックマークを削除したい　[削除]

■ **Yahoo!ケータイから操作するとき**

≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫→「ブックマーク」→≪削除≫→削除したいブックマークをチェック→≪削除≫→「はい」

■ **PCサイトブラウザから操作するとき**

≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫→「PCサイトブラウザ」→「ブックマーク」→≪削除≫→削除したいブックマークをチェック→≪削除≫→「はい」

■ **情報画面から操作するとき**

情報画面で≪ブックマーク≫→「一覧表示」→≪削除≫→削除したいブックマークをチェック→≪削除≫→「はい」

- サムネイル表示では、削除したいブックマークを選択→「はい」と操作します。

ブックマークの一覧表示にフォルダを作成したい ［フォルダ作成］

■ Yahoo!ケータイから操作するとき

≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫→「ブックマーク」→≪その他≫→「フォルダ作成」→フォルダ名を入力

■ PCサイトブラウザから操作するとき

≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫→「PCサイトブラウザ」→「ブックマーク」→≪その他≫→「フォルダ作成」→フォルダ名を入力

■ 情報画面から操作するとき

情報画面で≪ブックマーク≫→「一覧表示」→≪その他≫→「フォルダ作成」→フォルダ名を入力

ブックマークのURLをメールで送信したい ［送信］

■ Yahoo!ケータイから操作するとき

≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫→「ブックマーク」→≪その他≫→「送信」→「メール」→「添付して送信」／「SMS本文に挿入」→メールで送信したいブックマークを選択→（➔P.4-3 S!メールを送信する❷、P.4-7 SMSを送信する❷）

■ PCサイトブラウザから操作するとき

≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫→「PCサイトブラウザ」→「ブックマーク」→≪その他≫→「送信」→「メール」→「添付して送信」／「SMS本文に挿入」→メールで送信したいブックマークを選択→（➔P.4-3 S!メールを送信する❷、P.4-7 SMSを送信する❷）

■ 情報画面から操作するとき

情報画面で≪ブックマーク≫→「一覧表示」→≪その他≫→「送信」→「メール」→「添付して送信」／「SMS本文に挿入」→メールで送信したいブックマークを選択→（➔P.4-3 S!メールを送信する❷、P.4-7 SMSを送信する❷）

ブックマークのURLをBluetooth®で送信したい ［送信］

■ Yahoo!ケータイから操作するとき

≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫→「ブックマーク」→≪その他≫→「送信」→「Bluetooth」→Bluetooth®で送信したいブックマークをチェック→≪送信≫→（➔P.12-7 データを送信する❷）

■ PCサイトブラウザから操作するとき

≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫→「PCサイトブラウザ」→「ブックマーク」→≪その他≫→「送信」→「Bluetooth」→Bluetooth®で送信したいブックマークをチェック→≪送信≫→（➔P.12-7 データを送信する❷）

■ 情報画面から操作するとき

情報画面で≪ブックマーク≫→「一覧表示」→≪その他≫→「送信」→「Bluetooth」→Bluetooth®で送信したいブックマークをチェック→≪送信≫→（➔P.12-7 データを送信する❷）

- サムネイル表示では、送信したいブックマークを選択→「はい」と操作します。

ブックマークのURLを赤外線通信で送信したい [送信]

■ Yahoo!ケータイから操作するとき

≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫→「ブックマーク」→≪その他≫→「送信」→「赤外線通信」→赤外線で送信したいブックマークをチェック→≪送信≫（➔P.12-3）

■ PCサイトブラウザから操作するとき

≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫→「PCサイトブラウザ」→「ブックマーク」→≪その他≫→「送信」→「赤外線通信」→赤外線で送信したいブックマークをチェック→≪送信≫（➔P.12-3）

■ 情報画面から操作するとき

情報画面で≪ブックマーク≫→「一覧表示」→≪その他≫→「送信」→「赤外線通信」→赤外線で送信したいブックマークをチェック→≪送信≫（➔P.12-3）

- サムネイル表示では、送信したいブックマークを選択→「はい」と操作します。

ブックマークをフォルダの中に移動したい [移動]

■ Yahoo!ケータイから操作するとき

≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫→「ブックマーク」→≪その他≫→「移動」→移動したいブックマークをチェック→≪移動≫→移動先のフォルダを選択

■ PCサイトブラウザから操作するとき

≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫→「PCサイトブラウザ」→「ブックマーク」→≪その他≫→「移動」→移動したいブックマークをチェック→≪移動≫→移動先のフォルダを選択

■ 情報画面から操作するとき

情報画面で≪ブックマーク≫→「一覧表示」→≪その他≫→「移動」→移動したいブックマークをチェック→≪移動≫→移動先のフォルダを選択

- 新規にフォルダを作成してその中に移動する場合は、≪フォルダ作成≫→フォルダ名を入力します。
- サムネイル表示では、移動したいブックマークを選択→移動先のフォルダを選択します。

ブックマークを並び替えたい [並び替え]

■ Yahoo!ケータイから操作するとき

≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫→「ブックマーク」→≪その他≫→「並び替え」→移動したいブックマークをホールドし、選択されたことを確認後ドラッグして移動先へドロップ→≪完了≫

■ PCサイトブラウザから操作するとき

≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫→「PCサイトブラウザ」→「ブックマーク」→≪その他≫→「並び替え」→移動したいブックマークをホールドし、選択されたことを確認後ドラッグして移動先へドロップ→≪完了≫

■ 情報画面から操作するとき

情報画面で≪ブックマーク≫→「一覧表示」→≪その他≫→「並び替え」→移動したいブックマークをホールドし、選択されたことを確認後ドラッグして移動先へドロップ→≪完了≫

ブックマークをデータフォルダに保存したい [データフォルダに保存]

■ Yahoo!ケータイから操作するとき
≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫→「ブックマーク」→≪その他≫→「データフォルダに保存」→「本体」→保存したいブックマークを選択→「はい」

■ PCサイトブラウザから操作するとき
≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫→「PCサイトブラウザ」→「ブックマーク」→≪その他≫→「データフォルダに保存」→「本体」→保存したいブックマークを選択→「はい」

■ 情報画面から操作するとき
情報画面で≪ブックマーク≫→「一覧表示」→≪その他≫→「データフォルダに保存」→「本体」→保存したいブックマークを選択→「はい」

- メモリカードを取り付けているときは、保存先に「メモリカード」も選択できます。

ブックマークの詳細を確認したい [詳細]

■ Yahoo!ケータイから操作するとき
≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫→「ブックマーク」→≪その他≫→「詳細」→目的のブックマークを選択

■ PCサイトブラウザから操作するとき
≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫→「PCサイトブラウザ」→「ブックマーク」→≪その他≫→「詳細」→目的のブックマークを選択

■ 情報画面から操作するとき
情報画面で≪ブックマーク≫→「一覧表示」→≪その他≫→「詳細」→目的のブックマークを選択

便利

画面メモに関する便利な機能

情報画面を表示中に画面メモを表示したい [画面メモ]

情報画面で≪画面メモ≫（画面によっては≪その他≫→「画面メモ」）→「一覧表示」→表示したい画面メモを選択

- 画面メモの一覧画面で ／ をタップして、リスト表示とサムネイル表示を切り替えることができます。

画面メモのタイトルを編集したい [ページ名変更]

■ Yahoo!ケータイから操作するとき
≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫→「画面メモ」→≪ページ名変更≫→編集したい画面メモを選択→名前を入力

■ PCサイトブラウザから操作するとき
≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫→「PCサイトブラウザ」→「画面メモ」→≪ページ名変更≫→編集したい画面メモを選択→名前を入力

■ 情報画面から操作するとき
情報画面で≪画面メモ≫（画面によっては≪その他≫→「画面メモ」）→「一覧表示」→≪ページ名変更≫→編集したい画面メモを選択→名前を入力

画面メモを削除したい　[削除]

■ Yahoo!ケータイから操作するとき
≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫→「画面メモ」→≪削除≫→削除したい画面メモを選択→「はい」

■ PCサイトブラウザから操作するとき
≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫→「PCサイトブラウザ」→「画面メモ」→≪削除≫→削除したい画面メモを選択→「はい」

■ 情報画面から操作するとき
情報画面で≪画面メモ≫（画面によっては≪その他≫→「画面メモ」）→「一覧表示」→≪削除≫→削除したい画面メモを選択→「はい」

- リスト表示では、削除したい画面メモをチェック→≪削除≫→「はい」と操作します。

画面メモを並び替えたい　[並び替え]

■ Yahoo!ケータイから操作するとき
≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫→「画面メモ」→≪並び替え≫→移動したい画面メモをホールドし、選択されたことを確認後ドラッグして移動先へドロップ→≪完了≫

■ PCサイトブラウザから操作するとき
≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫→「PCサイトブラウザ」→「画面メモ」→≪並び替え≫→移動したい画面メモをホールドし、選択されたことを確認後ドラッグして移動先へドロップ→≪完了≫

■ 情報画面から操作するとき
情報画面で≪画面メモ≫（画面によっては≪その他≫→「画面メモ」）→「一覧表示」→≪並び替え≫→移動したい画面メモをホールドし、選択されたことを確認後ドラッグして移動先へドロップ→≪完了≫

便利

ストリーミングに関する便利な機能

最後に再生したストリーミングを再生したい

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ストリーミング」→「続き再生」

ストリーミング中にブックマークに登録したい　[ブックマーク登録]

ストリーミング画面で≪ブックマーク登録≫→タイトル欄をタップ→タイトルを入力→URL欄をタップ→URLを入力→≪保存≫

ストリーミング画面でブックマークに登録したストリーミングにアクセスしたい　[ブックマーク一覧]

ストリーミング画面で≪ブックマーク一覧≫→ブックマークを選択

ストリーミング画面で以前に利用したストリーミングにアクセスしたい　[履歴一覧]

ストリーミング画面で≪履歴一覧≫→履歴を選択

ブックマークに登録したストリーミングのURLを編集したい　［編集］

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ストリーミング」→「ブックマーク」→≪編集≫→編集したいブックマークを選択→タイトル欄をタップ→タイトルを編集→URL欄をタップ→URLを編集→≪保存≫

- ストリーミング画面で≪ブックマーク一覧≫→≪編集≫→編集したいブックマークを選択→タイトル欄をタップ→タイトルを編集→URL欄をタップ→URLを編集→≪保存≫をタップしても同じ操作を行うことができます。

ストリーミングのブックマークを直接入力して登録したい　［新規登録］

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ストリーミング」→「ブックマーク」→≪新規登録≫→タイトル欄をタップ→タイトルを入力→URL欄をタップ→URLを入力→≪保存≫

- ストリーミング画面で≪ブックマーク一覧≫→≪新規登録≫→タイトル欄をタップ→タイトルを入力→URL欄をタップ→URLを入力→≪保存≫をタップしても同じ操作を行うことができます。

ブックマークに登録したストリーミングを削除したい　［削除］

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ストリーミング」→「ブックマーク」→≪削除≫→削除したいブックマークをチェック→≪削除≫→「はい」

- ストリーミング画面で≪ブックマーク一覧≫→≪削除≫→削除したいURLをチェック→≪削除≫→「はい」を選択しても同じ操作を行うことができます。

ストリーミングのアクセス履歴を編集したい　［履歴編集］

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ストリーミング」→「履歴」→≪履歴編集≫→編集したい履歴を選択→タイトル欄をタップ→タイトルを入力→URL欄をタップ→URLを入力→≪保存≫

- ストリーミング画面で≪履歴一覧≫→≪履歴編集≫→編集したい履歴を選択→タイトル欄をタップ→タイトルを入力→URL欄をタップ→URLを入力→≪保存≫をタップしても同じ操作を行うことができます。

ストリーミングのアクセス履歴を削除したい　［削除］

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ストリーミング」→「履歴」→≪削除≫→削除したいURLをチェック→≪削除≫→「はい」

- ストリーミング画面で≪履歴一覧≫→≪削除≫→削除したいURLをチェック→≪削除≫→「はい」を選択しても同じ操作を行うことができます。

便利

S!速報ニュースに関する便利な機能

コンテンツの詳細を確認したい［詳細］

S!速報ニュース一覧画面で≪詳細≫→確認したいコンテンツを選択

S!速報ニュース一覧の内容一覧画面で情報を更新したい［更新］

S!速報ニュース一覧画面でコンテンツを選択→≪更新≫

- 更新中に中止するときは≪キャンセル≫をタップします。

S!速報ニュース一覧の内容一覧画面から更新情報を確認したい［サイトに接続］

S!速報ニュース一覧画面でコンテンツを選択→≪サイトに接続≫→「はい」

- 接続中に中止するときは≪キャンセル≫をタップします。

S!ループの項目の詳細を確認したい［詳細］

S!ループリスト画面で≪詳細≫→確認したいS!ループの項目を選択

S!ループリストの内容一覧画面で情報を更新したい［更新］

S!ループリスト画面で項目を選択→≪更新≫

- 更新中に中止するときは≪キャンセル≫をタップします。

S!ループリストの内容一覧画面から更新情報を確認したい［サイトに接続］

S!ループリスト画面で項目を選択→≪サイトに接続≫→「はい」

- 接続中に中止するときは≪キャンセル≫をタップします。

S!速報ニュース一覧を自動更新したい

≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S!速報ニュース」→「設定」→「自動更新設定」→「S!速報ニュース」

■「速報」を自動更新するとき

「速報」→項目を選択

■「一般」を自動更新するとき

「一般」→「On」／「Off」

- 自動更新に設定した時刻を基準に自動更新が行われます。次回の自動更新の時刻は、S!速報ニュース一覧画面で≪詳細≫をタップし、確認したいコンテンツを選択すると確認できます。
- 「一般」を「On」に設定すると1日に1回自動更新されます。
- 「速報」は、夜間から早朝の間は自動更新が行われません。「一般」の場合は、この時間帯にも自動更新が行われます。
- ローミング中は自動更新は行われません。ただし、手動で更新できます（➲P.5-12）。
- 圏外や電波の悪い場所では、自動更新されないことがあります。
- 何らかの事情で自動更新が停止したときは、手動で更新できます（➲P.5-12）。
- USIMカードを交換したときは、「自動更新しない」または「Off」に設定されます。

S!ループリストを自動更新したい

≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S!速報ニュース」→「設定」→「自動更新設定」→「S!ループ」→「On」/「Off」

- 4時間に1回自動更新されます。夜間から早朝の間は、S!ループリストの自動更新は行われません。
- 自動更新を設定した時刻を基準に自動更新が行われます。次回の自動更新の時刻は、S!速報ニュース一覧画面で≪詳細≫をタップし、確認したいコンテンツを選択すると確認できます。
- ローミング中は自動更新は行われません。ただし、手動で更新できます（➔P.5-12）。
- 圏外や電波の悪い場所では、自動更新されないことがあります。
- 何らかの事情で自動更新が停止したときは、手動で更新できます（➔P.5-12）。
- USIMカードを交換したときは、「Off」に設定されます。

S!速報ニュース一覧を削除したい

≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S!速報ニュース」→「設定」→「S!速報ニュース一覧消去」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→「はい」

便利

S!情報チャンネルに関する便利な機能

通知が消えた後で確認したい

≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S!情報チャンネル/お天気」→「最新情報」

以前受信した情報を確認したい

≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S!情報チャンネル/お天気」→「バックナンバー」→項目を選択

受信できなかった情報を再度受信したい

≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S!情報チャンネル/お天気」→「再配信要求」→「はい」

天気予報を表示したい

≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S!情報チャンネル/お天気」→「お天気アイコン」→「天気予報」

お天気アイコンを手動で更新したい

≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S!情報チャンネル/お天気」→「お天気アイコン」→「手動更新」→「はい」→画面の指示に従って操作

テレビ

6

テレビについて

地上デジタルテレビ放送の携帯･移動体向けサービス「ワンセグ」が視聴できます。

- お使いの場所に合わせて簡単にチャンネル設定が行えます。また、番組表が利用できます。
- 番組に関連した情報を入手したり、投票などで番組に参加したりできる「データ放送」も利用できます。

- **テレビを見る**
  待受画面で[TV]を1秒以上押すと、テレビが起動します。視聴するエリアに応じたチャンネルの設定も簡単に行えますので、すぐにテレビを視聴できます（➲P.6-5）。
- **番組表を利用する**
  テレビの番組表をダウンロードして見ることができます（➲P.6-6）。
- **データ放送を見る**
  映像や音声だけでなく、番組に関連した情報などが入手できるデータ放送を見ることができます（➲P.6-6）。
- 本章内での操作は、縦画面の状態で説明をしております。

テレビをご利用になる前に

テレビ利用時のご注意

テレビをご利用になる前に、次のことをご確認ください。

- 930SCのテレビは日本国内の地上波デジタルテレビ放送の携帯･移動体通信向けサービス「ワンセグ」を利用できます。海外では放送方式や放送の周波数が異なるため利用できません。
- 自転車やバイク、自動車などの運転中はテレビを利用しないでください。周囲の音が聞こえにくく、映像や音声に気をとられるため、交通事故の原因となります。
  [道路交通法により、運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となります（2004年11月1日改正施行）]。
  また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。踏切や横断歩道などでは特にご注意ください。
- テレビ視聴中に音声電話での通話やメールを受信すると、テレビの映像や音声に影響を与えることがあります。また、テレビ視聴中にほかの携帯電話を近づけると、テレビの映像や音声に影響を与えることがあります。
- 静かな場所や音を出せない場所では、ステレオイヤホンマイクの使用をおすすめします。

電波について

電波の受信状況が悪い次のような場所では、テレビが正しく利用できないことがあります。

- 放送局から遠い地域または放送局から極端に近い地域
- 山間部やビルの陰
- 移動中の電車や自動車の中
- 高圧線、ネオン、無線局の近くなど
- 線路や高速道路の近くなど
- 地下街、トンネルの中など
- その他、妨害電波が多かったり、電波が遮断されたりする場所

電池残量について

電池レベル表示が「■」のときは、テレビは起動できません。

- 視聴中に電池残量が不足すると、テレビは自動的に終了します。

充電について

テレビは充電しながらでも視聴できます。

- 充電中に視聴するときは、ソフトバンクが指定した充電器を使用してください。
- 充電中に急速充電器のコードをアンテナに近づけると、映像に影響を与えることがあります。

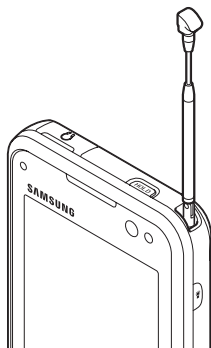
●テレビを利用しながら充電すると、充電が完了するまでに時間がかかります。

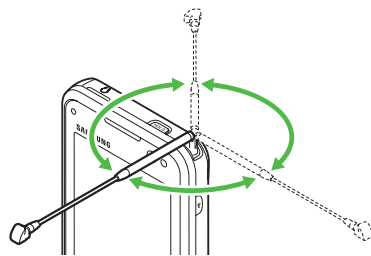
地上デジタル放送とワンセグについて

ワンセグは地上デジタル放送の携帯･移動体向けサービスです。
ワンセグとは､地上デジタル放送の電波の一部を使用して､携帯電話などの小型機器でもご家庭と同じようにテレビやデータ放送の視聴を可能にした、携帯・移動体向けの地上デジタルテレビサービスです。
地上デジタル放送の6MHzの帯域を13分割して送る日本独自の放送方式によって実現したサービスで、13分割された1つの部分（セグメント）だけで放送されるため「ワンセグ」と呼ばれるようになりました。
ワンセグは2006年4月1日から三大広域圏（都市圏）と13の県の放送局で開始されているサービスです｡受信料などについて詳しくは､下記のホームページなどを参照してください。

●社団法人 デジタル放送推進協会
http://www.dpa.or.jp/（パソコン用）
http://www.dpa.or.jp/1seg/k/（携帯電話用）

アンテナについて

●アンテナは 2 段式になっています。固定されるまで十分に引き出してください。

●収納するときは、アンテナの下の方を持ってください。上の方を持って無理に押し込むと、破損の原因となります。先端が収納されるまで、完全に収納してください。
●アンテナをご使用になるときは、十分引き出してください。ただし、放送局が極端に近いときは、アンテナを縮めた方がテレビがきれいに映ることがあります。

●アンテナは折り曲げると360゜回転します。受信感度に合わせて調整してください。

テレビ利用中の着信について

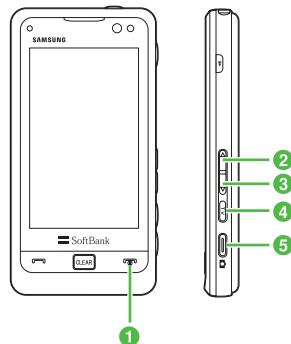
テレビ利用中に電話の着信があると

着信画面が表示されます。を押すと電話を受けられます。
通話中は相手の電話番号が表示されます。
通話を終了するとテレビ画面に戻ります。

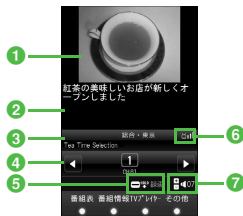
テレビ利用中にメールを受信すると

ディスプレイ最上段に電話帳に登録されている相手の名前などが表示されます。
表示をタップするとメールを見られます。
を押すとテレビ画面に戻ります。

- メールを確認しないで待受画面に戻ると、受信の通知画面に新着メールと未読メールの合計が表示されます。
- テレビ視聴中に音声電話で通話をしたりメールを受信すると、テレビの映像や音声に影響を与えることがあります。また、テレビ利用中に他の携帯電話を近づけると、テレビの映像や音声に影響を与えることがあります。

テレビで使用するボタン

番　号	機　能
❶	テレビの終了
❷❸	音量の調節
❷❸（1秒以上）※	消音
❹（1秒以上）	テレビの起動
❺（1秒以上）	録画／録画終了

※ 音量を下げるほうのボタンで消音できます。

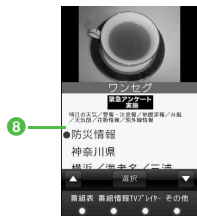
テレビ画面について

縦画面／❸～❼を表示（字幕あり）

縦画面／データ放送を表示

横画面／❸～❼を表示

横画面／❸～❼を非表示

❶テレビ映像

❷字幕

❸放送局名／番組名

❹チャンネル

- チャンネルが設定されていない場合は、▭が表示されます。

❺操作ガイド

❻テレビ受信状態

❼音量

❽データ放送

- 縦画面／横画面を切り替えるには、930SCを縦／横に持ちます。
- テレビ映像をタップまたは CLEAR 、 ◎ を除くいずれかのボタンを押すと、❸～❼が数秒間表示されます。
- データ放送は縦画面のみです。

初めてテレビをお使いになるとき（エリア設定）

930SCには、あらかじめ各地域のチャンネル情報が登録されています。初めてお使いになるときは、地域を指定してエリアの設定をします。

1 TV（1秒以上）

2 確認画面が表示されたら「はい」

3 エリアを選択

4 都道府県を選択

5 ローカルエリアを選択

- チャンネルの検索を開始します。
- 開始されたチャンネルの検索を中止する場合は、「キャンセル」をタップします。

6 ≪次≫→名前を入力→エリアを選択

使いこなしチェック！

便利 ☞P.6-11

●テレビを視聴中に着信を拒否して電話を切りたい

テレビを見る

1 （1秒以上）

2 チャンネル番号欄をタップ→チャンネルを選択

- 1つずつ選択して変更する場合は、◀／▶をタップします。

3 テレビを終了する場合は→「はい」

- テレビ視聴中に音量を調節するには、／を押します。

番組表（Gガイドモバイル）を利用する

番組表（Gガイドモバイル）は、地上波アナログ、地上波デジタルの番組表を見ることができる便利なアプリです。
いつでもどこでも知りたいテレビ番組の番組情報をジャンルやキーワードから検索し、簡単に取得して録画や視聴の予約ができます。

1 →「番組表」

- テレビ画面で≪番組表≫をタップしても番組表を表示できます。
- 番組表を初めて起動したときは、「Gガイドモバイル」の初期設定画面が表示されます。初期設定を行うと、番組表が表示されます。

- 番組表で項目を反転表示するには、／／／をタップします。「選択」をタップすると、反転表示した項目を選択します。
- 番組表で、視聴したい番組を反転表示して≪TV起動≫をタップすると、テレビ画面が表示されます。また、「選択」をタップすると、反転表示した番組の詳細が表示されます。

データ放送を利用する

テレビでは、映像／音声に加えてデータ放送を利用できます。データ放送では、画面に表示される説明に従って操作することで、番組に関連した情報を入手したり、投票などで番組に参加するなど、さまざまな情報を利用できます。

データ放送の基本的な操作

データ放送の利用方法は、番組によって異なります。

1 テレビ視聴中に▲／▼で表示したい項目を反転表示→「選択」

- データ放送、放送局サーバによっては、インターネットに接続するかどうかの確認画面が表示されます。データ放送を見る（放送で情報を受信する）ときは、通信料はかかりませんが、データ放送サイトなどでインターネットを利用したサービスを利用するときは、通信料がかかります。

注意

- データ放送の視聴には通信料はかかりません。ただし、データ放送で提供される双方向サービスを利用するときや、インターネットを利用したサービスを利用するときなどには、通信料がかかります。

TVリンクを利用する

TVリンクの登録操作は番組によって異なります。詳しくはデータ放送内の情報を確認してください。

TVリンクを登録する

1 データ放送を行っている番組で、「テレビリンク登録」などの項目を選択

TVリンクを表示する

1 TV→「TVリンク」→TVリンクを選択

使いこなしチェック！

便利 ☞P.6-12

- 視聴しているチャンネルの番組情報を確認／利用したい
- エリア内のチャンネル情報を更新したい
- エリア名を変更したい
- エリアを削除したい
- チャンネル情報をすべてリセットしたい
- エリアの詳細を確認したい
- チャンネル番号を変更したい
- チャンネル情報を削除したい
- チャンネル情報の詳細を確認したい
- 字幕の表示を設定したい
- データ放送を全画面で見たい
- データ放送のトップページに戻りたい
- TVリンクを表示したい
- テレビの視聴中にBluetooth®対応のステレオヘッドフォンに切り替えたい
- 視聴中の番組を録画したい
- テレビを終了したい
- TVリンクを削除したい
- TVリンクの詳細を確認したい

設定

- 通信接続確認を設定する（☞P.13-13）
- 製造番号を自動的に通知するかどうか設定する（☞P.13-13）
- 放送局データを削除する（☞P.13-13）
- 横画面でディスプレイ最上段に各種お知らせのアイコンを表示するかどうかを設定する（☞P.13-14）
- 横画面で4：3の映像を拡大表示するかどうかを設定する（☞P.13-14）
- 縦画面で4：3の映像を拡大表示するかどうかを設定する（☞P.13-14）
- 画面の明るさを設定する（☞P.13-14）
- 番組に合わせた音質に設定する（☞P.13-14）
- 音声切り替えを設定する（☞P.13-14）
- 音声出力を設定する（☞P.13-14）
- テレビ視聴中の着信・アラームの動作を設定する（☞P.13-14）
- 設定時間でテレビが消えるようにする（☞P.13-15）

番組の録画／再生

番組を録画する前に

- メモリカードに録画する際は、あらかじめ、本機でフォーマット（初期化）したメモリカードを取り付けておいてください（➲P.2-31）。
- 録画中は、絶対にメモリカードを取り外さないでください。録画したデータが消えたり、メモリカードが破損する原因となります。
- 930SC本体／メモリカードの空き容量が少ないときは、録画できません。
- 録画中に電池残量が不足すると、録画は終了します。充電しながら録画することをおすすめします。
- 録画した番組は、コピー、転送、メール添付送信などを行うことはできません。
- 1件あたり最大約12時間録画できます。ただし、12時間の録画を行うには、約2Gバイトのメモリが必要です。
- 930SC本体には通常の録画と録画予約合わせて、最大約48時間録画できます。
- データが何も保存されていない256Mバイトのメモリカードに録画できる時間の目安は、約90分です。

著作権保護について（番組録画時）

本機には、著作権保護のための暗号化技術が組み込まれており、データを記録する際に、メモリカードとの間でデータの暗号化／認証処理を行っています。
SD-Video規格「ISDB-T mobile Video profile」に対応した機器以外では、この暗号化されたデータは再生できません。

注意

- **お客様が録画したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。**
- **録画した内容は、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。**
- **録画したデータを、別のメモリカードなど他のメディアにデジタル録画（コピー）することはできません。**

放送中の番組を録画する

放送中の番組を録画できます。

1. **テレビ画面で ⊂⊃（1秒以上）**
   - 録画が始まります。
2. **録画を終了するには≪保存≫／⊂⊃（1秒以上）**

- データ放送があるときは、映像とデータ放送の両方が録画されます。映像だけ録画するように設定しておくこともできます（➲P.13-13）。
- 録画中に音量、画面サイズ、サウンド設定を変更しても、録画内容には反映されません。
- メモリカードに録画した場合は、SD_VIDEOフォルダに保存されます。

注意

- 録画中にメモリ残量や電池残量が不足したりすると、録画は終了します。このとき、終了するまでに録画していた番組は保存されます。
- 音声電話の着信があったときは、録画は継続されます。TVコールの着信があったときは、録画を継続するかどうかの確認メッセージが表示されます。
- 動画を着信音に設定しているとき、テレビ録画中に着信があると、お買い上げ時の着信音が鳴ることがあります。

録画した番組を再生する

1 TV→「TVプレイヤー」

- テレビ画面で≪TVプレイヤー≫をタップしてもTVプレイヤーを表示できます。

2 ファイルを選択

- メモリカードに録画されたファイルを表示するには、をタップします。
- 前回の再生時に途中で停止していたときは、続きから再生されます。
- で一時停止、で再生します。
- ／で巻き戻し／早送りができます。1回タップすると「×2」、2回タップすると「×10」になります。
- 早送り／巻き戻しを解除するときは、をタップします。
- 停止するときは≪停止≫をタップします。

- 録画したファイルの詳細を確認するには、操作1のあと、≪詳細≫をタップしてからファイルを選択します。
- ファイル名を変更するには、操作1のあと、≪ファイル名変更≫→変更したいファイルを選択→ファイル名を入力します。
- 録画したファイルを削除するには、操作1のあと、≪削除≫→削除したいファイルをチェック→≪削除≫をタップします。

使いこなしチェック！

設定

- データ放送の録画内容を設定する（☞P.13-13）
- データ放送を保存するときの保存先を設定する（☞P.13-13）

録画／視聴の予約

録画／視聴予約する前に

最大5件まで、録画／視聴予約を登録できます。ただし、録画／視聴予約の日付で「1回のみ」を選択したときは、1週間より先の番組の録画／視聴予約はできません。また、1件あたりに設定可能な録画時間は、最大4時間です。ただし、メモリの容量によっては、録画可能時間が少なくなることがあります（4時間の録画を行うには、約680Mバイト以上のメモリが必要です）。

録画予約時のご注意

録画が開始される前に次のことを確認しておいてください。

- 他の機能が終了していること
- アンテナを調整し、テレビが良好に受信できていること
- 電池残量が不足していないこと（充電しながら録画することをおすすめします）。
- メモリ残量が不足していないこと

録画の保存先について

- 録画の保存先がメモリカードに設定されていて、メモリカードが取り付けられていない場合は、930SC本体に録画されます。
- 録画開始時に保存先のメモリが不足しているときは、保存先を切り替えて録画されます。

録画開始時刻について

デジタルTVでは、実際の番組開始時刻よりも、少し遅れて番組が受信されます。そのため、予約した番組が始まる少し前から録画が始まることがあります。

録画終了時刻は、番組の最後が切れないよう、設定した時刻よりも数秒間遅くなります。

視聴予約時のご注意

視聴が開始される前に次のことを確認しておいてください。

- 誤動作防止が解除されていること
- 「オートロック」が「Off」に設定されていること

番組表から予約したときについて

番組表を利用して、選択した番組を録画／視聴予約することができます（➔P.6-6）。

注意

- **誤動作防止が設定されていると、視聴予約した時間になってもテレビが起動されません。**

番組表から予約する

1. TV→「録画／視聴予約」
2. ≪新規予約≫→「番組表から」→≪メニュー≫
   - 以降の操作について詳しくは番組表のヘルプを参照してください。

日付やチャンネルを指定して予約する

1. TV→「録画／視聴予約」
2. ≪新規予約≫→「マニュアル」
3. 「録画」の「On」／「Off」
   - 録画する場合は「On」、視聴のみの場合は「Off」を選択します。
4. 「保存先設定」→「本体メモリ」／「メモリカード」
5. 日付欄のプルダウンメニューから「1回のみ」→日付欄をタップ→日付を入力
6. 「開始時間」→開始時間を入力
7. 「終了時間」→終了時間を入力
8. 「チャンネル」→チャンネルを選択
   - チャンネル番号を入力するときは、≪手動≫をタップします。
9. ≪保存≫

予約時刻になると

録画／視聴予約の時刻が近づく(アラーム通知時間になる)と、予約時刻が近づいていることを、画面表示とアラームでお知らせします。
テレビ視聴以外の機能が起動しているときは、使用中の機能を終了してください。待受画面に戻ると予約内容が実行されます。

予約内容を確認する

1 TV→「録画／視聴予約」

2 「予約」／「結果」→予約内容を選択

- 予約時刻前の予約は「予約」、予約時刻を過ぎた予約は「結果」に表示されます。
- 録画予約には（繰り返しあり：）、視聴予約には（繰り返しあり：）が表示されます。アラームを設定した場合はが表示され、正常に録画、視聴できなかった場合は、が表示されます。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.6-15
- 予約内容を編集したい
- 予約内容を削除したい
- メモリ残量を確認したい

設定
- 予約通知のアラーム音を設定する（☞P.13-13）
- 予約通知の音量を設定する（☞P.13-13）
- 予約時間にバイブレータでお知らせする（☞P.13-13）
- 予約時間にライトでお知らせする（☞P.13-13）
- アラームの通知時間を設定する（☞P.13-13）
- アラームの鳴動時間を設定する（☞P.13-13）
- 録画の保存先を設定する（☞P.13-14）

便利

テレビに関する便利な機能

テレビを視聴中に電話を受けたい

テレビ視聴中に

- 通話が終了するとテレビ画面に戻ります。

テレビを視聴中に着信を拒否して電話を切りたい [拒否]

着信画面で≪拒否≫

便利

テレビ視聴中の便利な機能

視聴しているチャンネルの番組情報を確認／利用したい [番組情報]

テレビ画面で≪番組情報≫

■ **番組の詳細を確認するとき**
確認したい番組を選択

■ **録画予約するとき**
≪録画予約≫→録画予約したい番組を選択→「はい」／「いいえ」
- 放送中の番組を選択した場合は、すぐに録画が開始されます。

■ **視聴予約するとき**
≪視聴予約≫→視聴予約したい番組を選択→「はい」／「いいえ」

■ **予約一覧を表示するとき**
≪予約一覧≫

■ **メモリ残量を確認するとき**
≪メモリ残量≫→「本体メモリ」／「メモリカード」

- テレビ画面に戻るには、CLEARを押します。

エリアを変更したい

テレビ画面で≪その他≫→「チャンネル設定」→「エリア切替」→エリアを選択

エリアを設定したい

テレビ画面で≪その他≫→「チャンネル設定」→「エリア切替」→未設定のエリアを選択→「はい」→エリアを選択→都道府県を選択→ローカルエリアを選択→≪次≫→名前を入力

- エリアは10件まで登録できます。

エリア内のチャンネル情報を更新したい [チャンネル更新]

テレビ画面で≪その他≫→「チャンネル設定」→「エリア切替」→≪チャンネル更新≫

■ **全更新するとき**
「全更新」→エリアを選択→「はい」
- 登録されているチャンネルを消去して更新します。

■ **追加更新するとき**
「追加更新」→エリアを選択
- 登録されているチャンネルは変更されずに、受信したチャンネルを追加します。チャンネル番号が重複しているときは、登録済みのチャンネルに上書きされます。

- テレビ画面で≪その他≫→「チャンネル設定」→「チャンネル切替」→≪チャンネル更新≫→「全更新」／「追加更新」→必要に応じて「はい」と操作しても、エリア内のチャンネル情報を更新できます。

エリア名を変更したい [エリア名変更]

テレビ画面で≪その他≫→「チャンネル設定」→「エリア切替」→≪エリア名変更≫→エリアを選択→名前を入力

エリアを削除したい [削除]

テレビ画面で≪その他≫→「チャンネル設定」→「エリア切替」→≪削除≫→削除したいエリアを選択→「はい」

チャンネル情報をすべてリセットしたい [設定リセット]

テレビ画面で≪その他≫→「チャンネル設定」→「エリア切替」→≪その他≫→「設定リセット」→「はい」

エリアの詳細を確認したい [詳細]

テレビ画面で≪その他≫→「チャンネル設定」→「エリア切替」→≪その他≫→「詳細」→エリアを選択

チャンネルを一覧から選択したい

テレビ画面で≪その他≫→「チャンネル設定」→「チャンネル切替」→チャンネルを選択

チャンネル番号を変更したい　[移動]

テレビ画面で≪その他≫→「チャンネル設定」→「チャンネル切替」→≪移動≫→移動したいチャンネルをホールドし、選択されたことを確認後ドラッグして移動先へドロップ→≪OK≫

チャンネル情報を削除したい　[削除]

テレビ画面で≪その他≫→「チャンネル設定」→「チャンネル切替」→≪削除≫→削除したいチャンネルをチェック→≪削除≫→「はい」

チャンネル情報の詳細を確認したい　[詳細]

テレビ画面で≪その他≫→「チャンネル設定」→「チャンネル切替」→≪詳細≫→チャンネルを選択

チャンネル情報を保存したい

テレビ画面で≪その他≫→「チャンネル設定」→「チャンネル保存」→チャンネルを選択→「はい」

チャンネルの選択方法を設定したい

テレビ画面で≪その他≫→「チャンネル設定」→「チャンネル選択設定」→項目を選択

字幕の表示を設定したい　[字幕表示]／[字幕非表示]

テレビ画面で≪その他≫→「字幕表示」／「字幕非表示」

- 字幕なしの番組のときは字幕表示の設定にかかわらず、字幕は表示されません。
- 字幕付きの番組でも、字幕が表示されていないときは、字幕エリアだけが表示されます。

データ放送を全画面で見たい　[データ放送全画面表示]

テレビ画面で≪その他≫→「データ放送全画面表示」

- テレビ映像を選択するには、≪TV≫をタップします。

データ放送のトップページに戻りたい　[データ放送トップに戻る]

テレビ画面で≪その他≫→「データ放送トップに戻る」

TVリンクを表示したい　[TVリンク]

テレビ画面で≪その他≫→「TVリンク」

- TVリンクをタップすると、ネットワークに接続します。

テレビの視聴中にBluetooth® 対応のステレオヘッドフォンに切り替えたい　[ヘッドフォンに接続]／[本体で聴く]

テレビ画面で≪その他≫→「ヘッドフォンに接続」→接続先のデバイスをタップし、選択されたことを確認後ドラッグして「930SC」アイコンへドロップ

- 「ヘッドフォンに接続」に設定すると、930SCでの音量調節はできません。AVヘッドフォン側で調節してください。
- 著作権保護規格「SCMS-T」対応のBluetooth® ステレオヘッドフォンのみご利用可能です。
- モノラルヘッドフォンでは再生できません。
- 接続先が登録されていないときは、周辺デバイスを検索し、登録します。
- テレビの視聴中に音声出力を930SCに切り替えるには、≪その他≫→「本体で聴く」を選択します。

予約時間お知らせを設定したい

テレビ画面で≪その他≫→「設定」→「予約時間お知らせ」

■ **アラーム音を設定するとき**
「アラーム音」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択

■ **音量を設定するとき**
音量欄で音量を調節

■ **バイブレータを設定するとき**
「バイブ」→項目を選択

■ **ライトを設定するとき**
「ライト」の「On」／「Off」

■ **通知時間を設定するとき**
「アラーム通知時間」→項目を選択

■ **鳴動時間を設定するとき**
「アラーム鳴動時間」→項目を選択

データ放送を設定したい

テレビ画面で≪その他≫→「設定」→「データ放送」

■ **録画内容を設定するとき**
「録画設定」→項目を選択

■ **保存先を設定するとき**
「画像保存先設定」→項目を選択

■ **通信接続確認を設定するとき**
「通信接続確認」→項目を選択

■ **製造番号通知を設定するとき**
「製造番号通知」の「On」／「Off」

■ **放送局メモリを削除するとき**
「放送局メモリ削除」→必要に応じて放送局の系列を選択→≪削除≫→削除したい項目の🗑→「はい」

- 全削除する場合は、≪全削除≫→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→「はい」を選択します。

画面を設定したい

テレビ画面で≪その他≫→「設定」→「画面設定」

■ **ピクトの表示設定をするとき**
「ピクト表示設定」の「On」／「Off」

■ **横画面の表示設定をするとき**
「横画面表示設定」→項目を選択

■ **縦画面の表示設定をするとき**
「縦画面表示設定」→項目を選択

■ **画面の明るさを設定するとき**
画面明るさ設定欄で明るさを調節

- バックライトの明るさが「手動」に設定されているときのみ、本設定が反映されます。

音声を設定したい

テレビ画面で≪その他≫→「設定」→「サウンド設定」

■ **音質を設定するとき**
「サウンドモード設定」→項目を選択

■ **言語を設定するとき**
「音声言語設定」→項目を選択

■ **出力先を設定するとき**
「音声出力設定」→項目を選択

録画の保存先を設定したい

テレビ画面で≪その他≫→「設定」→「録画設定」→「保存先設定」→項目を選択

テレビ視聴中の優先動作を設定したい

テレビ画面で≪その他≫→「設定」→「着信時優先動作」→項目を選択→動作を選択

自動でテレビを終了するようにしたい

テレビ画面で≪その他≫→「設定」→「オートオフ設定」→「オートオフ時間設定」→項目を選択

視聴中の番組を録画したい ［録画開始］

テレビ画面で≪その他≫→「録画開始」→≪保存≫

- 録画中はテレビ画面で≪その他≫→「録画停止」→「はい」を選択しても、録画を終了できます。

テレビを終了したい ［TV終了］

テレビ画面で≪その他≫→「TV終了」

TVリンクを削除したい　[削除]

TV→「TVリンク」→≪削除≫→削除したいTVリンクをチェック→≪削除≫→「はい」

- テレビ視聴中に≪その他≫→「TV リンク」→≪削除≫→「はい」を選択しても同じ操作ができます。

TVリンクの詳細を確認したい　[詳細]

TV→「TVリンク」→≪詳細≫→確認したいTVリンクを選択

- テレビ視聴中に≪その他≫→「TV リンク」→≪詳細≫をタップしても同じ操作ができます。

便利

録画／視聴の予約に関する便利な機能

毎日／曜日を指定して繰り返し予約したい

TV→「録画／視聴予約」→≪新規予約≫→「マニュアル」→日付欄のプルダウンメニューから「毎日」／「曜日指定」

- 「曜日指定」を選択した場合は、さらに予約する曜日を選択します。

予約する番組の番組名を入力したい

TV→「録画／視聴予約」→≪新規予約≫→「マニュアル」→「番組名」→番組名を入力

予約した時間の前にアラームを鳴らしたい

TV→「録画／視聴予約」→≪新規予約≫→「マニュアル」→「アラーム」の「On」

予約内容を編集したい　[編集]

TV→「録画／視聴予約」→≪編集≫→編集したい予約を選択→（➔P.6-10 日付やチャンネルを指定して予約する❸）

予約内容を削除したい　[削除]

TV→「録画／視聴予約」→≪削除≫→削除したい予約をチェック→≪削除≫→「はい」

メモリ残量を確認したい　[メモリ残量]

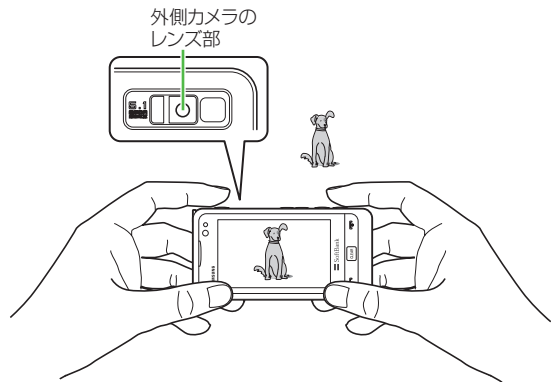
TV→「録画／視聴予約」→≪メモリ残量≫→「本体メモリ」／「メモリカード」

カメラ／静止画編集

7

カメラについて

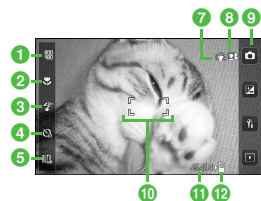
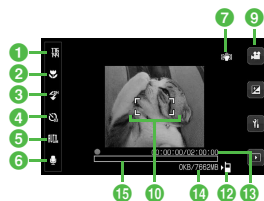
写真（静止画）や動画を撮影できます。静止画はJPEG形式で、動画は3GP形式で保存されます。カメラは、外側カメラのみ撮影することができます。

外側カメラの
レンズ部

カメラ利用時のご注意

- カメラのレンズ部に指紋や油脂が付くと、ピントが合わなくなります。柔らかい布でレンズ部をきれいにしてください。
- 手振れにご注意ください。画像がぶれる原因となります。930SCが動かないようにしっかり持って撮影するか、安定した場所に置いてタイマーで撮影してください。
- カメラ利用時に、930SCを静電気が発生する装置に近づけないでください。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常に明るく見える画素や暗く見える画素もありますのでご了承ください。
- 930SC を暖かい場所に長時間置いたあとで撮影したり画像を保存したりした場合は、画質が劣化することがあります。
- カメラ部分に直射日光が長時間当たると、画像が変色することがあります。
- 「パノラマ」で撮影した画像は、他の撮影モードで撮影した画像に比べて画質が低くなる場合があります。
- 電池の残量が少ないと、カメラが起動しないことがあります。

ビューファインダー（撮影画面）の見かた

930SCを横に持つと横向き表示になります。縦に持つと縦向き表示になります。

- 撮影中（連写／フォトコンビ／動画撮影時など）には、縦／横表示は切り替わりません。
- 本書では、静止画、動画ともに横向き撮影で説明を記載しています。

静止画のビューファインダー

動画のビューファインダー

❶ 撮影サイズ（向きによって数値が入れ換わります）

静止画撮影時

：5M（2560×1920）※　：3M（2048×1536）※
：2M（1600×1200）※　：1M（1280×960）※
：壁紙（800×480）　：0.3M（640×480）
：WideS（400×240）※　：メール（320×240）※

※ 撮影モードが「通常撮影」／「シーン撮影」時のみ

動画撮影時

：VGA（640×480）※　：QVGA（320×240）※
：QCIF（176×144）　：SQCIF（128×96）
：S!メール（176×144）　：S!メール（128×96）

※ 横向き表示のみ

❷ マクロ

：On　表示なし：Off

❸ ライト

：ライトOn　表示なし：ライトOff

❹ タイマー

表示なし：Off　：3秒　：5秒　：10秒

❺ ホワイトバランス

：オート　：晴天　：白熱灯　：蛍光灯　：曇り

❻ 録音設定

：On（映像＋音）　：Off（映像のみ）

❼ 手振れ補正

：手振れ補正On　表示なし：手振れ補正Off

❽ 顔フォーカス

：顔フォーカスOn　表示なし：顔フォーカスOff

❾ 撮影モード

：静止画・通常撮影　：静止画・シーン撮影（オート）
：静止画・シーン撮影（ポートレイト）
：静止画・シーン撮影（風景）
：静止画・シーン撮影（スポーツ）
：静止画・シーン撮影（夜景）
：静止画・シーン撮影（室内）
：静止画・シーン撮影（ビーチ／スノー）
：静止画・シーン撮影（夜明け）
：静止画・連写（6枚）　：静止画・連写（9枚）
：静止画・フレーム　：静止画・フォトコンビ
：静止画・パノラマ　：動画撮影

❿ フォーカスフレーム

⑪ 撮影可能残数

⑫ 保存先設定

[icon]：本体、毎回確認

[icon]：メモリカード、デジタルカメラ

⑬ 撮影経過時間／撮影可能時間

- 撮影サイズが「S!メール」の場合は、撮影経過時間のみです。

⑭ 撮影データの容量／撮影開始時のメモリ残量

- 撮影サイズが「S!メール」の場合は、撮影データの容量／撮影可能容量が表示されます。

⑮ プログレスバー

- ビューファインダー左端のアイコン表示部（①〜⑥）をタップすると、メニューが表示されます。
- ビューファインダー上に映される画像をタップすると、アイコンや設定内容などを表示／非表示します。

静止画撮影モードについて

静止画撮影では、用途に合わせて撮影モードを設定します。

撮影モード	特　長
通常撮影	メールに添付したり待受画面の背景にしたり、携帯電話で利用するのに適したサイズの静止画を撮影できます。
シーン撮影	ポートレート（人物）、風景など撮影対象に適した静止画を撮影できます。
連写	6、9枚の静止画を自動で連続撮影できます。
フレーム	フレーム付きの静止画を撮影できます。
フォトコンビ	手動で連続撮影できます。フレームを選んで撮影すると、連続撮影したすべての静止画が縮小されて1枚の静止画内に配置されます。
パノラマ	風景などをパノラマ形式で撮影できます。パノラマ撮影時に最大6枚まで撮影された画像を、自動的に1枚のパノラマ画像に生成します。

撮影した静止画は「ピクチャー」フォルダに保存されます。メモリカードを取り付けているときは、撮影サイズが「0.3M」以上の場合、「デジタルカメラ」フォルダにも保存できます。

- メモリカードを取り付けて「デジタルカメラ」フォルダを保存先に設定しているとき、「メール」、「Wide S」の各サイズの画像は自動的に930SC本体の「ピクチャー」フォルダに保存されます。

静止画を撮影する

1 ⊂⊃（2秒以上）

- ≪メニュー≫→「カメラ」→「カメラ」でも起動できます。
- 必要に応じて撮影前に設定を行います。

2 撮影したい被写体をビューファインダーに表示

- ▽／△を押すと拡大／縮小できます。

3 ⊂⊃

静止画保存確認画面

- 撮影をやり直す場合は、CLEARを押します。

4 ≪保存≫

・オートフォーカスを利用する
「オートフォーカス」が「On」に設定されている場合は、画面中央部の被写体に自動でピントを合わせるオートフォーカス機能が利用できます。
⊂⊃を半押しする（軽く押す）と、ピントが合います。そのあとで⊂⊃を押し切ると、撮影されます。
オートフォーカスでピントが合ったときは緑色、合わなかったときは茶色の枠が表示されます。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.7-13

- 明るさを調節したい
- 撮影サイズを設定したい
- マクロ機能を設定したい
- ライトの設定をしたい
- タイマーの設定をしたい
- ホワイトバランスの設定をしたい
- 撮影効果（色調）の設定をしたい
- 撮影した静止画を送信したい
- 撮影した静止画の保存時にファイル名を入力したい
- 撮影した静止画を各種の画面に設定したい
- クイック再生を終了したい
- クイック再生で表示した静止画を編集したい
- クイック再生で表示した静止画でお絵かきアニメを利用したい
- クイック再生で表示した静止画を各種の画面に設定したい
- クイック再生で静止画の詳細を確認したい
- クイック再生をスライドショーで再生したい
- クイック再生で表示した静止画を送信したい
- クイック再生で表示した静止画を削除したい

設定

- 手振れ補正を設定する（☞P.13-11）
- オートフォーカスを設定する（☞P.13-11）
- 自動保存を設定する（☞P.13-11）
- コントラストを設定する（☞P.13-11）
- 彩度を設定する（☞P.13-11）
- シャープネスを設定する（☞P.13-11）
- 画質を設定する（☞P.13-11）
- ISOを設定する（☞P.13-11）
- 測光モードを設定する（☞P.13-11）
- ワイドダイナミックレンジを設定する（☞P.13-12）
- 保存先を設定する（☞P.13-12）
- グリッド線の表示を設定する（☞P.13-12）
- 顔リンク表示を設定する（☞P.13-12）
- シャッター音を設定する（☞P.13-12）

いろいろな撮影をする

シーンに合わせた撮影をする

1 ⊖（2秒以上）

2 📷→「シーン撮影」

3 ビューファインダー左端のアイコン表示部をタップ→「シーン設定」→シーンを選択

- 必要に応じて撮影前に設定を行います。
- メニューを閉じるには、メニュー項目以外をタップします。

4 撮影したい被写体をビューファインダーに表示

- ▯／▯を押すと拡大／縮小できます。

5 ⊖

- 撮影をやり直す場合は、CLEARを押します。

6 ≪保存≫

- シーン撮影では、マクロ／手振れ補正／ワイドダイナミックレンジは使用できません。

連続写真を撮影する

1 ⊖（2秒以上）

2 📷→「連写」

3 ビューファインダー左端のアイコン表示部をタップ→「連写枚数」→連写枚数を選択

4 「連写スピード」→「速い」／「普通」／「遅い」／「マニュアル」

- 必要に応じて撮影前に設定を行います。
- メニューを閉じるには、メニュー項目以外をタップします。

5 撮影したい被写体をビューファインダーに表示

- ▯／▯を押すと拡大／縮小できます。

6 ⊖

- 連写スピードで「マニュアル」を選択した場合は、操作6を繰り返します。■をタップすると、撮影を終了して保存できます。
- 撮影を始めからやり直す場合は、⮌をタップまたはCLEARを押します。

7 保存する写真をチェック→≪保存≫

- 連続撮影では、顔フォーカス／手振れ補正／ワイドダイナミックレンジは使用できません。

フレーム付きの静止画を撮影する

1 ⊖（2秒以上）

2 📷→「フレーム」

3 ビューファインダー左端のアイコン表示部をタップ→「フレーム」→フレームを選択

- 必要に応じて撮影前に設定を行います。
- メニューを閉じるには、メニュー項目以外をタップします。

4 撮影したい被写体をビューファインダーに表示

- ▯／▯を押すと拡大／縮小できます。

5 ⊂⊃
- 撮影をやり直す場合は、⮌をタップまたはCLEARを押します。

6 ≪保存≫

- フレーム付き撮影では、顔フォーカス／手振れ補正／ワイドダイナミックレンジは使用できません。

分割撮影（フォトコンビ）をする

1 ⊂⊃（2秒以上）

2 📷→「フォトコンビ」

3 ビューファインダー左端のアイコン表示部をタップ→「スタイル」→スタイルを選択
- 必要に応じて撮影前に設定を行います。
- メニューを閉じるには、メニュー項目以外をタップします。

4 撮影したい被写体をビューファインダーに表示→選んだフレームに合わせて⊂⊃
- ▯／▯を押すと拡大／縮小できます。

5 操作 4 を繰り返して撮影したい被写体を撮影→⊂⊃
- 撮影を始めからやり直す場合は、⮌をタップまたはCLEARを押します。

6 ≪保存≫

- フォトコンビでは、顔フォーカス／手振れ補正／ワイドダイナミックレンジは使用できません。

パノラマ撮影をする

1 ⊂⊃（2秒以上）

2 📷→「パノラマ」
- パノラマ撮影では画面が横向きになります。
- 必要に応じて撮影前に設定を行います。
- メニューを閉じるには、メニュー項目以外をタップします。

3 撮影したい被写体をビューファインダーに表示
- ▯／▯を押すと拡大／縮小できます。

4 ⊂⊃
- 撮影をやり直す場合は、⮌をタップまたはCLEARを押します。

5 撮りたい方向（上下または左右）に930SCを動かす→小さい白枠を大きい黒枠の中に合わせると自動的に撮影

6 操作5を繰り返して撮影したい範囲を撮影→■

- 撮影が終了します。また、6枚まで撮影すると、自動的に撮影が終了します。
- 撮影を始めからやり直す場合は、⮌をタップまたはCLEARを押します。

7 自動的にパノラマ画像を生成→≪保存≫

- パノラマ撮影時の撮影枚数により、生成に時間がかかることがあります。

- パノラマ撮影では、顔フォーカス／手振れ補正／ワイドダイナミックレンジは使用できません。
- パノラマ撮影中は、930SCをゆっくり動かして撮影します。
- パノラマ撮影は、室外の風景を撮影するのに適した形式です。被写体との撮影距離を10m以上とられることをおすすめします。被写体との距離が近すぎると、パノラマ画像が生成できないことがあります。
- 暗い場所や、濃淡のない背景を撮影すると、パノラマ画像が生成できないことがあります。

動画撮影モードについて

手軽に動画を撮影できます。撮影した動画は、3GP形式でデータフォルダの「ムービー」フォルダに保存されます。メールに添付／挿入する動画を撮影する場合は撮影サイズを「S! メール」（➔P.7-15）に設定してください。

- 1回の動画撮影について、最大2時間まで撮影できます。
- 撮影サイズが「VGA」／「QVGA」のときは、画面が横向きになります。

動画を撮影する

1 ≪メニュー≫→「カメラ」→「ビデオカメラ」

- 必要に応じて撮影前に設定を行います。

2 撮影したい被写体をビューファインダーに表示

- ▼／▲を押すと拡大／縮小できます。

3 ⊂⊃

- 撮影中に一時停止する場合は⏸をタップします。撮影を再開する場合は●をタップします。
- 撮影中も▼／▲を押すと拡大／縮小できます。

4 ⊂⊃／■をタップ

動画保存確認画面

- 撮影が終了します。撮影時間が経過した場合は、自動的に撮影が終了します。

5 ≪保存≫

●オートフォーカスを利用する
「オートフォーカス」が「On」に設定されている場合は、画面中央部の被写体に自動でピントを合わせるオートフォーカス機能が利用できます（撮影中のピントは固定となります）。
⊖を半押しする（軽く押す）と、ピントが合います。そのあとで⊖を押し切ると、撮影されます。
オートフォーカスでピントが合ったときは緑色、合わなかったときは茶色の枠が表示されます。

●動画撮影では、顔フォーカス／ワイドダイナミックレンジは使用できません。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.7-15
- 撮影サイズを設定したい
- マクロ機能を設定したい
- ライトの設定をしたい
- タイマーの設定をしたい
- ホワイトバランスの設定をしたい
- 撮影効果（色調）の設定をしたい
- 録音の設定をしたい
- 撮影した動画を保存前に確認したい
- 撮影した動画を送信したい
- 撮影した動画の保存時にファイル名を入力したい
- 撮影した動画を各種の着信音に設定したい
- クイック再生で表示した動画を各種の着信音に設定したい
- クイック再生で表示した動画の詳細を確認したい
- クイック再生で表示した動画を送信したい
- クイック再生で表示した動画を削除したい
- クイック再生を終了したい

設定
- 手振れ補正を設定する（☞P.13-11）
- オートフォーカスを設定する（☞P.13-11）
- 自動保存を設定する（☞P.13-11）
- コントラストを設定する（☞P.13-11）
- 彩度を設定する（☞P.13-11）
- シャープネスを設定する（☞P.13-11）
- 画質を設定する（☞P.13-12）
- 保存先を設定する（☞P.13-12）
- グリッド線の表示を設定する（☞P.13-12）

画像を加工する

静止画を編集する

データフォルダに保存された静止画を編集します。

1 ≪メニュー≫→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択

2 ファイルを選択

3 ≪編集≫→「画像編集」

4 画像の編集操作

■ 画像にエフェクトを設定するとき

≪効果≫→「フィルター」／「スタイル」／「ワープ」→エフェクトを選択→≪完了≫

●選択したエフェクトによっては、効果を調節できます。

■ 画像を自動調整するとき

≪画像調整≫→「自動レベル調整」

■ 画像を調整するとき
≪画像調整≫→「明るさ」／「コントラスト」／「色」→画像を調整→≪完了≫

■ 画像のサイズを変更するとき
≪変形≫→「サイズ変更」→サイズを選択
- 「カスタマイズ」を選択したときは、「幅」と「高さ」を入力して≪完了≫をタップします。

■ 画像を回転するとき
≪変形≫→「回転」→ ／ →≪完了≫

■ 画像を反転するとき
≪変形≫→「反転」→ ／ →≪完了≫
- 直前に行った編集を取り消すには、 をタップします。

5 ≪保存≫→画像名を入力

お絵かきアニメ

静止画の上に線や図形を描いたり、文字を書き込んだりできます。また、描いた絵などを動かしてFlash®画像を作成したりできます。

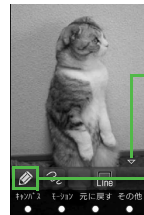
1 ≪メニュー≫→「お絵かきアニメ」

2 ≪キャンバス≫→「ピクチャー」／「デジタルカメラ」→もとにする静止画を選択
- メモリカードを取り付けているときのみ「デジタルカメラ」を選択できます。

3 画像サイズを選択

■ 壁紙などに設定するとき
「通常」
- 画像サイズが800×480以下になるように自動で調整されます。

■ メールに添付して送信するとき
「S!メール」
- 画像サイズが400×240以下になるように自動で調整されます。

4 お絵かき操作

タップすると、操作パネルを非表示
モード切替アイコン
キャンバス モーション 元に戻す その他
お絵かきアニメ画面

■ 線を描くとき
モード切替アイコンをタップ→「ペン」→ →線種を選択→ →線幅を選択→ →線色を選択→線を描く

■ 図形を描くとき
モード切替アイコンをタップ→「シェイプ」→ →図形を選択→ →線幅を選択→ →輪郭色を選択→ →塗り色を選択→図形を描く
- 図形の対角線を描くようにドラッグします。

■ 文字を書き込むとき

モード切替アイコンをタップ→「文字」→▦→文字を入力→T→文字サイズを調節→TT→文字種を選択→Text Color→文字色を選択→文字をホールドし、選択されたことを確認後ドラッグして移動先へドロップ

■ スタンプを付けるとき

モード切替アイコンをタップ→「スタンプ」→▣→「基本スタンプ」→✦→スタンプを選択→スタンプを貼り付けたい場所をタップ

■ 貼り付けたスタンプにモーションを付けるとき

≪モーション≫→モーションを付けたいスタンプをタップ→≪OK≫→「基本モーション」→モーションを選択→≪OK≫

- 各アイコンは現在の設定を示しています。設定を変更すると、アイコンの表示も変わります。

5 ≪その他≫→「プレビュー」→画像を確認

プレビュー画面

- お絵かき手順再生を設定すると、次の操作ができます。
  - ⏸／▶：一時停止／再開
  - ⏮：最初から再生

6 ≪保存≫→「Flash®保存」／「画像保存」→「本体」／「メモリカード」→ファイル名を入力

- メモリカードを取り付けているときのみ「メモリカード」を選択できます。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.7-16

- 静止画を切り取って加工したい
- カメラで撮影した画像を利用してお絵かきアニメしたい
- 色のついた背景を利用してお絵かきアニメしたい
- お絵かきの加工をもとに戻したい
- 作成した画像を壁紙に設定したい
- 作成した画像を保存して送信したい

静止画をプリントする

930SCに保存されている静止画をBluetooth®やUSBを使用してプリンタに接続し、プリントすることができます。
プリンタ側の操作や用紙のセット方法については、プリンタに付属の取扱説明書を参照してください。

Bluetooth®経由でプリントする

- Bluetooth®に対応したプリンタでプリントできます。
- あらかじめ、プリンタをBluetooth®受信できる状態にしておいてください。

1. **≪メニュー≫→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択**
2. **≪その他≫→「印刷」**
3. **「Bluetooth」→プリントするファイルをチェック→≪印刷≫**
4. **送信先デバイスをタップし、選択されたことを確認後ドラッグして「930SC」アイコンへドロップ**
   - 送信先が登録されていないときは、周辺デバイスを検索し、登録します。
5. **必要に応じて設定操作**

■ **フチのあり／なしを設定するとき**
「フレーム」の「On」／「Off」

■ **プリントサイズを設定するとき**
「プリントサイズ」→プリントサイズを選択

■ **印刷枚数を設定するとき**
「枚数」→枚数（1～99）を入力

■ **1枚の用紙に何面印刷するかを設定するとき**
「ページ設定」→設定を選択
- 「複製印刷」を選択したときは「割り付けページ数」を選択し、設定（1～16アップ）を選択します。

■ **日付を印刷するかどうか設定するとき**
「印刷日記入」の「On」／「Off」

■ **印刷品質を設定するとき**
「印刷品質」→設定を選択

6. **≪プレビュー≫→≪印刷≫**

USB接続でプリントする

1. **≪メニュー≫→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択**
2. **≪その他≫→「印刷」**
3. **「USB」→プリントするファイルをチェック→≪印刷≫→「はい」**
4. **930SCとプリンタをUSBケーブルで接続**
5. **必要に応じて設定操作**

■ **フチのあり／なしを設定するとき**
「フレーム」の「On」／「Off」

■ プリントサイズを設定するとき

「プリントサイズ」→プリントサイズを選択

■ 印刷枚数を設定するとき

「枚数」→枚数（1～99）を入力

■ 1枚の用紙に何面印刷するかを設定するとき

「ページ設定」→設定を選択

- 「複製印刷」を選択したときは「割り付けページ数」を選択し、設定（1～16アップ）を選択します。

■ 日付を印刷するかどうか設定するとき

「印刷日記入」の「On」／「Off」

■ 印刷品質を設定するとき

「印刷品質」→設定を選択

6 ≪プレビュー≫→≪印刷≫

便利

静止画撮影に関する便利な機能

明るさを調節したい

静止画のビューファインダーで ☒ →明るさを調節

撮影サイズを設定したい

ビューファインダー左端のアイコン表示部をタップ→「撮影サイズ」→項目を選択

マクロ機能を設定したい

ビューファインダー左端のアイコン表示部をタップ→「マクロ」→「On」／「Off」

ライトの設定をしたい

ビューファインダー左端のアイコン表示部をタップ→「ライト」→「ON」／「OFF」

タイマーの設定をしたい

ビューファインダー左端のアイコン表示部をタップ→「タイマー」→項目を選択

ホワイトバランスの設定をしたい

ビューファインダー左端のアイコン表示部をタップ→「ホワイトバランス」→項目を選択

撮影効果（色調）の設定をしたい

ビューファインダー左端のアイコン表示部をタップ→「撮影効果」→項目を選択

撮影した静止画を送信したい ［送信］

静止画保存確認画面で≪送信≫

■ メールで送信するとき

「メール添付」→（➲P.4-3 S!メールを送信する❷）

- 撮影した静止画が300Kバイトを超えている場合は、データフォルダに保存されたあと、画像のリサイズ画面へ移動します。サイズを変更してから添付してください（➲P.4-4 ファイルを添付する）。

■ Bluetooth®で送信するとき

「Bluetooth」→（➲P.12-7 データを送信する❷）

■ 赤外線で送信するとき

「赤外線通信」（➲P.12-3）

撮影した静止画の保存時にファイル名を入力したい ［ファイル名変更］

静止画保存確認画面で≪ファイル名変更≫→ファイル名を入力

撮影した静止画を各種の画面に設定したい ［登録］

静止画保存確認画面で≪登録≫

■ **ディスプレイの壁紙に設定するとき**
「壁紙」→必要に応じて≪回転≫→／で向きを調節または≪ズーム≫→／でサイズを調整→≪設定≫

■ **電話帳の着信画像に設定するとき**
「個別着信画像」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-18）→≪設定≫

■ **TVコールの代替画像に設定するとき**
「TVコール代替画像」→≪OK≫

クイック再生で静止画を確認したい

（2秒以上）→→項目を選択→／で画像を確認

- メモリカードを取り付けているときのみ、「メモリカード」／「デジタルカメラ」を選択できます。

クイック再生で表示した静止画を編集したい ［画像編集］

（2秒以上）→→項目を選択→／で画像を確認→≪画像編集≫→（➲P.7-9 静止画を編集する❹）

- メモリカードを取り付けているときのみ、「メモリカード」／「デジタルカメラ」を選択できます。

クイック再生で表示した静止画でお絵かきアニメを利用したい ［お絵かきアニメ］

（2秒以上）→→項目を選択→／で画像を確認→≪お絵かきアニメ≫→（➲P.7-10 お絵かきアニメ❸）

- メモリカードを取り付けているときのみ、「メモリカード」／「デジタルカメラ」を選択できます。

クイック再生で表示した静止画を各種の画面に設定したい ［登録］

（2秒以上）→→項目を選択→／で画像を確認→≪登録≫

■ **ディスプレイの壁紙に設定するとき**
「壁紙」→必要に応じて≪回転≫→／で向きを調節または≪ズーム≫→／でサイズを調整→≪設定≫

■ **電話帳の着信画像に設定するとき**
「個別着信画像」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-18）→≪設定≫

■ **TVコールの代替画像に設定するとき**
「TVコール代替画像」→≪OK≫

- メモリカードを取り付けているときのみ、「メモリカード」／「デジタルカメラ」を選択できます。

クイック再生で静止画の詳細を確認したい ［詳細］

（2秒以上）→→項目を選択→／で画像を確認→≪詳細≫

- メモリカードを取り付けているときのみ、「メモリカード」／「デジタルカメラ」を選択できます。

クイック再生をスライドショーで再生したい ［スライドショー］

（2秒以上）→→項目を選択→≪スライドショー≫

- 再生中にCLEARを押すと、スライドショーを停止します。
- メモリカードを取り付けているときのみ、「メモリカード」／「デジタルカメラ」を選択できます。

クイック再生で表示した静止画を送信したい [送信]

⊂⊃（2秒以上）→▣→項目を選択→◁／▷で画像を確認→≪送信≫

■ **メールで送信するとき**
「メール添付」→（➲P.4-3 S!メールを送信する❷）

■ **Bluetooth®で送信するとき**
「Bluetooth」→（➲P.12-7 データを送信する❷）

■ **赤外線で送信するとき**
「赤外線通信」（➲P.12-3）

- メモリカードを取り付けているときのみ、「メモリカード」／「デジタルカメラ」を選択できます。

クイック再生で表示した静止画を削除したい [削除]

⊂⊃（2秒以上）→▣→項目を選択→◁／▷で画像を確認→≪削除≫→「はい」

- メモリカードを取り付けているときのみ、「メモリカード」／「デジタルカメラ」を選択できます。

クイック再生を終了したい [カメラ]

クイック再生中に≪カメラ≫

便利

動画撮影に関する便利な機能

撮影サイズを設定したい

ビューファインダー左端のアイコン表示部をタップ→「撮影サイズ」→項目を選択

マクロ機能を設定したい

ビューファインダー左端のアイコン表示部をタップ→「マクロ」→「On」／「Off」

ライトの設定をしたい

ビューファインダー左端のアイコン表示部をタップ→「ライト」→「ON」／「OFF」

タイマーの設定をしたい

ビューファインダー左端のアイコン表示部をタップ→「タイマー」→項目を選択

ホワイトバランスの設定をしたい

ビューファインダー左端のアイコン表示部をタップ→「ホワイトバランス」→項目を選択

撮影効果（色調）の設定をしたい

ビューファインダー左端のアイコン表示部をタップ→「撮影効果」→項目を選択

録音の設定をしたい

ビューファインダー左端のアイコン表示部をタップ→「録音設定」→「On」／「Off」

撮影した動画を保存前に確認したい

動画保存確認画面で▶

撮影した動画を送信したい [送信]

動画保存確認画面で≪送信≫

■ **メールで送信するとき**
「メール添付」→（➲P.4-3 S!メールを送信する❷）

■ **Bluetooth®で送信するとき**
「Bluetooth」→（➲P.12-7 データを送信する❷）

■ **赤外線で送信するとき**
「赤外線通信」（➲P.12-3）

撮影した動画の保存時にファイル名を入力したい [ファイル名変更]

動画保存確認画面で≪ファイル名変更≫→ファイル名を入力

撮影した動画を各種の着信音に設定したい [登録]

動画保存確認画面で≪登録≫

■ **音声着信音に設定するとき**
「音声着信音」

■ **TVコール着信音に設定するとき**
「TVコール着信音」

■ **電話帳に設定するとき**
「個別着信音」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-18）

クイック再生で動画を確認したい

≪メニュー≫→「カメラ」→「ビデオカメラ」→▣→項目を選択→◁／▷で動画を確認→▶

- メモリカードを取り付けているときのみ、「メモリカード」を選択できます。

クイック再生で表示した動画を各種の着信音に設定したい [登録]

≪メニュー≫→「カメラ」→「ビデオカメラ」→▣→項目を選択→◁／▷で動画を確認→≪登録≫

■ 音声着信音に設定するとき
「音声着信音」

■ TVコール着信音に設定するとき
「TVコール着信音」

■ 電話帳に設定するとき
「個別着信音」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-18）

- メモリカードを取り付けているときのみ、「メモリカード」を選択できます。

クイック再生で表示した動画の詳細を確認したい [詳細]

≪メニュー≫→「カメラ」→「ビデオカメラ」→▣→項目を選択→◁／▷で動画を確認→≪詳細≫

- メモリカードを取り付けているときのみ、「メモリカード」を選択できます。

クイック再生で表示した動画を送信したい [送信]

≪メニュー≫→「カメラ」→「ビデオカメラ」→▣→項目を選択→◁／▷で動画を確認→≪送信≫

■ メールで送信するとき
「メール添付」→（➲P.4-3 S!メールを送信する❷）

■ Bluetooth®で送信するとき
「Bluetooth」→（➲P.12-7 データを送信する❷）

■ 赤外線で送信するとき
「赤外線通信」（➲P.12-3）

- メモリカードを取り付けているときのみ、「メモリカード」を選択できます。

クイック再生で表示した動画を削除したい [削除]

≪メニュー≫→「カメラ」→「ビデオカメラ」→▣→項目を選択→◁／▷で動画を確認→≪削除≫→「はい」

- メモリカードを取り付けているときのみ、「メモリカード」を選択できます。

クイック再生を終了したい [ビデオカメラ]

クイック再生中に≪ビデオカメラ≫

便利

静止画の加工に関する便利な機能

静止画を切り取って加工したい [切り取り]

≪メニュー≫→「データフォルダ」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→≪編集≫→「画像編集」→≪変形≫→「切り取り」

■ 位置を調節するとき
切り取り枠の内側をタップしてドラッグ→≪切り取り≫→≪保存≫→画像名を入力

■ サイズを調節／形状を変えるとき
切り取り枠の四隅のいずれかをタップしてドラッグ→≪切り取り≫→≪保存≫→画像名を入力

カメラで撮影した画像を利用してお絵かきアニメしたい [カメラ起動]

≪メニュー≫→「お絵かきアニメ」→≪キャンバス≫→「カメラ起動」→静止画を撮影→≪保存≫→サイズを選択

色のついた背景を利用してお絵かきアニメしたい [カラーキャンバス]

≪メニュー≫→「お絵かきアニメ」→≪キャンバス≫→「カラーキャンバス」→背景色を選択

入力した文字を編集したい

お絵かきアニメ画面でモード切替アイコンをタップ→「文字」→入力済みの文字をタップ→▦→文字を編集→文字サイズ／文字種／文字色／文字の位置を編集

静止画をスタンプとして貼り付けたい

お絵かきアニメ画面でモード切替アイコンをタップ→「スタンプ」→▣→「フォトスタンプ」→必要に応じて▣

■ **保存されている静止画から選択するとき**

「ピクチャー」／「デジタルカメラ」→スタンプにする静止画を選択→スタンプを貼り付けたい場所をタップ

- メモリカードを取り付けているときのみ「デジタルカメラ」を選択できます。

■ **カメラで撮影するとき**

「カメラ起動」→静止画を撮影→≪保存≫→スタンプを貼り付けたい場所をタップ

- 各アイコンは現在の設定を示しています。設定を変更すると、アイコンの表示も変わります。

描いた線／図形にモーションを付けたい

お絵かきアニメ画面で≪モーション≫→モーションを付けたい線／図形を囲むようにドラッグ→≪OK≫→「基本モーション」→モーションを選択→≪OK≫

- モーションを付けたい範囲の対角線を描くようにドラッグします。

線に沿って動かしたい

お絵かきアニメ画面で≪モーション≫

■ **線／図形のとき**

目的の線／図形を囲むようにドラッグ→≪OK≫→「モーションライン」→選択した線／図形から動線を描く→「プレビュー」→≪OK≫

- 目的の範囲の対角線を描くようにドラッグします。

■ **スタンプのとき**

目的のスタンプをタップ→≪OK≫→「モーションライン」→選択したスタンプから動線を描く→「プレビュー」→≪OK≫

- 動線を描き直したいときは、「やり直し」をタップします。

モーションを削除したい

お絵かきアニメ画面で≪モーション≫→モーションを削除したい線／図形／スタンプをタップ→≪OK≫

■ **基本モーションを削除するとき**

「基本モーション」→▣→≪OK≫

■ **モーションラインを削除するとき**

「モーションライン」→「Off」→≪OK≫

お絵かきの加工をもとに戻したい　[元に戻す]

お絵かきアニメ画面で≪元に戻す≫

- お絵かきアニメ画面で直前に行った描画やモーションの設定などの操作をもとに戻すことができます。

線／図形／文字／スタンプを削除したい

お絵かきアニメ画面でモード切替アイコンをタップ→「削除」

■ **モーションのない線／図形のとき**

削除したい線／図形を囲むようにドラッグ

- 削除したい範囲の対角線を描くようにドラッグしてください。

■ **モーションを付けた線／図形のとき**

削除したい線／図形をタップ

■ **文字／スタンプのとき**

削除したい文字／スタンプをタップ

作成した画像を壁紙に設定したい　[壁紙登録]

プレビュー画面で≪壁紙登録≫→項目を選択→ファイル名を入力

作成した画像を保存して送信したい　[送信]

プレビュー画面で≪送信≫

■ **メールで送信するとき**
「メール添付」→項目を選択→（➔P.4-3 S!メールを送信する❷）

■ **Bluetooth®で送信するとき**
「Bluetooth」→項目を選択→（➔P.12-7 データを送信する❷）

■ **赤外線で送信するとき**
「赤外線通信」→項目を選択（➔P.12-3）

作成した画像の保存先を変更したい

お絵かきアニメ画面で≪その他≫→「設定」→「保存先設定」の「本体」／「メモリカード」／「毎回確認」

- メモリカードを取り付けていないときは、自動的に保存先が「本体」に変更されます。

お絵かき手順再生速度を設定したい

お絵かきアニメ画面で≪設定≫→お絵かき手順再生速度を調節

メディアプレイヤー／ゲーム

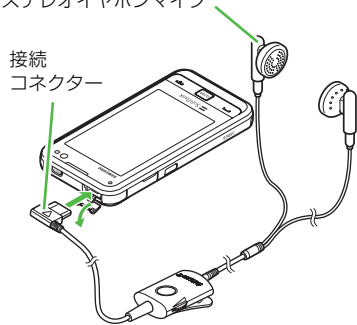
8

メディアプレイヤーについて

メディアプレイヤーでは、データフォルダに保存されている音楽や動画ファイルを再生できます。動画コンテンツなどのデータを読み込みながら、リアルタイムで再生できるストリーミングも楽しめます。

- 再生音はスピーカーからだけでなく、ステレオイヤホンマイクを利用して聴くことができます。下の図を参考に差し込んでください。また、スピーカー再生するときは、ステレオイヤホンマイクを本体から外します。

ステレオイヤホンマイク

接続コネクター

- ステレオイヤホンマイクは音楽再生だけでなく、通話にもお使いいただけます。ステレオイヤホンマイクを取り付けて再生している場合に、電話をかけてきた相手と通話するときは、ステレオイヤホンマイクのスイッチを1秒以上押すと通話できます。
- ミュージックのメニュー「ミュージックダウンロード」やムービーのメニュー「ムービーダウンロード」からは、Yahoo!ケータイへ直接アクセスし、音楽や動画をダウンロードできます。

音楽／動画を入手する

音楽／動画をダウンロードする

Yahoo!ケータイへ直接アクセスし、音楽や動画をダウンロードできます。

1 ≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」

2 音楽／動画のダウンロード操作

■ 音楽をダウンロードするとき

「ミュージック」→「全曲一覧」→「ミュージックダウンロード」／「ミュージックサーチ」

- 「ミュージックサーチ」を選択すると、音楽検索サイト「Music Search」へアクセスし、楽曲種別やアーティスト名などで音楽を検索できます。

■ 動画をダウンロードするとき

「ムービー」→「全ムービー一覧」→「ムービーダウンロード」

注意

- **データ量の多い音楽や動画をダウンロードするときはパケット通信料が高額になりますので、ご注意ください。**

WMA/WMV形式の音楽／動画をパソコンから930SC／メモリカードに保存する

ここでは、「S!ミュージックコネクト」を利用する方法を例に説明します。

- メモリカードに保存する場合は、あらかじめ930SC本体にメモリカードを取り付け、次の操作を行ってください。
  ≪メニュー≫→「設定」→「メモリ設定」→「保存先設定」→「メモリカード」

1 930SCとパソコンをUSBケーブルで接続

2 ≪メニュー≫→「設定」→「外部接続」→「USB接続モード」→「MTP通信モード」→「はい」

3 操作用暗証番号を入力→≪OK≫

- パソコンからの操作で、音楽／動画がコピーできる状態になります。詳しくは、S!ミュージックコネクトのヘルプなどを参照してください。

4 接続中に≪終了≫

5 USBケーブルの取り外し

- MTP通信モードでの利用中は、通話やメッセージの受信などができません。
- S!ミュージックコネクトは、ソフトバンクホームページ（http://www.softbank.jp）からダウンロードしてご利用いただけます。動作環境など詳しくは、ソフトバンクホームページを参照してください。

その他の形式の音楽／動画をパソコンからメモリカードに保存する

音楽／動画のファイル形式を変換できるソフトウェアが必要です。

- 当社では、特定のソフトウェアの動作保証はしておりません。
- ソフトウェアの仕様や使用方法については、ソフトウェア提供各社のホームページなどでご確認ください。

1 930SC本体にメモリカードを取り付ける

- ≪メニュー≫→「データフォルダ」→ をタップしてフォルダが生成されていることを確認します。

2 メモリカードを930SC本体から取り外しパソコンと接続する

3 パソコン内の音楽／動画をメモリカード内の指定のフォルダに保存する

- 保存するファイルの種類別に、メモリカード内の次のフォルダに保存してください。
  音楽ファイル：PRIVATE/MYFOLDER/My Items/Music
  PRIVATE/MYFOLDER/My Items/Sounds & Ringtones
  動画ファイル：PRIVATE/MYFOLDER/My Items/Videos
- WMA／WMV形式の音楽／動画を直接メモリカードにコピーすると、再生できない場合があります。必ず、MTP通信モードを利用してメモリカードに保存してください（➔P.8-2）。

- ファイルの保存後、メモリカードの読み込みが完了すると、ファイルの再生が可能となります。

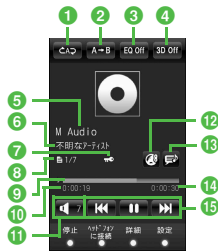
メディアプレイヤーで再生できるファイル

プレイヤー	ファイル（拡張子）
ミュージック	MPEG4 Audio（mp4、m4a、aac、3gp（音声のみ））Softbank Music Contents（smc）、Windows Media Audio（wma）
ムービー	MPEG4（mp4、3gp）、H.263、H.264、Windows Media Video（wmv）

- 上記以外の、メディアプレイヤーに対応していない音楽ファイルを再生したい場合は、データフォルダの「着うた・メロディ」フォルダからファイルを選択します。この場合、対応しているファイルでも、「着うた・メロディ」フォルダ以外の場所に保存したときは再生できません。

注意

- **動画ファイルの場合は、次の解像度を超えるファイルは再生できません。**
  mp4、3gp：640×480
  wmv：320×240

音楽再生画面の見かたと操作

音楽再生画面

❶ 再生パターン設定
タップすると設定を切り替えることができます。
- : Off
- : 1曲リピート
- : シャッフル（リピート有）
- : シャッフル（リピート無）
- : 全てリピート

❷ 部分的にリピート
1回目のタップ： 開始位置を設定
2回目のタップ： 終了位置を設定（リピート開始）
3回目のタップ： リピート終了

❸ サウンドエフェクト設定
タップすると設定を切り替えることができます。
- Bluetooth® 対応ステレオヘッドフォンを利用して聴いているときは使用できません。

❹ 3Dサウンド設定
タップすると設定を切り替えることができます。
- Bluetooth® 対応ステレオヘッドフォンを利用して聴いているときは使用できません。

❺ タイトル（タイトル情報がない場合はファイル名）

❻ アーティスト名

❼ 著作権保護

❽ ファイル番号／総ファイル数

❾ プログレスバー
ドラッグ／タップして再生箇所を指定できます。

❿ 再生経過時間

⓫ 再生音量
タップすると音量が調節できます。

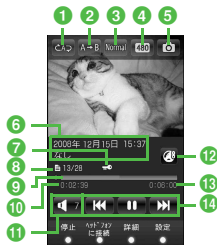
⓬ ウェブリンク情報あり
タップすると関連したサイトに接続できます。

⓭ 歌詞情報あり
タップすると歌詞を表示できます。

⓮ 総再生時間

⓯ 再生操作部
- : 再生
- : 一時停止
- : 頭出し／前の曲
- 曲の再生後３秒以内にタップすると前の曲に、３秒過ぎてタップすると再生中の曲の頭出しとなります。
- をホールド：巻き戻し
- : 次の曲
- をホールド：早送り

- 930SCを横に持つと横画面表示になります。操作は縦画面と同様です。

動画再生画面の見かたと操作

動画再生画面

❶再生パターン設定
タップすると設定を切り替えることができます。
: Off
: 1曲リピート
: シャッフル（リピート有）
: シャッフル（リピート無）
: 全てリピート

❷部分的にリピート
1回目のタップ：開始位置を設定
2回目のタップ：終了位置を設定（リピート開始）
3回目のタップ：リピート終了

❸再生スピード
タップすると設定を切り替えることができます。

❹表示サイズ
タップすると設定を切り替えることができます。

❺静止画保存
タップすると静止画を保存できます。
- 著作権保護されている動画からは、静止画を保存できません。

❻ビデオタイトル（ビデオタイトルがない場合はファイル名）と制作者名

❼著作権保護

❽ファイル番号／総ファイル数

❾プログレスバー
ドラッグ／タップして再生箇所を指定できます。

❿再生経過時間

⓫再生音量
タップすると音量が調節できます。

⓬ウェブリンク情報あり
タップすると関連したサイトに接続できます。

⓭総再生時間

⓮再生操作部
: 再生
: 一時停止
: 頭出し／前のムービー
- 曲の再生後3秒以内にタップすると前のムービーに、3秒過ぎてタップすると再生中のムービーの頭出しとなります。

をホールド：巻き戻し
: 次のムービー
をホールド：早送り

- 930SCを横に持つと横画面表示になります。操作は縦画面と同様です。
- 映像をタップすると、縦画面表示では❶～❺のアイコンを表示します。横画面表示では再生操作部、プログレスバーなど、映像以外のすべてを表示します。

使いこなしチェック！

設定
● MTP通信モードを起動する（☞P.13-30）

音楽を再生する

1 **≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」**

2 **ファイルの選択操作**

■ **最後に再生したファイルを再生するとき**

「続き再生」

- 再生中は「再生中のミュージック」と表示され、音楽再生画面が表示されます。

■ **すべてのファイルの一覧からファイルを選択するとき**

「全曲一覧」→ファイルを選択

■ **プレイリストからファイルを選択するとき**

「プレイリスト」→プレイリストを選択→ファイルを選択

■ **アーティスト別の一覧からファイルを選択するとき**

「アーティスト」→アーティストを選択→ファイルを選択

■ **アルバム別の一覧からファイルを選択するとき**

「アルバム」→アルバムを選択→ファイルを選択

■ **ジャンル別の一覧からファイルを選択するとき**

「ジャンル」→ジャンルを選択→ファイルを選択

■ **フォルダの一覧からファイルを選択するとき**

「フォルダ」→フォルダを選択→ファイルを選択

■ **最近再生したファイルの一覧からファイルを選択するとき**

「最近聴いた曲」→ファイルを選択

■ **よく再生するファイルの一覧からファイルを選択するとき**

「よく聴く曲」→ファイルを選択

- 「全曲一覧」やプレイリスト名などの横に表示される▶をタップすると、該当するファイルの一覧をすべて再生します。
- メモリカードを取り付けているときは、「全曲一覧」や「フォルダ」の一覧画面にメモリカードに保存されているファイルも表示されます。該当するファイルにはSDが表示されます。

- メディアプレイヤーを起動して音楽を再生している場合は、CLEARを繰り返し押すと再生を継続したまま音楽再生画面を終了します。また、終話キーを押すとメディアプレイヤーを終了させるか、BGMとして再生を続けるかを選択できます。
  再生を終了するには、待受画面で終話キーを押します。再生を終了するかどうかの確認メッセージが表示されたら、「はい」を選択します。
- 音楽再生しながら一覧画面を表示中は、♫をタップすると音楽再生画面に戻ることができます。
- メディアプレイヤー画面で再生中に電話がかかってきたときは、再生が一時停止され、着信音が鳴ります。通話が終了すると音楽再生は一時停止のまま音楽再生画面に戻ります。
  BGMとして再生中は、通話が終了すると再生を再開します。
- メディアプレイヤー画面で再生中にアラームの設定時刻になったときは、再生が一時停止され、アラーム音と表示でお知らせします。いずれかのボタンを押すとアラーム音が止まり、表示が消えます。BGMとして再生中のときは、アラーム音を止めた時点で再生を再開します。

ミュージックのフォルダ構成について

ミュージックのフォルダ構成は次のとおりです。

フォルダ	概　要
続き再生／再生中のミュージック	最後に再生したファイルを表示／現在再生中のファイルを表示
全曲一覧	「ミュージック」で再生できるすべてのファイルを最大9999件表示
プレイリスト	「ミュージック」で再生できるファイルから任意で作成するフォルダを表示
アーティスト	「ミュージック」で再生できるすべてのファイルをアーティスト別に表示
アルバム	「ミュージック」で再生できるすべてのファイルをアルバム別に表示
ジャンル	「ミュージック」で再生できるすべてのファイルをジャンル別に表示
フォルダ	データフォルダおよびメモリカードの「着うた・メロディ」フォルダや「ミュージック」フォルダに保存されているファイルと、メモリカード内の「MYFOLDER」を表示
最近聴いた曲	最近再生したファイルの履歴を最大100件表示（最後に再生したファイルを一番上に表示）
よく聴く曲	再生回数の多いファイルの履歴を最大100件表示（最も再生回数が多いファイルを一番上に表示）

- 再生できるファイルが保存されたメモリカードを取り付けているときに、ファイルを一覧表示するまで時間がかかることがあります。

注意

- **「全曲一覧」フォルダ内のファイルを削除したり、設定を変更したりすると、その内容はデータフォルダ内の「着うた・メロディ」フォルダや「ミュージック」フォルダにも反映されます。**

使いこなしチェック！

便利 ☞P.8-11

- タイトルやアーティスト名でファイルを探したい
- ファイルをプレイリストに追加したい
- ファイルを送信したい
- ファイルを通常モードの着信音に設定したい
- ファイルの順序を変更したい
- 著作権保護ファイルのコンテンツ・キーを購入または取得したい
- ファイル名を編集したい
- 保護してファイル名の編集や削除などを制限したい
- ファイルを削除したい
- ファイルの詳細情報を確認したい
- プレイリスト内のファイルの順序を変更したい
- プレイリスト名を編集したい
- プレイリストを削除したい
- 音楽の再生を停止したい
- 音楽の再生中にBluetooth®対応のステレオヘッドフォンに切り替えたい

設定

- 再生パターンを設定する（☞P.13-10）
- サウンドエフェクトを設定する（☞P.13-10）
- 立体的な音響効果を設定する（☞P.13-10）

動画を再生する

1 ≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ムービー」

2 ファイルの選択操作

■ **最後に再生したファイルを再生するとき**
「続き再生」

■ **すべてのファイルの一覧からファイルを選択するとき**
「全ムービー一覧」→ファイルを選択

■ **プレイリストからファイルを選択するとき**
「プレイリスト」→プレイリストを選択→ファイルを選択

■ **フォルダの一覧からファイルを選択するとき**
「フォルダ」→ファイルを選択

■ **最近再生したファイルの一覧からファイルを選択するとき**
「最近見たムービー」→ファイルを選択

■ **よく再生するファイルの一覧からファイルを選択するとき**
「よく見るムービー」→ファイルを選択

- 「全ムービー一覧」やプレイリスト名などの横に表示される▶をタップすると、該当するファイルの一覧をすべて再生します。
- メモリカードを取り付けているときは、「全ムービー一覧」や「フォルダ」の一覧画面にメモリカードに保存されているファイルも表示されます。該当するファイルにはSDが表示されます。

ムービーのフォルダ構成について

ムービーのフォルダ構成は、次のとおりです。

フォルダ	概　要
続き再生	最後に再生したファイルを表示
全ムービー一覧	「ムービー」で再生できるすべてのファイルを最大9999件表示
プレイリスト	「ムービー」で再生できるファイルから任意で作成するフォルダを表示
フォルダ	データフォルダおよびメモリカード内の「ムービー」フォルダに保存されているファイルと、メモリカード内の「MYFOLDER」を表示
最近見たムービー	最近再生したファイルの履歴を最大100件表示（最後に再生したファイルを一番上に表示）
よく見るムービー	再生回数の多いファイルの履歴を最大100件表示（最も再生回数が多いファイルを一番上に表示）

注意

- 「全ムービー一覧」フォルダ内のファイルを削除したり設定を変更したりすると、その内容はデータフォルダ内の「ムービー」フォルダにも反映されます。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.8-13

- タイトルや制作者名でファイルを探したい
- ファイルをプレイリストに追加したい
- ファイルを送信したい
- ファイルを通常モードの着信音に設定したい
- ファイルの順序を変更したい
- 著作権保護ファイルのコンテンツ・キーを購入または取得したい
- ファイル名を編集したい
- 保護してファイル名の編集や削除などを制限したい
- ファイルを削除したい
- ファイルの詳細情報を確認したい
- プレイリスト内のファイルの順序を変更したい
- プレイリスト名を編集したい
- プレイリストを削除したい
- 動画の再生を停止したい
- 動画の再生中にBluetooth®対応のヘッドフォンに切り替えたい

設定

- 再生パターンを設定する（☞P.13-10）
- バックライトを設定する（☞P.13-10）
- 縦画面の表示サイズを設定する（☞P.13-10）
- 横画面の表示サイズを設定する（☞P.13-10）
- サムネイル表示を設定する（☞P.13-10）
- リンク情報を持つファイルの再生後にリンク先に接続するかどうか設定する（☞P.13-10）

プレイリストを利用する

プレイリストを作成する

プレイリストは最大20件作成でき、1件のプレイリストには最大100件のファイルを登録できます。

1. **≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」／「ムービー」→「プレイリスト」→≪プレイリスト作成≫**
2. **プレイリスト名を入力**
3. **作成したプレイリストを選択**
4. **≪追加≫**
5. **登録するファイルをチェック→≪プレイリストに追加≫**

プレイリストを再生する

1 ≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」／「ムービー」→「プレイリスト」

2 再生したいプレイリストの▶

- プレイリストに登録したファイルを削除した場合や、メモリカードのファイルを登録しメモリカードを取り外した場合は再生できません。メモリカードを再度取り付けてファイルの読み込みが完了すると、再生できるようになります。

ゲーム

930SCには、2種類のゲームが登録されています。

注意

- これらのゲームは、930SCを振って遊ぶゲームです。振りすぎなどが原因で、人や物などにあたって事故や破損などにつながる可能性があります。遊ぶ際は、930SCをしっかりと握り、必要以上に振りすぎず、周囲の安全を確認して遊びましょう。

サイコロゲーム

930SCを振ると、画面内の2つのサイコロが転がります。

1 ≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「サイコロゲーム」

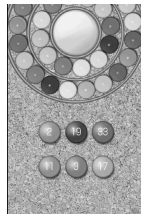
2 930SCを振る

ランダムボール

数字の範囲とボールの数を設定して、ビンゴの抽選を行います。

1 ≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「ランダムボール」

2 「表示設定」→「最小」／「最大」値を設定→「ボール数」→ボールの数を入力→≪OK≫

3 930SCを振る

便利

音楽再生に関する便利な機能

タイトルやアーティスト名でファイルを探したい [検索]

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→「全曲一覧」→≪検索≫→「タイトル」または「アーティスト」をチェック→検索欄をタップ→タイトルまたはアーティスト名を入力→≪検索≫

ファイルをプレイリストに追加したい [プレイリストに追加]

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→「全曲一覧」→≪プレイリストに追加≫→追加したいファイルをチェック→≪プレイリストに追加≫→プレイリストを選択

- 新規にプレイリストを作成して追加する場合は、追加画面で≪プレイリスト作成≫→プレイリスト名を入力→作成したプレイリストを選択します。

ファイルを送信したい [送信]

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→「全曲一覧」→≪送信≫

■ **メールで送信するとき**

「メール添付」→ファイルを選択→(➔P.4-3 S!メールを送信する❷)

■ **Bluetooth®で送信するとき**

「Bluetooth」→送信したいファイルをチェック→≪送信≫→(➔P.12-7 データを送信する❷)

■ **赤外線で送信するとき**

「赤外線通信」→送信したいファイルをチェック→≪送信≫(➔P.12-3)

- 他のフォルダでも同様に操作できます。

ファイルを通常モードの着信音に設定したい [登録]

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→「全曲一覧」→≪その他≫→「登録」→ファイルを選択→項目を選択

- 音楽再生画面で≪登録≫をタップしても同じ操作を行うことができます。
- 着信音に設定できないファイルの場合は操作できません。
- 他のフォルダでも同様に操作できます。

ファイルの順序を変更したい [ソート]

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→「全曲一覧」→≪その他≫→「ソート」→項目を選択

- 他のフォルダでも同様に操作できます。

著作権保護ファイルのコンテンツ・キーを購入または取得したい [コンテンツ・キー再取得]

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→「全曲一覧」→≪その他≫→「コンテンツ・キー再取得」→ファイルを選択

- 他のフォルダでも同様に操作できます。

ファイル名を編集したい [ファイル名変更]

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→「全曲一覧」→≪その他≫→「ファイル名変更」→ファイルを選択→ファイル名を入力

保護してファイル名の編集や削除などを制限したい [保護設定]

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→「全曲一覧」→≪その他≫→「保護設定」→保護したいファイルをタップして🔒にする→≪OK≫

- 保護を解除する場合はもう一度タップして🔓にします。

ファイルを削除したい [削除]

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→「全曲一覧」→≪その他≫→「削除」→削除したいファイルをチェック→≪削除≫→「はい」

- 他のフォルダでも同様に操作できます。

ファイルの詳細情報を確認したい［詳細］

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→「全曲一覧」→≪その他≫→「詳細」→ファイルを選択

- 音楽再生画面で≪詳細≫をタップしても同じ操作を行うことができます。
- 他のフォルダでも同様に操作できます。

プレイリスト内のファイルの順序を変更したい［順序変更］

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→「プレイリスト」→プレイリストを選択→≪その他≫→「順序変更」→移動したいファイルをホールドし、選択されたことを確認後ドラッグして移動先へドロップ→≪OK≫

プレイリスト名を編集したい［プレイリスト名変更］

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→「プレイリスト」→≪プレイリスト名変更≫→プレイリストを選択→プレイリスト名を入力

プレイリストを削除したい［削除］

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ミュージック」→「プレイリスト」→≪削除≫→削除したいプレイリストをチェック→≪削除≫→「はい」

音楽の再生を停止したい［停止］

音楽再生画面で≪停止≫

音楽の再生中にBluetooth®対応のステレオヘッドフォンに切り替えたい［ヘッドフォンに接続］／［本体で聴く］

音楽再生画面で≪ヘッドフォンに接続≫→接続先のデバイスをタップし、選択されたことを確認後ドラッグして「930SC」のアイコンへドロップ

- 接続先が登録されていないときは、周辺デバイスを検索し、登録します。
- 「ヘッドフォンに接続」に設定すると、930SCでの音量調節はできませんので、ヘッドフォン側で調節します。
- モノラルヘッドフォンでは再生できません。
- ファイル形式によってはご利用になれない場合があります。
- 音楽の再生中に音声出力を930SCに切り替えるには、≪本体で聴く≫をタップします。

再生パターンを設定したい

音楽再生画面で≪設定≫→「再生パターン設定」→項目を選択

サウンドエフェクトを設定したい

音楽再生画面で≪設定≫→「サウンドエフェクト設定」→項目を選択

- Bluetooth®対応ステレオヘッドフォンを利用して聴いているときは設定できません。

立体的な音響効果を設定したい

音楽再生画面で≪設定≫→「3Dサウンド」の「On」／「Off」

- Bluetooth®対応ステレオヘッドフォンを利用して聴いているときは設定できません。

便利

動画再生に関する便利な機能

タイトルや制作者名でファイルを探したい [検索]

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→「全ムービー一覧」→≪検索≫→「タイトル」または「制作者」をチェック→検索欄をタップ→タイトルまたは制作者名を入力→≪検索≫

ファイルをプレイリストに追加したい [プレイリストに追加]

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→「全ムービー一覧」→≪プレイリストに追加≫→追加したいファイルをチェック→≪プレイリストに追加≫→プレイリストを選択

- 新規にプレイリストを作成して追加する場合は、追加画面で≪プレイリスト作成≫→プレイリスト名を入力→作成したプレイリストを選択します。

ファイルを送信したい [送信]

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→「全ムービー一覧」→≪送信≫

■ **メールで送信するとき**

「メール添付」→ファイルを選択→（➔P.4-3 S!メールを送信する❷）

■ **Bluetooth®で送信するとき**

「Bluetooth」→送信したいファイルをチェック→≪送信≫→（➔P.12-7 データを送信する❷）

■ **赤外線で送信するとき**

「赤外線通信」→送信したいファイルをチェック→≪送信≫（➔P.12-3）

- 他のフォルダでも同様に操作できます。

ファイルを通常モードの着信音に設定したい [登録]

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→「全ムービー一覧」→≪その他≫→「登録」→ファイルを選択→項目を選択

- 動画再生画面で≪登録≫をタップしても同じ操作を行うことができます。
- 着信音に設定できないファイルの場合は操作できません。
- 他のフォルダでも同様に操作できます。

ファイルの順序を変更したい [ソート]

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→「全ムービー一覧」→≪その他≫→「ソート」→項目を選択

- 他のフォルダでも同様に操作できます。

著作権保護ファイルのコンテンツ・キーを購入または取得したい [コンテンツ・キー再取得]

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→「全ムービー一覧」→≪その他≫→「コンテンツ・キー再取得」→ファイルを選択

- 他のフォルダでも同様に操作できます。

ファイル名を編集したい [ファイル名変更]

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→「全ムービー一覧」→≪その他≫→「ファイル名変更」→ファイルを選択→ファイル名を入力

保護してファイル名の編集や削除などを制限したい [保護設定]

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→「全ムービー一覧」→≪その他≫→「保護設定」→保護したいファイルをタップして🔒にする→≪OK≫

- 保護を解除する場合はもう一度タップして🔓にします。

ファイルを削除したい [削除]

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→「全ムービー一覧」→≪その他≫→「削除」→削除したいファイルをチェック→≪削除≫→「はい」

- 他のフォルダでも同様に操作できます。

ファイルの詳細情報を確認したい 【詳細】

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→「全ムービー一覧」→≪その他≫→「詳細」→ファイルを選択

- ファイルを再生中に≪詳細≫をタップしても同じ操作を行うことができます。
- 他のフォルダでも同様に操作できます。

プレイリスト内のファイルの順序を変更したい 【順序変更】

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→「プレイリスト」→プレイリストを選択→≪その他≫→「順序変更」→移動したいファイルをホールドし、選択されたことを確認後ドラッグして移動先へドロップ→≪OK≫

プレイリスト名を編集したい 【プレイリスト名変更】

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→「プレイリスト」→≪プレイリスト名変更≫→プレイリストを選択→プレイリスト名を入力

プレイリストを削除したい 【削除】

≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「ムービー」→「プレイリスト」→≪削除≫→削除したいプレイリストをチェック→≪削除≫→「はい」

動画の再生を停止したい 【停止】

動画再生画面で≪停止≫

動画の再生中にBluetooth®対応のヘッドフォンに切り替えたい 【ヘッドフォンに接続】／【本体で聴く】

動画再生画面で≪ヘッドフォンに接続≫→接続先のデバイスをタップし、選択されたことを確認後ドラッグして「930SC」のアイコンへドロップ

- 接続先が登録されていないときは、周辺デバイスを検索し、登録します。
- 「ヘッドフォンに接続」に設定すると、930SCでの音量調節はできませんので、ヘッドフォン側で調節します。
- モノラルヘッドフォンでは再生できません。
- ファイル形式によってはご利用になれない場合があります。
- 動画の再生中に音声出力を930SCに切り替えるには、≪本体で聴く≫をタップします。

再生パターンを設定したい

動画再生画面で≪設定≫→「再生パターン設定」→項目を選択

バックライトを設定したい

動画再生画面で≪設定≫→「バックライト」→項目を選択

縦画面の表示サイズを設定したい

動画再生画面で≪設定≫→「縦画面表示サイズ」→項目を選択

横画面の表示サイズを設定したい

動画再生画面で≪設定≫→「横画面表示サイズ」→項目を選択

サムネイル表示を設定したい

動画再生画面で≪設定≫→「サムネイル表示」の「On」／「Off」

リンク情報を持つファイルの再生後にリンク先に接続するかどうか設定したい

動画再生画面で≪設定≫→「リンク接続事前確認設定」の「On」／「Off」

ツール

9

カレンダーにスケジュールを登録する

カレンダーを表示する

1 ≪メニュー≫→「カレンダー」

カレンダーの見かた

3通りの表示モードがあります。

- ≪表示切替≫をタップすると表示モードが切り替わります。
- スケジュールが登録されている日付を選択すると、スケジュールが表示されます。

1ヶ月表示画面

1週間表示画面

青枠の日付：反転表示位置
グレー背景の日付：今日
青色の日付：土曜日
赤色の日付：日曜日、祝日
◢(赤色)：スケジュール登録あり

1日表示画面

- 各画面で前後の月／週／日に切り替えるには、◀／▶をタップまたは年月日欄をスクロールします。
- スケジュールやアラームを登録している日などを表示すると、スケジュールの件名やアイコンなどが表示されます。
  - :スケジュール（カテゴリなし）
  - :スケジュール（約束）
  - :スケジュール（会議）
  - :スケジュール（仕事）
  - :スケジュール（個人予定）
  - :スケジュール（祝日）
  - :スケジュール（記念日）
  - :スケジュール（誕生日）
  - :スケジュール（電話）
  - :スケジュール（デート）
  - :スケジュール（旅行）
  - :スケジュール（買い物）
  - :スケジュール（その他）
  - :祝日
  - :アラームの設定あり
  - :繰り返しの設定あり

スケジュールを登録する

予定リストと合わせて最大200件登録できます。
ここでは例として、件名、開始日、開始時間を登録します。

- 他の項目については、「スケジュールの内容を登録したい」（➲P.9-13）を参照してください。

1 ≪メニュー≫→「カレンダー」

2 ≪新規作成≫

3 件名を入力

4 「開始日」→開始日を入力→「開始時間」→開始時間を入力→≪OK≫

5 ≪保存≫

- 操作**2**の前に、カレンダー画面で目的の日付を選択しておけば、開始日欄や終了日欄にその日付が表示されます。

スケジュールを確認する

1. ≪メニュー≫→「カレンダー」
2. 確認したい日をタップ
3. 確認したいスケジュールをタップ

●カレンダーの登録状況を確認するには、カレンダー画面またはスケジュールの一覧画面で、≪その他≫→「メモリ容量確認」を選択すると、スケジュールと予定リストの登録件数を確認できます。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.9-13
- スケジュールの内容を登録したい
- スケジュールを編集したい
- 日付を指定して表示を切り替えたい
- 表示モードを切り替えたい
- カテゴリごとにスケジュールを確認したい
- スケジュールを送信したい
- スケジュールを削除したい
- 追加した祝日を削除したい
- シークレット設定したスケジュールを確認したい
- アラーム通知時に停止操作をしなかったスケジュールを確認したい
- カレンダーの登録状況を確認したい
- スケジュールをvファイルに変換して保存したい
- スケジュールをBluetooth®対応のプリンタで印刷したい

アラームを利用する

アラームを5件登録できます。時刻などを登録しておけば、「On」または「Off」に切り替えるだけでセットや解除ができます。1回限りの起動だけでなく、特定の曜日や毎日の起動を登録することもできます。

アラームを設定する

ここでは例として、アラーム時刻のみ設定します。

●他の項目については、「アラームの内容を登録したい」（➔P.9-16）を参照してください。

1. ≪メニュー≫→「ツール」→「アラーム」
2. 設定するアラームの時刻欄をタップ→アラーム時刻を入力
3. ≪保存≫

   ●アラームの設定／編集をして≪保存≫をタップすると、そのアラームは自動的に「On」に設定されます。

- アラームの設定時刻になると、アラーム音と表示でお知らせします。バイブレータを「Off」以外に設定しているときはバイブレータでもお知らせします。「OK」をタップするとアラーム音とバイブレータが止まります。
- アラーム設定時刻に通話中または接続中（「呼び出し中･･･」と表示）、発信中（「ダイヤル中…」と表示）だったときは、短い通知音と表示でお知らせします。ただし、「効果音」の「通話中イベント通知」がチェックされていない場合は、通話中や接続中も表示のみでお知らせします。表示は、通知内容を確認するか、「閉じる」をタップすると消えます。
- スヌーズを「Off」以外に設定しているときは、スヌーズを解除するまでアラーム通知を設定した時間毎に設定した回数繰り返します。アラーム通知時に「スヌーズ」をタップすると、設定した時間後に再度アラーム通知されます。「終了」→「OK」をタップすると、アラームを終了して表示を消します。
- アラームを設定すると、ディスプレイに🔔が表示されます。
- 複数のアラームに同じ起動時刻が登録されている場合は、最初に設定した内容が優先されます。ただし、スケジュールや予定リストのアラームと「ツール」のアラームが同じ起動時刻に設定されているとき、設定した順番にかかわらず「ツール」のアラームが優先されます。
- マナーモード設定時は、アラーム音とバイブレータは「マナーモード時設定」（➔P.9-17）の設定に従います。
- 動画撮影中または音声録音中だったときは、撮影または録音の終了と同時に、アラーム音と表示でお知らせします。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.9-16
- アラームをリセットしたい

電卓を利用する

15桁までの四則演算ができます。

1 ≪メニュー≫→「ツール」→「電卓」

2 数字と記号を入力して計算

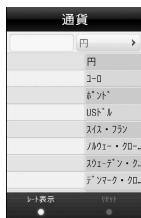
- カーソルを移動するには、カーソルを移動させたい位置をタップします。
- 数式を1文字消すには、消す文字の後ろにカーソルを移動して ← をタップします。
- 数式と計算結果をまとめて消すには、C をタップします。
- fx をタップすると、円周率や三角関数、ルートなどを使った複雑な数式も入力できます。数字入力の表示に戻すときは 123 をタップします。

通貨や単位の換算をする

金額を各国の通貨に換算できます。長さや重さなどを他の単位に換算することもできます。

通貨換算する

1 ≪メニュー≫→「ツール」→「通貨・単位換算」→「通貨」

2 換算元の通貨欄をタップ→通貨を選択

3 金額欄をタップ→金額を入力

4 表示された金額を確認

- 換算をリセットするときは、≪リセット≫をタップします。

他の単位に換算する

1 ≪メニュー≫→「ツール」→「通貨・単位換算」→「長さ」／「重さ」／「体積」／「面積」／「温度」

2 換算元の単位欄をタップ→単位を選択

3 換算元の単位の数値欄をタップ→数値を入力

4 表示された数値を確認

- 換算をリセットするときは、≪リセット≫をタップします。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.9-17

- 為替レートを確認したい
- 通貨単位を追加したい
- 追加した通貨単位を削除したい

世界時計を利用する

世界各国の都市の現在時刻を確認できます。

世界時計を見る

1. **≪メニュー≫→「ツール」→「世界時計」**

地域を登録する

よく確認する地域を登録しておくと、世界時計を呼び出すだけで簡単に表示できます。地域は最大20件登録できます。

1. **≪メニュー≫→「ツール」→「世界時計」**
2. **≪新規作成≫→地図をスクロールし、登録したい都市をタップ**
   - サマータイムを設定するときは、■／■をタップします。
3. **≪新規作成≫**

使いこなしチェック！

便利 ☞P.9-17

- 世界時計の登録を削除したい

メモを登録／確認する

最大20件のメモを登録できます。メモは通話中にも登録できます（➲P.3-21、P.3-24）。

メモを登録する

1. **≪メニュー≫→「ツール」→「メモ帳」**
2. **≪新規作成≫→内容を入力**
3. **カテゴリを選択**

メモを確認する

1. **≪メニュー≫→「ツール」→「メモ帳」→確認したいメモを選択**

使いこなしチェック！

便利 ☞P.9-18

- メモをメールで送信したい
- メモを削除したい
- メモの登録状況を確認したい

予定リストを利用する

予定リストをスケジュールと合わせて最大200件登録して、リストで管理できます。

予定リストを登録する

ここでは例として、件名、期限日、開始時間を登録します。

- 他の項目については、「予定リストの内容を登録したい」（➲P.9-18）を参照してください。

1. **≪メニュー≫→「ツール」→「予定リスト」**
2. **≪新規作成≫**
3. **件名を入力**
4. **「期限日」→年月日を入力→「期限時刻」→時刻を入力→≪OK≫**
5. **≪保存≫**

予定リストを確認する

1 ≪メニュー≫→「ツール」→「予定リスト」

- 予定リスト一覧画面でタブをタップすると、「全予定リスト」、「処理済」、「未処理」、「期限切れ」を切り替えることができます。

予定リストに処理済みのマークを付ける

1 ≪メニュー≫→「ツール」→「予定リスト」

2 処理済みにしたい予定リストの◌

- ◌をタップするたびに、「処理済」、「未処理」(期限が過ぎている場合は「期限切れ」)を切り替えることができます。

使いこなしチェック!

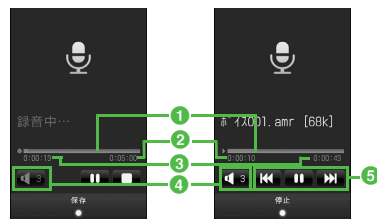
便利 ☞P.9-18

- 予定リストの内容を登録したい
- 予定リストをvファイルに変換して送信したい
- 予定リストを削除したい
- シークレット設定した予定リストを確認したい
- アラーム通知時に停止操作をしなかった予定リストを確認したい
- 予定リストをBluetooth®対応のプリンタで印刷したい
- 予定リストの登録状況を確認したい
- 予定リストを編集したい
- 予定リストをvファイルに変換して保存したい

音声を録音する

音声を最長60分間録音できます。ボイスレコーダーは、ツールメニューのほか、通話中やデータフォルダ、メール作成画面のメニューからも起動できます。

ボイスレコーダーの表示画面の見かた

ソフトキーの表示や、マルチファンクションボタンのガイド表示に従って操作します。

録音中の画面　再生中の画面

1. ステータスバー
2. 録音可能時間(録音中)/再生時間(再生中)
3. 経過時間
4. 音量調節
5. 再生操作部

音声を録音する

録音した音声は、データフォルダの「着うた・メロディ」フォルダに保存されます。

1 ≪メニュー≫→「ツール」→「ボイスレコーダー」

2 をタップ

3 をタップ

- 録音が終了します。録音時間が経過した場合は、自動的に録音が終了します。
- をタップすると、一時停止できます。

- 録音後、すぐに録音内容を確認したい場合は をタップすると確認できます。をタップすると、一時停止できます。
- 録音後、すぐに次の録音をしたい場合は≪録音≫をタップします。

音声を再生する

データフォルダに保存されている音声ファイルを再生します。

1 ≪メニュー≫→「ツール」→「ボイスレコーダー」

2 ≪データフォルダ≫

3 ファイルを選択

- をタップすると、音量調節のスライダーが表示され、再生音量の調節ができます。
- ／ をタップまたはステータスバーをスクロールして、巻き戻し／早送りができます。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.9-20

- 録音した音声ファイルを着信音などに設定したい
- 録音した音声ファイルの保存場所を移動したい
- 録音した音声ファイルをコピーしたい
- 録音した音声ファイルを送信したい
- 録音した音声ファイルを削除したい
- 録音した音声ファイル名を編集したい
- 録音した音声ファイルを保護して変更や削除などを制限したい
- 録音した音声ファイルの詳細情報を確認したい

時間を計測する

930SCをストップウォッチとして使えます。最大10回のラップタイムと合計タイムも計れます。

1 ≪メニュー≫→「ツール」→「ストップウォッチ」

2 「スタート」

3 「停止」

- ラップタイムを計るときは、計測中に「ラップタイム」をタップします。
- 停止後、計測を再開するときは「リスタート」をタップします。
- 「リセット」をタップするとすべての計測タイムを削除します。

バーコードリーダーを利用する

印刷されたバーコードをカメラで撮影して読み取ったり、インターネットなどで入手したバーコードの画像ファイルを直接読み取れます。

バーコード／QRコードを読み取る

バーコード（JANコード）またはQRコードを自動的に判別し、読み取ることができます。読み取った結果を利用して電話をかけるなど、さまざまな操作ができます。

QRコード

1 ≪メニュー≫→「ツール」→「バーコードリーダー」→「バーコード 読み取り」

2 読み取るバーコードを画面中央に表示→

- 「認識」をタップしても読み取りできます。
- 自動的にフォーカスが調整され、読み取りを行います。読み取り時のフォーカスの調整は、読み取りが終了するか読み取りを中断するまで自動的に行われます。

- ≪メニュー≫→「カメラ」→「バーコードリーダー」をタップしても起動できます。
- バーコードによっては、読み取れないことがあります。
- バーコードが汚れていたり、かすれていたり、薄いときなどは読み取れないことがあります。
- 室内などでバーコードを読み取る場合に、体の一部や本体の影がバーコードにかかっていると読み取れないことがあります。
- 画面内に複数のバーコードを表示すると、読み取れないことがあります。
- JAN コードとは幅の異なるバーとスペースを組み合わせた一次元コードの種類です。JANコード以外の一次元コード（ITFコード、Code39、Codabar/NW-7など）は読み取ることができません。
- QR コードとは縦横に情報を持った二次元コードの種類です。
- 被写体とは約 10cm 離してください。読み取りにくいときは、930SCをゆっくりと動かして被写体との距離を調整し、もう一度読み取りを行います。
- 明るさを調整するには≪明るさ調整≫をタップします。
- 読み取り結果を保存するには、≪保存≫をタップします。バーコードリーダー起動中に保存した読み取り結果を確認するときは、≪読み取りデータ≫をタップします。
- 複数のバーコードを続けて読み取るには、バーコードリーダーを起動後に≪連続≫をタップしてバーコードを読み取ります。読み取り終了後「はい」を選択し、読み取り操作を繰り返します。
- 分割されているバーコードはすべて読み込まないと内容を表示したり、保存したりできません。
- 読み取り結果に電話番号やメールアドレス、電話帳用の項目などが含まれるときは、それらの情報を利用できます（➔P.9-21）。情報を利用できるものにはテキストに水色の背景が付きます（ただし、文字列の中に規定以外の文字があったときは、その文字以降はテキストに水色の背景は付きません）。

- QR コードの情報で読み取れるのは、テキストデータのみです。画像や音楽ファイルのQRコードは、ファイルとして読み取ることができません。

バーコードファイルを読み取る

データフォルダに保存されたバーコードファイルを直接読み取ります。

1 ≪メニュー≫→「ツール」→「バーコードリーダー」→「データフォルダ」

- メモリカードを取り付けているときは、「ピクチャー」フォルダと「デジタルカメラ」フォルダからファイルを選択できます。

2 ファイルを選択

- 分割されているバーコードは、分割されたうちの1つを読み取ると、残りのバーコードを自動的に認識して読み取ります。分割されたバーコードのファイル名や保存場所が変更されているときは、自動で認識できなかったファイルを選択すると読み取ることができます。
- サイズを変更したバーコードは、読み取れないことがあります。
- バーコードの種類によっては、読み取れない旨のメッセージが表示され、確認できないことがあります。

QRコードを作成する

電話帳や入力したテキストを利用して、QRコードを作成できます。

- 1つのQRコードに登録できる文字数の目安は、英数字を入力したときは211文字、漢字だけを入力したときは105文字です。
- 情報量が多いときは、自動的に分割QRコードが表示されます（16分割まで）。
- 作成したQRコードは、データフォルダの「ピクチャー」フォルダに保存されます。保存後は、データフォルダの操作で確認できます（➔P.9-10）。

電話帳のQRコードを作成する

登録済みの電話帳を利用してQRコードを作成します。

1 ≪メニュー≫→「ツール」→「バーコードリーダー」→「QRコード作成」

2 「電話帳」→電話帳を検索し、選択（➔P.2-18）

3 電話番号を選択

4 ≪保存≫

- QR コードには姓、ヨミガナ、電話番号、Eメールアドレス、住所、メモが含まれます。その他の項目は含まれません。
- QRコード作成後、≪送信≫をタップすると、作成したQRコードを添付したS!メールを作成できます。

テキストのQRコードを作成する

テキストを入力してQRコードを作成します。

1. ≪メニュー≫→「ツール」→「バーコードリーダー」→「QRコード作成」
2. 「テキスト入力」→テキストを入力
3. ≪保存≫

- QRコード作成後、≪送信≫をタップすると、作成したQRコードを添付したS!メールを作成できます。

読み取ったバーコードを確認する

保存した読み取り結果を確認します。

1. ≪メニュー≫→「ツール」→「バーコードリーダー」→「読み取りデータ確認」
2. 読み取り結果を選択

- 表示サイズが大きすぎると表示されません。また、ファイルによっては表示できないことがあります。

使いこなしチェック！

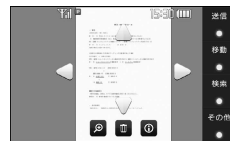
便利☞P.9-21
● 作成したQRコードの保存先を指定したい

パソコンのファイルを閲覧する

ドキュメントビューアでドキュメントファイルを確認する

ドキュメントファイルは、縦表示または横表示で確認できます。930SCを縦／横にすると、画面も自動的に縦表示／横表示に切り替わります。

- 本書では、縦表示で説明を記載しています。

縦表示

横表示

1 ≪メニュー≫→「ツール」→「ドキュメントビューア」

2 ファイルを選択

3 ファイルをスクロールして確認

- △、▽、◁、▷をタップしてもスクロールできます。

- データフォルダ内のドキュメントファイル（PDF、XLS、DOC、PPT、TXT）を確認できます。データフォルダの一覧画面でこれらのファイルを選択すると、自動的にドキュメントビューアが起動します。
- 約10Mバイトまでのファイルを閲覧することができます。ファイルの内容によってはサイズが10Mバイト内であっても表示できないことがあります。

注意

- ページ数の多いドキュメントや複雑なデザインを含むドキュメントなどでは、ファイルをすべて表示できない場合があります。
- 日本語や英語以外の言語がファイルに含まれている場合は、正しく表示できないことがあります。

ファイルを拡大／縮小する

1 ≪メニュー≫→「ツール」→「ドキュメントビューア」→ファイルを選択

2 [拡大縮小]→[拡大]／[縮小]をタップして倍率を調節

送信 移動 検索 その他

- [上]／[下]を押しても倍率を調節できます。

- [高さ]をタップすると、画面の高さに合わせてファイルを表示します。[幅]をタップすると、画面の幅に合わせてファイルを表示します。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.9-22
- ファイルを送信したい
- ページを移動したい
- ページ内の文字列を検索したい
- 画面をキャプチャしたい
- ファイル名を編集したい
- ファイルを保護して変更や削除などを制限したい

9 ツール

辞典を利用する

日本語の単語の英語訳や、英単語の日本語訳を調べることができます。

1. ≪メニュー≫→「ツール」→「辞典」
2. プルダウンメニューから「英和辞典」／「和英辞典」
3. 単語欄をタップ→調べる単語を入力
4. 🔍→目的の単語を選択

便利

カレンダーに関する便利な機能

スケジュールの内容を登録したい [新規作成]

≪メニュー≫→「カレンダー」→≪新規作成≫→件名を入力→「開始日」→開始日を入力→「開始時間」→開始時間を入力→≪OK≫

■ **終了日と終了時間を設定するとき**

「終了日時」→「終了日」→終了日を入力→「終了時間」→終了時間を入力→≪OK≫→≪保存≫

■ **スケジュールを終日に設定するとき**

「開始日時」／「終了日時」→「終日」をチェック→≪OK≫→≪保存≫

■ **カテゴリを設定するとき**

「カテゴリ」→項目を選択→≪保存≫

■ **アラームを設定するとき**

「アラーム」→「設定時刻」→項目を選択→「鳴動時間」→項目を選択→「アラーム音／ムービー」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→音量を調節→「バイブ」→項目を選択→≪OK≫→≪保存≫

- 設定時刻／鳴動時間で「その他」を選択したときは、設定時刻／鳴動時間を入力します。
- アラーム音／ムービーのファイル選択時に ▶ をタップするとファイルを再生します。
- バイブパターン選択時に ▶ をタップすると振動パターンを確認できます。
- メモリカードに保存されているファイルをアラーム音に設定すると、ファイルを930SC本体にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。

■ **設定したスケジュールを繰り返すとき**

「繰り返し」→項目を選択→繰り返す回数を入力→≪保存≫

- 「1回のみ」を選択した場合は、繰り返す回数を入力する操作はありません。

■ **場所を設定するとき**

「場所」→場所を入力→≪保存≫

■ **スケジュールを自動で削除するとき**

「有効期限」→項目を選択→≪保存≫

- 有効期限を過ぎると、カレンダーから自動的に削除されます。たとえば表示期限が「1年後」の場合、繰り返しを設定していないときは、終了日から1年経過すると削除されます。繰り返しを設定しているときは、繰り返しの最終日から1年で削除されます。自動的に削除されないようにするには、「設定しない」を選択します。

■ **詳細を設定するとき**

「詳細」→内容を入力→≪保存≫

■ **シークレット設定をするとき**

「シークレット設定」の「On」／「Off」→≪保存≫

スケジュールを編集したい　［編集］

≪メニュー≫→「カレンダー」→日付をタップ→編集したいスケジュールをタップ→≪編集≫→スケジュールの登録操作（➲P.9-13）→≪保存≫

日付を指定して表示を切り替えたい　［表示日指定］

≪メニュー≫→「カレンダー」→≪表示日指定≫

■ **今日の日付を表示するとき**
「今日」

■ **確認したい日付に表示を切り替えたいとき**
「日付指定」→年月日を入力

表示モードを切り替えたい　［表示切替］

≪メニュー≫→「カレンダー」→≪表示切替≫

カテゴリごとにスケジュールを確認したい　［カテゴリ別表示］

≪メニュー≫→「カレンダー」→≪その他≫→「カテゴリ別表示」→項目を選択

スケジュールを送信したい　［送信］

≪メニュー≫→「カレンダー」→≪その他≫→「送信」

■ **メールで送信するとき**
「メール添付」→送信したいスケジュールを選択→（➲P.4-3 S!メールを送信する❷）

■ **Bluetooth®で送信するとき**
「Bluetooth」→送信したいスケジュールをチェック→≪送信≫→（➲P.12-7 データを送信する❷）

■ **赤外線で送信するとき**
「赤外線通信」→送信したいスケジュールをチェック→≪送信≫（➲P.12-3）

- 送信したいスケジュールの詳細画面で≪送信≫→項目を選択しても送信できます。

スケジュールを削除したい　［削除］

≪メニュー≫→「カレンダー」

■ **1件削除するとき**
削除したいスケジュールを選択→≪削除≫→「はい」

■ **選択した日のスケジュールを削除するとき**
1ヵ月表示画面／1週間表示画面で削除したい日付をタップ→≪その他≫→「削除」→「1日」→「はい」

- 1日表示画面で表示している日のスケジュールを削除するには、≪その他≫→「削除」→削除したいスケジュールをチェック→≪削除≫→「はい」をタップします。

■ **特定の期間のスケジュールを削除するとき**
1ヵ月表示画面／1週間表示画面で≪その他≫→「削除」→「期間指定」→「開始日」→開始年月日を入力→「終了日」→終了年月日を入力→≪OK≫→「はい」

■ **表示中の月／週のスケジュールを削除するとき**
1ヵ月表示画面／1週間表示画面で≪その他≫→「削除」→「今月」／「今週」→「はい」

■ **反転表示中の日付より前の全スケジュールを削除するとき**
1ヵ月表示画面／1週間表示画面で≪その他≫→「削除」→「選択日より前」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→「はい」

■ **すべてのスケジュールを削除するとき**

1ヵ月表示画面／1週間表示画面で≪その他≫→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→「はい」

■ **カテゴリごとに複数のスケジュールをまとめて削除するとき**

1ヵ月表示画面／1週間表示画面で≪その他≫→「カテゴリ別表示」→カテゴリを選択→≪削除≫→削除したいスケジュールをチェック→≪削除≫→「はい」

- 「全チェック」をタップしたときは、操作用暗証番号を入力→≪OK≫→「はい」をタップします。

祝日を追加したい

≪メニュー≫→「カレンダー」→≪その他≫→「設定」→「祝日設定」→≪新規≫→タイトルを入力→日付を入力→頻度を選択→≪保存≫

祝日の表示を変更したい

≪メニュー≫→「カレンダー」→≪その他≫→「設定」→「祝日設定」→有効にしたい祝日設定をチェック

追加した祝日を編集したい

≪メニュー≫→「カレンダー」→≪その他≫→「設定」→「祝日設定」→≪編集≫→編集したい祝日設定を選択→項目を編集→≪保存≫

追加した祝日を削除したい　[削除]

≪メニュー≫→「カレンダー」→≪その他≫→「設定」→「祝日設定」→≪削除≫→削除したい項目をチェック→≪削除≫→「はい」

週の始まりを設定したい

≪メニュー≫→「カレンダー」→≪その他≫→「設定」→「週の始まり」→「日曜日」／「月曜日」

カレンダー起動時の表示画面を設定したい

≪メニュー≫→「カレンダー」→≪その他≫→「設定」→「基本表示モード」→項目を選択

リマインダーを設定したい

≪メニュー≫→「カレンダー」→≪その他≫→「設定」→「リマインダー」→「On/Off設定」の「On」

■ **通知する時間を設定するとき**

時間欄をタップ→時間を入力→≪保存≫

■ **アラーム音の鳴動時間を設定するとき**

「鳴動時間」→項目を選択→≪保存≫

- 「その他」を選択したときは、時間を入力します。

■ **アラーム音やムービーを設定するとき**

「アラーム音／ムービー」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→≪保存≫

- ファイル選択時に▶をタップするとファイルを再生します。
- メモリカードに保存されているファイルをアラーム音に設定すると、ファイルを930SC本体にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。

■ **アラーム音量を調節するとき**

音量を調節→≪保存≫

■ **バイブレータを設定するとき**

「バイブ」→項目を選択→≪保存≫

- ▶をタップすると振動パターンを確認できます。

シークレット設定したスケジュールを確認したい　[シークレット一時解除]

≪メニュー≫→「カレンダー」→≪その他≫→「シークレット一時解除」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫

アラーム通知時に停止操作をしなかったスケジュールを確認したい　[未確認イベント一覧]

≪メニュー≫→「カレンダー」→≪その他≫→「未確認イベント一覧」→確認したいスケジュールを選択

カレンダーの登録状況を確認したい　[メモリ容量確認]

1ヵ月表示画面／1週間表示画面で≪メニュー≫→「カレンダー」→≪その他≫→「メモリ容量確認」

スケジュールをvファイルに変換して保存したい　[データフォルダに保存]

1日表示画面で≪その他≫→「データフォルダに保存」→項目を選択→保存するスケジュールを選択→「はい」

- メモリカードを取り付けているときは、「メモリカード」を選択できます。

スケジュールをBluetooth®対応のプリンタで印刷したい [Bluetoothで印刷]

1日表示画面で≪その他≫→「Bluetoothで印刷」→印刷するスケジュールを選択→(➔P.7-12 Bluetooth®経由でプリントする❹)

便利

アラームに関する便利な機能

アラームの内容を登録したい

≪メニュー≫→「ツール」→「アラーム」→アラーム時刻欄をタップ→設定時刻を入力→≪OK≫

■ **アラーム名を編集するとき**

アラーム名欄をタップ→アラーム名を入力→≪保存≫

■ **繰り返しを設定するとき**

「繰り返し」でアラームを通知する曜日をタップ→≪保存≫

- すべての曜日を通知しない設定にしているときは、1回のみ通知されます。
- すべての曜日を通知する設定にしているときは、毎日通知されます。

■ **アラーム音やムービーを設定するとき**

「アラーム音／ムービー」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→≪保存≫

- メモリカードに保存されているファイルをアラーム音に設定すると、ファイルを930SC本体にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。
- ▶をタップするとファイルを再生します。

■ **アラーム音量を調節するとき**

音量を調節→≪保存≫

■ **バイブレータを設定するとき**

「バイブ」→項目を選択→≪保存≫

- ▶をタップすると振動パターンを確認できます。

■ **スヌーズを設定するとき**

「スヌーズ」→項目を選択→≪保存≫

- スヌーズを「Off」以外に設定しているときは、スヌーズを解除するまでアラーム通知を設定した時間毎に設定した回数繰り返します。アラーム通知時に「スヌーズ」をタップすると、設定した時間後に再度アラーム通知されます。「終了」→「OK」をタップすると、アラームを終了して表示を消します。
- 「その他」を選択したときは、時間を入力します。

■ **スヌーズの繰り返し回数を設定するとき**

「スヌーズ繰り返し回数」→項目を選択→≪保存≫

■ **アラーム音の鳴動時間を設定するとき**

「鳴動時間」→項目を選択→≪保存≫

- 「その他」を選択したときは、時間を入力します。

アラームを設定／解除したい

≪メニュー≫→「ツール」→「アラーム」→切り替えたいアラームの「On」／「Off」

アラームをリセットしたい [リセット]

≪メニュー≫→「ツール」→「アラーム」→≪リセット≫→リセットするアラームをチェック→≪リセット≫→「はい」

マナーモード時の音量／バイブレータを設定したい

≪メニュー≫→「ツール」→「アラーム」→≪設定≫

■ **アラーム音量を設定するとき**
音量を調節→≪OK≫

■ **バイブレータを設定するとき**
「バイブ」の「On」／「Off」→≪OK≫

便利

通貨・単位換算に関する便利な機能

為替レートを確認したい [レート表示]

≪メニュー≫→「ツール」→「通貨・単位換算」→「通貨」→通貨欄をタップ→基準にする通貨を選択→≪レート表示≫

為替レートを変更したい

≪メニュー≫→「ツール」→「通貨・単位換算」→「通貨」→≪レート表示≫→レートを変更したい通貨を選択→レートを入力

通貨単位を追加したい [レート追加]

≪メニュー≫→「ツール」→「通貨・単位換算」→「通貨」→≪レート表示≫→≪レート追加≫→通貨単位名を入力→レートを入力

追加した通貨単位を削除したい [削除]

≪メニュー≫→「ツール」→「通貨・単位換算」→「通貨」→≪レート表示≫→≪削除≫→削除したい為替レートをチェック→≪削除≫→「はい」

- 「全チェック」をタップしたときは、≪削除≫→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→「はい」をタップします。

便利

世界時計に関する便利な機能

世界時計の登録を削除したい [削除]

≪メニュー≫→「ツール」→「世界時計」→≪削除≫→削除したい項目をチェック→≪削除≫→「はい」

便利

メモに関する便利な機能

メモをメールで送信したい [送信]

≪メニュー≫→「ツール」→「メモ帳」→≪送信≫→送信したいメモを選択→（➔P.4-3 S!メールを送信する❷）

- 詳細画面で≪送信≫をタップしても送信できます。

メモを削除したい [削除]

≪メニュー≫→「ツール」→「メモ帳」→≪削除≫→削除したいメモをチェック→≪削除≫→「はい」

- 全件削除する場合は、操作用暗証番号を入力します。
- 詳細画面で≪削除≫をタップしても1件削除できます。

メモの登録状況を確認したい [メモリ容量確認]

≪メニュー≫→「ツール」→「メモ帳」→≪メモリ容量確認≫

メモの内容を編集したい

≪メニュー≫→「ツール」→「メモ帳」→編集したいメモを選択→メモの本文欄をタップ→メモを編集

メモのカテゴリを変更したい

≪メニュー≫→「ツール」→「メモ帳」→編集したいメモを選択→メモのカテゴリ欄をタップ→カテゴリを選択

便利

予定リストに関する便利な機能

予定リストの内容を登録したい [新規作成]

≪メニュー≫→「ツール」→「予定リスト」→≪新規作成≫→件名を入力→「期限日」→年月日を入力→「期限時刻」→時刻を入力→≪OK≫

■ 重要度を設定するとき

「重要度」→項目を選択→≪保存≫

■ アラームを設定するとき

「アラーム」→「設定時刻」→項目を選択→「鳴動時間」→項目を選択→「鳴動時間」→項目を選択→「アラーム音／ムービー」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→音量を調節→「バイブ」→項目を選択→≪OK≫→≪保存≫

- アラーム設定時刻で「その他」を選択したときは、アラーム日時を入力します。
- 鳴動時間設定で「その他」を選択したときは、鳴動時間を入力します。
- アラーム音のファイル選択時に▶をタップするとファイルを再生します。
- バイブパターン選択時に▶をタップすると振動パターンを確認できます。

- メモリカードに保存されているファイルをアラーム音に設定すると、ファイルを930SC本体にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。
- アラームの設定時刻になると、アラーム音と表示でお知らせします。「OK」をタップするとアラーム音が止まり、表示が消えます。アラームを停止しなかったときは、未確認のアラームがある旨をお知らせするメッセージが表示されます。メッセージをタップすると、内容を確認できます。
- アラーム設定時刻に通話中または接続中（「呼び出し中…」と表示）、発信中（「ダイヤル中…」と表示）だったときは、短い着信音と表示でお知らせします。ただし、「効果音」の「通話中イベント通知」がチェックされていない場合は、通話中や接続中も表示のみでお知らせします。表示は、通知内容を確認するか、「消去」をタップすると消えます。

■ 予定リストの詳細を設定するとき
「詳細」→内容を入力→≪保存≫

■ シークレット設定をするとき
「シークレット設定」の「On」／「Off」→≪保存≫

予定リストを並べ替えたい

≪メニュー≫→「ツール」→「予定リスト」→プルダウンメニューから「期限順」／「重要度順」

予定リストをvファイルに変換して送信したい [送信]

≪メニュー≫→「ツール」→「予定リスト」→≪送信≫

■ メールで送信するとき
「メール添付」→送信したい予定リストを選択→（➔P.4-3 S!メールを送信する❷）

■ Bluetooth®で送信するとき
「Bluetooth」→送信したい予定リストをチェック→≪送信≫→（➔P.12-7 データを送信する❷）

■ 赤外線で送信するとき
「赤外線通信」→送信したい予定リストをチェック→≪送信≫（➔P.12-3）

- 予定リストの詳細画面で≪送信≫→項目を選択しても送信できます。

予定リストを削除したい [削除]

≪メニュー≫→「ツール」→「予定リスト」

■ タブごとに選択して削除するとき
「全予定リスト」／「処理済」／「未処理」／「期限切れ」タブをタップ→≪削除≫→「タブ内で選択削除」→削除する予定リストをチェック→≪削除≫→「はい」

■ すべての予定リストを削除するとき
≪削除≫→「全予定削除」→操作用暗証番号を入力→「はい」

- 詳細画面で≪削除≫をタップしても1件削除できます。

シークレット設定した予定リストを確認したい [シークレット一時解除]

≪メニュー≫→「ツール」→「予定リスト」→≪その他≫→「シークレット一時解除」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫

アラーム通知時に停止操作をしなかった予定リストを確認したい [未確認イベント一覧]

≪メニュー≫→「ツール」→「予定リスト」→≪その他≫→「未確認イベント一覧」→確認したい予定リストを選択

- 詳細画面で≪その他≫→「未確認イベント一覧」をタップしても確認できます。

予定リストをBluetooth®対応のプリンタで印刷したい [Bluetoothで印刷]

≪メニュー≫→「ツール」→「予定リスト」→≪その他≫→「Bluetoothで印刷」→印刷したい予定リストを選択→
(➲P.7-12 Bluetooth®経由でプリントする❹)

- 詳細画面で≪その他≫→「Bluetoothで印刷」をタップしても印刷できます。

予定リストの登録状況を確認したい [メモリ容量確認]

≪メニュー≫→「ツール」→「予定リスト」→≪その他≫→「メモリ容量確認」

予定リストを編集したい [編集]

≪メニュー≫→「ツール」→「予定リスト」→編集したい予定リストを選択→≪編集≫→予定リストの編集操作(➲P.9-18)→≪保存≫

予定リストをvファイルに変換して保存したい [データフォルダに保存]

≪メール≫→「ツール」→「予定リスト」→予定リストを選択→≪その他≫→「データフォルダに保存」→項目を選択→「はい」

- メモリカードを取り付けているときは、「メモリカード」を選択できます。

便利

ボイスレコーダーに関する便利な機能

録音した音声ファイルを着信音などに設定したい [登録]

≪メニュー≫→「ツール」→「ボイスレコーダー」→音声を録音→≪登録≫→着信音を選択

- 「個別着信音」を選択した場合は、電話帳を検索し、選択(➲P.2-18)します。

録音した音声ファイルの保存場所を移動したい [移動]

≪メニュー≫→「ツール」→「ボイスレコーダー」→音声を録音→≪データフォルダ≫→≪移動≫→項目の選択→移動する音声ファイルをチェック→≪移動≫→保存場所を選択

録音した音声ファイルをコピーしたい [コピー]

≪メニュー≫→「ツール」→「ボイスレコーダー」→音声を録音→≪データフォルダ≫→≪コピー≫→項目を選択→コピーする音声ファイルをチェック→≪コピー≫→保存場所を選択

録音した音声ファイルを送信したい [送信]

≪メニュー≫→「ツール」→「ボイスレコーダー」→音声を録音→≪その他≫→「送信」

■ メールで送信するとき

「メール添付」→(➲P.4-3 S!メールを送信する❷)

■ Bluetooth®で送信するとき

「Bluetooth」→(➲P.12-7 データを送信する❷)

■ 赤外線で送信するとき

「赤外線通信」(➲P.12-3)

録音した音声ファイルを削除したい [削除]

≪メニュー≫→「ツール」→「ボイスレコーダー」→音声を録音→≪その他≫→「削除」→「はい」

録音した音声ファイル名を編集したい [ファイル名変更]

≪メニュー≫→「ツール」→「ボイスレコーダー」→音声を録音→≪その他≫→「ファイル名変更」→ファイル名を入力

録音した音声ファイルを保護して変更や削除などを制限したい [保護]/[保護解除]

≪メニュー≫→「ツール」→「ボイスレコーダー」→音声を録音→≪その他≫→「保護」/「保護解除」

録音した音声ファイルの詳細情報を確認したい　[詳細]

≪メニュー≫→「ツール」→「ボイスレコーダー」→音声を録音→≪その他≫→「詳細」

保存時に付けられるファイル名を変更したい

≪メニュー≫→「ツール」→「ボイスレコーダー」→≪録音設定≫→保存ファイル名設定欄をタップ→ファイル名を入力

録音時間を変更したい

≪メニュー≫→「ツール」→「ボイスレコーダー」→≪録音設定≫→「録音時間」→項目を選択

ファイルの保存先を変更したい

≪メニュー≫→「ツール」→「ボイスレコーダー」→≪録音設定≫→「保存先設定」→項目を選択

- メモリカードを取り付けていないときは、自動的に930SC本体に保存されます。

便利

バーコードリーダーに関する便利な機能

読み取ったデータから操作したい

≪メニュー≫→「ツール」→「バーコードリーダー」→「バーコード 読み取り」→バーコードを読み取り

■ **読み取った電話番号に電話をかけるとき**

「TEL:」の付いている番号または0から始まる10桁以上32桁以下の番号を反転表示→「選択」→「音声通話」／「TVコール」／「発信前に電話番号を編集」

- 「発信前に電話番号を編集」を選択した場合は、電話番号を編集し、≪発信≫／≪TVコール≫をタップします。

■ **読み取った電話番号にメールを送信するとき**

「TEL:」の付いている番号または0から始まる10桁以上32桁以下の番号を反転表示→「選択」→「メッセージ作成」→「S!メール」／「SMS」→（➲P.4-3 S!メールを送信する❺、P.4-7 SMSを送信する❺）

■ **読み取ったEメールアドレスにメールを送信するとき**

「@」の含まれるEメールアドレスを反転表示→「選択」→「メッセージ作成」→（➲P.4-3 S!メールを送信する❺）

■ **読み取ったURLにアクセスするとき**

「http://」／「rtsp://」から始まるURLを反転表示→「選択」→「URLに接続」→「はい」

■ **読み取った電話帳を登録するとき**

電話帳データを反転表示→「選択」→≪保存≫

■ **読み取った電話番号などを新しい電話帳に登録するとき**

電話番号などを反転表示→「選択」→「電話帳に保存」→「新規」→（➲P.2-16 電話帳に登録する❷）

■ **読み取った電話番号などを既存の電話帳に追加登録するとき**

電話番号などを反転表示→「選択」→「電話帳に保存」→「追加」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-18）→電話帳の登録操作（➲P.2-16）

■ **読み取ったURLをブックマークに登録するとき**

URLを反転表示→「選択」→「ブックマーク追加」→タイトルを入力

■ **読み取ったEメールアドレスや電話番号などをコピーするとき**

コピーしたいEメールアドレスや電話番号などを反転表示→≪コピー≫→項目を選択

- 「テキストコピー」を選択したときは、コピーする最初の文字をタップして≪始点≫→コピーする文字の末尾をタップして範囲を指定→≪終点≫をタップします。

■ **読み取った電話番号やEメールアドレスなどをすべてメール本文に貼り付けるとき**
≪送信≫→≪OK≫→「S! メール」/「SMS」→(➲P.4-3 S!メールを送信する❷、P.4-7 SMSを送信する❷)

■ **読み取った電話番号やEメールアドレスなどの範囲を指定してメール本文に貼り付けるとき**
≪送信≫→≪カット≫→貼り付ける最初の文字をタップして≪始点≫→貼り付ける文字の末尾をタップして範囲を指定→≪終点≫→≪OK≫→「S! メール」/「SMS」→(➲P.4-3 S!メールを送信する❷、P.4-7 SMSを送信する❷)

■ **読み取った文字をコピーするとき**
≪コピー≫→コピーする最初の文字をタップして≪始点≫→コピーする文字の末尾をタップして範囲を指定→≪終点≫

作成したQRコードの保存先を指定したい [保存先設定]

≪メニュー≫→「ツール」→「バーコードリーダー」→「QRコード作成」→「電話帳」/「テキスト入力」→QRコードの作成操作(➲P.9-10 電話帳のQRコードを作成する❷、P.9-11 テキストのQRコードを作成する❷)→≪保存先設定≫→項目を選択→≪保存≫

作成したQRコードをメールに添付して送信したい

≪メニュー≫→「ツール」→「バーコードリーダー」→「QRコード作成」→「電話帳」/「テキスト入力」→QRコードの作成操作(➲P.9-10 電話帳のQRコードを作成する❷、P.9-11 テキストのQRコードを作成する❷)→≪送信≫→(➲P.4-3 S!メールを送信する❷)

便利

ドキュメントビューアに関する便利な機能

ファイルを削除したい

≪メニュー≫→「ツール」→「ドキュメントビューア」→ファイルを選択→[削除]→「はい」

ファイルの詳細情報を確認したい

≪メニュー≫→「ツール」→「ドキュメントビューア」→ファイルを選択→[詳細]

ファイルを送信したい [送信]

≪メニュー≫→「ツール」→「ドキュメントビューア」→ファイルを選択→≪送信≫

■ **メールで送信するとき**
「メール添付」→(➲P.4-3 S!メールを送信する❷)

■ **Bluetooth®で送信するとき**
「Bluetooth」→(➲P.12-7 データを送信する❷)

■ **赤外線で送信するとき**
「赤外線通信」(➲P.12-3)

ページを移動したい [移動]

≪メニュー≫→「ツール」→「ドキュメントビューア」→ファイルを選択→≪移動≫→項目を選択

- 「ページ指定」を選択したときは、移動したいページ数を入力して指定します。

ページ内の文字列を検索したい［検索］

≪メニュー≫→「ツール」→「ドキュメントビューア」→ファイルを選択→≪検索≫→検索語を入力

- 検索結果が表示されたあと、同じ検索語で文末に向かって検索するときは≪次へ≫、文頭に向かって検索するときは≪前へ≫をタップします。
- 検索を終了するときは≪検索終了≫をタップします。
- 続けて次の検索をするときは≪新規検索≫をタップします。

画面をキャプチャしたい［画面撮影］

≪メニュー≫→「ツール」→「ドキュメントビューア」→ファイルを選択→≪その他≫→「画面撮影」

- キャプチャした画像は930SC本体のデータフォルダの「ピクチャー」フォルダにJPEG形式で保存されます。

ファイル名を編集したい［ファイル名変更］

≪メニュー≫→「ツール」→「ドキュメントビューア」→ファイルを選択→≪その他≫→「ファイル名変更」→ファイル名を入力

ファイルを保護して変更や削除などを制限したい［保護］／［保護解除］

≪メニュー≫→「ツール」→「ドキュメントビューア」→ファイルを選択→≪その他≫→「保護」／「保護解除」

スクロール範囲を設定したい

≪メニュー≫→「ツール」→「ドキュメントビューア」→ファイルを選択→≪その他≫→「設定」→「スクロール単位」→項目を選択

- ▲、▼、◀、▶をタップしたときのスクロール範囲を設定します。

文字情報のファイル（docやtxtなど）の表示を画面幅に合わせるかどうか設定したい

≪メニュー≫→「ツール」→「ドキュメントビューア」→ファイルを選択→≪その他≫→「設定」→「画面幅に合わせて表示」の「On」／「Off」

- 「On」に設定すると、画面を上下にスクロールするだけで内容を確認できます。

マップの表示を設定したい

≪メニュー≫→「ツール」→「ドキュメントビューア」→ファイルを選択→≪その他≫→「設定」→「マップ表示」の「On」／「Off」

- マップ上では、表示中のエリアが水色の枠で示されます。

画面撮影時に付けられるファイル名を編集したい

≪メニュー≫→「ツール」→「ドキュメントビューア」→ファイルを選択→≪その他≫→「設定」→画面撮影ファイル名欄を選択→ファイル名を入力

コミュニケーションサービス

10

S!ともだち状況を利用する

S!ともだち状況とは、現在の状況（気分・応答可能かなど）をS!ともだち状況に登録したメンバーどうしで確認し合える機能です。

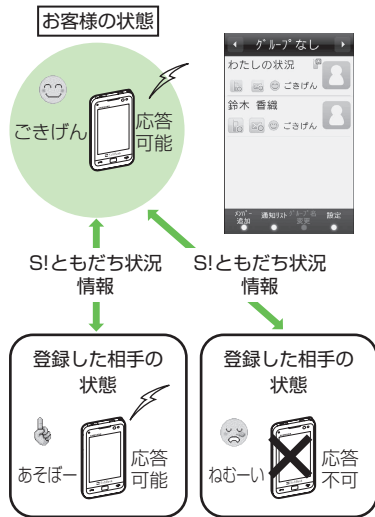
- S!ともだち状況のご利用には、別途お申し込みが必要です。
- S!ともだち状況の対応機種どうしだけでご利用いただけます。

お客様の状態

ごきげん 応答可能

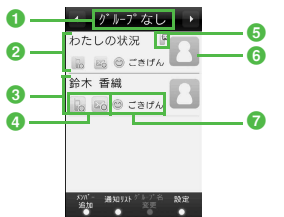
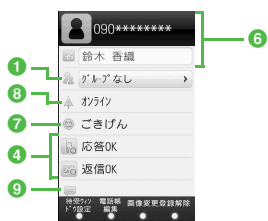
S!ともだち状況情報　S!ともだち状況情報

登録した相手の状態　あそぼー 応答可能

登録した相手の状態　ねむーい 応答不可

- S!ともだち状況メンバーリストに相手を登録すると、S!ともだち状況の情報をお互いに確認し合えるようになります。以降は、お互いのS!ともだち状況情報の変更も自動的に更新されます。

注意

- **ご利用の際には「IPサービス設定」(➔P.13-22)が「On」であることを確認してください。**

S!ともだち状況画面の見かた

S!ともだち状況メンバーリスト画面

S!ともだち状況メンバー状況画面

❶ S!ともだち状況のグループ名

❷ お客様の情報（わたしの状況：➔P.10-5）

❸ 登録した相手の情報

❹ 応答ステータス
電話やメールの応答状況が表示されます。

❺ 待受ウィンドウ設定状況
「待受ウィンドウ設定」が「はい」に設定されている場合に表示されます。

❻ 画像、名前、電話番号
わたしの状況ではオーナー情報に登録している画像が表示されます。メンバー状況では電話帳に登録している画像や名前、電話番号が表示されます。

❼ 状態アイコン、状態ラベル
絵文字（状態アイコン）や短い文章（状態ラベル）で、お客様や登録したS!ともだち状況メンバーの状態が表示されます。

❽ ネットワーク接続状況
お客様や登録したS!ともだち状況メンバーのS!ともだち状況への接続状況が表示されます。

❾ コメント

S!ともだち状況通知について

S!ともだち状況通知とは、S!ともだち状況メンバーリストに登録するときの登録要求などをお知らせする情報通知です。

- S!ともだち状況通知は、相手をS!ともだち状況メンバーリストに登録したり、登録を解除するときなどに送信されます。また、相手がお客様をS!ともだち状況メンバーリストに登録するときなどに受信します。

S!ともだち状況通知の種類は次のとおりです。

種　類	内　容
登録要求通知	相手がお客様をS!ともだち状況メンバーリストに登録したときに受信します。
登録許可通知	S!ともだち状況メンバーリストへの登録が相手に許可されたときに受信します。
登録不可通知	S!ともだち状況メンバーリストへの登録が相手に拒否されたときや、相手が2時間以内に応答を返さなかったときに受信します。
登録解除通知	相手がS!ともだち状況メンバーリストの登録を解除したときに受信します。
オフライン通知	ネットワーク障害などで、S!ともだち状況が利用できなくなったときに受信します。

S!ともだち状況メンバーリストに登録する

お客様のS!ともだち状況の情報を知らせたり、S!ともだち状況の情報を知りたい相手を、S!ともだち状況メンバーリストに登録します。

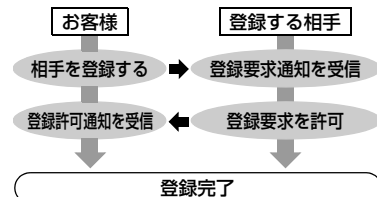
- S!ともだち状況メンバーは、最大30件まで登録できます。

登録の流れ

お客様 / 登録する相手

相手を登録する ➡ 登録要求通知を受信

登録許可通知を受信 ⬅ 登録要求を許可

登録完了

- 登録が完了すると、お客様のS!ともだち状況情報（わたしの状況）が登録相手に送信され、お互いの情報を確認できるようになります。

注意

- **わたしの状況のネットワーク接続状況（➲P.10-6）が「オフライン」のときには、S!ともだち状況メンバーリストに登録できません。登録するときには、ネットワーク接続状況を「オンライン」にしてください。**

電話帳または電話番号から登録する

1 ≪メニュー≫→「コミュニケーション」→「S!ともだち状況」

- メンバー未登録のときは「はい」を選択し、操作3へ進みます。

2 ≪メンバー追加≫

3 メンバーの登録操作

■ 電話帳から登録するとき

「電話帳から登録」→電話帳を検索し、選択（➔P.2-18）→電話番号を選択

■ 電話番号を入力して登録するとき

「新規登録」→電話番号欄をタップ→電話番号を入力→≪保存≫

4 登録要求の送信確認メッセージが表示されたら「はい」

- 登録要求が相手に許可され、登録許可通知を受信すると登録完了です。
- 登録許可通知を受信するまで、登録する相手のS!ともだち状況情報は、応答ステータスは「待機中」、状態は「不明」と表示されます。

- 登録するときに、お買い上げ時のわたしの状況情報を相手に送信したくない場合は、先にわたしの状況を変更してから登録してください。

注意

- **S!ともだち状況メンバーリストにS!ともだち状況メンバーを30件登録しているときは、追加登録できません。追加登録を行いたいときは、登録しているS!ともだち状況メンバーを削除してください。**
- **S! ともだち状況に対応していない機種を登録したときは、登録不可通知が返信されます。**

受信した登録要求通知から登録する

受信した登録要求通知を利用して、登録要求通知を送信してきた相手をS!ともだち状況メンバーリストに登録します。

- 登録要求通知を受信すると、送信してきた相手の情報と、相手をS!ともだち状況メンバーリストに登録するかどうかの確認メッセージが表示されます。次の操作を行うと、相手をS!ともだち状況メンバーリストに登録できます。

1 通知をタップ→登録要求通知を選択

❷ 登録要求通知が表示されたら「はい」

- 登録許可通知が返信され、相手が S! ともだち状況メンバーリストに登録されます。
- 登録しないときは「いいえ」を選択します。登録不可通知が返信されます（相手はS!ともだち状況メンバーリストに登録されません）。
- あとで確認するときは「後で確認」を選択します。

- 次の状態のときに登録要求通知を受信すると、登録不可通知が自動的に送信されます。
  - 2時間以上応答できないとき
  - S!ともだち状況メンバーを30件登録しているとき

注意

- **「いいえ」を選択し、登録不可通知を送信すると、送信後24時間は、送信した相手をS!ともだち状況メンバーリストに登録できません。**
- **相手が24時間以上登録不可通知を受信できなかったときは、再度同じ相手から登録要求通知が送信されます。**

わたしの状況を設定する

お客様のS!ともだち状況の情報（わたしの状況）を設定できます。

わたしの状況詳細画面を表示する

❶ ≪メニュー≫→「コミュニケーション」→「S!ともだち状況」→「わたしの状況」

わたしの状況
オンライン　オフライン
ごきげん
一括設定
応答OK
返信OK
<コメント追加>
更新　待受ウィンドウ設定　画像変更

わたしの状況詳細画面

❶ 画像
オーナー情報に登録している画像が表示されます。

❷ 待受ウィンドウ設定状況
「待受ウィンドウ設定」が「はい」に設定されている場合に表示されます。

❸ ネットワーク接続状況（➔P.10-6）

❹ 状態アイコン、状態ラベル
絵文字（状態アイコン）と短い文章（状態ラベル）を変更できます。状態アイコンと状態ラベルの組み合わせや内容は、≪編集≫をタップして変更することもできます（➔P.10-7）。

❺ 応答ステータス一括変更
電話やメールの応答ステータスをまとめて変更できます。

❻ 応答ステータス
電話やメールの応答ステータスを個別に変更できます。

❼ コメント
最大15文字までの短いメッセージを編集することができます。

わたしの状況の情報を変更する

❶ わたしの状況詳細画面を表示→変更する項目（ネットワーク接続状況以外の項目）を選択→設定内容を選択→≪更新≫

- 変更したわたしの状況が、登録しているS!ともだち状況メンバーに送信されます。

変更できる項目と設定内容は次のとおりです。

項　目		設定内容
状態		状態アイコンと状態ラベルの16の組み合わせ
一括設定		
	すべてOK	電話：応答OK メール：返信OK
	メールのみOK	電話：応答NG メール：返信OK
	すべてNG	電話：応答NG メール：後で確認
	ユーザー設定	－※
電話		応答OK、急用のみ、応答NG
メール		返信OK、後で確認
コメント		最大15文字

※「応答状況一括設定」で組み合わせを変更できます（➔P.10-7）。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.10-6

- わたしの状況をウィジェットアイコンに表示するかどうかを設定したい
- S!ともだち状況メンバーをウィジェットアイコンに登録したい
- S!ともだち状況通知リストを確認したい
- S!ともだち状況通知リストを削除したい
- S!ともだち状況メンバーを電話帳に登録したい
- S!ともだち状況メンバーの電話帳を編集したい
- S!ともだち状況グループ名を編集したい
- わたしの画像を設定したい
- S!ともだち状況メンバーの画像を設定したい

設定

- IPサービス設定を設定する（☞P.13-22）

便利

S!ともだち状況に関する便利な機能

S!ともだち状況の接続を設定したい

わたしの状況詳細画面を表示→ネットワーク接続状況欄の「オンライン」／「オフライン」→「はい」

- わたしの状況の編集や更新をする場合は、「オンライン」に設定します。

わたしの状況をウィジェットアイコンに表示するかどうかを設定したい

[待受ウィンドウ設定]

わたしの状況詳細画面を表示→≪待受ウィンドウ設定≫→「はい」／「いいえ」

- ウィジェットアイコンに表示する場合は「はい」、非表示にする場合は「いいえ」を選択します。

S!ともだち状況メンバーをウィジェットアイコンに登録したい

[待受ウィンドウ設定]

S!ともだち状況メンバーリスト画面で登録したいS!ともだち状況メンバーを選択→≪待受ウィンドウ設定≫→「はい」→S!ともだち状況メンバーを登録したい場所を選択

- 未登録の場所がないときは、上書きするか、≪削除≫→登録解除するメンバーをチェック→≪削除≫をタップしてから操作します。

S!ともだち状況通知リストを確認したい　　[通知リスト]

S!ともだち状況メンバーリスト画面で≪通知リスト≫→確認したい通知リストを選択

- S!ともだち状況通知の詳細を確認するときは、各通知をタップします。
- 登録要求通知も選択できます（➲P.10-4）。

S!ともだち状況通知リストを削除したい　　[削除]

S!ともだち状況メンバーリスト画面で≪通知リスト≫→≪削除≫→削除したい通知リストをチェック→≪削除≫

S!ともだち状況メンバーに電話／TVコール／メールを送信したい

S!ともだち状況メンバーリスト画面で、S!ともだち状況メンバーを選択

■ **電話をかけるとき**

応答ステータスの電話欄をタップ→項目を選択

■ **メールを送信するとき**

応答ステータスのメール欄をタップ→「S!メール」／「SMS」→（➲P.4-3 S!メールを送信する❺、P.4-7 SMSを送信する❺）

- S!ともだち状況メンバーリスト画面で応答ステータスをタップしても、電話／TVコール／メールを送信できます。

S!ともだち状況メンバーを電話帳に登録したい　　[電話帳追加]

S!ともだち状況メンバーリスト画面で、S!ともだち状況メンバーを選択→≪電話帳追加≫→（➲P.2-39 電話番号を入力してから登録したい）

S!ともだち状況メンバーの電話帳を編集したい　　[電話帳編集]

S!ともだち状況メンバーリスト画面で、S!ともだち状況メンバーを選択→≪電話帳編集≫→電話帳の編集操作（➲P.2-16）

登録要求時の登録の動作を設定したい

S!ともだち状況メンバーリスト画面で≪設定≫→「メンバー登録応答」→項目を選択

- 「常に無視」を選択したときは、登録要求受信時には必ず登録不可通知を返信します。

応答ステータスの組み合わせを設定したい

S!ともだち状況メンバーリスト画面で≪設定≫→「応答状況一括設定」→「ユーザー設定」→応答ステータスを選択→応答ステータスアイコンを選択→≪保存≫

状態アイコンや状態ラベルを変更したい

S!ともだち状況メンバーリスト画面で≪設定≫→「状態設定」→変更したいアイコンを選択→「S!ともだち状況アイコン」→アイコンを選択→「S!ともだち状況ラベル」→文字を入力→≪保存≫→「はい」

- 状態アイコンで選択できるアイコンは、絵文字と同じです。
- 状態ラベルは最大4文字まで入力できます。

リスト更新をしたい

S!ともだち状況メンバーリスト画面で≪設定≫→「リスト更新」

- 基本的にS!ともだち状況の情報は自動で更新されます。

S!ともだち状況グループ名を編集したい　　[グループ名変更]

S!ともだち状況メンバーリスト画面で、◀／▶でグループ名を変更したいグループに切り替え→≪グループ名変更≫→グループ名を入力

S!ともだち状況メンバーのグループを変更したい

S!ともだち状況メンバーリスト画面で、グループを変更したいS!ともだち状況メンバーを選択→グループ欄をタップ→移動先のグループを選択

S!ともだち状況メンバーの登録を解除したい

S!ともだち状況メンバーリスト画面で、登録解除したいS!ともだち状況メンバーを選択→≪登録解除≫→「はい」

- 解除してから24時間は、解除した相手をS!ともだち状況メンバーリストに登録できません。
- 相手が24時間以上登録解除通知を受信できなかったときは、相手から登録要求通知が送信されます。

S!ともだち状況メンバーの名前を編集したい

S!ともだち状況メンバーリスト画面で、名前を編集したいS!ともだち状況メンバーを選択→名前欄をタップ→名前／姓欄をタップ→名字を編集→名前／名欄をタップ→名前を編集→≪保存≫

■ **電話帳に未登録のメンバーのとき**

≪電話帳追加≫→(➲P.2-39 電話番号を入力してから登録したい)

■ **電話帳に登録済みのメンバーのとき**

≪電話帳編集≫→電話帳の編集操作(➲P.2-16)

- 電話帳の氏名も変更されます。

わたしの画像を設定したい [画像変更]

わたしの状況詳細画面を表示→≪画像変更≫

■ **保存された静止画を設定するとき**

「ピクチャー」→ファイルを選択

- メモリカードを取り付けているときは、「ピクチャー」を選択したあとに「ピクチャー」フォルダと「デジタルカメラ」フォルダからファイルを選択できます。

■ **静止画を撮影して設定するとき**

「カメラ起動」→静止画を撮影(➲P.7-5 静止画を撮影する❷～❹)

■ **設定した画像を取り消すとき**

「Off」

- オーナー情報の画像も変更されます。

S!ともだち状況メンバーの画像を設定したい [画像変更]

S!ともだち状況メンバーリスト画面で、着信画像を変更したいS!ともだち状況メンバーを選択→≪画像変更≫

■ **保存された静止画を設定するとき**

「ピクチャー」→ファイルを選択→≪電話帳追加≫／≪電話帳編集≫

- メモリカードを取り付けているときは、「ピクチャー」を選択したあとに「ピクチャー」フォルダと「デジタルカメラ」フォルダからファイルを選択できます。

■ **静止画を撮影して設定するとき**

「カメラ起動」→静止画を撮影(➲P.7-5 静止画を撮影する❷～❹)→≪電話帳追加≫／≪電話帳編集≫

■ **設定した着信画像を取り消すとき**

「Off」→≪電話帳追加≫／≪電話帳編集≫

- 電話帳に未登録のメンバーのときは、≪電話帳追加≫→(➲P.2-39 電話番号を入力してから登録したい)と操作します。電話帳に登録済みのメンバーのときは、≪電話帳編集≫→電話帳の編集操作(➲P.2-16)を行います。
- 電話帳の着信画像も変更されます。

セキュリティ

11

操作用暗証番号を変更する

お買い上げ時は、「9999」に設定されています。

1 ≪メニュー≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「暗証番号変更」

2 現在の操作用暗証番号を入力→≪OK≫

3 新しい操作用暗証番号（4～8桁）を入力→≪OK≫

4 もう一度新しい操作用暗証番号を入力→≪OK≫

使いこなしチェック！

設定

● 操作用暗証番号を変更する（☞P.13-22）

PINコードを設定する

PINコードはUSIMカードの暗証番号です。詳しくは「USIMカードのお取り扱い」（➲P.14-5）を参照してください。

PIN認証

電源を入れるたびにPINコードによる認証をするようにしたい場合は、「On」に設定します。

1 ≪メニュー≫→「設定」→「セキュリティ設定」

2 「PIN認証」の「On」／「Off」

3 PINコードを入力→≪OK≫

PINコード／PIN2コードを変更する

1 ≪メニュー≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「PIN変更」／「PIN2変更」

- PINコード／PIN2コードを設定する場合には、「PIN認証」を「On」にします（➲P.11-2）。

2 現在のPINコード／PIN2コードを入力→≪OK≫

3 新しいPINコード／PIN2コード（4～8桁）を入力→≪OK≫

4 もう一度新しいPINコード／PIN2コード（4～8桁）を入力→≪OK≫

PINロックを解除する

PINコードまたはPIN2コードの入力を3回続けて間違えると、PINロックまたはPIN2ロックが設定され、930SCの使用が制限されます。PINロックまたはPIN2ロックを解除するときは、次の操作を行います。

1. **PINロック解除コード(PUKコード)の入力画面が表示されている状態でPUKコードを入力→≪OK≫**
2. **新しいPINコード／PIN2コード（4〜8桁）を入力→≪OK≫**
3. **もう一度新しいPINコード／PIN2コード（4〜8桁）を入力→≪OK≫**

注意

- **PINロック解除コードまたはPIN2ロック解除コード(PUK/PUK2コード)については、お問い合わせ先（➔P.14-30）までご連絡ください。**
- **PINロック解除コードを10回続けて間違えると、USIMカードがロックされます(途中で電源を切っても連続として数えます)。**
- **USIMカードがロックされた場合、ロックを解除する方法はありません。お問い合わせ先（➔P.14-30）までご連絡ください。**

使いこなしチェック！

設定

- PIN認証を設定する（☞P.13-21）
- PINコードを変更する（☞P.13-21）
- PIN2コードを変更する（☞P.13-22）

USIM照合を設定する

お客様の930SCに他のUSIMカードが取り付けられたとき、USIMパスワードを入力しないと使用できないように設定できます。

1. **≪メニュー≫→「設定」→「セキュリティ設定」**
2. **「USIM照合」の「On」／「Off」**
3. **USIMパスワード（4〜8桁の任意の番号）を入力→≪OK≫**
   - 「On」に設定する場合は、もう一度USIMパスワード（4〜8桁の任意の番号）を入力し、≪OK≫をタップします。

- USIMパスワードとは、USIMカードの認証に使用する専用のパスワードです。USIMパスワードが一致すれば、他のUSIMカードでも930SCを使用できます。
  USIMパスワードは、「USIM照合」を「On」に設定するたびに変更できます。

- USIMパスワードを忘れたときは、「USIM照合」を「On」に設定したUSIMカードを930SCに取り付けて、オールリセット（➔P.11-9）を行います。

使いこなしチェック！

設定

- USIM照合を設定する（☞P.13-21）

ケータイの操作を禁止／制限する

電源On時ロック

「On」に設定すると、電源を入れるごとに操作用暗証番号の入力が必要になります。

1. ≪メニュー≫→「設定」→「セキュリティ設定」
2. 「電源On時ロック」の「On」／「Off」
3. 操作用暗証番号を入力→≪OK≫

- 操作用暗証番号を入力するまで、電話の着信を含むすべての操作が行えません。

オートロック

「On」に設定すると、ディスプレイ消灯時に自動的に誤動作防止を設定します。

1. ≪メニュー≫→「設定」→「一般設定」
2. 「オートロック」の「On」／「Off」

パスワードロック

パスワードロックを設定すると、電源を入れたときやディスプレイ消灯時に、操作用暗証番号の入力が必要になります。操作用暗証番号を入力するまで、電話を受けるなど一部の操作以外行えません。

1. ≪メニュー≫→「設定」→「セキュリティ設定」
2. 「パスワードロック」
3. 設定の選択操作

   ■ディスプレイ消灯時にパスワードロックを設定するとき
   「自動」

   ■電源を入れたときにパスワードロックを設定するとき
   「電源On時」

   ■パスワードロックを設定しないとき
   「Off」
4. 操作用暗証番号を入力→≪OK≫

機能別ロック

機能別ロックを設定すると、電話帳、カレンダー／予定リスト、メモ帳、メール、通話履歴、データフォルダの各機能を呼び出すごとに操作用暗証番号の入力が必要になります。

1. ≪メニュー≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「機能別ロック」
2. ロックする機能をチェック→≪保存≫
3. 操作用暗証番号を入力→≪OK≫

シークレットモード

「表示しない」に設定すると、電話帳の一覧画面やメールのフォルダ、カレンダーのスケジュール、予定リストを表示したときに、各機能でシークレットを設定している登録内容が表示されなくなります。

1. ≪メニュー≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「シークレットモード」
2. 操作用暗証番号を入力→≪OK≫
3. 「表示する」／「表示しない」

- 「シークレットモード」を「表示する」に設定しても、930SCの電源を入れ直すと「表示しない」に設定されます。

モバイルトラッカー

「On」に設定すると、設定したときと異なるUSIMカードが取り付けられたとき、指定した宛先にSMSを送信してお知らせします。宛先は2件まで指定できます。

1. ≪メニュー≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「モバイルトラッカー」
2. 操作用暗証番号を入力→≪OK≫
3. 「On/Off設定」の「On」
4. 宛先欄をタップ
5. 「番号入力」→宛先を入力
   - 電話帳から宛先を登録する場合は、「電話帳」→電話帳を検索し、選択（➲P.2-18）→電話番号を選択します。
6. 「送信者名」→送信者名を入力
7. ≪保存≫→表示内容を確認

8 ≪同意≫

- 表示内容の承諾を拒否するときは、≪拒否≫をタップします。

- 異なるUSIMカードが取り付けられると、起動中に指定した宛先にSMSが送信されます。USIMカードを差し替えた相手には気づかれません。モバイルトラッカーを設定するときに、操作用暗証番号を3回続けて間違えた場合もSMSが送信されます。

使いこなしチェック！

設定

- 電源On時ロックを設定する（☞P.13-21）
- パスワードロックを設定する（☞P.13-21）
- 機能別ロックを設定する（☞P.13-21）
- シークレットモードを設定する（☞P.13-21）
- モバイルトラッカーを設定する（☞P.13-22）

顔認証について

930SCの電源を入れたときに、あらかじめ登録しておいたお客様の顔画像との照合を行い、認証に成功しないと930SCを使用できないようにします。

- 顔認証は、あらかじめ登録した顔画像と認証時のお客様の画像を照合し、認証を行います。顔画像の撮影時や認証時には、次のことにご注意ください。
  - 目、口、鼻、眉などの顔の特徴がはっきりと見えるようにしてください。目などに髪がかかっていたり、レンズに色の付いているメガネやマスク、帽子などの装着物があるときは、正しく登録／認証できないことがあります。
  - 顔が均一に明るく見える場所で操作してください。暗い場所や逆光の場合や、強い光が当たる場所では正しく登録／認証できない場合があります。

注意

- **顔認証は完全に本人認証を保証するものではありません。当社では本製品を第三者に使用されたこと、または顔認証の誤動作により使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。**
- **顔認証の設定操作や誤認証時の解除方法などには、操作用暗証番号を使用します。よりセキュリティを向上させるため、操作用暗証番号も合わせて変更することをおすすめします（➔P.11-2）。**

顔認証機能を利用する

ユーザ登録を行う

ユーザ数は5件まで登録できます。1件のユーザには5つの顔画像を登録できます。顔認証を行う場所（自宅／会社／自動車内／駅など）や状態（顔の方向／メガネなどの装着物の有無／明るさなど）を変えて複数の顔を登録することをおすすめします。

1 ≪メニュー≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「顔認証機能」

2 「ユーザ登録」

3 「ユーザ1」～「ユーザ5」のいずれかを選択

4 「画像1」～「画像5」のいずれかを選択→≪撮影≫

5 顔を画面に表示→≪撮影開始≫→≪保存≫

- 「顔認証機能」の「On/Off設定」が「Off」に設定されている場合は、顔画像保存後に「On」にするかどうかの確認メッセージが表示されます。「On」にするときは、「はい」を選択します。

- 顔画像の撮影には若干時間がかかります。そのままでお待ちください。
- 登録できないときはメッセージが表示されます。撮影条件を変えるなどしてやり直してください。
- 複数の顔画像を登録すると認証率は高くなりますが、セキュリティレベルは低くなります。
- 複数のユーザに、同じ人の顔画像を登録することもできます。画像数が増えれば認証率が高くなる可能性があります。
- 正面を向き、無表情で顔全体が画面に入るようにしてください。顔が小さいと顔認証画像が登録できないことがあります。また、顔を動かさないようにしてください。

顔認証機能を設定／解除する

顔認証機能を設定します。あらかじめユーザ登録を行ってください。

1 ≪メニュー≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「顔認証機能」

2 「On/Off設定」の「On」／「Off」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫

- 「On」に設定すると、930SCの電源を入れたときにお客様の顔画像との照合を行います。認証に成功しないと930SCを使用できません。

認証時の表示を設定する

顔認証時の表示を設定します。「Off」に設定したときは、撮影中の画像は表示されずに認証中のメッセージが表示されます。「プレビュー」に設定したときは、撮影中の画像が表示されます。

1 ≪メニュー≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「顔認証機能」

2 「ガイド設定」

3 「Off」／「プレビュー」

セキュリティレベルを設定する

顔認証機能の認証精度を設定します。

- 認証精度の目安は次のとおりです。

設定項目	内　容
高	他人を誤って認証する可能性の低い設定です。ただし、お客様も認証されにくくなる可能性があります。
標準	「高」と「低」の中間の設定です。
低	お客様が最も認証されやすい設定です。ただし、他人を誤って認証する可能性も高くなります。

1 ≪メニュー≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「顔認証機能」

2 「セキュリティレベル」

3 「高」／「標準」／「低」

顔認証を行う

電源を入れたときに顔認証が行われます。顔が正しく認証されると、930SCを使用できるようになります。

1 顔を画面に向ける

- 「ガイド設定」（➲P.11-8）を「プレビュー」に設定しているときは、ディスプレイに撮影中の画像が表示されます。顔が認証されると、認証された顔の位置にフォーカスが移動します。認証結果は「マッチング」（緑色の枠）／「類似」（黄色の枠）／「不明」（赤色の枠）で表示されます。
- 顔認証機能では内側カメラの画像が使用されます。カメラが汚れていると誤認証の原因となります。柔らかい布で汚れを拭き取ってからご使用ください。

顔が正しく認証されないときは

再度顔認証を行うには、≪認証≫をタップします。

顔が正しく認証されないときは、操作用暗証番号で認証を行ってください。≪コード≫をタップし、操作用暗証番号を入力して≪OK≫をタップすると認証されます。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.11-10

- 顔画像を削除したい

設定

- 顔認証機能を設定する（☞P.13-21）
- 顔認証機能のユーザ登録をする（☞P.13-21）
- 顔認証時の表示を設定する（☞P.13-21）
- 顔認証機能のセキュリティレベルを設定する（☞P.13-21）

お買い上げ時の状態に戻す

メモリ消去

データフォルダ、メール、930SC本体の電話帳、カレンダー／予定リスト、ユーザ辞書の登録内容を消去できます。すべてまとめて消去することもできます。

1. **≪メニュー≫→「設定」→「メモリ設定」→「本体」→≪メモリ消去≫**
2. **消去したい項目をチェック→≪消去≫**
3. **操作用暗証番号を入力→≪OK≫→「はい」**

設定リセット

設定メニューの登録・設定内容、ツールメニューの「アラーム」の登録・設定内容、および「TVリンク」と「録画／視聴予約」を除く「TV」の登録・設定内容がお買い上げ時の状態に戻ります。
ただし、次の内容はリセットされません。

設定メニュー	リセットされない内容
通話設定	「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「留守番On」の設定内容 「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「転送On」の登録・設定内容 「通話サービス」→「割込通話」の設定内容 「通話サービス」→「発着信規制」の設定内容 「着信拒否」→「電話番号指定」→「拒否リスト」の登録内容
電話帳設定	「オーナー情報」の電話番号、USIMカードの「グループ設定」の登録内容・グループ名
セキュリティ設定	「USIM照合」「PIN認証」「PIN変更」「PIN2変更」

1. **≪メニュー≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「リセット」→「設定リセット」**
2. **操作用暗証番号を入力→≪OK≫→「はい」**

オールリセット

930SC本体の電話帳、メール、データフォルダの登録内容および各機能の設定を消去し、お買い上げ時の状態に戻します。ただし、お買い上げ時にあらかじめ保存されているデータフォルダ内のファイルは、消去されません。

1. **≪メニュー≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「リセット」→「オールリセット」**
2. **操作用暗証番号を入力→≪OK≫→「はい」**

使いこなしチェック！

設定

- 電話帳やメールなどを消去する（☞P.13-21）
- 設定をリセットする（☞P.13-21）

便利

顔認証に関する便利な機能

ユーザ情報を編集したい

≪メニュー≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「顔認証機能」→「ユーザ登録」→編集したいユーザを選択→（➲P.11-7 ユーザ登録を行う❹）

顔画像を確認したい

≪メニュー≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「顔認証機能」→「ユーザ登録」→ユーザを選択→確認したい画像を選択

- 複数顔画像を登録している場合は◀／▶をタップすると別の画像を確認できます。

顔画像を削除したい [削除]

≪メニュー≫→「設定」→「セキュリティ設定」→「顔認証機能」→「ユーザ登録」→ユーザを選択→削除したい画像を選択→≪削除≫→「はい」

通信／バックアップ

12

外部接続について

赤外線通信対応機器やBluetooth®対応機器との間でケーブル不要の送受信ができます。930SCとパソコンをUSBケーブルで接続してデータを送受信したり、プリンタと接続して静止画を印刷したりすることもできます。

データの送受信方法

赤外線通信とBluetooth®の送受信方法は次のとおりです。

送受信方法	説明
個別データ送受信	送信側からデータを1件ずつ、または複数件送信します。 受信側では自動的に該当する機能のデータとして追加します。
一括データ送受信	機能ごとのデータを一括で送受信します。

- 受信したファイルは、それぞれのファイル形式に応じた保存先に保存されます。ただし、ファイルによってはデータフォルダの「その他ファイル」フォルダに保存されます。

赤外線通信を利用する

930SCなど赤外線対応の携帯電話や、他の赤外線通信対応機器（パソコンなど）と無線で接続し、データの送受信ができます。

赤外線通信をご利用になる前に

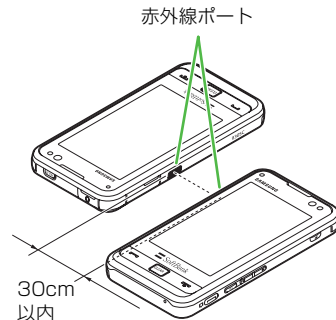
- 930SCの赤外線通信機能は、IrMC1.1に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMC1.1に準拠していても、機能によっては送受信できないデータがあります。
- 通信中やメールの送受信中、インターネットの利用中に赤外線通信は行えません。
- 赤外線通信中は、通話やメッセージの受信などができません。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できないことがあります。

- 認証コードは、赤外線通信機器どうしが接続するためのパスワード（4桁）です。データの一括送受信では、受信側／送信側とも同じ認証コードを入力する必要があります。

赤外線通信利用時のご注意

- 受信側、送信側のソフトバンク携帯電話（または赤外線通信対応機器）を、30cm以内に近づけます。このとき、両方の赤外線ポートがまっすぐに向き合うようにします。また、間に物を置かないようにしてください。

赤外線ポート

30cm
以内

- データの送受信が終わるまで、お互いの赤外線ポートが向き合ったままの状態にして動かさないでください。
- 赤外線ポートが汚れていると通信しにくくなります。汚れているときは、傷つかないように柔らかい布で拭き取ってください。
- 正常に通信できないときは、再接続の確認メッセージが表示されます。「赤外線通信利用時のご注意」を確認したあと、「はい」を選択して再接続してください。

赤外線通信を利用してデータを送受信する

電話帳、オーナー情報、カレンダーのスケジュール、予定リスト、静止画、動画、音声ファイル、音楽ファイルなどを送受信できます。
また、電話帳、カレンダー、ブックマークを一括で送受信できます。

注意

- **インターネットやメディアプレイヤーの利用中、メールやデータの編集中などは、赤外線通信でのデータ送信は行えません。**
- **受信したデータの内容によっては、930SCに正しく登録できなかったり、一部登録できないことがあります。**

データを送信する

事前に送信先を受信待機の状態にしておきます。

1 データの送信操作

■ **データフォルダ、カレンダーのスケジュール、ブックマークからデータを送信するとき**

一覧画面で≪その他≫→「送信」→「赤外線通信」→送信したいデータをチェック→≪送信≫

■ **電話帳、予定リストからデータを送信するとき**

一覧画面で≪送信≫→「赤外線通信」→送信したいデータをチェック→≪送信≫

- 機能によっては詳細画面や再生画面のメニューからも送信できます。

データを1件ずつ受信する

1 ≪メニュー≫→「設定」→「外部接続」→「赤外線通信」→「On/Off」の「On」

- Bluetooth® を「On」に設定しているときは、解除の確認メッセージが表示されます。赤外線通信を起動するには「はい」を選択します。
- データ受信の待機状態になります。

2 相手側機器から3分以内にデータを送信

3 着信ができなくなる旨の確認メッセージが表示されたら「はい」

4 保存の確認メッセージが表示されたら「はい」

- 絵文字ファイルを受信するときは、保存先を「ピクチャー」/「マイ絵文字」から選択します。
- 受信を中止するときは「キャンセル」をタップします。
- 受信を強制終了するときは [終話キー] を押します。

- vCardに着信画像が含まれる場合、着信画像のサイズが100Kバイトを超えると画像を削除して電話帳に登録します。

注意

- **データの受信は、待受画面以外からは行えません。また、オートロック設定中や誤動作防止、ソフトウェア更新中にデータ受信は行えません。**

データを一括送信する

1. ≪メニュー≫→「設定」→「外部接続」→「赤外線通信」→「全件データ送信」
2. 操作用暗証番号を入力→≪OK≫
3. 「電話帳」／「カレンダー」／「ブックマーク」
   - 電話帳を選択した場合に、画像データを転送するときは、「はい」を選択します。
4. 認証コード（4桁）を入力→≪OK≫

データを一括受信する

1. ≪メニュー≫→「設定」→「外部接続」→「赤外線通信」→「On/Off」の「On」
   - Bluetooth® を「On」に設定しているときは、解除の確認メッセージが表示されます。赤外線通信を起動するには「はい」を選択します。
   - データ受信の待機状態になります。
2. 相手側機器から3分以内にデータを送信
3. 着信ができなくなる旨の確認メッセージが表示されたら「はい」
4. 認証コード（4桁）を入力→≪OK≫
   - 送信側と同じ認証コードを入力してください。
5. 登録方法の選択操作

   ■ 追加登録するとき

   「新規追加」

   ■ すべてのデータを削除して登録するとき

   「上書き」→「はい」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫
   - 電話帳を受信した場合は、お客様のオーナー情報以外の電話帳は消去されます。オーナー情報が送信されてきたときは、電話番号以外の情報はすべて上書きされます。
   - 受信を中止するときは≪キャンセル≫をタップします。
   - 受信を強制終了するときは [終話] を押します。

使いこなしチェック！

設定

- 赤外線通信を設定／解除する（☞P.13-30）
- データを一括送信する（☞P.13-30）

通信／バックアップ

12

Bluetooth®を利用する

930SCなどBluetooth®対応の携帯電話や、他のBluetooth®対応機器と無線で接続し、データの送受信ができます。ハンズフリー機器と接続すれば、930SCを手もとで操作することなく通話できます。ダイヤルアップ接続機器と接続して、インターネットなどにアクセスすることもできます。

Bluetooth®通信をご利用になる前に

Bluetooth®通信を利用するには、相手機器もBluetooth®対応機器であり、同じプロファイルに対応している必要があります。
930SCのBluetooth®の仕様は次のとおりです。

項　目	仕　様
通信方式	Bluetooth®標準規格 Ver.2.0
対応プロファイル	Headset Profile Hands-Free Profile Serial Port Profile Dialup Networking Profile File Transfer Profile Object Push Profile Advanced Audio Distribute Profile Audio/Video Remote Control Profile Basic Imaging Profile[1] Basic Printing Profile Generic Access Profile Service Discovery Protocol Generic Object Exchange Profile
出力	Bluetooth® Power Class1
見通し通信距離[2]	約20 m以内
使用周波数帯	2.4 GHz
Bluetooth® QD ID	B014386

1　930SC ではプリント関連機能のみ対応しています。
2　相手機器との間の障害物や電波状況などによって変化します。

Bluetooth®利用時のご注意

- 930SCはすべてのBluetooth®機器との無線接続を保証するものではありません。
- 相手機器がBluetooth®標準規格に適合していても、相手機器の特性や仕様によっては接続できなかったり、操作方法や表示、動作などが異なったり、データの送受信ができなかったりすることがあります。
- Bluetooth®対応機器が使用する電波帯（2.4GHz）は、いろいろな機器が共有して使用する電波帯です。このため、他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下したり、通信が切断されることがあります。
- ワイヤレス通話やハンズフリー通話をするときに、接続機器や通信環境により、雑音が入ることがあります。
- Bluetooth®対応のステレオヘッドフォンに接続して音楽を聴いている場合は、他の機器に接続することはできません。
- USB機能とBluetooth®機能は同時に利用できません。
- 930SCにUSBケーブルを接続するときは、Bluetooth®機能を「Off」にする必要があります。

Bluetooth®機能を利用してデータを送受信する

電話帳、オーナー情報、カレンダーのスケジュール、予定リスト、静止画、動画、音声ファイル、音楽ファイルなどを送受信できます。
また、電話帳、カレンダー、ブックマークを一括で送受信できます。

Bluetooth®機能を設定／解除する

1 ≪メニュー≫→「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」

2 ≪On≫／≪Off≫

- 赤外線通信を「On」に設定しているときは、解除の確認メッセージが表示されます。Bluetooth®を起動するには「はい」を選択します。

- 「On」に設定すると、ディスプレイ最上段に が表示され、Bluetooth®対応機器と接続できるようになります。

Bluetooth®対応機器を検索して登録する

接続したいBluetooth®対応機器を登録済みデバイスリストに登録します。最大10件登録できます。登録時には、930SCと相手機器とで同じ認証コードを入力する必要があります。
あらかじめ、相手機器のBluetooth®機能を有効にしてから操作してください。

1 ≪メニュー≫→「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」

2 ≪デバイス検索≫

- Bluetooth® 機能が「Off」のときは「はい」を選択します。

3 検索に応答した機器が表示されたら、登録する機器をタップし、選択されたことを確認後ドラッグして「930SC」アイコンへドロップ

4 認証コード（4～16桁）を入力→≪OK≫

5 相手機器側で30秒以内に同じ認証コードを入力

- 相手機器と接続が完了し、相手機器のデータを参照したり取得したりできる状態になります。

- 認証コードは、Bluetooth®対応機器どうしが接続するためのパスワード（4～16桁）です。相手がハンズフリー機器などの場合は、ハンズフリー機器側で決められている認証コードを入力します。一度登録した機器は次回からは認証コードの入力が不要になります。
- 相手機器との認証が正常に行われなかったときは、もう一度認証を行うかどうかの確認メッセージが表示されます。行うときは「はい」を選択して操作4からやり直してください。
- 登録済みデバイスがすでに10件登録されているときは、一番古いデバイスが削除され、新たに登録できます。すべてが認証済みの場合は、登録済みのデバイスがいっぱいである旨のメッセージが表示されます。
- デバイスのアイコン
  - ：パソコン
  - ：携帯電話
  - ：その他
  - ：プリンタ
  - ：ハンズフリー機器／ヘッドセット

- 他のBluetooth®対応機器から接続要求がある旨の確認メッセージが表示されたときは、「はい」を選択し、30秒以内に相手側と同じ認証コードを入力します。すでに登録済みのハンズフリー機器などから接続要求があったときは、「はい」を選択すると認証コードの入力操作なしで接続できます。

接続したデバイスのデータを参照する

相手デバイスの共有フォルダや共有ファイルを参照できます。参照している側からの操作で、データやフォルダを受信したり、削除したりすることもできます。

1. ≪メニュー≫→「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」
2. 登録済みデバイスのアイコンをタップ→「ブラウザデバイス」
3. 参照される側で接続の承認操作

データを送信する

1. データの送信操作

■ データフォルダ、カレンダーのスケジュール、ブックマークからデータを送信するとき

一覧画面で≪その他≫→「送信」→「Bluetooth」→送信したいデータをチェック→≪送信≫→確認メッセージが表示されたときは「はい」

■ 電話帳、予定リストからデータを送信するとき

一覧画面で≪送信≫→「Bluetooth」→送信したいデータをチェック→≪送信≫→確認メッセージが表示されたときは「はい」

2. 送信先のデバイスをタップし、選択されたことを確認後ドラッグして「930SC」アイコンへドロップ

- 受信側が通信を承認すると、送信が始まります。
- 送信先が登録されていないときは、周辺デバイスを検索し、登録します。

- 機能によっては、詳細画面や再生画面のメニューからも送信できます。

データを1件ずつ受信する

送信側からの接続を承認すると受信が開始され、データが保存されます。

1. データ交換の確認メッセージが表示されたら「はい」
2. データ受信の確認メッセージが表示されたら「はい」

- 絵文字ファイルを受信するときは、保存先を「ピクチャー」/「マイ絵文字」から選択します。

- フォルダを受信したときは、すべてデータフォルダの「その他ファイル」フォルダに保存されます。
- vCardに着信画像が含まれる場合、着信画像のサイズが100Kバイトを超えると画像を削除して電話帳に登録します。

データを一括送信する

1 **≪メニュー≫→「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」→≪全件データ送信≫**

2 **送信先のデバイスをタップし、選択されたことを確認後ドラッグして「930SC」アイコンへドロップ→操作用暗証番号を入力→≪OK≫**

- 送信先が登録されていないときは、周辺デバイスを検索し、登録します。

3 **「電話帳」／「カレンダー」／「ブックマーク」**

- 電話帳を選択した場合に、画像データを転送するときは、「はい」を選択します。

データを一括受信する

1 **≪メニュー≫→「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」→≪On≫**

- 赤外線通信を「On」に設定しているときは、解除の確認メッセージが表示されます。Bluetooth®を起動するには「はい」を選択します。
- データ受信の待機状態になります。送信側からデータを送信してください。

2 **データ交換の確認メッセージが表示されたら「はい」**

3 **登録方法の選択操作**

■ 追加登録するとき

「追加」

■ すべてのデータを削除して登録するとき

「上書き」→「はい」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫

- 電話帳を受信した場合は、お客様のオーナー情報のみ消去されません。オーナー情報が送信されてきたときは、電話番号以外の情報はすべて上書きされます。
- 受信を中止するときは≪キャンセル≫をタップします。
- 受信を強制終了するときはを押します。

ステレオヘッドフォンなどで音楽を聴く

メディアプレイヤーの再生音をBluetooth®対応のステレオヘッドフォンやヘッドセットに接続して聴くことができます。

1 **メディアプレイヤーでミュージックまたはムービーを再生**

2 **≪ヘッドフォンに接続≫**

3 **接続先のデバイスをタップし、選択されたことを確認後ドラッグして「930SC」アイコンへドロップ**

- 接続先が登録されていないときは、周辺デバイスを検索し、登録します。

- ミュージック再生中に音声出力をヘッドフォンから930SCに切り替えるには、≪本体で聴く≫をタップします。

使いこなしチェック！

便利 ☞P.12-15
- 接続したデバイスのデータを削除したい
- 個別に周辺デバイスを検索したい

設定
- Bluetooth®機能を設定／解除する（☞P.13-29）
- Bluetooth®対応機器を検索して登録する（☞P.13-29）
- 電話帳、カレンダー、ブックマークをそれぞれ一括送信する（☞P.13-29）
- 930SCの表示名を編集する（☞P.13-29）
- 930SCの機器アドレスを確認する（☞P.13-29）
- 他のBluetooth®機器から検索／登録する（☞P.13-29）
- データ転送時の認証を設定する（☞P.13-30）
- ハンズフリー機器接続時の通話の開始方法を設定する（☞P.13-30）
- 着信時の応答方法を設定する（☞P.13-30）
- 利用できるBluetooth®の機能を確認する（☞P.13-30）

USB接続について

930SCをUSBケーブルでパソコンと接続し、データを送受信することができます。プリンタと接続して静止画を印刷することもできます。
930SCはUSB2.0に対応しています。

USB接続をご利用になる前に

930SCをUSBケーブルでパソコンと接続する前に、USBドライバとSamsung PC Studioをインストールする必要があります。インストール手順やご利用いただけるパソコンの動作環境などについてはSAMSUNGホームページ（http://jp.samsungmobile.com/pc/lineup/930download.html）でご確認ください。

パソコンに接続する

次のような操作ができます。

- パソコン側からの操作で930SCのデータフォルダのファイルを転送する
- パソコン側から送信されたファイルを受信し、データフォルダに保存する
- パケット通信をする

注意

- **携帯電話とパソコンやPDAを接続してインターネットをご利用いただく場合（モバイルデータ通信）は、短期間で大量のパケット通信が行われることが多く、パケット通信料が高額となる可能性がございます。ご利用される場合は、通信料をご確認いただきながらご利用いただくことをおすすめします。**

メモリカードバックアップについて

930SCでは、電話帳などのデータをメモリカードへバックアップ(一括保存)できます。バックアップしたデータはあとで読み込み(一括復元)できます。

- あらかじめバックアップしておけば、大事なデータを誤って消してしまったときでも、あとで復元できます。
- データの種類ごとに1つのバックアップファイルとして保存されます(転送日のファイル名が付きます)。
- バックアップできるデータの種類は次のとおりです。
  - 電話帳
  - カレンダー
  - 予定リスト
  - コンテンツ・キー
  - ブックマーク

- バックアップは、個人データの保存や同機種間(メモリカード対応機)での情報共有、または機種交換時の個人データの移動などの目的で行うことをおすすめします。

メモリカードバックアップ時のご注意

- 電池残量が少ないときは、利用できません。
- バックアップやデータ読み込み中は、電話やメールは利用できません(着信もできません)。
- データの内容によっては、バックアップできないことがあります。また、バックアップしたデータの内容によっては、他のソフトバンク携帯電話やパソコンなどで利用できないことがあります。
- 930SCまたはメモリカードの空き容量が少ないときは、バックアップが正常に行えないことがあります。
- 930SCに保存できる予定/用件は、カレンダーと予定リストを合わせて最大200件です。メモリカードからの読み込み中、200件に達すると、確認メッセージが表示され、超過分は登録されません。
- バックアップ時、ブックマークのデータは、Yahoo!ケータイ、PCサイトブラウザのブックマークのデータをバックアップします。
- バックアップしたブックマークのサイズが大きいとき、データ形式によっては正しく読み込めないことがあります。
- 電話帳のバックアップ時、電話帳に設定した画像のサイズによっては、バックアップデータに含まれないことがあります。
- メモリカードにバックアップファイルとして保存されたあとは、メモリカードから読み込むまでは、930SCでデータの内容を確認できません。
- コンテンツ・キーをバックアップするときは、次の点にご注意ください。
  - コンテンツ・キーのバックアップファイルは1つしか保存できないため、再度別のコンテンツ・キーをバックアップすると、前回のバックアップファイルは確認メッセージが表示されて上書きされます(前回バックアップしたファイルを残したいときは、メモリカードからコンテンツ・キーのバックアップファイルを930SCへ読み込んだあと、あらためてバックアップの操作を行ってください)。
  - メモリカードへバックアップ時、コンテンツ・キーは930SCからメモリカードへ移動するため、コンテンツ・キーを移動したファイルは使用できなくなります。
  - 930SCへ読み込み時、コンテンツ・キーは、930SC内のコンテンツ・キーを上書きせず、追加します。

メモリカードにバックアップする

1. ≪メニュー≫→「設定」→「メモリ設定」→「メモリカード」
2. ≪メモリカードへ保存≫
3. 「はい」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫
4. 「電話帳」／「カレンダー」／「予定リスト」／「コンテンツ・キー」／「ブックマーク」
5. 確認メッセージが表示されたら「はい」
   - バックアップを中止するときは≪キャンセル≫をタップします。
   - 「コンテンツ・キー」を選択した場合に、メモリカードに以前バックアップした「コンテンツ・キー」のバックアップファイルがあるときは、上書きをするかどうかの確認メッセージが表示されます。上書きをするには「はい」を選択します。

メモリカードから読み込む

1. ≪メニュー≫→「設定」→「メモリ設定」→「メモリカード」
2. ≪メモリカードから読込み≫
3. 「はい」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫
4. 「電話帳」／「カレンダー」／「予定リスト」／「コンテンツ・キー」／「ブックマーク」
5. ファイルを選択
   - バックアップファイルを削除するときは、≪削除≫→削除したいファイルをチェック→≪削除≫→「はい」をタップします。
6. 「追加」／「上書き」
   - 復元を中止するときは≪キャンセル≫をタップします。

使いこなしチェック！

設定

- メモリのバックアップをとる（☞P.13-31）
- バックアップしたデータから復元する（☞P.13-31）

カードリーダーモードを利用する

メモリカードを取り付けた状態の930SCとパソコンをUSBケーブルで接続することで、パソコンからメモリカードにアクセスしてデータの読み書きができます。

パソコンに接続する

1. ≪メニュー≫→「設定」→「外部接続」→「USB 接続モード」→「カードリーダーモード」→「はい」
2. 操作用暗証番号を入力→≪OK≫
3. 930SC とパソコンを USB ケーブルで接続
4. パソコンからデータを読み書き

- S!メールの受信中やSamsung PC Studioの利用中、S!ともだち状況で「わたしの状況」が「オンライン」になっている場合などは、カードリーダーモードはご利用になれません。
- カードリーダーモードでの利用中は、通話やメッセージの受信などができません。

パソコンから取り外す

1. パソコンでハードウェアデバイスの取り外し操作
2. 接続中に≪終了≫
3. USBケーブルの取り外し

注意

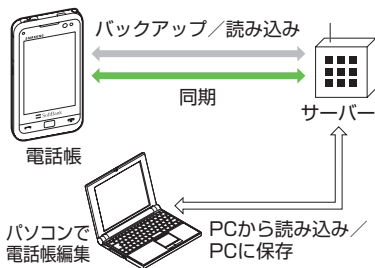
- **ハードウェアデバイスの取り外し操作を行うまでは、絶対にUSBケーブルを抜かないでください。**

使いこなしチェック！

設定

- カードリーダーモードを起動する（☞P.13-30）
- MTP通信モードを起動する（☞P.13-30）

S! 電話帳バックアップを利用する

S!電話帳バックアップとは、930SC本体の電話帳をサーバーにバックアップしたり、930SC本体の電話帳とサーバー内の電話帳の同期をとる（同じ状態にする）ことができるサービスです。930SCの破損時や紛失時の備えとして、便利にお使いいただけます。

- S! 電話帳バックアップのご利用には、別途お申し込みが必要です（有料）。
- 機種変更をしても、他のS!電話帳バックアップ対応機で電話帳を引き継ぐことができます。

注意

- **S!電話帳バックアップのご利用時（バックアップ／読み込み、同期）には、パケット通信料が発生します。**

S!電話帳バックアップ利用時のご注意

●次の項目はS!電話帳バックアップで同期できません。「サーバから読み込み」を行うと、930SC本体の電話帳の設定が失われますので、ご注意ください。
- フォト
- 着信音設定、バイブ設定（音声着信／TVコール着信／メール着信／S!ともだち状況）
- 血液型
- 趣味

●バックアップ／読み込みのタイミングや同期の方向にご注意ください。
- 930SC本体の電話帳をすべて削除したあと「通常同期」、「本体変更データ送信」、「サーバへバックアップ」を行うと、サーバー内の電話帳もすべて削除されます。
- サーバー内の電話帳をすべて削除したあと「通常同期」、「サーバ変更データ受信」、「サーバから読み込み」を行うと、930SC本体の電話帳もすべて削除されます。

●電話番号など、複数登録できる項目の登録可能件数が、930SC本体（または機種変更後の機種）とサーバーとで異なる場合に、同期を行うと、両方とも少ない方の件数に統一されます。

●機種変更時のサービスの継続については、次のとおりです。

内容		説明
3Gシリーズ		
	S!電話帳バックアップ対応	サーバー内の電話帳は保持され、そのままお使いいただけます。
	S!電話帳バックアップ非対応	S!電話帳バックアップの契約は継続され、サーバー内の電話帳は保持されます。ただし、携帯電話からの操作はできません（パソコンからの操作だけになります）。
V3、V4、V5、V6、V8シリーズ		
	S!電話帳バックアップは自動的に解約され、サーバー内の電話帳は削除されます。	

●S!電話帳バックアップを解約すると、サーバー内の電話帳は削除されます。

同期モードについて

同期モードの種類は次のとおりです。

同期モード	説明
通常同期	930SCの電話帳更新情報のバックアップ、サーバー上の電話帳の更新情報読み込みを同時に行います。[1]
本体変更データ送信	930SCの電話帳更新情報をバックアップします。[2]
サーバ変更データ受信	サーバー上の電話帳更新情報を読み込みます。[3]
サーバへバックアップ	既存のサーバー上の電話帳をすべて消去し、新たに930SCの電話帳をすべてバックアップします。[4]
サーバから読み込み	既存の930SCの電話帳をすべて消去し、新たにサーバー上の電話帳をすべて読み込みます。ただし、930SCの電話帳が保存できる件数以上は読み込めません。サーバー上の電話帳で編集を行った日付が新しい順に930SCの電話帳に読み込まれます。[5]

1 930SC本体の電話帳とサーバー上の電話帳で同じフィールドを更新していた場合は、基本的にサーバー上の電話帳更新情報を優先します。
2 サーバー上の電話帳更新情報は930SC本体へは反映されません。
3 930SC本体の電話帳更新情報はサーバー上の電話帳へは反映されません。
4 サーバー上の電話帳はすべて消去されますので、ご注意ください。
5 930SC本体の電話帳はすべて消去されますので、ご注意ください。

- 初めて利用する場合や、前回の同期が途中でキャンセルされるなど正常に終了しなかったあとに同期を行った場合は、設定にかかわらず「全部同期」が行われます。「全部同期」の動作は「通常同期」と同じです。「全部同期」が行われたかどうかは、同期ログの同期タイプ欄で確認できます。

電話帳の同期を行う

サーバーで管理している電話帳に接続して、930SC本体の電話帳との違いを補い合うことができます。

1. ≪メニュー≫→「電話帳」→「S!電話帳バックアップ」→「同期開始」
2. 操作用暗証番号を入力→≪OK≫
3. 「通常同期」/「本体変更データ送信」/「サーバ変更データ受信」/「サーバへバックアップ」/「サーバから読み込み」→「はい」→「OK」

注意

- 同期を開始すると、ネットワークに接続します。ネットワークの接続中は通信料が発生します。同期が終了すると、自動的にネットワークの接続を解除します。

電話帳の自動同期設定を行う

「自動同期設定」を「On」に設定すると、同期頻度と同期モードを設定する必要があります。

自動同期を設定する

1. ≪メニュー≫→「電話帳」→「S!電話帳バックアップ」→「自動同期設定」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫
2. 「On/Off設定」の「On」/「Off」
3. 「同期モード」
4. 「通常同期」/「本体変更データ送信」/「サーバ変更データ受信」/「サーバへバックアップ」/「サーバから読み込み」
5. 「同期頻度」

6 設定の選択操作

■ 月に1回バックアップするとき
プルダウンメニューから「毎月」→時刻欄をタップ→時刻を入力→日付欄をタップ→日付を入力

■ 週に1回バックアップするとき
プルダウンメニューから「毎週」→時刻欄をタップ→時刻を入力→曜日欄をタップ→曜日を選択

■ 電話帳編集10分後にバックアップするとき
プルダウンメニューから「電話帳編集後」

7 ≪保存≫

使いこなしチェック！

便利 ☞P.12-16
● S!電話帳バックアップの履歴を削除したい

便利

Bluetooth® に関する便利な機能

接続中のデバイスを解除したい
≪メニュー≫→「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」→登録済みデバイスのアイコンをタップ→「回線切断」

接続したデバイスのデータを取得したい
≪メニュー≫→「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」→登録済みデバイスのアイコンをタップ→「ブラウザデバイス」→参照される側で接続の承認操作

■ ファイルを1件取得するとき
ファイルの保存場所を選択→取得したいファイルを選択

■ サブフォルダ／ファイルを複数取得するとき
ファイルの保存場所を選択→≪取得≫→「フォルダ」／「ファイル」→取得したいファイルをチェック→≪取得≫

■ フォルダごと取得するとき
≪取得≫→「フォルダ」→取得したいフォルダを選択

接続したデバイスのデータを削除したい [削除]
≪メニュー≫→「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」→登録済みデバイスのアイコンをタップ→「ブラウザデバイス」→参照される側で接続の承認操作→フォルダを選択→≪削除≫→削除したいファイルをチェック→≪削除≫→参照される側で削除の承認操作

接続したデバイスの内容を確認したい
≪メニュー≫→「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」→確認したいデバイスのアイコンをタップ→「デバイス情報」

接続したデバイスの登録名を編集したい
≪メニュー≫→「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」→デバイス名を変更したいデバイスのアイコンをタップ→「デバイス名変更」→デバイス名を編集

接続したデバイスの認証を設定したい
≪メニュー≫→「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」→認証設定したいデバイスのアイコンをタップ→「デバイス認証」／「デバイス認証拒否」
- 「デバイス認証」時に操作すると、「デバイス認証拒否」になります。

接続したデバイスを削除したい

≪メニュー≫→「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」→削除したいデバイスのアイコンをタップ→「削除」→「はい」

個別に周辺デバイスを検索したい

[デバイス別検索]

≪メニュー≫→「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」→≪その他≫→「デバイス別検索」→項目を選択

- 「Bluetooth アドレス」を選択したときは、アドレスを入力します。

便利

S!電話帳バックアップに関する便利な機能

S!電話帳バックアップの履歴を確認したい

≪メニュー≫→「電話帳」→「S!電話帳バックアップ」→「同期ログ」→ログを選択

S!電話帳バックアップの履歴を削除したい

[削除]

≪メニュー≫→「電話帳」→「S!電話帳バックアップ」→「同期ログ」→≪削除≫→削除したい履歴をチェック→≪削除≫

カスタマイズ

13

設定

メールの設定

Eメールアドレスに関する設定

Eメールアドレスを変更する	≪メール≫→「設定」→「メール・アドレス設定」→画面の指示に従って操作 ●パソコンなどからEメールを受信するときに使用するEメールアドレスのアカウント名（@より前の部分）を変更できます。ご契約時のアカウント名は、ランダムな英数字に設定されています。

S!メール、SMSに関する共通の設定

共通操作 ≪メール≫→「設定」→「一般設定」

文字サイズを設定する お買い上げ時 標準	「文字サイズ」→項目を選択
メッセージ画面で本文をスクロールする単位を設定する お買い上げ時 1行	「スクロール単位」→項目を選択
ナビゲーションバーを表示するかどうかを設定する お買い上げ時 表示する	「ナビゲーションバー」→項目を選択
配信レポートの送信を設定する お買い上げ時 Off	「配信確認」の「On」／「Off」 ●「On」に設定すると、メールサーバーからメールが相手に送信されたときに、配信レポートがお客様の930SCに送信されます。
署名を設定する お買い上げ時 挿入しない	「署名設定」→「自動挿入」→項目を選択
署名を編集する	「署名設定」→「署名編集」→署名を入力

受信ボックスのメールの自動削除を設定する お買い上げ時 On（自動削除）	「自動削除設定」→「受信ボックス」→項目を選択 ●受信ボックスのメモリ容量がいっぱいになったときに、メールを自動的に削除するかどうかを設定できます。 ●設定内容は次のとおりです。 「On（自動削除）」：メール受信時に、日時の古いメールから順に自動的に削除されます（保護されたメールを除く）。自動削除ができない場合はメッセージが表示されるので、不要なメールを削除してから再度受信します。 「Off」：メール受信時にメッセージが表示されます。メッセージに従って不要なメールを削除してから再度受信します。
送信済みボックスのメールの自動削除を設定する お買い上げ時 On（自動削除）	「自動削除設定」→「送信済みボックス」→項目を選択 ●送信済みボックス、または未送信ボックスのメモリ容量がいっぱいになったときに、メールを自動的に削除するかどうかを設定できます。 ●設定内容は次のとおりです。 「On（自動削除）」：メール送信時に、日時の古いメールから順に自動的に削除されます（保護されたメールを除く）。ただし、未送信ボックスがいっぱいのときや自動削除できない場合はメッセージが表示されるので、不要なメールを削除してから再度送信します。 「Off」：送信時にメッセージが表示されます。メッセージに従って不要なメールを削除してから、再度送信します。
送信中の進行状況表示を設定する お買い上げ時 表示する	「メール送信中画面」→「メール送信中」→項目を選択
送信の進行状況を表示しない場合の送信の結果表示を設定する	「メール送信中画面」→「送信結果通知」→項目を選択 ●「メール送信中」を「表示しない」に設定している場合に設定できます。
受信の通知を設定する お買い上げ時 From	「メール受信通知」→「表示内容」→項目を選択 ●待受画面以外を表示中にメールを受信したときに、ディスプレイ最上段にスクロール表示される通知の内容が設定できます。

シークレット設定を設定したフォルダの受信通知を設定する お買い上げ時 通知する	「メール受信通知」→「シークレットフォルダ着信」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→「シークレットフォルダ着信」→項目を選択 ●「通知しない」に設定すると、受信ボックス内のシークレット設定を設定したフォルダにメールを受信したとき、新着メール受信の通知画面や「メール受信通知」は表示されません。
受信ボックスのメールの表示方法を設定する お買い上げ時 フォルダ表示	「受信ボックス表示設定」→項目を選択
送信済みボックスのメールの表示方法を設定する お買い上げ時 フォルダ表示	「送信済みボックス表示設定」→項目を選択
メッセージのデルモジ表示を設定する お買い上げ時 常に表示	「デルモジ表示設定」→「自動再生」→項目を選択 ●設定内容は次のとおりです。 「常に表示」：メッセージを確認するときに常にデルモジ表示する 「未読のみ表示」：未読メールのメッセージを確認するときのみデルモジ表示する 「表示しない」：デルモジ表示しない ●初めて受信メールを確認したときは確認メッセージが表示され、「自動再生」の動作を設定することができます。
デルモジ表示の文字色と背景色のパターンを設定する お買い上げ時 ランダム変更	「デルモジ表示設定」→「文字色・背景色」→◀／▶で目的のパターンを表示→≪OK≫
デルモジ表示の表示速度を設定する お買い上げ時 標準	「デルモジ表示設定」→「表示速度」→項目を選択

S!メールに関する設定

共通操作 ≪メール≫→「設定」→「S!メール設定」

送信メールの優先度を設定する お買い上げ時 標準	「送信オプション」→「優先度」→項目を選択
送信メールのメールサーバーへの保存期間を設定する お買い上げ時 最大	「送信オプション」→「有効期限」→項目を選択 ●設定した保存期間が経過すると、メールサーバーからS!メールが自動的に削除されます。
送信メールをメールサーバーから相手に配信する時間を設定する お買い上げ時 指定なし	「送信オプション」→「配信時間指定」→項目を選択 ●設定した期間が経過すると、メールサーバーからS!メールが送信されます。
S!メールの受信方法を設定する お買い上げ時 自動受信	「受信設定」→「国内での自動受信」→項目を選択 ●設定内容は次のとおりです。 「自動受信」:自動的に受信する 「電話番号のみ自動」:電話番号を使って送られたS!メールのみ受信する 「手動取得」:受信通知のみを受信する
ローミング中に受信するS!メールの受信方法を設定する お買い上げ時 自動受信	「受信設定」→「ローミング自動受信」→項目を選択 ●設定内容は次のとおりです。 「自動受信」:自動的に受信する 「手動取得」:受信通知のみを受信する ●「自動受信」に設定すると、添付ファイルを含む全文が自動受信され、海外でのメール通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。
返信先を設定する お買い上げ時 Off	「返信先指定」の「On」/「Off」 ●設定内容は次のとおりです。 「On」:「返信先アドレス設定」で設定したアドレスに返信されます。 「Off」:930SCのアドレスに返信されます。 ●930SCからEメールアドレス宛のメールを送り、受信した相手が返信する際の宛先を設定できます。
返信先アドレスを設定する	「返信先アドレス設定」→項目を選択→アドレスの登録操作
フィーリングメールを受信したときの着信ライトの有無を設定する お買い上げ時 On	「フィーリングメール連動設定」→「ライト色」→「On/Off」の「On」/「Off」

フィーリングメールを受信したときの着信ライトの色を設定する お買い上げ時 Happy／うれしい：ピンク、OK/Good：グリーン、悲しい／ごめんね：ブルー、NG/Bad：レッド、重要／注目：イエロー	「フィーリングメール連動設定」→「ライト色」→「ライト色」→感情を選択→色を選択 ● ▶ をタップすると着信ライトが点滅します。
フィーリングメールを受信したときのバイブレータを設定する お買い上げ時 On	「フィーリングメール連動設定」→「バイブ」→項目を選択
フィーリングメールを受信したときの着信音の有無を設定する お買い上げ時 Off	「フィーリングメール連動設定」→「着信音」→「On/Off設定」の「On」／「Off」
フィーリングメールの着信音を設定する お買い上げ時 Happy／うれしい：One Fine Day.mp4、OK/Good：Sunny Day.mp4、悲しい／ごめんね：Jazzy House_Pleasure.mp4、NG/Bad：Minimal Tone.mp4、重要／注目：On my way home.mp4	「フィーリングメール連動設定」→「着信音」→「着信音選択」→感情を選択→ファイルの保存場所を選択→着信音を選択 ● ▶ をタップするとファイルが再生されます。
フィーリングメール着信音の鳴動時間を設定する	「フィーリングメール連動設定」→「着信音」→「鳴動時間」→鳴動時間を入力
添付画像の表示方法を設定する お買い上げ時 2倍拡大表示	「画像表示設定」→項目を選択
添付画像の自動再生を設定する お買い上げ時 On	「添付ファイル自動表示」→「画像」の「On」／「Off」
添付サウンドの自動再生を設定する お買い上げ時 Off	「添付ファイル自動表示」→「サウンド」の「On」／「Off」

SMSに関する設定

共通操作 ≪メール≫→「設定」→「SMS設定」

メールサーバーへの保存期間を設定する お買い上げ時 なし	「有効期限」→項目を選択 ●設定した保存期間が経過すると、メールサーバーからSMSが自動的に削除されます。
SMSセンター番号を設定する お買い上げ時 設定1　+819066519300	「SMSセンター番号」→設定する項目を選択→センター番号を編集
文字コードを変更する お買い上げ時 英語以外	「文字コード」→項目を選択

設定

インターネットの設定

Yahoo!ケータイに関する設定

共通操作 ≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫→「設定」

設定項目	操作
情報画面に表示されるテキスト情報の文字サイズを設定する お買い上げ時 標準	「文字サイズ」→項目を選択
情報画面でのスクロール単位を設定する お買い上げ時 1行	「スクロール単位」→項目を選択
情報画面で画像を表示するかどうか設定する お買い上げ時 On	「画像・音設定」→「画像表示」の「On」/「Off」 ●「Off」に設定すると、情報画面の受信時間が短くなる場合があります。
情報画面でサウンドを再生するかどうか設定する お買い上げ時 On	「画像・音設定」→「音再生」の「On」/「Off」 ●「Off」に設定すると、情報画面の受信時間が短くなる場合があります。
情報画面のキャッシュ/Cookie/認証情報を消去する	「メモリ操作」→項目を選択→「はい」
製造番号を自動的に通知するかどうか設定する お買い上げ時 On	「セキュリティ設定」→「製造番号通知」の「On」/「Off」 ●アクセスした情報画面から携帯電話のユーザを識別するために製造番号の通知要求があったとき、自動的に製造番号を通知するかどうか設定します。
リファラーを送信するかどうか設定する お買い上げ時 送出する	「セキュリティ設定」→「Referer送出」→項目を選択
Cookieの有効/無効を設定する お買い上げ時 許可する	「セキュリティ設定」→「Cookie設定」→項目を選択
スクリプトの有効/無効を設定する お買い上げ時 ネットワークアクセス時確認	「セキュリティ設定」→「スクリプト設定」→項目を選択
ルート証明書を確認する	「セキュリティ設定」→「ルート証明書表示」→ルート証明書を選択
認証情報の保存期間を設定する お買い上げ時 ブラウズ中保持	「セキュリティ設定」→「認証情報保持設定」→項目を選択
ブラウザを初期化する	「ブラウザ初期化」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→「はい」
設定をリセットする	「設定リセット」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→「はい」

PCサイトブラウザに関する設定

共通操作 ≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫→「PCサイトブラウザ」→「PCサイトブラウザ設定」

情報画面に表示されるテキスト情報の文字サイズを設定する お買い上げ時 標準	「文字サイズ」→項目を選択
拡大／縮小時にガイドを表示するかどうかを設定する お買い上げ時 On	「ガイド表示」の「On」／「Off」
情報画面で画像を表示するかどうか設定する お買い上げ時 On	「画像・音設定」→「画像表示」の「On」／「Off」 ●「Off」に設定すると、情報画面の受信時間が短くなる場合があります。
情報画面でサウンドを再生するかどうか設定する お買い上げ時 On	「画像・音設定」→「音再生」の「On」／「Off」 ●「Off」に設定すると、情報画面の受信時間が短くなる場合があります。
情報画面のキャッシュ／Cookie／認証情報を消去する	「メモリ操作」→項目を選択→「はい」
製造番号を自動的に通知するかどうか設定する お買い上げ時 On	「セキュリティ設定」→「製造番号通知」の「On」／「Off」 ●アクセスした情報画面から携帯電話のユーザを識別するために製造番号の通知要求があったとき、自動的に製造番号を通知するかどうか設定します。
リファラーを送信するかどうか設定する お買い上げ時 送出する	「セキュリティ設定」→「Referer送出」→項目を選択
Cookieの有効／無効を設定する お買い上げ時 許可する	「セキュリティ設定」→「Cookie設定」→項目を選択
スクリプトの有効／無効を設定する お買い上げ時 On	「セキュリティ設定」→「スクリプト設定」→項目を選択
ルート証明書を確認する	「セキュリティ設定」→「ルート証明書表示」→ルート証明書を選択
認証情報の保存期間を設定する お買い上げ時 ブラウズ中保持	「セキュリティ設定」→「認証情報保持設定」→項目を選択
警告メッセージを表示するかどうか設定する お買い上げ時 PCサイトブラウザ起動・切替時／Yahoo!ケータイ切替時：On	「警告画面表示設定」→「PCサイトブラウザ起動・切替時」／「Yahoo!ケータイ切替時」の「On」／「Off」 ●PCサイトブラウザを起動したとき、またはYahoo!ケータイとPCサイトブラウザを切り替えたときに警告メッセージを表示するかどうか設定できます。

ブラウザを初期化する	「ブラウザ初期化」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→「はい」
設定をリセットする	「設定リセット」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→「はい」

S!情報チャンネルに関する設定

共通操作 ≪メニュー≫→「エンタテイメント」→「S!情報チャンネル／お天気」→「お天気アイコン」→「設定」

お天気アイコンが更新されたときに通知するかどうかを設定する お買い上げ時 On	「天気予報通知設定」の「On」／「Off」
お天気アイコンを自動的に更新するかどうかを設定する お買い上げ時 On	「アイコン更新設定」の「On」／「Off」

設定

メディアプレイヤーの設定

ミュージックに関する設定

共通操作 ≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「設定」→「ミュージック」

設定項目	操作
再生パターンを設定する お買い上げ時 全てリピート	「再生パターン設定」→項目を選択 ●1ファイルを繰り返し再生したり、すべてのミュージックやプレイリスト内のすべてのファイルをランダム再生したり、繰り返し再生するように設定できます。
サウンドエフェクトを設定する お買い上げ時 Off	「サウンドエフェクト設定」→項目を選択 ●Bluetooth®対応ステレオヘッドフォンを利用して聴いているときは使用できません。
立体的な音響効果を設定する お買い上げ時 Off	「3Dサウンド」の「On」／「Off」 ●Bluetooth®対応ステレオヘッドフォンを利用して聴いているときは使用できません。

ムービーに関する設定

共通操作 ≪メニュー≫→「メディアプレイヤー」→「設定」→「ムービー」

設定項目	操作
再生パターンを設定する お買い上げ時 全てリピート	「再生パターン設定」→項目を選択 ●1ファイルを繰り返し再生したり、すべてのムービーやプレイリスト内のすべてのファイルをランダム再生したり繰り返し再生するように設定できます。
バックライトを設定する お買い上げ時 常時On	「バックライト」→項目を選択
縦画面の表示サイズを設定する お買い上げ時 480＊360	「縦画面表示サイズ」→項目を選択
横画面の表示サイズを設定する お買い上げ時 全画面（ノーマル）	「横画面表示サイズ」→項目を選択
サムネイル表示を設定する お買い上げ時 On	「サムネイル表示」の「On」／「Off」
リンク情報を持つファイルの再生後にリンク先に接続するかどうか設定する お買い上げ時 On	「リンク接続事前確認設定」の「On」／「Off」 ●「On」に設定すると、リンク情報を持ったファイルの再生終了後にリンク先に接続するかどうかの確認メッセージが表示されます。

設定

カメラの設定

静止画撮影／動画撮影に関する共通の設定

共通操作 （2秒以上）→→「一般」タブをタップ

手振れ補正を設定する　お買い上げ時 Off	「手振れ補正」の「On」／「Off」 ●ワイドダイナミックレンジが「On」に設定されているときは、手振れ補正を設定できません。
オートフォーカスを設定する　お買い上げ時 On	「オートフォーカス」→項目を選択 ●「On（顔フォーカス）」に設定すると、自動的に顔の位置を認識しピントを合わせます。最大11人まで認識できます。顔として認識されると黄色い枠（2つ目以降は灰色の枠）が表示されます。 ●「On（顔フォーカス）」は、通常撮影でのみ設定できます。また、シーン撮影（ポートレイト）では、オートフォーカスを「On」に設定していると自動的に顔フォーカス機能が働きます。
自動保存を設定する　お買い上げ時 Off	「自動保存設定」の「On」／「Off」 ●「On」に設定すると、保存の操作をしなくても、撮影後自動で保存されます。
コントラストを設定する　お買い上げ時 0	「コントラスト」→項目を選択
彩度を設定する　お買い上げ時 0	「彩度」→項目を選択
シャープネスを設定する　お買い上げ時 0	「シャープネス」→項目を選択

静止画撮影に関する設定

共通操作 （2秒以上）→→「カメラ」タブをタップ

画質を設定する　お買い上げ時 ノーマル	「画質設定」→項目を選択
ISOを設定する　お買い上げ時 自動	「ISO」→項目を選択
測光モードを設定する　お買い上げ時 標準	「測光」→項目を選択

ワイドダイナミックレンジを設定する お買い上げ時 Off	「ワイドダイナミックレンジ」の「On」/「Off」 ●「On」に設定すると、逆光や明暗差の激しい場合に被写体が白く飛んでしまったり、黒くつぶれてしまうのを自動で調整します。 ●手振れ補正が「On」に設定されているときは、ワイドダイナミックレンジを設定できません。
保存先を設定する お買い上げ時 本体	「保存先設定」→項目を選択 ●撮影画像を「メール」、「Wide S」の各サイズに設定している場合は、「デジタルカメラ」は選択できません。 ●メモリカードを取り付けているときのデータの保存先を設定できます。 ●メモリカードが取り付けられていないときに、「メモリカード」/「デジタルカメラ」/「毎回確認」に設定している場合は、保存先は自動的に930SC本体になります。
グリッド線の表示を設定する お買い上げ時 Off	「補助グリッド」の「On」/「Off」
顔リンク表示を設定する お買い上げ時 Off	「顔リンク表示」の「On」/「Off」 ●「On」に設定して撮影後に顔が認識されると、顔リンクで登録された名前が表示されます。
シャッター音を設定する お買い上げ時 パターン1	「シャッター音」→項目を選択

動画撮影に関する設定

共通操作 (2秒以上)→ →「ビデオ」タブをタップ

画質を設定する お買い上げ時 エコノミー	「画質設定」→項目を選択
保存先を設定する お買い上げ時 本体	「保存先設定」の「本体」/「メモリカード」 ●メモリカードを取り付けていないときは、自動的に930SC本体に保存されます。
グリッド線の表示を設定する お買い上げ時 Off	「補助グリッド」の「On」/「Off」

設定

テレビの設定

予約時間お知らせに関する設定

共通操作 ≪メニュー≫→「TV」→「設定」→「予約時間お知らせ」

予約通知のアラーム音を設定する お買い上げ時 Samsung Tune.mp4	「アラーム音」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択 ● ▶ をタップするとファイルが再生されます。
予約通知の音量を設定する お買い上げ時 レベル3	音量欄で音量を調節
予約時間にバイブレータでお知らせする お買い上げ時 パターン1	「バイブ」→項目を選択
予約時間にライトでお知らせする お買い上げ時 On	「ライト」の「On」／「Off」
アラームの通知時間を設定する お買い上げ時 1分前	「アラーム通知時間」→項目を選択
アラームの鳴動時間を設定する お買い上げ時 10秒	「アラーム鳴動時間」→項目を選択

データ放送に関する設定

共通操作 ≪メニュー≫→「TV」→「設定」→「データ放送」

データ放送の録画内容を設定する お買い上げ時 映像＋データ放送	「録画設定」→項目を選択
データ放送を保存するときの保存先を設定する お買い上げ時 本体メモリ	「画像保存先設定」→項目を選択
通信接続確認を設定する お買い上げ時 毎回確認	「通信接続確認」→項目を選択
製造番号を自動的に通知するかどうか設定する お買い上げ時 Off	「製造番号通知」の「On」／「Off」
放送局データを削除する	「放送局メモリ削除」→必要に応じて放送局の系列を選択→≪削除≫→削除したい項目の 🗑 →「はい」 ●全削除する場合は、≪全削除≫→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→「はい」を選択します。

テレビ画面や音に関する設定

共通操作 ≪メニュー≫→「TV」→「設定」

横画面でディスプレイ最上段に各種お知らせのアイコンを表示するかどうかを設定する お買い上げ時 On	「画面設定」→「ピクト表示設定」の「On」／「Off」
横画面で4：3の映像を拡大表示するかどうかを設定する お買い上げ時 標準	「画面設定」→「横画面表示設定」→項目を選択
縦画面で4：3の映像を拡大表示するかどうかを設定する お買い上げ時 標準	「画面設定」→「縦画面表示設定」→項目を選択
画面の明るさを設定する お買い上げ時 レベル3	「画面設定」→画面明るさ設定欄で明るさを調節 ●バックライトの明るさが「手動」に設定されているときのみ、本設定が反映されます。
番組に合わせた音質に設定する お買い上げ時 通常	「サウンド設定」→「サウンドモード設定」→項目を選択
音声切り替えを設定する お買い上げ時 主音声	「サウンド設定」→「音声言語設定」→項目を選択
音声出力を設定する お買い上げ時 イヤホン優先	「サウンド設定」→「音声出力設定」→項目を選択

録画に関する設定

録画の保存先を設定する お買い上げ時 メモリカード	≪メニュー≫→「TV」→「設定」→「録画設定」→「保存先設定」→項目を選択

テレビ視聴中の着信・アラームに関する設定

テレビ視聴中の着信・アラームの動作を設定する お買い上げ時 音声着信／TVコール着信：着信優先動作、アラーム：アラーム優先	≪メニュー≫→「TV」→「設定」→「着信時優先動作」→項目を選択→動作を選択 ●「着信優先動作」／「アラーム優先」に設定すると、テレビは一時停止になり、着信画面やアラーム画面が表示されます。 ●「着信通知動作」／「アラーム通知」に設定すると、テレビの視聴画面のままで、ディスプレイ最上段に着信やアラームのお知らせが表示され、バイブレータが振動します。電話を受ける場合は[通話キー]を押します。応答を保留する場合は[保留キー]を押します。

オートオフに関する設定

設定時間でテレビが消えるようにする お買い上げ時 Off	≪メニュー≫→「TV」→「設定」→「オートオフ設定」→「オートオフ時間設定」→項目を選択

設定

電話帳の設定

電話帳に関する設定

共通操作 ≪メニュー≫→「電話帳」→「設定」

優先的に登録される電話帳を変更する お買い上げ時 本体	「保存先設定」→項目を選択 ●「毎回確認」に設定すると、新規登録のたびに保存先の確認メッセージが表示されます。
表示される電話帳（930SC本体／USIMカード）を変更する お買い上げ時 本体	「表示切替」→項目を選択
電話帳の検索方法を切り替える お買い上げ時 あかさたな	「検索方法」→項目を選択
電話帳のバックアップをとる	「バックアップ」→「本体→USIMへ全件コピー」／「USIM→本体へ全件コピー」→「はい」

設定

音／バイブレータ／着信ライトの設定

音／バイブレータに関する設定

共通操作 ≪メニュー≫→「設定」→「音・バイブ設定」

音量を設定する お買い上げ時 音声着信／TVコール着信／メール着信／S!ともだち状況着信／着信お知らせ機能／配信確認／効果音：レベル3、S!速報ニュース：レベル0	「音量」→設定する項目の音量を調節
音声通話／TVコールの着信音を設定する お買い上げ時 音声着信：Young hopefuls.mp4、TVコール着信：Samsung Tune.mp4	「着信音」→「音声着信」／「TVコール着信」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択 ● ▶をタップするとファイルが再生されます。
電話以外の着信音を設定する お買い上げ時 A Toy Box.mp4	「着信音」→設定する項目の着信音欄をタップ→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択 ● ▶をタップするとファイルが再生されます。
電話以外の着信鳴動時間を設定する お買い上げ時 5秒	「着信音」→設定する項目の着信鳴動時間欄をタップ→時間を入力
バイブレータを設定する お買い上げ時 Off	「バイブ」→項目を選択→パターンを選択 ● ▶をタップすると、バイブレータが振動して確認できます。
タッチパネル操作時の確認音の音量とバイブレータの強度を設定する お買い上げ時 音量：レベル0、タッチ操作バイブ：レベル3	「操作音・バイブ」→設定する項目の音量／バイブレータ強度を調節
効果音を設定する お買い上げ時 ポップアップ音／通話終了音／通話中イベント通知：On、通話時間通知（毎分）／呼び出し開始音／電源On／電源Off：Off	「効果音」→設定する項目をチェック→≪保存≫

着信ライトに関する設定

共通操作 ≪メニュー≫→「設定」→「音・バイブ設定」

受信中に点滅する照明の色を設定する お買い上げ時 音声着信／TVコール着信／メール着信／S!ともだち状況着信／着信お知らせ機能／アラーム／配信確認：グリーン、S!速報ニュース：Off	「着信ライト」→項目を選択→色を選択 ●「Off」を選択すると、照明の点滅でお知らせしません。 ● ▶ をタップすると着信ライトが点滅します。
不在時に着信などがあったことをお知らせする照明の色を設定する お買い上げ時 不在着信／着信お知らせ機能：ブルー、メール着信／配信確認：グリーン、簡易留守録：ホワイト、S!ともだち状況着信：ライトブルー、アラーム：ピンク	「通知ライト」→項目を選択→色を選択 ●「Off」を選択すると、照明の点滅でお知らせしません。 ● ▶ をタップすると着信ライトが点滅します。

🔧設定

画像／文字表示の設定

画像や文字表示に関する設定

共通操作 ≪メニュー≫→「設定」→「ディスプレイ設定」

ディスプレイの壁紙の設定を変更する お買い上げ時 LightShow.jpg	「壁紙」→（➔P.2-5 ディスプレイの壁紙を設定する②）
よく使う機能をウィジェットバーに登録する お買い上げ時 17個のウィジェット（デジタル時計、アナログ時計、2ヶ国時計、お天気アイコン、壁紙設定、カレンダー、アラーム、S!ともだち状況、S!速報ニュース、お絵かきアニメ、フォトアルバム、カメラ、TV、ミュージックプレーヤー、サイコロゲーム、電話帳、Yahoo!ケータイブックマーク）	「ウィジェット設定」→登録する項目をチェック→≪保存≫ ●≪初期値に戻す≫をタップすると、お買い上げ時の設定に戻ります。 ●最大17個まで登録できます。また、ひとつもチェックされていないときは設定できません。
文字について設定する お買い上げ時 文字1	「文字タイプ」→項目を選択
メール本文の文字サイズを変更する お買い上げ時 標準	「文字サイズ」→「メール」→項目を選択
Yahoo!ケータイの情報画面の文字サイズを変更する お買い上げ時 標準	「文字サイズ」→「Yahoo!ケータイ」→項目を選択
PCサイトブラウザの情報画面の文字サイズを変更する お買い上げ時 標準	「文字サイズ」→「PCサイトブラウザ」→項目を選択
ディスプレイの明るさを調整する お買い上げ時 自動	「バックライト」→「明るさ」→「自動・手動設定」の「自動」／「手動」 ●「手動」を選択した場合は、レベル欄で明るさを調節します。
バックライト点灯時間を設定する お買い上げ時 通常点灯時間：15秒、省電力点灯時間：15秒	「バックライト」→「通常点灯時間」→項目を選択→「省電力点灯時間」→項目を選択 ●通常点灯時間を「Off」に設定すると、画面が暗くなります。 ●通常点灯時間で設定した時間を経過すると画面が暗くなり、さらに省電力点灯時間で設定した時間を経過するとディスプレイが消灯します。
事業者名の表示設定をする お買い上げ時 Off	「事業者名表示」の「On」／「Off」

設定

本体機能の設定

本体機能に関する設定

共通操作 ≪メニュー≫→「設定」→「一般設定」

ディスプレイの表示言語を切り替える お買い上げ時 日本語	「Language」→項目を選択
タイムゾーンの更新の設定をする お買い上げ時 最初に確認	「時計設定」→「日時設定」→「タイムゾーンの更新」→項目を選択→≪保存≫ ●「自動」に設定すると再起動の確認メッセージが表示され、「はい」を選択すると930SCが再起動します。 ●「タイムゾーンの更新」は、設定を変更しても動作しません。
時刻を設定する	「時計設定」→「日時設定」→「時刻」→時刻を入力→≪保存≫ ●設定しないとご利用になれない機能があります。
日付を設定する	「時計設定」→「日時設定」→「日付」→年月日を入力→≪保存≫ ●設定しないとご利用になれない機能があります。
タイムゾーンを変更する お買い上げ時 GMT+09:00	「時計設定」→「日時設定」→「タイムゾーン」→画面を左右にスクロールして目的の都市をタップ→≪保存≫→≪保存≫ ●画面上部のタブをタップしても、地域を切り替えることができます。 ●お使いの地域に合わせて日付や時刻を切り替えます。「ウィジェット設定」で「2ヶ国時計」を設定するには、あらかじめこの設定を行います。
サマータイムを設定する お買い上げ時 OFF	「時計設定」→「日時設定」→「タイムゾーン」→画面を左右にスクロールして目的の都市をタップ→OFF→≪保存≫→≪保存≫ ●サマータイムを設定すると、☀が表示されます。
日付の表示形式を変更する お買い上げ時 年／月／日	「時計設定」→「日付表示形式」→項目を選択
時刻の表示形式を変更する お買い上げ時 24時間	「時計設定」→「時刻表示形式」→項目を選択
時刻補正を設定する お買い上げ時 自動補正：On	「時計設定」→「時刻補正」→「自動補正」の「On」／「Off」 ●自動補正を行うタイミングを設定するときは、「補正タイミング」→設定する項目をチェック→≪保存≫をタップします。 ●「即時補正（手動）」をタップすると、直ちに時刻補正を行います。

オートロックを設定する　お買い上げ時 On	「オートロック」の「On」／「Off」
ユーザ辞書を登録する	「ユーザ辞書」→「辞書編集」→≪新規登録≫→語句欄をタップ→単語や文を入力→読み欄をタップ→ヨミガナを入力→≪保存≫
ユーザ辞書の登録内容を編集する	「ユーザ辞書」→「辞書編集」→編集する内容を選択→語句やヨミガナを編集→≪保存≫
ユーザ辞書の登録内容を削除する	「ユーザ辞書」→「辞書編集」→≪削除≫→削除する語句をチェック→≪削除≫→「はい」
文字入力履歴をリセットする	「ユーザ辞書」→「学習リセット」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→「はい」 ●予測候補や変換候補には、過去に変換した文字列や漢字が優先して表示されます。表示される内容を、お買い上げ時の状態に戻すことができます。
スピード検索の設定をする　お買い上げ時 Off	「スピード検索設定」の「On」／「Off」 ●「On」に設定し、電話番号入力画面で数字を入力すると、その数字のダイヤルキーに割り当てられた文字に対応する「ヨミガナ」を先頭にもつ電話番号を電話帳から検索して表示します。
サイドキー操作で応答拒否する／着信音を消す　お買い上げ時 着信拒否	「サイドキー設定」→項目を選択 ●着信中に／を1秒以上押したときの動作を設定します。
エニーキーアンサーを設定する　お買い上げ時 Off	「エニーキーアンサー」→「On」／「Off」 ●「On」に設定すると、、を除くどのボタンを押しても電話を受けられます。

タッチパネルに関する設定

タッチスクリーンの調整をする	≪メニュー≫→「設定」→「一般設定」→「タッチスクリーン調整」→≪開始≫→画面に従って「＋」を順番にタップ ●中止するときは≪キャンセル≫をタップします。

設定

セキュリティの設定

セキュリティに関する設定

共通操作 ≪メニュー≫→「設定」→「セキュリティ設定」

項目	操作
電源On時ロックを設定する お買い上げ時 Off	「電源On時ロック」の「On」/「Off」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫
パスワードロックを設定する お買い上げ時 Off	「パスワードロック」→項目を選択→操作用暗証番号を入力→≪OK≫
USIM照合を設定する お買い上げ時 Off	「USIM照合」の「On」/「Off」→USIMパスワード(4〜8桁の任意の番号)を入力→≪OK≫→必要に応じてもう一度USIMパスワードを入力→≪OK≫
顔認証機能を設定する お買い上げ時 Off	「顔認証機能」→「On/Off設定」の「On」/「Off」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫
顔認証機能のユーザ登録をする お買い上げ時 全て空き	「顔認証機能」→「ユーザ登録」→「ユーザ1」〜「ユーザ5」→画像1〜5を選択→≪撮影≫→≪撮影開始≫→≪保存≫ ●「顔認証機能」の「On/Off設定」が「Off」に設定されている場合は、顔画像保存後に「On」にするかどうかの確認メッセージが表示されます。「On」にするときは、「はい」を選択します。
顔認証時の表示を設定する お買い上げ時 プレビュー	「顔認証機能」→「ガイド設定」→項目を選択
顔認証機能のセキュリティレベルを設定する お買い上げ時 標準	「顔認証機能」→「セキュリティレベル」→項目を選択
機能別ロックを設定する お買い上げ時 ロック解除中	「機能別ロック」→ロックしたい項目をチェック→≪保存≫→操作用暗証番号を入力→≪OK≫
シークレットモードを設定する お買い上げ時 表示しない	「シークレットモード」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→項目を選択
電話帳やメールなどを消去する	「リセット」→「オールリセット」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→「はい」
設定をリセットする	「リセット」→「設定リセット」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→「はい」
PIN認証を設定する お買い上げ時 Off	「PIN認証」の「On」/「Off」→PINコードを入力→≪OK≫
PINコードを変更する	「PIN変更」→現在のPINコードを入力→≪OK≫→新しいPINコードを入力→≪OK≫→もう一度新しいPINコードを入力→≪OK≫

PIN2コードを変更する	「PIN2変更」→現在のPIN2コードを入力→≪OK≫→新しいPIN2コードを入力→≪OK≫→もう一度新しいPIN2コードを入力→≪OK≫
操作用暗証番号を変更する お買い上げ時 9999	「暗証番号変更」→現在の操作用暗証番号を入力→≪OK≫→新しい操作用暗証番号を入力→≪OK≫→もう一度新しい操作用暗証番号を入力→≪OK≫
IPサービス設定を設定する お買い上げ時 Off	「IPサービス設定」→「On」/「Off」 ●一部の機能については、IPサービス設定を「On」に設定しないと使用できない場合があります。
モバイルトラッカーを設定する お買い上げ時 Off	「モバイルトラッカー」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→「On/Off設定」の「On」→宛先欄をタップ→宛先の入力操作→「送信者名」→送信者名を入力→≪保存≫→表示内容を確認→≪同意≫/≪拒否≫

設定

通話の設定

通話に関する設定

共通操作 ≪メニュー≫→「設定」→「通話設定」

呼び出し時間なしで留守番電話サービスを開始する	「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「留守番On」→「呼出なし（0秒）」
呼び出し時間を設定して留守番電話サービスを開始する	「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「留守番On」→「呼出あり（5-30秒）」→項目を選択
転送電話サービスを設定する	「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「転送On」→通話の種類を選択→設定を選択→項目を選択→転送先の設定操作 ●「呼出あり（5-30秒）」を選択した場合は、呼出時間を選択します。
留守番電話サービス／転送電話サービスを解除する	「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「留守番・転送全てOff」→「はい」
留守番電話サービス／転送電話サービスの設定を確認する	「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「設定確認」
留守番電話の伝言メッセージを聞く	「通話サービス」→「留守番・転送電話」→「留守番再生」→[発信キー]／≪発信≫
割込通話サービスを開始／解除する	「通話サービス」→「割込通話」→「On」／「Off」
割込通話サービスの設定を確認する	「通話サービス」→「割込通話」→「設定確認」
発信規制を設定する	「通話サービス」→「発着信規制」→「発信規制」→項目を選択→「On」／「Off」→規制暗証番号を入力→≪OK≫
着信規制を設定する	「通話サービス」→「発着信規制」→「着信規制」→項目を選択→「On」／「Off」→規制暗証番号を入力→≪OK≫
発着信規制の制限をすべて解除する	「通話サービス」→「発着信規制」→「規制全停止」→規制暗証番号を入力→≪OK≫→「はい」
発着信規制の設定を確認する	「通話サービス」→「発着信規制」→「設定確認」→項目を選択

発着信規制用暗証番号を変更する	「通話サービス」→「発着信規制」→「規制暗証番号」→現在の規制暗証番号を入力→≪OK≫→新しい規制暗証番号を入力→≪OK≫→もう一度新しい規制暗証番号を入力→≪OK≫
着信お知らせ機能を設定する	「通話サービス」→「着信お知らせ機能」→▭／≪発信≫
ネットワークモードを切り替える　お買い上げ時 自動	「通話サービス」→「国際設定」→「3G/GSM選択」→項目を選択 ●「手動」で選択できる項目は、「3G/GSM」／「3G」／「GSM」です。
国際コードを登録する　お買い上げ時 0046010	「通話サービス」→「国際設定」→「国際コード」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→国際コードを入力
国番号を追加／編集／削除する お買い上げ時 日本、韓国、イギリス、イタリア、スイス、スペイン、ドイツ、ポルトガル、オランダ、フランス、モナコ、アメリカ合衆国、スウェーデン、オーストラリア、中国、香港、台湾	「通話サービス」→「国際設定」→「国番号リスト」→追加／編集／削除の操作 ●追加／変更するときは、国番号リストから追加／変更したい項目を選択→「編集」→「国名」→国名を入力→「国番号」→国番号を入力→≪保存≫をタップします。 ●削除するときは、削除したい項目を選択→「削除」→「はい」を選択します。
接続するネットワークを選択する	「通話サービス」→「国際設定」→「事業者設定」→「自動・手動選択」→項目を選択 ●「手動」を選択したときは、ネットワークを選択します。
優先されるネットワークをリストから設定する	「通話サービス」→「国際設定」→「事業者設定」→「優先度リスト」→≪追加≫→「ネットワークリスト」→挿入したいネットワークを選択
優先されるネットワークを新規追加する	「通話サービス」→「国際設定」→「事業者設定」→「優先度リスト」→≪追加≫→「新規ネットワーク」→「国番号」→国番号を入力→「ネットワークコード」→ネットワークコードを入力→「ネットワーク」→ネットワーク名を入力→「ネットワークタイプ」→項目を選択→≪追加≫
すべての通話の合計通話時間／合計通話料金を確認する	「通話時間・料金」→「累積」 ●通話時間／通話料金をリセットするには、≪リセット≫→PIN2コードを入力→≪OK≫をタップします。
前回の通話時間／通話料金を確認する	「通話時間・料金」→「直前の通話」 ●前回の通話時間／通話料金をリセットするには、≪リセット≫をタップします。

累積データ通信量を確認する	「通話時間・料金」→「累積データ通信量」 ●送信データ量／受信データ量をリセットするには、≪リセット≫をタップします。
通話終了後に通話料金を表示するかどうか設定する お買い上げ時 Off	「通話時間・料金」→「通話後料金表示」の「On」／「Off」 ●本機能はご利用になれない場合があります。
通話料金の通貨単位を変更する	「通話時間・料金」→「通貨設定」→PIN2コードを入力→≪OK≫→レート欄をタップ→円に対するレートを入力→通貨欄をタップ→通貨単位を入力→≪保存≫
通話料金の限度額を設定する	「通話時間・料金」→通話料金上限設定欄をタップ→「編集」→PIN2コードを入力→≪OK≫→通話料金上限設定欄をタップ→限度額を入力→≪保存≫ ●通話料金の上限を超えると、緊急電話発信を除くすべての電話の発信やメールの送受信、ウェブ接続（通話料、通信料が課金される操作）ができなくなります。 ●「通話後料金表示」がご利用になれない場合、通話料金の限度額を設定する機能はご利用になれません。
通話料金の限度額の設定を解除する	「通話時間・料金」→通話料金上限設定欄をタップ→「リセット」→PIN2コードを入力→≪OK≫
簡易留守録を設定する お買い上げ時 Off	「簡易留守録」→「On/Off」の「On」／「Off」
簡易留守録の応答時間を設定する お買い上げ時 18秒	「簡易留守録」→「応答時間」→項目を選択 ●「その他」を選択した場合は、時間を入力します。
簡易留守録に録音された用件を確認する	「簡易留守録」→「録音メッセージ再生」→用件を選択 ●録音された用件を削除するには、≪削除≫→削除したい用件をチェック→≪削除≫→「はい」を選択します。
応答メッセージの言語を設定する お買い上げ時 日本語	「簡易留守録」→「応答言語」→項目を選択
自画像の代わりに送信する代替画像をお買い上げ時の画像に設定する	「TVコール」→「代替画像」→「固定データ」→≪OK≫

自画像の代わりに送信する代替画像を設定する	「TVコール」→「代替画像」→「ピクチャー」→ファイルを選択→≪OK≫ ●メモリカードを取り付けているときは、「デジタルカメラ」からも画像を選択できます。
TVコール中の相手画像の画質を調整する お買い上げ時 標準	「TVコール」→「受信画質」→項目を選択
TVコール中の自画像の画質を調整する お買い上げ時 標準	「TVコール」→「送信画質」→項目を選択
TVコール中の保留画像をお買い上げ時の画像に設定する	「TVコール」→「保留設定」→「通話中保留」→「固定データ」→≪OK≫
TVコール中の保留画像について設定する	「TVコール」→「保留設定」→「通話中保留」→「ピクチャー」→ファイルを選択→≪OK≫ ●メモリカードを取り付けているときは、「デジタルカメラ」からも画像を選択できます。
TVコールに応答保留する際の画像をお買い上げ時の画像に設定する	「TVコール」→「保留設定」→「応答保留」→「固定データ」→≪OK≫
TVコールに応答保留する際の画像について設定する	「TVコール」→「保留設定」→「応答保留」→「ピクチャー」→ファイルを選択→≪OK≫ ●メモリカードを取り付けているときは、「デジタルカメラ」からも画像を選択できます。
TVコール中の音声の送信について設定する お買い上げ時 Off	「TVコール」→「私の音声ミュート」の「On」／「Off」 ●「On」に設定している場合、TVコール中に一時的に音声を送信するには≪ミュートオフ≫をタップします。
TVコール中にスピーカーホンを利用するかどうか設定する お買い上げ時 On	「TVコール」→「スピーカーホン」の「On」／「Off」
TVコール中のバックライトの明るさを設定する お買い上げ時 On	「TVコール」→「バックライト」の「On」／「Off」 ●「Off」に設定するとディスプレイは「On」の設定時より暗くなります。

TVコールがつながらなかったときの動作を設定する お買い上げ時 毎回確認	「TVコール」→「再発信方法」→項目を選択 ●「なし」に設定すると、何も表示せずに発信を終了できます。 ●TVコールがつながらなかったときに、設定した方法で再発信をうながすメッセージを表示することができます。
指定した相手からのTVコール着信を自動で受ける お買い上げ時 Off	「TVコール」→「自動応答」→「On/Off設定」の「On」／「Off」 ●指定した相手からTVコールの着信があったときに、通知音でお知らせして自動的に電話を受けることができます。
TVコール着信を自動で受ける相手を指定する	「TVコール」→「自動応答」→「自動応答リスト」→≪追加≫→項目を選択→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→電話番号の登録操作 ●指定した相手を削除するには「自動応答リスト」を選択後、≪削除≫→削除したい相手をチェック→≪削除≫→「はい」を選択します。
TVコール発信時の自画像の送信について設定する お買い上げ時 On	「TVコール」→「自画像送信」の「On」／「Off」
電話番号を指定して着信の許可／拒否を設定する お買い上げ時 Off	「着信拒否」→「電話番号指定」→「On/Off設定」の「On」／「Off」 ●着信拒否に登録した電話番号からかかってきたとき、相手には話中音を流し電話を受けません。待受画面には「不在着信通知」と表示してお知らせします。表示を選択すると着信履歴を確認できます。
着信拒否する電話番号を登録する	「着信拒否」→「電話番号指定」→「拒否リスト」→≪追加≫→項目を選択→電話番号の登録操作 ●登録した電話番号を削除するには、「拒否リスト」を選択後、≪削除≫→削除したい電話番号をチェック→≪削除≫→「はい」を選択します。
電話帳に登録していない番号からの着信の許可／拒否を設定する お買い上げ時 Off	「着信拒否」→「電話帳以外」の「On」／「Off」
非通知着信の許可／拒否を設定する お買い上げ時 Off	「着信拒否」→「非通知」の「On」／「Off」
公衆電話からの着信の許可／拒否を設定する お買い上げ時 Off	「着信拒否」→「公衆電話」の「On」／「Off」

電話番号が通知不可能な着信の許可／拒否を設定する お買い上げ時 Off	「着信拒否」→「通知不可」の「On」／「Off」
電波Offモードを設定する お買い上げ時 Off	「電波Offモード」の「On」／「Off」
発信者番号の通知／非通知を設定する	「発信者番号通知」→「通知する」／「通知しない」 ●現在の設定を確認するには、「設定確認」を選択します。
話し中だった相手に自動的にリダイヤルする お買い上げ時 Off	「オートリダイヤル」の「On」／「Off」 ●音声電話やTVコールをかけた相手がお話し中だったときに、自動的に電話を切り、すぐにリダイヤルを開始するように設定できます。オートリダイヤルは、≪キャンセル≫をタップまたは[終話]を押すまで最大10回繰り返されます。 ●TVコールの再発信方法を設定しているときは、オートリダイヤルの設定が優先されます。 ●相手が転送電話サービスや留守番電話サービスを設定しているときは、電話が転送され、オートリダイヤルは行われません。
着信音調節機能を設定する お買い上げ時 On	「着信音調節機能」の「On」／「Off」 ●音声電話やTVコールの着信音量が大きな音で設定されている場合、着信時にいきなり大きな音で呼び出すことを防ぐために、レベル1の音量で4秒間呼び出したあと除々に大きくなり、設定されている音量で呼び出します。
イヤホン通話を使う お買い上げ時 Off	電話番号指定欄をタップ→項目を選択→電話番号の登録操作→「イヤホン通話」の「On」／「Off」 ●ステレオイヤホンマイクのスイッチを 1 秒以上押して、指定した電話番号に電話をかけられるように設定できます。指定した電話番号を変更する場合は同じ操作を繰り返し、変更する電話番号を登録します。
通話中の音量を調節する お買い上げ時 レベル5	受話音量欄で音量を調節

設定

マナーモードの設定

マナーモードに関する設定

マナーモードを切り替える	≪メニュー≫→「設定」→「マナーモード設定」→項目を選択 ●各モードの設定内容を変更するには、≪編集≫→設定したいモードを選択→各項目の設定をします。

設定

外部接続の設定

Bluetooth®に関する設定

共通操作 ≪メニュー≫→「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」

Bluetooth®機能を設定/解除する お買い上げ時 Off	≪On≫/≪Off≫
Bluetooth®対応機器を検索して登録する	≪デバイス検索≫→検索に応答した機器が表示されたら、登録する機器をタップし、選択されたことを確認後ドラッグして「930SC」アイコンへドロップ→認証コード(4~16桁)を入力→≪OK≫→相手機器側で30秒以内に同じ認証コードを入力
電話帳、カレンダー、ブックマークをそれぞれ一括送信する	「全件データ送信」→送信先のデバイスをタップし、選択されたことを確認後ドラッグして「930SC」アイコンへドロップ→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→項目を選択
930SCの表示名を編集する お買い上げ時 930SC	≪その他≫→「マイデバイス設定」→デバイス名称欄をタップ→名前を編集
930SCの機器アドレスを確認する	≪その他≫→「マイデバイス設定」 ●Bluetoothアドレス欄で確認できます。
他のBluetooth®機器から検索/登録する お買い上げ時 公開する	≪その他≫→「マイデバイス設定」→「公開設定」→項目を選択 ●相手のBluetooth®機器側から検索と登録をする場合は「公開する」に設定し、お客様の930SCを公開する必要があります。

データ転送時の認証を設定する お買い上げ時 On	≪その他≫→「マイデバイス設定」→「データ転送認証」の「On」／「Off」 ●「On」に設定すると、相手機器側の要求でデータが送信されるときに確認のメッセージが表示されます。
ハンズフリー機器接続時の通話の開始方法を設定する お買い上げ時 常時ハンズフリー	≪その他≫→「マイデバイス設定」→「ハンズフリー設定」→項目を選択 ●設定内容は次のとおりです。 「発着信方法に依存」：930SCで発着信した場合は、930SCで通話します。ハンズフリー機器から発着信した場合は、ハンズフリー機器で通話します。 「常時ハンズフリー」：すべてハンズフリー機器で通話します。
着信時の応答方法を設定する お買い上げ時 標準	≪その他≫→「マイデバイス設定」→「応答設定」→項目を選択 ●自動的に着信するまでの秒数を設定するには「自動」を選択し、秒数を選択します。
利用できるBluetooth®の機能を確認する	≪その他≫→「マイデバイス設定」→「Bluetoothサービス説明」→項目を選択

赤外線通信に関する設定

共通操作 ≪メニュー≫→「設定」→「外部接続」→「赤外線通信」

赤外線通信を設定／解除する お買い上げ時 Off	「On/Off」の「On」／「Off」
データを一括送信する	「全件データ送信」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→項目を選択→認証コード（4桁）を入力→≪OK≫ ●電話帳を選択した場合に、画像データを転送するときは、「はい」を選択します。

USB接続モードに関する設定

共通操作 ≪メニュー≫→「設定」→「外部接続」→「USB接続モード」

カードリーダーモードを起動する	「カードリーダーモード」→「はい」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→930SCとパソコンをUSBケーブルで接続→パソコンからデータを読み書き
MTP通信モードを起動する	「MTP通信モード」→「はい」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→パソコンからデータを読み書き ●あらかじめ、930SCとパソコンをUSBケーブルで接続してから操作します。

ネットワークに関する設定

ネットワーク自動調整を手動で行う	≪メニュー≫→「設定」→「外部接続」→「ネットワーク自動調整」→「はい」／「いいえ」

設定

メモリの設定

930SCのメモリに関する設定

共通操作 ≪メニュー≫→「設定」→「メモリ設定」

メモリカードの詳細情報を確認する	「メモリカード」 ●メモリカードの名前、メモリ容量、メモリ残量を確認できます。
メモリカードの表示名を編集する	「メモリカード」→「名前」→名前を入力
メモリカードをフォーマット（初期化）する	「メモリカード」→≪メモリカード初期化≫→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→「はい」
メモリのバックアップをとる	「メモリカード」→≪メモリカードへ保存≫→「はい」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→項目を選択→「はい」
バックアップしたデータから復元する	「メモリカード」→≪メモリカードから読込み≫→「はい」→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→項目を選択→ファイルを選択→「追加」／「上書き」
930SC本体のメモリの詳細情報を確認する	「本体」 ●930SC本体のメモリ容量、メモリ残量を確認できます。
930SC本体のメモリを消去する	「本体」→≪メモリ消去≫→消去したい項目をチェック→≪消去≫→操作用暗証番号を入力→≪OK≫→「はい」

データの保存先を930SC本体／メモリカードに指定する　お買い上げ時 本体	「保存先設定」→項目を選択 ●メモリカードを取り付けているときのデータの保存先を、930SC本体またはメモリカードのどちらにするかを設定できます。画像編集時、S!メールの添付ファイル保存時、情報画面からのファイルダウンロード時、Bluetooth®経由でのデータ受信時などのデータが対象になります。 ●メモリカードが取り付けられていないときに、「メモリカード」または「毎回確認」に設定している場合は、保存先は自動的に930SC本体になります。
メモリ容量を確認する	「メモリ容量確認」→項目を選択 ●確認したメモリを削除するには≪削除≫をタップします（➔P.2-46 登録／保存した内容を削除してメモリを整理したい）。

資料／付録

14

電池パックと充電器のお取り扱い

電池パックと充電器をご利用になる前に

初めてお使いになるときや、長時間ご使用にならなかったときには、ご使用前に必ず充電してください。

充電について

- 電池残量のない状態で保管、放置はしないでください。電池パックを長期間保管または放置される場合でも、半年に1回程度、電池パックの充電を行ってください。
  長い間ご使用にならなかった電池パックは十分に充電されず、使用時間が短くなったり、使用できなくなる場合があります。
- 電池パックの使用条件によって、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れることがありますが、安全上問題はありません。
- 電池パックはリチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池はメモリ効果がないため、継ぎ足し充電ができます。
- 次のような場所では充電しないでください。
  - 周囲の温度が5℃以下、または40℃以上になる場所
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所（誤動作の原因となります）
  - ラジオなどのそば（ラジオなどに雑音が入ることがあります）
- 充電中に電池パックや充電器が温かくなることがありますが、異常ではありません。ただし、手で触れられないほど熱くなった場合は、充電を中止し、お問い合わせ先（➔P.14-30）までご相談ください。
- 電池パックは消耗品です。電池パックを完全に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら、交換時期です。新しい電池パックをお買い求めください。

注意

- **930SCに使用する充電用機器は、必ず当社指定のものをご使用ください。**
- **電池パック単体で充電することはできません。必ず930SCに電池パックを取り付けた状態で充電してください。電池パックなしの状態では、充電することも電源を入れることもできません。**
- **充電器を長時間ご使用にならない場合は、プラグをコンセントから抜いてください。**

電池パックの持ちについて

次のような使いかたや操作をすると、電池パックの消耗が早まり、利用可能時間が短くなります。

- 使用環境
  - 極端な低温または高温の状態での使用、および保存（5～40℃の温度範囲でご使用ください）
  - 電波の弱い場所での通話や、圏外表示での待ち受け（なるべく電波状態の良い環境でご使用ください）
  - 930SCや電池パック、充電器の充電端子の汚れ（汚れのために接触が悪くなると、正常に充電できなくなります）
- 操作
  - カメラでの撮影を何度も行ったとき
  - 動画や音楽を再生したとき
  - メール作成などで連続した操作をしたとき（照明の点灯時間が長くなるため）
  - Bluetooth®通信を何度も行ったとき
  - テレビを視聴しているとき

●設定
- スライドショーを設定しているとき
- ディスプレイ設定の「バックライト」で明るさのレベルを上げているときや、長時間の点灯を設定しているとき
- メディアプレイヤーのバックライトが「常時On」に設定されている状態で、ムービーを再生したとき

不要になった電池パックは

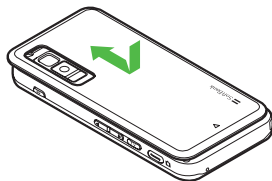
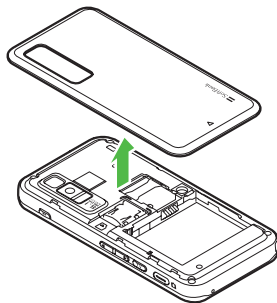
不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てずに、端子にテープなどを貼り付けて絶縁し、個別回収に出すか最寄りのソフトバンクショップへお持ちください。電池を分別廃棄している市町村の場合は、その条例に基づいて廃棄してください。リチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。

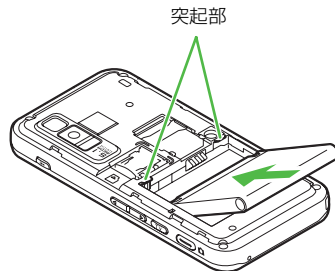
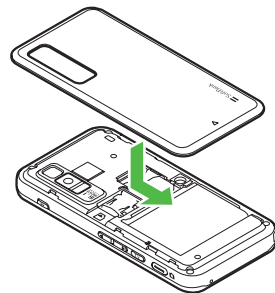
電池が切れると

電池がほとんど残っていない状態になると、警告音とメッセージでお知らせします。電池パックを充電してください。そのまま充電をしないでいると、自動的に930SCの電源が切れます。

電池パックを取り付ける／取り外す

取り付ける

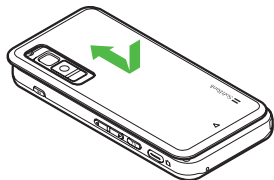
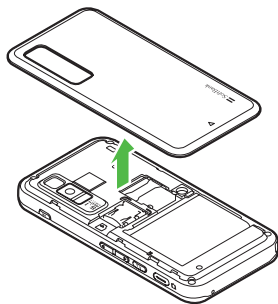
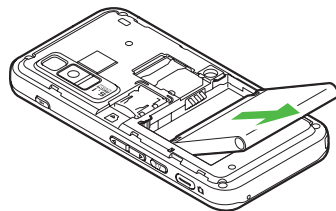
1. 電池カバーを矢印の方向に押しながらスライドさせる

2. 電池カバーを矢印の方向に引き上げて、取り外す

3. 930SCの突起部に電池パックのくぼみを合わせて取り付ける

突起部

4. 電池カバーを本体にかぶせ、矢印の方向にスライドさせる

注意

- 取り付けるときに、電池パックに無理な力を加えないでください。930SCの充電端子が壊れる場合があります。

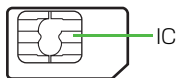
取り外す

電池パックの取り外しは、電源を切ってから行ってください。また、急速充電器を接続していない状態で行ってください。

1 電池カバーを矢印の方向に押しながらスライドさせる

2 電池カバーを矢印の方向に引き上げて、取り外す

3 電池パックを持ち上げて、取り外す

USIMカードのお取り扱い

USIMカードをご利用になる前に

USIMカードは電話番号やお客様情報が入ったICカードです。USIMカード対応のソフトバンク携帯電話に取り付けて使用します。930SCは、USIMカードが取り付けられていないと利用できません。

IC

USIM（ユーシム）カード

USIMカードには電話帳とSMSを保存できます。USIMカードに保存したデータは、他のUSIMカード対応のソフトバンク携帯電話でもご利用いただけます。次の点にご注意ください。USIMカードの詳細については、USIMカードに付属の説明書を参照してください。

- USIMカードの取り付けや取り外しをするときには、必要以上に力を入れないでください。
- 他社製品のICカードリーダーなどにUSIMカードを挿入し、故障したときは、お客様ご自身の責任となり当社では責任を負いかねますのでご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れするときは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。
- USIMカードにラベルなどを貼り付けないでください。USIMカードは非常に薄く、精密に作られているため、ラベルやシール程度の厚みでも接触不良やデータの破壊などの原因となることがあります。

注意

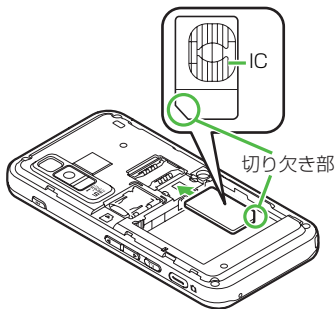
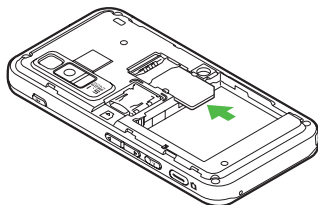
- **USIMカードの所有権は当社に帰属します。**
- **紛失、破損などによるUSIMカードの再発行は有償となります。**
- **解約、休止などの際は、USIMカードを当社にご返却ください。**
- **お客様からご返却いただいたUSIMカードは、環境保全のためリサイクルされています。**
- **USIMカードの仕様、性能は予告なしに変更する可能性があります。ご了承ください。**
- **国内外を問わず、USIMカードならびにソフトバンク携帯電話（USIMカード挿入済み）の盗難・紛失の際は、必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。緊急利用停止の手続きについては、お問い合わせ先（➔P.14-30）までご連絡ください。**
- **930SCの修理やUSIMカードの交換、機種変更を行った場合、本体やメモリカードに保存した着うた®や着うたフル®、動画などのファイルがご利用になれなくなる可能性があります。あらかじめご了承ください。**
- **お客様ご自身でUSIMカードに登録された情報内容は、別途メモなどに控えて保管することをおすすめします。万一、データが消失または変化した場合でも、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。**

USIMカードを取り付ける／取り外す

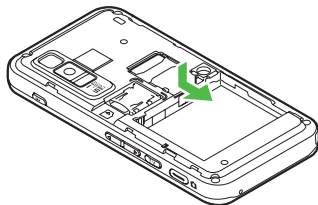
USIMカードの取り付けや取り外しをするときは、電池パックを取り外す前に必ず電源を切ってください。

取り付ける

1. 電池パックを取り外す（➔P.14-4）
2. USIMカードの金色のIC部分を下側にし、切り欠き部の向きに注意して挿入口に差し込む

IC
切り欠き部

3. USIMカードが固定されるように、奥まで押し込む

取り外す

1. 電池パックを取り外す（➔P.14-4）
2. USIMカードに指を押し当て、スライドさせながら静かに引き抜く

注意

- 無理に取り付けたり取り外したりすると、USIMカードや930SCが破損することがありますのでご注意ください。
- 取り外したUSIMカードは、紛失しないようにご注意ください。
- USIMカードの取り付けや取り外しを行うときは、IC部分に不用意に触れたり、傷をつけたりしないでください。また、電池パックとの接点部分にも触れないようにしてください。

PINコード

USIMカードには、「PINコード」と「PIN2コード」の2つの暗証番号があります。

PINコード

第三者によるソフトバンク携帯電話の無断使用を防ぐための4～8桁の暗証番号です。

- PINコードは変更できます（➔P.11-2）。
- 「PIN認証」を「On」に設定すると、USIMカードを930SCに取り付けて電源を入れたとき、PINコードを入力しないと930SCを使用できなくなります（➔P.11-2）。

PIN2コード

累積通話料金のリセットや、通話料金の上限設定を行うときに使用する4〜8桁の暗証番号です。

- PIN2コードは変更できます（➲P.11-2）。

PINロック解除コード（PUK/PUK2コード）

PINロック解除コード（PUKコード）とは、PINロック状態を解除するために使用する暗証番号です。PINコードまたはPIN2コードの入力を3回続けて間違えると、PINロック状態になります。
PINロック解除コードについては、お問い合わせ先（➲P.14-30）までご連絡ください。

注意

- **PINロック解除コードを10回続けて間違えると、USIMカードがロックされ、930SCを使用できなくなります。PINロック解除コードはメモに控えるなどして、お忘れにならないようにご注意ください。**
- **USIMカードがロックされた場合、ロックを解除する方法はありません。お問い合わせ先（➲P.14-30）までご連絡ください。**

故障かな？と思ったら

■ 電源が入らない

☑ 電池切れになっていませんか？
➡ 電池パックを交換するか充電してください。

☑ 電池パックが930SCに装着されていますか？
➡ 正しく装着してください。

■ 電源を入れるとPINコードの入力画面が表示される

☑「PIN認証」が「On」に設定されていませんか？
➡「PIN認証」が「On」に設定されているときは、画面の指示に従ってPINコードを入力してください。

■ 電源を入れるとUSIMパスワードの入力画面が表示される

☑「USIM照合」が「On」に設定されていませんか？
➡「USIM照合」が「On」に設定されているときは、USIMパスワードを入力してください。

■ 電源を入れたときや機能の操作時に「USIM未挿入です。」、「USIMが正しくありません」、「USIMエラーです」と表示される

☑ USIMカードは正しく取り付けられていますか？
➡ USIMカードが正しく取り付けられていることを確認してください。正しく取り付けられているのに表示が出る場合は、破損している可能性があります。

☑ USIMカードのデータ読み込み中ではありませんか？
➡ しばらくたってから操作し直してください。

☑ 違ったUSIMカードをお使いではありませんか？
➡ 正しいUSIMカードであることを確認してください。当社で指定されたUSIMカードを使用してください。

☑ USIMカードのIC部分に指紋などの汚れがついていませんか？
➡ 乾いたきれいな布で汚れを落として、正しくお取り付けください。

■「圏外」または「OUT」が表示され、電話がかけられない

☑ サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいませんか？
➡ 電波の届く場所に移動してかけ直してください。

■ 通話が途切れたり、切れたりする

☑「圏外」または「OUT」が表示されているか、または電波状態が悪い場所にいませんか？
➡ 電波の届く場所に移動してかけ直してください。

☑ 電池切れになっていませんか？
➡ 電池パックを交換するか充電してください。

■ 電話がかけられない

☑ 発着信規制サービスの発信規制が設定されていませんか？
➡ 発信の規制を停止してください。

☑ 電波Offモードが設定されていませんか？（「」表示）
➡「電波Offモード」を「Off」に設定してください。

■ 電話帳、データフォルダ、通話履歴、カレンダーやメールの各種の機能が呼び出せない

☑「機能別ロック」が設定されていませんか？
➡「機能別ロック」を解除してください。

■ 通話中に「プチッ」と音が入る

☑ 電波が弱くなって別のエリアに切り替わるときに発生することがあります。

■ 充電できない

☑ 急速充電器の接続コネクターが930SCに確実に差し込まれていますか？
➡ 確実に差し込んでください。

☑ 急速充電器のプラグがしっかりとコンセントに差し込まれていますか？
➡ 確実に差し込んでください。

☑ 電池パックが930SCに取り付けられていますか？
➡ 正しく取り付けてください。

☑ 930SC、電池パックの充電端子や急速充電器の接続コネクター、930SCの外部接続端子の接続端子が汚れていませんか？
➡ 乾いた綿棒などで端子部の汚れを落としてください。

☑ 周囲の温度が5℃より低い場所または40℃を超える場所で充電していませんか？
➡ 周囲の温度が5～40℃の範囲内で充電してください。

☑ 電池パックに異常はありませんか？
➡ 新しい電池パックに交換してください。

☑ 充電を繰り返しても、十分に充電できませんか？
➡ 電池パックの交換時期です。新しい電池パックに交換してください。

☑ 充電中に930SCや電池パックの温度が上昇していませんか？
➡ 温度が上昇すると充電を中断することがあります。930SCや電池パックが冷めてから、充電し直してください。

■ 熱くなる

☑ 充電中に、急速充電器が発熱することがあります。

☑ 充電したり、長時間通話したりすると930SCが発熱することがあります。
➡ 手で触れることのできる温度であれば、異常ではありません。手で触れられないほど熱くなった場合はただちに充電、使用を中止してお問い合わせ先（➲P.14-30）までご連絡ください。

■ 電池の消費が早い

☑ 使用環境（気温／充電状況／電波状態）、操作や設定状況によっては電池の消費が早くなります。
➡ 適切な環境下でご使用のうえ、電池の消費の大きな機能の使用を控えてください（➲P.14-2）。

■ テレビが視聴できない

☑ USIMカードを取り外していませんか？
➡ USIMカードが取り付けられていないときは視聴できません。USIMカードを取り付けてください。

☑ ご契約を解除されましたか？
➡ テレビの視聴は、ご契約中のみとなります。

■ ディスプレイの表示がちらつく

☑ 蛍光灯の近くで使用していませんか？
➡ 蛍光灯からなるべく離れてご使用ください。

■ ディスプレイの表示が暗くなったり消えたりする

☑ ディスプレイの特性によるものです。故障ではありません。暗くなったり消えたりするまでの秒数はバックライトの設定で変更できます。

■ スピーカーで音楽が再生できない

☑ 「マナーモード」が設定されていませんか？
➡ 「マナーモード」を解除してください。

☑ ステレオイヤホンマイクを接続していませんか？
➡ ステレオイヤホンマイクの接続コネクターを930SCから抜いてください。

■ 「これ以上起動できません」と表示された

☑ 多くの機能を一度に起動しています。
➡ いくつかの機能を終了してください。

■ Samsung PC Studioを利用してBluetooth®やUSB通信ができない

☑ USB ドライバはインストールされていますか？（USB通信の場合）

➡ USB ケーブルでパソコンと接続して通信する場合は、ドライバのインストールが必要です。SAMSUNGホームページ（http://jp.samsungmobile.com/pc/lineup/930download.html）から「USB Driver Installer」をダウンロードして、ドライバのインストールを行ってください。

☑ パソコン側で接続方法が正しく設定されていますか？

➡ ご利用になる通信に合わせて、Samsung PC StudioのConnection managerまたは接続ウィザードで接続方法を「USB」または「Bluetooth」に設定してください。

☑ パソコン側のBluetooth®やUSBの接続ポートがSamsung PC Studioで設定しているポートと同じですか？

➡ Samsung PC StudioのConnection managerまたは接続ウィザードでポートを合わせてください。

■ 電話帳やメールのフォルダ、カレンダーのスケジュール、予定リストなどが表示されない

☑ セキュリティ設定のシークレットモードが「表示しない」に設定されていませんか？

➡ セキュリティ設定のシークレットモードを「表示する」に設定してください。

☑ 各機能のシークレット設定を有効にしていませんか？

➡ 表示したい画面で≪その他≫から「シークレット一時解除」を選択してください。

■「メール送信できませんでした」と表示された

☑ メールが送信できなかったときに、その理由とあわせて表示されます。

➡ 送信できなかった理由を確認し、送信できる状態になってから送信してください。

■「サービスは許可されていません」と表示された

☑ 3Gサービスエリア外から送信しようとしたときに表示されます。

➡ サービスエリア内から送信してください。

■「電波Offモードに設定されています」と表示された

☑ 電波Offモード中に電話やメール送信しようとしたときに表示されます。

➡ 他のモードに切り替えて操作してください。

■「保存領域が＊＊バイト不足しています。データフォルダ内のファイルを整理しますか？」と表示された

☑ 930SCのメモリがいっぱいです。

➡ 不要なファイルを消去してから、やり直してください。

■「ダウンロードできません。コンテンツが不正です。」と表示された

➡ 930SCではダウンロードできないデータです。ダウンロードを中止してください。

■ ステレオイヤホンマイクやBluetooth®から発信できない

☑「イヤホン通話を使う」の設定が「Off」になっていませんか？

➡「イヤホン通話」に指定先の電話番号を登録しても、「イヤホン通話を使う」が「Off」に設定されているときは発信できません。「イヤホン通話を使う」を「On」に設定してください。

ソフトウェアを更新する

930SCのソフトウェアを更新する必要があるかどうかを確認し、必要な場合は通信を利用して最新のソフトウェアに更新できます。更新には、すぐに行う「今すぐ更新」と、更新日時を予約して行う「予約更新」があります。

1. ≪メニュー≫→「ツール」→「ソフトウェア更新」

2. ≪Yes≫
   - ≪Yes≫をタップすると、ネットワークに接続します。

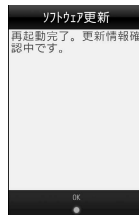
3. 規約を読み、「同意する」
   - 「同意する」を選択する前に、規約をよくお読みください。

4. 暗証番号入力欄をタップ→交換機用暗証番号（➔P.1-16）を入力→≪OK≫→≪OK≫

5. チェック結果を確認し、≪OK≫

6. 更新方法の選択操作

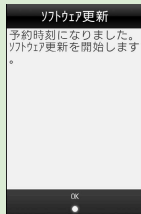
■ 今すぐ更新するとき

「今すぐ更新」
- ソフトウェア更新が実行されます。更新が完了すると、930SCが再起動し、完了通知画面が表示されます。

完了通知画面

■ 予約更新するとき

「予約更新」→≪Yes≫→予約する日付を選択→予約する時間帯を選択→予約した日時を確認→≪OK≫

- 操作のご案内については、ソフトバンクホームページ（http://www.softbank.jp）からもご確認いただけます。
- 確認や更新に通信料はかかりません。
- 予約更新の日時になると、更新メッセージが表示され、≪OK≫をタップするか、約10秒経過すると更新が開始されます。他の機能を利用中の場合は、機能を終了すると更新のメッセージが表示されます。ただし、他の機能を利用したまま予約更新の日時から10分以上経過すると、予約更新は解除されます。

ｿﾌﾄｳｪｱ更新
予約時刻になりました。ｿﾌﾄｳｪｱ更新を開始します。
OK

更新メッセージ画面

- 予約更新をキャンセルするには、操作❶～❹を行いチェック結果画面で≪Yes≫→≪予約キャンセル≫→≪Yes≫をタップします。

注意

- **電池が十分に残っている状態で更新を行ってください。更新中に電池残量が少なくなると、更新が失敗することがあります。**
- **予約更新日時に圏外になった場合は、ソフトウェア更新は行われません。**
- **電波の状態が良好な場所で移動せずにご利用ください。**
- **930SCに保存されているデータを残したまま更新が行われますが、万一に備えてバックアップやメモなどをとることをおすすめします。データが消失した場合の損害につきましては当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。**
- **更新中は、通話やメッセージの受信などができません。**
- **更新が完了するまでに時間がかかる場合があります。**
- **更新に失敗して930SCが使用できなくなった場合は、ソフトバンクの故障受付にご相談ください。**

機能一覧

ツールバーメニュー

待受画面のツールバーに表示されているメニューです。

ツールバーメニュー／中項目		参照先
電話		
	ダイヤル	P.3-2
	電話帳	P.2-14、P.2-18
	通話履歴	P.3-9
	オーナー情報	P.2-21
メール		
	受信ボックス	P.4-9、P.4-11
	メール作成	P.4-3
	新着メール受信	P.4-23
	下書き	P.4-11、P.4-26
	テンプレート	P.4-11、P.4-21、P.4-22
	送信済みボックス	P.4-11
	未送信ボックス	P.4-11
	サーバーメール操作	P.4-28

ツールバーメニュー／中項目		参照先
メール		
	SMS新規作成	P.4-7
	設定	P.13-2
	メモリ容量確認	P.2-33
Y!ケータイ※		
	Yahoo!ケータイ	P.5-3
	ブックマーク	P.5-7
	画面メモ	P.5-8
	URL入力	P.5-3、P.5-4
	閲覧履歴	P.5-15、P.5-17
	PCサイトブラウザ	P.5-4
	設定	P.13-7

※ 表のメニューは、≪メニュー≫→≪Y!ケータイ≫をタップすると表示されます。待受画面で≪Y!≫をタップすると、Yahoo!ケータイのメインメニューにアクセスします。

メインメニュー

待受画面のツールバー≪メニュー≫をタップして表示されるメインメニューです。

メインメニュー／中項目		参照先
お絵かきアニメ		P.7-10
フォトアルバム		P.2-25
メディアプレイヤー		
	ミュージック	P.8-6
	ムービー	P.8-8
	ストリーミング	P.5-9
	設定	P.13-10
コミュニケーション		
	S!ループ	P.5-13
	S!ともだち状況	P.10-2
カメラ		
	カメラ	P.7-5
	ビデオカメラ	P.7-8
	バーコードリーダー	P.9-9
TV		
	TV視聴	P.6-6
	番組表	P.6-6
	TVリンク	P.6-7

メインメニュー／中項目		参照先
TV		
	TVプレイヤー	P.6-9
	録画／視聴予約	P.6-10
	設定	P.13-13
ツール		
	アラーム	P.9-3
	電卓	P.9-4
	通貨・単位換算	P.9-5
	世界時計	P.9-6
	メモ帳	P.9-6
	予定リスト	P.9-6
	ボイスレコーダー	P.9-7
	ストップウォッチ	P.9-8
	バーコードリーダー	P.9-9
	ドキュメントビューア	P.9-11
	辞典	P.9-13
	ソフトウェア更新	P.14-11
データフォルダ		
	ピクチャー	P.2-22
	マイ絵文字	P.2-22
	着うた・メロディ	P.2-22
	ミュージック	P.2-22
	ムービー	P.2-22
	デコレメールテンプレート	P.2-22

メインメニュー／中項目		参照先
データフォルダ		
	Flash®	P.2-22
	着信音Flash®	P.2-22
	その他ファイル	P.2-22
	メモリ容量確認	P.2-23
エンタテイメント		
	S!速報ニュース	P.5-10
	S!情報チャンネル／お天気	P.5-13
	サイコロゲーム	P.8-10
	ランダムボール	P.8-10
カレンダー		P.9-2
電話帳		
	電話帳	P.2-18
	新規登録	P.2-16
	通話履歴	P.3-9
	グループ設定	P.2-39
	オーナー情報	P.2-21
	スピードダイヤル設定	P.3-7
	S!電話帳バックアップ	P.12-12
	設定	P.13-15
	メモリ容量確認	P.2-38

メインメニュー／中項目		参照先
設定		
	音・バイブ設定	P.13-16
	ディスプレイ設定	P.13-18
	一般設定	P.13-19
	セキュリティ設定	P.13-21
	通話設定	P.13-23
	マナーモード設定	P.13-29
	外部接続	P.13-29
	メモリ設定	P.13-31

文字入力用キー一覧

1つのキーには複数の文字が割り当てられています。文字を入力するには、目的の文字が表示されるまでキーを繰り返しタップします。
絵゛゜は濁点を付けるなどの機能が、記号には全角記号／半角記号入力モードへの切り替えなどの機能が割り当てられています。表示されるキーは文字入力画面によって異なる場合があります。

文字入力画面で共通して使用するキー

キー	用途
記号	全角記号／半角記号入力モードへの切り替え
	入力文字エリアの拡大
／／／	カーソルを上下左右に移動
	スペースを入力
	改行を入力
A/a	大文字／小文字の変換（文字の決定前で、変換可能な場合のみ）
Clear／CLEAR	カーソル上もしくはカーソルの左の文字を1文字消去
	1つ前の割り当て文字の表示（数字以外で、文字の決定前のみ）

文字入力用キー

キー	漢字／かな	キー（全角／半角）	カタカナ
1 あ .@	あいうえおぁぃぅぇぉ 1	1 ア／1 ｱ	アイウエオァィゥェォ 1
2 か ABC	かきくけこ2	2 カ／2 ｶ	カキクケコ2
3 さ DEF	さしすせそ3	3 サ／3 ｻ	サシスセソ3
4 た GHI	たちつてとっ 4	4 タ／4 ﾀ	タチツテトッ 4
5 な JKL	なにぬねの5	5 ナ／5 ﾅ	ナニヌネノ5
6 は MNO	はひふへほ6	6 ハ／6 ﾊ	ハヒフヘホ6

キー	漢字／かな	キー（全角／半角）	カタカナ
7 まPQRS	まみむめも7	7 マ／7 ﾏ	マミムメモ7
8 やTUV	やゆよゃゅょ8	8 ヤ／8 ﾔ	ヤユヨャュョ8
9 らWXYZ	らりるれろ9	9 ラ／9 ﾗ	ラリルレロ9
0 わ、。	わをん、。ー0	0 ワ、。／0 ﾜ､｡	ワヲン、。ー0
絵 ゛゜	● 濁点あり／半濁点あり／濁点なしの変換（文字の決定前で、変換可能な場合のみ） ● 絵文字／顔文字入力モードへ切り替え		

キー（全角大文字／全角小文字／半角大文字／半角小文字）	英字	キー（全角／半角）	数字
1 .@（全角）／1 .@（半角）[1]	.@-_/:~（全角のときは「～」）1	1／1	1
2 ABC／2 abc／2 ABC／2 abc	ABCabc2	2／2	2
3 DEF／3 def／3 DEF／3 def	DEFdef3	3／3	3
4 GHI／4 ghi／4 GHI／4 ghi	GHIghi4	4／4	4
5 JKL／5 jkl／5 JKL／5 jkl	JKLjkl5	5／5	5
6 MNO／6 mno／6 MNO／6 mno	MNOmno6	6／6	6
7 PQRS／7 pqrs／7 PQRS／7 pqrs	PQRSpqrs7	7／7	7
8 TUV／8 tuv／8 TUV／8 tuv	TUVtuv8	8／8	8
9 WXYZ／9 wxyz／9 WXYZ／9 wxyz	WXYZwxyz9	9／9	9
0 ,.（全角）／0 ,.（半角）[1]	,.-_!?〈スペース〉0	0／0	0
絵 [2]	絵文字／顔文字入力モードへ切り替え		

1　大文字／小文字とも同じキーになります。
2　英字／数字とも同じキーになります。

記号一覧

全角記号

↲、。！？〈スペース〉，．・：；゛゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝゞ〃
仝々〆〇ー―‐／＼～‖｜…‥‘’“”（）〔〕
［］｛｝〈〉《》「」『』【】＋－±×÷＝≠＜
＞≦≧∞∴♂♀°′″℃￥＄￠￡％＃＆＊＠§☆
★○●◎◇◆□■△▲▽▼※〒→←↑↓〓∈∋⊆
⊇⊂⊃∪∩∧∨￢⇒⇔∀∃∠⊥⌒∂∇≡≒≪≫√
∽∝∵∫∬Å‰♯♭♪†‡¶◯ゎゐゑヮヰヱヴヵ
ヶΑΒΓΔΕΖΗΘΙΚΛΜΝΞΟΠΡΣΤΥΦ
ΧΨΩαβγδεζηθικλμνξοπρστ
υφχψωАБВГДЕЁЖЗИЙКЛМНОП
РСТУФХЦЧШЩЪЫЬЭЮЯабвгде
ёжзийклмнопрстуфхцчшщъ
ыьэюя─│┌┐┘└├┬┤┴┼━┃┏┓┛┗
┣┳┫┻╋┠┯┨┷┿┝┰┥┸╂①②③④⑤⑥
⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳ⅠⅡⅢ
ⅣⅤⅥⅦⅧⅨⅩ㍉㌔㌢㍍㌘㌧㌃㌶㍑㍗
㌍㌦㌣㌫㍊㌻㎜㎝㎞㎎㎏㏄㎡㍻〝〟№
㏍℡㊤㊥㊦㊧㊨㈱㈲㈹㍾㍽㍼∮∑∟⊿

半角記号

↲ ､ ｡ ! ? 〈スペース〉 " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = >
@ [¥] ^ _ ` { | } ~ ｢ ｣ ･ ｰ ﾞ ﾟ

変換記号

記号名（入力文字）	記　号	記号名（入力文字）	記　号
あっと	＠@	こめ	※
いこーる	＝=	ころん	：；
えん	￥¥	さんかく	△▲▽▼
おんぷ	♪	しかく	◇◆□■
かける	×	どう	ゝ〃仝々
かっこ	()「」『』【】〈〉[]‘’“”（）〔〕［］｛｝〈〉《》	ぱーせんと	％%
		ほし	☆★
		まる	○●◎
から	～	やじるし	→←↑↓

メモリ容量一覧

930SC本体に保存されるS!メールおよびSMSの合計数	受信ボックス	最大1000件、または最大5Mバイト
	下書き	最大20件、または最大1Mバイト
	送信済みボックス	最大500件、または最大3Mバイト
	未送信ボックス	最大20件、または最大1Mバイト
SMS	USIMカード内	最大10件
データフォルダ	ピクチャー	各フォルダにつき最大999件（ファイルおよびサブフォルダの合計数）
	マイ絵文字	
	着うた・メロディ	
	ミュージック	
	ムービー	
	デコレメールテンプレート	
	Flash®	
	着信音Flash®	
	その他ファイル	

主な仕様

定格および仕様は予告なく変更することがあります。

SoftBank　930SC

項　目	仕　様
質量	約127g
連続通話時間	音声電話：約250分（3G）／約350分（GSM） TVコール：約130分
連続待受時間（ディスプレイ消灯時）	約400時間（3G）／約450時間（GSM）
サイズ（W×H×D）	約58.1×115.2×13.0 ㎜
最大出力	0.25 W

- 上記は、電池パック装着時の数値です。
- 電池の利用可能時間は、電波が安定した状態で算出した当社計算値です。電波の弱い場所での通話や「圏外」表示での待ち受けは電池の消耗が多いため、ご利用時間が半分以下になることがあります。
- ディスプレイの照明がついている状態でのご利用（Yahoo!ケータイの操作など）が多い場合、連続通話時間および連続待受時間は短くなります。
- 待受画面などに動きのある画像を設定した場合、連続通話時間および連続待受時間が著しく短くなることがあります。

- 連続通話時間とは、「静止状態で連続して通話状態を保った場合の計算値」、また連続待受時間とは、「充電を満たした新品の電池パックを装着し、930SCを閉じた状態で通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態により算出した計算値」です。実際に使う場合は、通話と待ち受けの組み合わせとなるため、通話時間も待受時間も短くなります。連続通話時間ならびに連続待受時間は、使用環境（充電状態、気温など）によって変動することがあります。

電池パック

項　目	仕　様
電圧	3.7 V
使用電池	リチウムイオン電池
容量	1100 mAh
サイズ（W×H×D）	約44.3×36.9×6.7 ㎜（突起部を含まず）

索引

英数字

あ

い

う

え

お

か

き

く

と

に

ね

は

ふ

ほ

ま

み

め

も

ゆ

よ

る

わ

資料／付録

14

目的別索引

便利な機能索引

保証とアフターサービス

保証について

930SC本体をお買い上げいただいた場合は、保証書が付いております。

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書をご覧ください。

本製品の故障、または不具合などにより、通話などの機会を逸したためにお客様または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

修理を依頼される場合

「故障かな？と思ったら」をお読みのうえ、もう一度お確かめください。それでも異常がある場合は、ご契約いただいた各地域の故障受付（➔P.14-30）または最寄りのソフトバンクショップへご相談ください。

その際できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

注意

- **故障または修理により、お客様が登録・設定した内容が消去・変化する場合がありますので、大切な電話帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に930SCに登録したデータ（電話帳やデータフォルダの内容など）や設定した内容が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。**
- **本製品を分解、改造すると電波法に触れることがあります。また、改造された場合は修理をお引受けできませんので、ご注意ください。**

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ先までご連絡ください。

番号はお間違いのないようにおかけください。

ソフトバンクお客さまセンター	
総合案内	ソフトバンク携帯電話から157（無料）
紛失・故障受付	ソフトバンク携帯電話から113（無料）

ソフトバンク国際コールセンター
海外からのお問い合わせおよび盗難・紛失のご連絡 +81-3-5351-3491（有料）

一般電話からおかけの場合

ご契約地域	お問い合わせ先	
北海道・青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県・新潟県・東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県・富山県・石川県・福井県	総合案内	0088-240-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-240-113（無料）
愛知県・岐阜県・三重県・静岡県	総合案内	0088-241-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-241-113（無料）
大阪府・兵庫県・京都府・奈良県・滋賀県・和歌山県	総合案内	0088-242-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-242-113（無料）
広島県・岡山県・山口県・鳥取県・島根県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県・福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県	総合案内	0088-250-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-250-113（無料）

SoftBank 930SC　取扱説明書

2009 年　10 月　第 3 版発行

ソフトバンクモバイル株式会社

＊ご不明な点はお求めになられた
ソフトバンク携帯電話取扱店に
ご相談ください。

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器をブランド・メーカーを問わず上記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

※回収した電話機・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。

※プライバシー保護の為、電話機に記憶されているお客様の情報（電話帳・通信履歴・メール等）は事前に消去願います。

機種名　SoftBank 930SC
製造元　Samsung Electronics Co.,Ltd.